



LASERJET ENTERPRISE M4555

MFP シリーズ

ユーザーズ ガイド





LaserJet Enterprise M4555 MFP
シリーズ

ユーザーズ ガイド

著作権およびライセンス

© 2017 Copyright HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 2, 8/2019

商標表示

Intel® Core™ は、米国およびその他の国/地域における Intel Corporation の商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows® XP および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

ENERGY STAR® および ENERGY STAR® は米国登録商標です。

このガイドで使用されているマーク

 **ヒント:** ヒントは、役に立つヒントやショートカットを示します。

 **注記:** 注記は、概念の説明やタスクの完了に必要な、重要な情報を示します。

 **注意:** 注意は、データの損失やプリンタの損傷を避けるために従う必要がある手順を示しています。

 **警告!** 警告は、負傷、壊滅的なデータ損失、またはプリンタへの甚大な損害を回避するために従う必要がある特定の手順に注意を喚起します。

目次

1 製品の基本情報	1
製品の比較	2
環境への配慮	4
ユーザー補助機能	5
製品の外観	6
正面図	6
M4555 MFP	6
M4555f MFP	7
M4555fskm MFP	9
背面図	10
インタフェース ポート	11
シリアル番号とモデル番号の位置	11
コントロール パネルのレイアウト	12
コントロール パネルのヘルプ システム	13
タッチスクリーンの操作	14
タッチスクリーンのボタン	16
2 コントロール パネルのメニュー	17
コントロール パネルのメニュー	18
[管理] メニュー	20
[レポート] メニュー	20
[全般的な設定] メニュー	21
[設定のコピー] メニュー	24
[スキャン/デジタル送信設定] メニュー	27
[ファックス設定] メニュー	29
[[USB から開く] 設定] メニュー	33
[印刷設定] メニュー	33
[印刷オプション] メニュー	35
[表示設定] メニュー	36
[サプライ品の管理] メニュー	37

[トレイの管理] メニュー	38
[ステイプラ/スタッカの設定] メニュー	38
ネットワーク設定 メニュー	39
[トラブルシューティング] メニュー	42
[プリンタのメンテナンス] メニュー	45
[バックアップ/復元] メニュー	45
[校正/クリーニング] メニュー	45
[USB ファームウェア アップグレード] メニュー	46
サービス メニュー	46

3 Windows 用ソフトウェア 47

対応オペレーティング システム (Windows)	48
対応プリンタ ドライバ (Windows の場合)	49
適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)	50
HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)	51
UPD インストール モード	51
印刷設定の優先度	52
プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows の場合)	53
すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有 効)	53
すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	53
製品の設定を変更する	53
ソフトウェアの削除 (Windows)	55
サポートされているユーティリティ (Windows)	56
HP Web Jetadmin	56
HP 内蔵 Web サーバ	56
その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア	57

4 Mac でのプリンタの使用 59

Mac 用ソフトウェア	60
対応する Mac オペレーティング システム	60
対応プリンタ ドライバ (Mac の場合)	60
Mac オペレーティング システム対応ソフトウェアのインストール	60
プリンタに直接接続された Mac コンピュータ対応ソフトウェアのインス トール	60
有線ネットワークでの Mac コンピュータ対応ソフトウェアのインストー ル	61
IP アドレスの設定	61
ソフトウェアのインストール	63

ソフトウェアの削除 (Mac オペレーティング システム)	64
印刷設定の優先度 (Mac の場合)	65
プリンタ ドライバ設定の変更 (Mac の場合)	65
Mac コンピュータ用ソフトウェア	66
HP ユーティリティ (Mac の場合)	66
HP ユーティリティを開く	66
HP ユーティリティの機能	66
サポートされているユーティリティ (Mac の場合)	67
HP 内蔵 Web サーバ	67
Mac での印刷	68
Mac で印刷ジョブをキャンセルする	68
Mac で使用する用紙のサイズとタイプの変更	68
印刷機能のプリセットの作成および使用 (Mac の場合)	68
文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷 (Mac の場合)	69
表紙の印刷 (Mac の場合)	69
透かしの使用 (Mac の場合)	69
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Mac の場合)	70
Mac で両面印刷を行う	70
ジョブの保存 (Mac の場合)	70
Mac での問題の解決	72
5 接続	73
プリンタ共有の免責条項	74
USB で接続する	74
CD からのインストール	74
ネットワークへの接続	75
サポートされているネットワーク プロトコル	75
有線ネットワーク上でソフトウェアをインストール	76
IP アドレスの設定	76
ソフトウェアのインストール	78
ネットワーク設定	79
ネットワーク設定の表示または変更	79
ネットワーク パスワードの設定または変更	79
コントロール パネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する	80
コントロール パネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する	81
6 用紙および印刷メディア	83
用紙の使い方	84

特殊用紙に関するガイドライン	84
Windows で用紙タイプと用紙サイズに合わせてプリンタ ドライバの設定を変更する	85
使用可能な用紙サイズ	86
サポート対象の用紙タイプ	89
用紙トレイのセット	90
トレイとビンの収容枚数	90
トレイにセットする用紙の向き	92
トレイ 1 にセットする用紙の向き	92
トレイ 2 またはトレイ 3、4、5 にセットする用紙の向き	93
トレイ 1 にセットする	94
トレイ 2 をセットして、オプション トレイ 3、4 および 5 に標準サイズの用紙を セットする	96
トレイ 2 をセットして、オプション トレイ 3、4 および 5 にカスタム サイズの用 紙をセットする	98
トレイを設定する	100
用紙をセットするときにトレイを設定する	100
印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する	100
コントロール パネルを使用してトレイを設定する	100
ソース、タイプ、またはサイズ別に用紙を選択する	101
ソース	101
タイプとサイズ	101
排紙ビンを選択する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)	102
7 サプライ品の管理	105
プリント カートリッジ情報	106
サプライ品	107
プリント カートリッジ	107
プリント カートリッジの管理	108
プリント カートリッジの設定	108
プリント カートリッジが推定寿命に達したときの印刷	108
コントロール パネルでの [非常にわずかの設定] オプションの有効化また は無効化	108
サプライ品の保管とリサイクル	109
サプライ品のリサイクル	109
プリント カートリッジの保管	109
HP 製以外の印刷カートリッジに関する規定	109
HP の偽造防止 Web サイト	109
交換手順	110
プリント カートリッジを交換する	110

ステイブル カートリッジを交換する (ステイブラ/スタッカ搭載モデルの場合)	113
サブライに関する問題の解決	115
プリント カートリッジの確認	115
プリント カートリッジが損傷していないかどうかを検査する	115
しみが繰り返し発生する場合	116
サプライ品ステータス ページの印刷	117
コントロール パネルに表示されるサプライ品関連メッセージの意味を理解する	117

8 印刷タスク 121

Windows で印刷ジョブをキャンセルする	122
Windows での基本的な印刷タスク	123
プリンタ ドライバを開く (Windows の場合)	123
印刷オプションのヘルプを見る (Windows の場合)	124
印刷部数の変更 (Windows の場合)	124
再利用が可能なユーザー定義の印刷設定を保存する (Windows の場合)	125
印刷機能のショートカットの使用 (Windows の場合)	125
印刷機能のショートカットの作成	126
印刷品質の向上 (Windows の場合)	129
ページ サイズの選択 (Windows の場合)	129
カスタム ページ サイズの選択 (Windows の場合)	129
用紙タイプの選択 (Windows の場合)	129
用紙トレイの選択 (Windows の場合)	129
両面に印刷する (両面印刷) (Windows の場合)	130
10x15cm (4x6 インチ) 用紙への印刷 (Windows の場合)	131
1 枚の用紙に複数ページを印刷する (Windows の場合)	132
用紙の向きを選択する (Windows の場合)	133
Windows でのその他の印刷タスク	135
レターヘッドやフォーム付きの用紙に印刷する (Windows の場合)	135
特殊な用紙、ラベル、OHP フィルムに印刷する	137
最初または最後のページを異なる用紙に印刷する (Windows の場合)	140
Windows で文書を用紙サイズに合わせて拡大縮小	142
透かしの文書への追加 (Windows の場合)	143
ブックレットの作成 (Windows の場合)	144
出力オプションの選択 (Windows の場合) (fskm モデルのみ)	145
Windows で排紙ビンを選択する	145
Windows でステイブル オプションを選択する	147
ジョブ保存機能の使用 (Windows の場合)	148
保存ジョブの作成 (Windows の場合)	149

保存ジョブの印刷	150
保存ジョブの削除 (Windows の場合)	151
ジョブ保存オプションの設定 (Windows の場合)	151
全部数を印刷する前に 1 部だけ試し刷りする	151
プライベート ジョブを製品内に一時的に保存して後で印刷する	152
ジョブを製品内に一時的に保存する	152
ジョブを製品内に永久的に保存する	152
永久的に保存したジョブをプライベートに設定して、印刷するには PIN が必要になるように設定する	153
ユーザーが保存ジョブを印刷したときに通知を受信する	153
保存ジョブにユーザー名を設定する	153
保存ジョブの名前を指定する	154
特別なジョブの印刷 (Windows の場合)	154
両面印刷の位置合わせを設定する	154
スリープ復帰時 USB 印刷	155
9 コピー	157
コピー機能の使用	158
コピー	158
コピー ジョブのキャンセル	159
縮小/拡大コピーする	159
丁合いを取る	160
コピー設定	161
コピー品質を調整する	161
テキストまたは画像に合わせてコピー結果を最適化する	161
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	161
コピー結果の濃さを調整する	163
カスタム コピー設定を定義する	165
特殊用紙にコピーする場合の用紙サイズと用紙タイプを設定する	165
デフォルトのコピー設定に戻す	166
本をコピーする	167
写真をコピーする	168
コピー ジョブを作成して保存する	169
複数サイズ混在原稿をコピーする	170
両面コピーする	171
ジョブ作成モードを使用する	173

10	ドキュメントのスキャンおよび送信	175
	スキャン/送信機能を設定する	176
	スキャン/送信機能の使用	178
	サインイン	178
	プリンタのコントロール パネルでデフォルトのスキャン/送信設定を変更する	178
	スキャンした文書を送信する	179
	スキャンした文書をネットワーク フォルダに保存する	179
	スキャンした文書をプリンタのメモリ内のフォルダに保存する	180
	スキャンした文書を USB フラッシュ ドライブに保存する	182
	電子メール アドレスに送信する	183
	対応プロトコル	183
	電子メール サーバーの設定	184
	スキャンした文書を 1 つ以上の電子メール アドレスに送信する	185
	アドレス帳を使用する	186
	プリンタのコントロール パネルで連絡先をアドレス帳に追加する	187
	アドレス帳を使用して文書を電子メール アドレスに送信する ...	188
11	ファックス	191
	ファックス機能を設定する	192
	はじめに	192
	HP LaserJet Analog Fax Accessory 500 の機能	192
	ファックスの動作確認	193
	必須のファックスの設定	193
	ファックス設定ウィザード	194
	日付と時刻の設定または確認	195
	日付/時刻形式を設定または確認	195
	ファックスの設定	197
	リモートでのファックス設定	197
	Web ブラウザ	197
	HP Web Jetadmin	197
	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ	198
	ファックス送信設定	198
	ファックス送信設定	198
	ファックス設定ウィザード	198
	ファックス ダイアル設定	200
	全般的なファックス送信設定	204
	請求書コードの設定	207

デフォルト ジョブ オプション	208
画像プレビュー	208
送信側ファックスの解像度の設定	209
原稿の面数	209
通知	210
内容の向き	210
原稿のサイズ	211
イメージ調整	212
テキスト/画像の最適化	212
ジョブ作成	213
空白のページの削除	213
ファックス受信設定	214
ファックス受信セットアップ	214
呼び出し音の音量の設定	214
応答するまでの呼び出し回数の設定	214
ファックス受信速度の設定	215
呼び出し間隔の設定	215
呼出し音の周波数の設定	215
ファックス印刷のスケジュール設定を有効または無効化	216
着信ファックスのブロック	216
ブロック対象ファックス リストの作成	217
ブロック対象のファックス リストから番号を削除	217
ポーリング受信の開始	217
デフォルト ジョブ オプション	218
通知	218
受信ファックスのスタンプ (着信ファックス)	219
ページに収める設定	219
用紙の選択の設定	220
排紙ビンの設定	220
印刷面の設定	221
給紙トレイの設定	221
ファックスの転送の有効化	221
ファックスを使用する	223
ファックス機能画面	223
ステータス メッセージ バー	224
ファックスの送信	224
手動番号入力によるファックス送信	225
短縮ダイヤルを使用したファックスの送信	226

名前による短縮ダイヤル リストの検索	226
短縮ダイヤル検索の有効化	227
ファックス アドレス帳の番号を使用したファックスの送信	228
ファックス アドレス帳検索	228
ファックスのキャンセル	229
現在のファックス送信のキャンセル	229
保留中のファックス送信のキャンセル	229
ファックスの受信	229
短縮ダイヤル リストの作成と削除	230
短縮ダイヤル リストの作成	230
短縮ダイヤル リストの削除	231
短縮ダイヤル リストから 1 つの番号を削除	232
既存の短縮ダイヤル リストへの番号の追加	233
音声電話と再試行	235
ファックス コール レポート	235
ファックス使用状況ログ	235
T.30 レポート	235
保存ファックスの印刷	235
ファックス印刷のスケジュール設定 (メモリ ロック)	236
VoIP ネットワーク経由でのファックスの使用	236
ファックスの問題の解決	238
ファックスは正しく設定されていますか?	238
どのような種類の電話回線を使用していますか?	238
サージ保護装置を使用していますか?	238
電話会社が提供する音声メッセージ サービスまたは留守番電話を使用し ていますか?	239
電話回線に割り込み通話機能はありますか?	239
ファックス アクセサリのステータスの確認	239
ファックス機能が動作していない	240
一般的なファックスの問題	240
ファックスの受信に関する問題	241
ファックスの送信に関する問題	243
エラー コード	244
ファックス エラー メッセージ	244
送信ファックス メッセージ	246
受信ファックス メッセージ	248
ファックス レポート	249
ファックス使用状況ログ	249
請求書コード レポート	250

ブロック対象ファックス リスト レポート	250
短縮ダイアル リスト レポート	250
ファックス コール レポート	251
ファックス使用状況ログの削除	251
サービス設定	251
[トラブルシューティング] メニューの設定	251
リセット メニューの設定	252
ファームウェアのアップグレード	252

12 管理と保守 253

情報ページの印刷	254
HP 内蔵 Web サーバの使用	255
ネットワーク接続を使用して HP 内蔵 Web サーバを開く	255
HP 内蔵 Web サーバの機能	256
情報 タブ	256
一般 タブ	256
コピー/印刷 タブ	257
スキャン/デジタル送信 タブ	258
ファックスタブ (fskm モデルのみ)	259
トラブルシューティング タブ	259
セキュリティ タブ	260
[HP Web サービス] タブ	260
ネットワーキング タブ	260
その他のリンク リスト	260
HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用	261
プリンタのセキュリティ機能	262
セキュリティ ステートメント	262
IP セキュリティ	262
HP 内蔵 Web サーバの保護	262
暗号化のサポート: HP 暗号化高性能 EIO ハード ディスク	262
保存ジョブのセキュリティ保護	263
コントロール パネル メニューのロック	263
フォーマッタのロック	263
エコノミー設定	265
パワーセーブ モード	265
スリープ モードの設定	265
遅延時間の設定	265
スリープ スケジュール機能を設定する	266

外部 I/O デバイスの取り付け	267
プリンタのクリーニング	269
用紙経路のクリーニング	270
スキャナ ガラスをクリーニングする	270
製品のアップデート	272

13 問題の解決 273

セルフ ヘルプ	274
問題解決チェックリスト	275
プリンタのパフォーマンスに影響する要因	276
出荷時の設定に戻す	277
コントロールパネルのメッセージ	278
コントロール パネルのメッセージのタイプ	278
コントロール パネルのメッセージ	278
用紙送りが滑らかでないか、または紙詰まりが発生する	279
用紙がピックアップされない	279
複数枚の用紙がピックアップされる	279
紙詰まりを防ぐ	279
紙詰まりを解消する	280
紙詰まりの場所	280
文書フィーダの紙詰まりの解消	282
ステイプラ内の紙詰まりを解消する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)	283
ステイプルの紙詰まりを解消する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)	284
排紙ビン付近の紙詰まりを取り除く	287
上部カバーの下の紙詰まりを解消する	287
右のドアの紙詰まりを取り除く	289
トレイ 1 の紙詰まりを取り除く	290
トレイ 2/3/4/5 内の紙詰まりを解消する	294
右下ドア (トレイ 3/4/5) 内の紙詰まりを解消する	295
フューザの紙詰まりを取り除く	296
見当合わせエリア内の紙詰まりを解消する	300
紙詰まり解除の変更	302
印刷品質を向上させる	303
用紙の種類を選択する	303
HP の仕様を満たす用紙を使用する	303
クリーニング ページを印刷する	304
イメージの位置合わせを設定	304

プリント カートリッジを検査する	305
自社の印刷ニーズに最適なプリンタ ドライバを使用する	306
コピー処理におけるプリント品質を向上させる	307
印刷されない、または、印刷速度が遅い	308
印刷されない	308
印刷速度が遅い	309
USB を使用した外部データの印刷に関する問題を解決する	310
USB アクセサリを挿入したときに [USB から開く] (USB から開く) メニューが開かない	310
USB ストレージ アクセサリ上のファイルが印刷されない	310
印刷するファイルが [USB から開く] (USB から開く) メニューに表示されない	311
接続に関する問題の解決	312
直接接続に関する問題の解決	312
ネットワークに関する問題の解決	312
物理的な接続の問題	312
コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している	313
コンピュータがプリンタと通信できない	313
ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている	313
新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある	313
コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある	313
プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている	314
Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する	315
Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する	317
[プリントとファクス] リストにプリンタ ドライバが表示されない	317
[プリントとファクス] リストにこのプリンタの名前が表示されない	317
[プリントとファクス] リストで選択したプリンタが自動セットアップされない	317
印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない	318
USB ケーブルを使用して接続している場合、プリンタ ドライバ選択後に [プリントとファクス] リストにプリンタが表示されない	318
プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している	318
付録 A サプライ品とアクセサリ	319
部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文	320
パーツ番号	321
アクセサリ	321

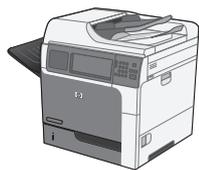
カスタマ自己修理部品	321
ケーブルおよびインタフェース	323
付録 B サービスおよびサポート	325
Hewlett-Packard 社製品限定保証	326
HP の Premium Protection Warranty: LaserJet プリント カートリッジ限定保証	327
プリント カートリッジに格納されるデータ	328
ソフトウェア使用許諾契約書	329
OpenSSL	332
カスタマ セルフ リペア保証サービス	333
カスタマ サポート	334
付録 C 製品の仕様	335
物理仕様	336
電力消費、電気仕様、および稼働音	336
環境仕様	336
付録 D 規制に関する情報	337
FCC 規格	338
製品の環境適合化プログラム	339
環境の保護	339
オゾン放出	339
消費電力	339
トナーの消費	339
用紙の使用	339
プラスチック	339
HP LaserJet 用サプライ品	340
回収およびリサイクル手順	340
米国およびプエルトリコ	340
カートリッジが複数 (2 個以上) の場合	340
1 個のカートリッジの回収	340
発送	341
米国以外でのリサイクル品の回収	341
用紙	341
材料の制限	341
EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄	342
化学物質	342
化学物質安全性データシート (MSDS)	342

詳細について	343
適合宣言	344
適合宣言 (ファックス モデル)	346
安全規定	348
レーザー製品の安全性	348
Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)	348
VCCI 規格 (日本)	348
電源コードの使用手順	348
電源コード規格 (日本)	348
EMC ステートメント (中国)	349
EMC ステートメント (韓国)	349
EMI 規格 (台湾)	349
レーザー製品に関する安全規定 (フィンランド)	349
GS 規格 (ドイツ)	350
成分表 (中国)	350
有害物質に関する制限の規格 (トルコ)	351
電気通信 (ファックス) 製品向けのその他の規格	352
通信運用に関する EU ステートメント	352
New Zealand Telecom Statements	352
Additional FCC statement for telecom products (US)	352
Telephone Consumer Protection Act (US)	353
Industry Canada CS-03 requirements	353
日本の電気通信機器の認定マーク	354
ベトナムの有線通信における ICTQC で型番認証された製品に対するマーク	354
索引	355

1 製品の基本情報

- [製品の比較](#)
- [環境への配慮](#)
- [ユーザー補助機能](#)
- [製品の外観](#)

製品の比較



M4555 MFP

CE502A

- 印刷速度は、レター サイズで最大 55 ページ/分 (ppm)、A4 サイズで最大 52 ページ/分 (ppm)
- 最高スキャン速度は、レター サイズのページで片面モノクロまたは片面カラーの場合は最大 55 イメージ/分 (ipm)、A4 サイズのページで両面モノクロの場合は最大 26 イメージ/分 (ipm)、両面カラーの場合は 19 イメージ/分 (ipm)
- デジタル送信機能：電子メール、ネットワーク フォルダ、USB フラッシュ ドライブ、カラー スキャナ、モノクロ スキャナなどに送信可能
- 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1)
- 500 枚給紙トレイ (トレイ 2)
- コピーおよびスキャン用の 50 枚の文書フィーダー
- フラットベッド スキャナ：リーガル サイズまでの用紙に対応。レター サイズとリーガル サイズの用紙を自動検出。レター サイズとリーガル サイズが混在した原稿をスキャン可能
- 自動両面印刷
- 500 枚収納の下向き排紙ビン
- 高速 USB 2.0 ポート
- 10/100/1000Base-T ネットワークおよび Gigabit IPsec IPv6 ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ
- コントロール パネル上の USB ポート：外部装置からの印刷およびスキャンが可能 (保護カバー付き。このポートを有効にするには、HP 内蔵 Web サーバの【セキュリティ】タブを使用)
- カラー タッチスクリーン ディスプレイ
- 表示角度を調整可能なコントロール パネル
- 800MHz のプロセッサ
- フラッシュ メモリ ドライブ (フォーマッタ PCA 上)
- 搭載されている RAM の合計容量：1.25GB
- コントロール パネル上のハードウェア統合ポケット：サードパーティ製品増設用 (USB ポートを搭載)



M4555h MFP

CE738A

このモデルは、M4555 MFP モデルと同じ機能ですが、以下の点が異なります。

- フラッシュ メモリ ドライブの代わりに、HP 暗号化高性能ハード ディスク ドライブ (フォーマッタ PCA 上)



M4555f MFP

CE503A

このモデルは、M4555 MFP モデルと同じ機能ですが、以下の点が異なります。

- HP 1 x 500 枚用紙フィーダ (トレイ 3) およびキャビネット (給紙容量が 1100 枚に増加)
- 内蔵の HP Analog Fax Accessory 500 によるアナログ ファックス機能
- HP 暗号化高性能ハード ディスク ドライブ (フォーマット PCA 上)



M4555f MFP

CE504A

このモデルは、M4555 MFP モデルと同じ機能ですが、以下の点が異なります。

- HP 3 x 500 枚用紙フィーダ (トレイ 3、4、5) およびスタンド (給紙容量が 2,100 枚に増加)
- HP ステイブル留めメールボックス: 最大 900 枚の用紙を収容 (以前は 500 枚の排紙ビン)
- 内蔵の HP Analog Fax Accessory 500 によるアナログ ファックス機能
- HP 暗号化高性能ハード ディスク ドライブ (フォーマット PCA 上)

環境への配慮

両面印刷	印刷のデフォルト設定を両面印刷にすると、用紙が節約できます。
1枚の用紙に複数ページを印刷する	1枚の用紙に同じ文書の複数のページを並べて印刷すると、用紙が節約できます。この機能は、プリンタ ドライバから使用できます。
リサイクル	再生紙を使って廃棄物を削減します。 HP 回収プロセスを利用して、プリント カートリッジをリサイクルします。
省電力	プリンタをスリープ モードに設定すると、電力が節約できます。
HP Smart Web 印刷	複数の Web ページからテキストやグラフィックスを選択、保存、整理したり、画面に表示されているものを印刷するには、HP Smart Web 印刷を使用します。必要な情報を簡単に印刷でき、廃棄物を最小限に抑えます。 HP Smart Web 印刷は、Web サイト (www.hp.com/go/smartweb) からダウンロードしてください。
ジョブ保存	印刷ジョブを管理するには、ジョブ保存機能を使用します。ジョブ保存を使用すると、共有プリンタで印刷を実行しても印刷ジョブが失われることはなく、再印刷の必要がありません。

ユーザー補助機能

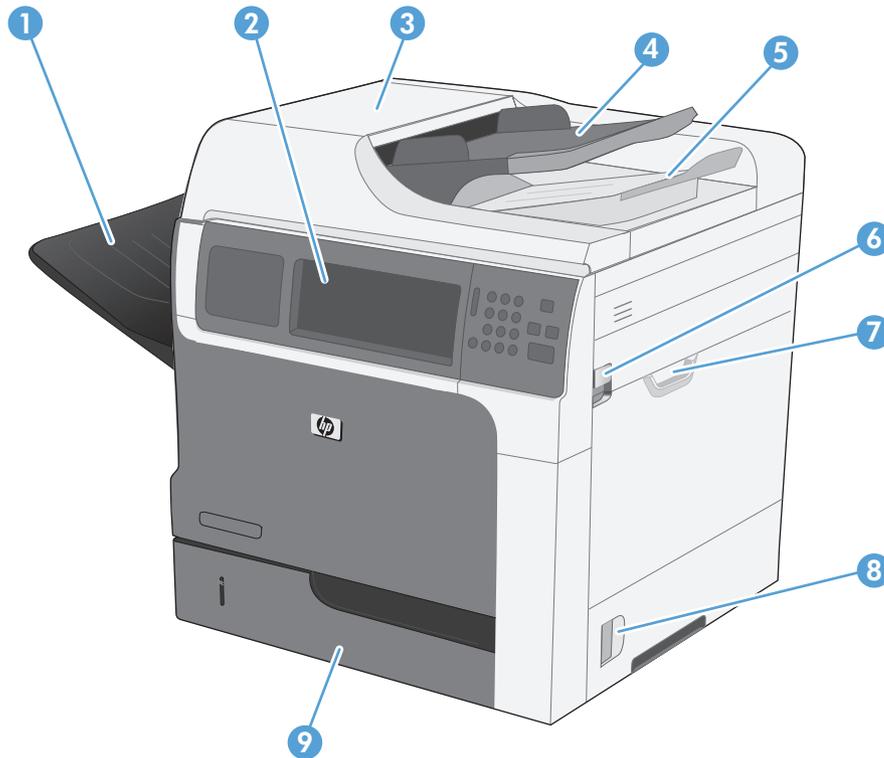
このプリンタには、利用しやすさに関する問題を支援する機能がいくつか用意されています。

- 文字読み上げソフトに対応する、オンライン ユーザー ガイド。
- プリント カートリッジは、片手で着脱可能。
- ドアおよびカバーはすべて片手で開閉可能。
- トレイ 1 に用紙を片手でセット可能。

製品の外観

正面図

M4555 MFP



1	標準排紙ビン
2	コントロール パネル (カラー タッチスクリーン付き)
3	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
4	文書フィーダ給紙トレイ
5	文書フィーダ排紙ビン
6	上部カバーのリリース レバー
7	トレイ 1
8	右ドアのラッチ
9	トレイ 2

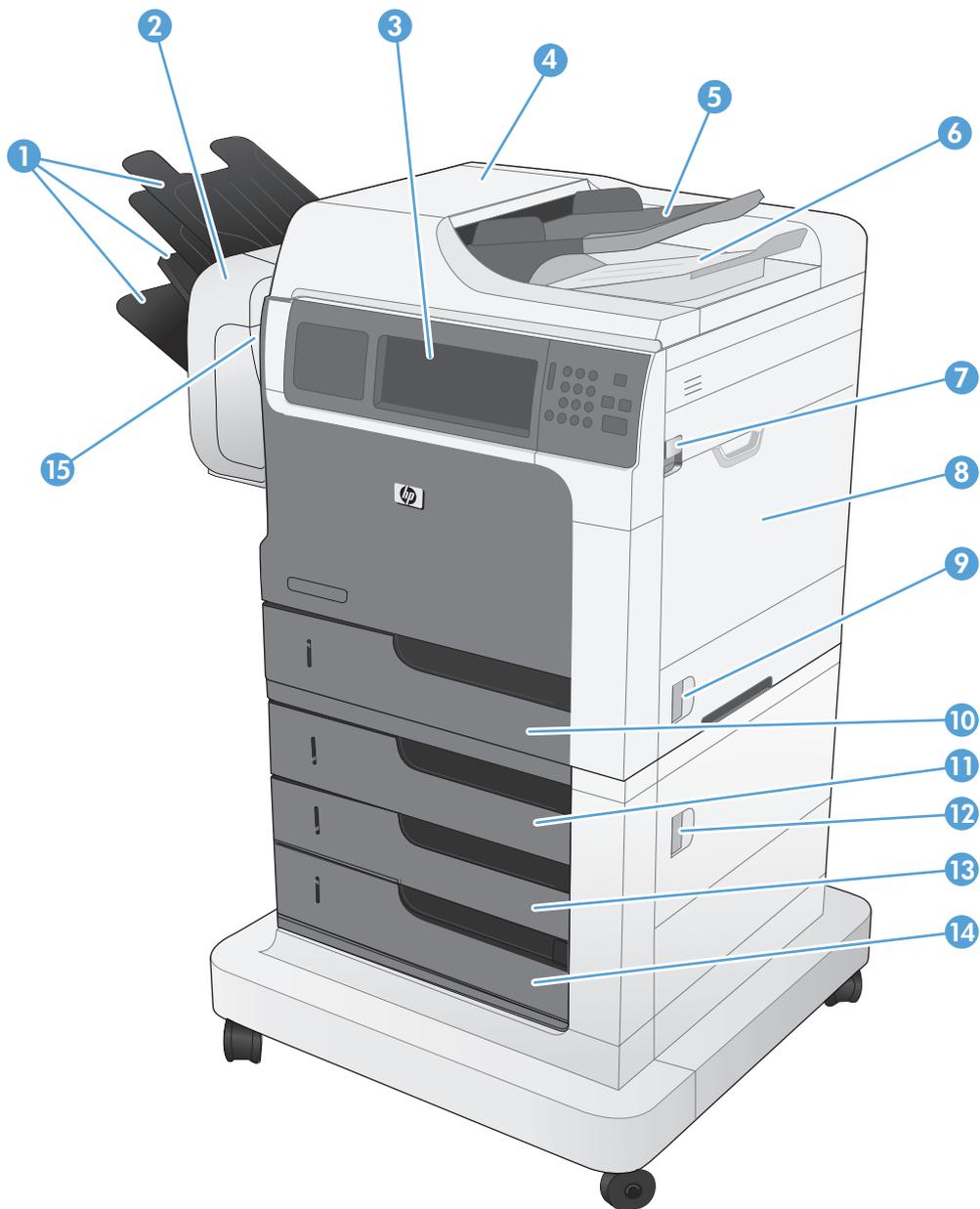
M4555f MFP



1	標準排紙ビン
2	コントロール パネル (カラー タッチスクリーン付き)
3	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
4	文書フィーダ給紙トレイ
5	文書フィーダ排紙ビン
6	上部カバーのリリース レバー
7	トレイ 1
8	右ドアのラッチ
9	トレイ 2

10	トレイ 3
11	右下ドアのラッチ
12	保管キャビネット

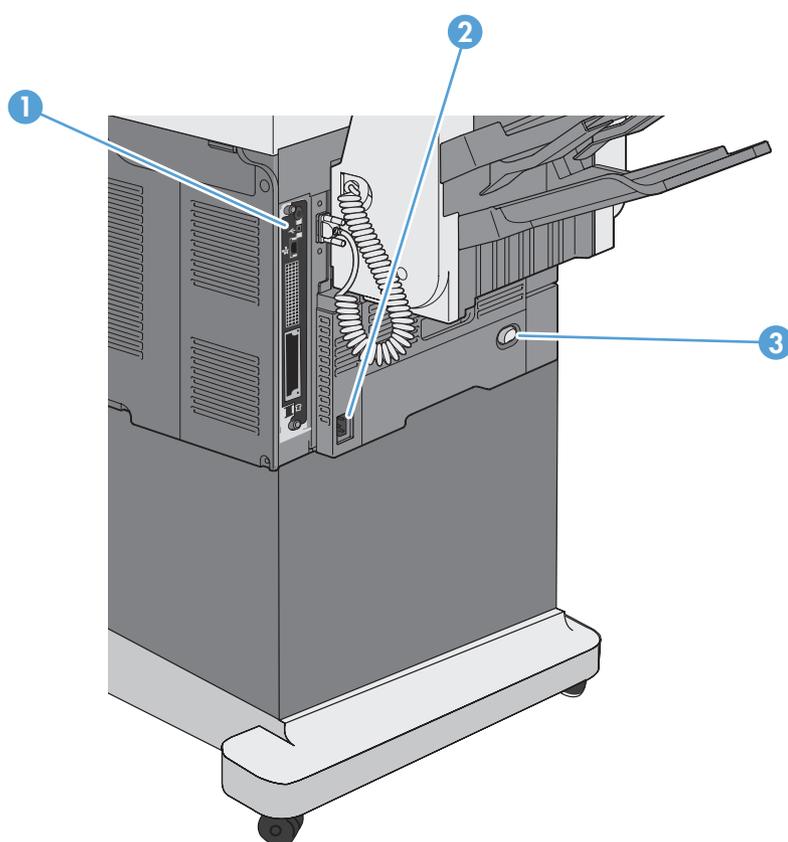
M4555fskm MFP



1	ステイブラ/スタッカ排紙ビン
2	ステイブラ/スタッカ アクセサリ
3	コントロール パネル (カラー タッチスクリーン付き)
4	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
5	文書フィーダ給紙トレイ
6	文書フィーダ排紙ビン
7	上部カバーのリリース レバー
8	トレイ 1

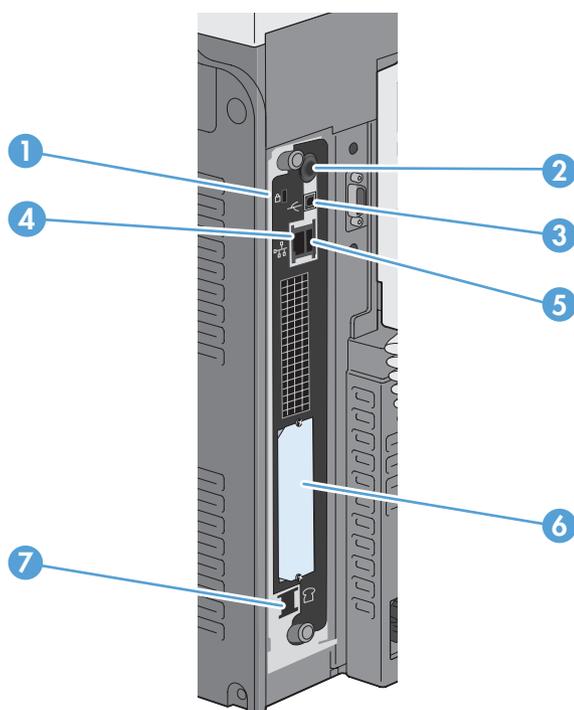
9	右ドアのラッチ
10	トレイ 2
11	トレイ 3
12	右下ドアのラッチ
13	トレイ 4
14	トレイ 5
15	ステイプラ ドア (ステイブル カートリッジを交換する際に操作する)

背面図



1	インターフェース ポート (フォーマッタ)
2	電源接続
3	電源スイッチ

インターフェース ポート



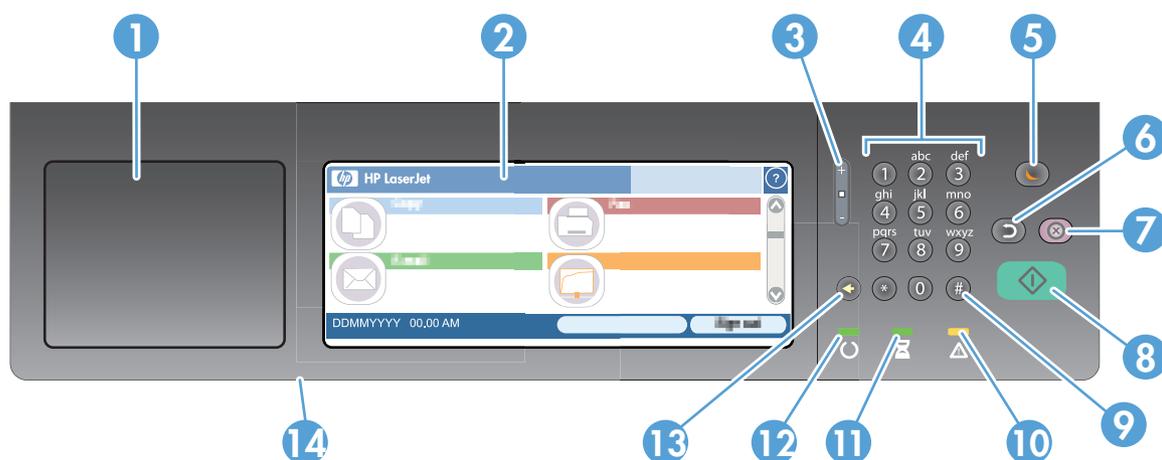
1	ケーブル式セキュリティ ロック用スロット
2	サードパーティ製デバイス接続用外部インターフェース ポート (丸型)
3	高速 USB 2.0 印刷ポート
4	ローカル エリア ネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワーク ポート
5	外部 USB デバイス接続用 USB ポート
6	EIO インターフェース拡張スロット
7	ファックス ポート (RJ-11)

シリアル番号とモデル番号の位置

モデル番号とシリアル番号は、プリンタの内側の ID ラベルに記載されています。シリアル番号には、製造国/地域、製品バージョン、製造コード、および製品の製造番号が含まれています。

モデル名	モデル番号
M4555 MFP	CE502A
M4555h MFP	CE738A
M4555f MFP	CE503A
M4555fskm MFP	CE504A

コントロール パネルのレイアウト



1	ハードウェア統合ポート	サードパーティ製セキュリティ デバイスの追加用領域
2	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	タッチスクリーンを使用して、すべてのプリンタ機能を開いて、設定します。
3	輝度調整ボタン	このボタンを使用して、タッチスクリーン ディスプレイの輝度を増減します。
4	数字キーパッド	この領域を使用して、印刷部数やその他の数値を指定します。
5	スリープ ボタン	プリンタが長時間操作されない場合、スリープ モードに入ります。プリンタをスリープ モードにしたり、スリープ モードから復帰させるには、スリープ ボタンを押します。
6	リセット ボタン	ジョブの設定を工場出荷時またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
7	停止ボタン	現在のジョブを閉じて、[ジョブ ステータス] 画面を開きます。
8	スタート ボタン	コピー ジョブを開始する、デジタル送信を開始する、ファックス ジョブを開始する、または、中断したジョブを続行します。
9	一時停止ボタン	このボタンを使用して、ファックス番号に必要な区切りを示します。
10	注意ランプ	ユーザーの操作が必要であることを示します。たとえば、用紙トレイが空の場合やエラー メッセージが表示されている場合などです。
11	データ ランプ	プリンタがデータを受信中であることを示します。
12	印字可ランプ	ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。

13	後退ボタン	アクティブなテキスト フィールドや数値フィールドをクリアし、値を既定の設定に戻します。
14	USB ポート(角度調整可能なコントロール パネルの下端)	USB フラッシュ ドライブを接続します。そのドライブから印刷およびスキャンを行うことができます。このポートを有効にするには、HP 内蔵 Web サーバの【セキュリティ】タブを使用します。

コントロール パネルのヘルプ システム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプ システムが組み込まれています。ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅のヘルプ ボタン  にタッチします。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

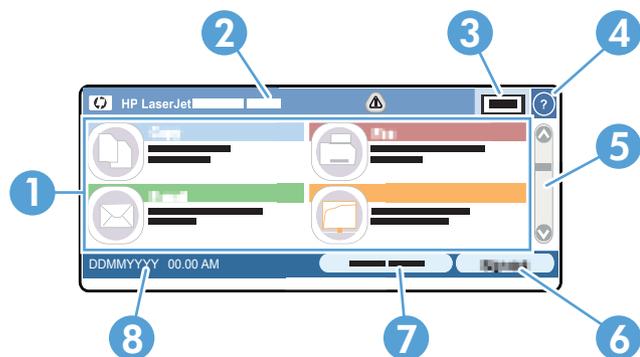
エラーや警告が通知されたら、エラー  または警告  ボタンにタッチして、問題を説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

タッチスクリーンの操作

[ホーム] 画面からプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

 **注記：** HP は、製品ファームウェアの機能を随時更新しています。最新機能を利用するには、製品ファームウェア更新処理を実行してください。最新のファームウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/ljm4555mfp_firmware にアクセスしてください。

注記： プリンタの設定によって [ホーム] 画面に表示される機能は異なります。



1	機能	プリンタの設定に応じて、この領域には次の機能のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• コピー• ファックス• 電子メール• ネットワーク フォルダに保存• USB に保存• デバイス メモリに保存• USB から開く• デバイス メモリから開く• クイック設定• ジョブ ステータス• サプライ品• トレイ• 管理• プリンタのメンテナンス
2	プリンタのステータス	ステータス ラインには、プリンタの全体的なステータスに関する情報が表示されます。
3	コピー数	コピー数ボックスには、設定されたコピー枚数が表示されます。
4	ヘルプ ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。

5	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
6	サインイン または サ インアウト	保護された機能を利用するには、[サインイン] ボタンにタッチします。 保護された機能を利用するためにプリンタにサインインした場合、サインアウトするには、[サインアウト] ボタンにタッチします。サインアウトすると、オプションはすべてデフォルト設定に戻ります。
7	ネットワーク アドレ ス	ネットワーク接続情報を確認するには、[ネットワーク アドレス] ボタンにタッチします。 注記： プリンタの設定によっては、このボタンは表示されない場合があります。
8	日付と時刻	現在の日付と時刻が表示されます。日付と時刻の表示形式は、12 時間表示や 24 時間表示などから選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータスラインにはプリンタのステータスに関する情報が表示されます。この領域にはさまざまなボタンが表示されます。各ボタンの説明は次の表のとおりです。



[ホーム] ボタン。 [ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。



スタート ボタン。 使用している機能の動作を開始するには、**スタート** ボタンにタッチします。

注記： このボタンの名前は機能ごとに変化します。たとえば、[コピー] 機能では、[コピー開始] という名前になります。



エラー ボタン。 エラー ボタンは、ジョブを継続する前に何らかの措置が必要なエラーが発生した場合に表示されます。エラーを説明するメッセージを表示するには、エラー ボタンにタッチします。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。



警告ボタン。 警告ボタンは、問題が発生したものの、ジョブを継続できる場合に表示されます。問題を説明するメッセージを表示するには、警告ボタンにタッチします。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。



ヘルプ ボタン。 ヘルプ ボタンをタッチすると、組み込みのオンライン ヘルプ システムが開きます。

2 コントロール パネルのメニュー

- [コントロール パネルのメニュー](#)
- [\[管理\] メニュー](#)
- [\[プリンタのメンテナンス\] メニュー](#)

コントロール パネルのメニュー

この製品のコントロール パネルの [ホーム] 画面には多数のメニューがあります。これらのメニューを使用して、タスクを実行することや設定を行うことができます。

 **注記：** 各メニュー オプションの詳細情報を表示するには、そのメニュー オプションの画面の右上隅にある ヘルプ  ボタンをタッチしてください。

注記： HP は、製品ファームウェアの機能を随時更新しています。最新機能を利用するには、製品ファームウェア更新処理を実行してください。最新のファームウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/ljm4555mfp_firmware にアクセスしてください。

表 2-1 [ホーム] 画面のメニュー

メニュー	説明
初期セットアップ	<p>このメニューは、プリンタの電源を初めて入れたときに表示されます。このメニューでは、言語、日時、および、ファックスと電子メールに関する基本情報を設定できます。また、USB から開く 機能を有効にすることができます。</p> <p>初期設定が完了したら、このメニューを非表示にすることができます。</p>
コピー	<p>このメニューでは、文書をコピーできます。</p> <p>ジョブをカスタマイズするためのオプションがいくつか用意されています。これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。</p>
ファックス	<p>このメニューでは、プリンタからファックスを送信できます。このメニューが表示されるのは、プリンタにファックス アクセサリが搭載されている場合だけです。コントロール パネルにこのメニューを表示するには、[初期セットアップ] メニューまたは HP 内蔵 Web サーバーを使用して、この機能を設定する必要があります。</p> <p>ジョブをカスタマイズするためのオプションがいくつか用意されています。これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。</p>
電子メール	<p>このメニューでは、文書をスキャンし、電子メールの添付ファイルとして送信することができます。コントロール パネルにこのメニューを表示するには、[初期セットアップ] メニューを使用するか、ソフトウェアのインストール時に HP 電子メールへのスキャンの送信セットアップ ウィザードを使用するか、または HP 内蔵 Web サーバーを使用して、この機能を設定する必要があります。</p> <p>ジョブをカスタマイズするためのオプションがいくつか用意されています。これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。</p>
USB に保存	<p>このメニューでは、文書をスキャンして USB フラッシュ ドライブに保存することができます。コントロール パネルにこのメニューを表示するには、HP 内蔵 Web サーバーを使用して、この機能を設定する必要があります。</p> <p>ジョブをカスタマイズするためのオプションがいくつか用意されています。これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。</p>
ネットワーク フォルダに保存	<p>このメニューでは、文書をスキャンしてネットワーク上の共有フォルダに保存することができます。コントロール パネルにこのメニューを表示するには、HP 内蔵 Web サーバーを使用するか、またはソフトウェアのインストール時に HP フォルダに保存セットアップ ウィザードを使用して、この機能を設定する必要があります。</p> <p>ジョブをカスタマイズするためのオプションがいくつか用意されています。これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。</p>

表 2-1 [ホーム] 画面のメニュー (続き)

メニュー	説明
USB から開く	このメニューでは、USB フラッシュ ドライブに保存されている文書を開いて印刷することができます。コントロール パネルにこのメニューを表示するには、[初期セットアップ] メニューを使用して、この機能を設定する必要があります。
デバイス メモリに保存	このメニューでは、文書をスキャンしてプリンタのハード ディスクに保存することができます。 ジョブをカスタマイズするためのオプションがいくつか用意されています。これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。
デバイス メモリから開く	このメニューでは、プリンタのハード ディスク ドライブに保存されている文書を開いて印刷することができます。
クイック設定	このメニューでは、文書をスキャンしてファックスまたは電子メールで送信するジョブ、および、文書をスキャンして USB フラッシュ ドライブ、プリンタのハード ディスク、またはネットワーク上のフォルダに保存するジョブに関する、あらかじめ設定されたオプションを使用できます。 クイック セットを設定するには、HP 内蔵 Web サーバーまたは HP Web Jetadmin を使用します。
ジョブ ステータス	このメニューでは、現在実行中のすべてのジョブのステータスを表示できます。
トレイ	このメニューでは、各トレイの現在のステータスを表示できます。また、各トレイに対する用紙サイズと用紙タイプを設定できます。
サプライ品	このメニューでは、サプライ品 (例：プリント カートリッジ) の現在のステータスを表示できます。また、サプライ品の注文情報も表示できます。
管理	このメニューでは、レポートを印刷すること、および、プリンタにおけるデフォルト値を設定することができます。この [管理] メニューにはサブメニューがあります。各サブメニューの詳細については、後述の項を参照してください。
プリンタのメンテナンス	このメニューでは、プリンタを校正およびクリーニングすること、および、データをバックアップおよび復元することができます。各サブメニューの詳細については、後述の項を参照してください。

[管理] メニュー

プリンタの基本的なセットアップを実行するには、[管理] メニューを使用します。プリンタの高度なセットアップを行う場合は、HP 内蔵 Web サーバーを使用します。HP 内蔵 Web サーバーを開くには、Web ブラウザのアドレス バーにプリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

[レポート] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [レポート] メニューを選択します。

表 2-2 [レポート] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
設定/ステータス ページ	[管理] メニュー マップ	印刷
		表示
	現在の設定ページ	印刷
		表示
	プリンタ設定ページ	印刷
		表示
	サプライ品ステータス ページ	印刷
		表示
	使用状況ページ	印刷
		表示
	ファイル ディレクトリ ページ	印刷
		表示
ファックス レポート	ファックス使用状況ログ	印刷
		表示
	請求書コード レポート	印刷
		表示
	ブロックされたファックス リスト	印刷
		表示
	短縮ダイヤル リスト	印刷
		表示
	ファックス コール レポート	印刷
		表示

表 2-2 [レポート] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	値
その他のページ	PCL フォント リスト	印刷
	PS フォント リスト	印刷

[全般的な設定] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [全般的な設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-3 [全般的な設定] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値	
日付/時刻の設定	日付/時刻 - 形式	日付形式		DD/MMM/YYYY	
				MMM/DD/YYYY	
				YYYY/MMM/DD	
			時刻形式	12 時間 (AM/PM)	
				24 時間	
	日付/時刻	日付		ポップアップ カレンダーで日付を選択します。	
		時刻		ポップアップ キーパッドで時刻を選択します。	
		タイム ゾーン		リストでタイム ゾーンを選択します。	
		夏時間の調整		チェックボックス	
エネルギー設定	スリープ スケジュール	スケジューリングされているイベントが一覧表示されます。	+ (追加)	編集	
			編集	削除	
				イベント タイプ	スリープから復帰のスリープ
				イベントの時刻	
				イベントの日	リストで曜日を選択します。

表 2-3 [全般的な設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
	スリーブ遅延			1 ~ 120 分の範囲の値を入力します。 デフォルト値は 45 分です。
印刷品質	イメージレジストレーション	トレイ <X> の調節	テスト ページの印刷	
			X1 シフト Y1 シフト X2 シフト Y2 シフト	範囲 : -5.00mm ~ 5.00mm
	用紙の種類調節	プリンタでサポートされている用紙の種類の一覧から選択します。使用可能なオプションはそれぞれの用紙の種類と同じです。	プリント モード	プリント モードのリストから選択します。
			抵抗モード	標準 増 減
			湿度モード	標準 高
	最適化	細部を重視		標準* オフ 代替 1 代替 2 代替 3
			最適化モードの復元	
	解像度			300 x 300dpi 600 x 600dpi FastRes 1200* ProRes 1200
	REt			オフ オン*

表 2-3 [全般的な設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
	エコノモード			オフ* オン
	トナー濃度			範囲は 1 ~ 5 です。 デフォルトは 3 です。
消音モード				オフ* オン 自動トランジション
紙詰まり解除				自動* オフ オン
保存ジョブの管理	クイック コピー ジョブ 保存制限			1 ~ 300 デフォルト = 32
	クイック コピー ジョブ 保留タイムアウト			オフ* 1 時間 4 時間 1 日 1 週間
	保存ジョブのデフォルト のフォルダ名			
	保存ジョブのソート条件			ジョブ名* 日付

表 2-3 [全般的な設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
印刷ジョブを保留				有効*
				無効
出荷時の設定に戻す				すべて
				アドレス帳
				デジタル送信
				コピー
				一般
				電子メール
				ファックス
				印刷
				セキュリティ
				ネットワーキング

[設定のコピー] メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [設定のコピー] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-4 [設定のコピー] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
部数		範囲 : 1 ~ 9999
		デフォルト = 1
画像プレビュー		オプションにする*
		プレビューが必要
		プレビューを無効にする
面		片面の文書を片面コピー*
		片面の文書を両面コピー
		両面の文書を片面コピー
		両面の文書を両面コピー
	印刷の向き	縦*
		横

表 2-4 【設定のコピー】メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	値
	両面フォーマット	製本スタイル 綴込みスタイル 製本スタイル原稿; 綴込みスタイル コピー 綴込みスタイル原稿; 製本スタイル コピー
ステイプル/丁合い	ステイプル	なし 左上 右上
注記: ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合		
	丁合い	オフ オン*
丁合い		丁合いオン (ページ順を設定)* 丁合いオフ (ページをグループ化)
注記: ステイプラ/スタッカ非搭載モデルの場合		
縮小/拡大	拡大縮小	自動 範囲 X-Y (25 ~ 400%) 100% 75% 50% 125% 150% 200%
	自動的にマージンを含む	
用紙の選択		手差し 自動検出 トレイ 1: [サイズ]、[タイプ] トレイ <X>: [サイズ]、[タイプ]
イメージ調整	暗さ	
	コントラスト	
	背景のクリーンアップ	
	鮮明度	
内容の向き	印刷の向き	縦* 横

表 2-4 【設定のコピー】メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	値
	両面フォーマット	製本スタイル 綴込みスタイル 製本スタイル原稿; 綴込みスタイル コピー 綴込みスタイル原稿; 製本スタイル コピー
排紙ピン		排紙ピンのリストで選択します。
テキスト/画像の最適化	最適化*	手動調整* テキスト 印刷画像 写真
用紙あたりのページ数		1 2 4
	ページの印刷順序	右方向、次に下方向 下、右の順
	ページの枠の追加	
元のサイズ	自動検出*	プリンタでサポートされているサイズのリストから選択します。
最小マージン		標準 (推奨)* 最小マージン出力
ジョブ作成		ジョブ作成オフ* ジョブ作成オン

[スキャン/デジタル送信設定] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [スキャン/デジタル送信設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-5 [スキャン/デジタル送信設定] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
電子メール設定	電子メール セットアップ	電子メール セットアップ ウィザード		
デフォルト [ネットワークフォルダに保存] オプション	注記 ： [電子メール設定] のみ			
デフォルト [USB に保存] オプション				
注記 ： 特に記載しない限り、これらの各機能に対して同じメニュー オプションがあります。				
	デフォルト ジョブ オプション	画像プレビュー		オプションにする* プレビューが必要 プレビューを無効にする
		注記 ： このメニューを表示するには、ファームウェアをアップグレードしなければならないことがあります。		
		デフォルト ファイル名		
		文書ファイル タイプ		ファイル タイプのリストで選択します。
		テキスト/画像の最適化	最適化：	手動調整* テキスト 印刷画像 写真
		出力品質		高 (ファイル サイズ大) 標準* 低 (ファイル サイズ小)
		原稿の面		片面 両面
			印刷の向き	縦* 横

表 2-5 [スキャン/デジタル送信設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
			両面フォーマット	製本スタイル 綴込みスタイル
		解像度		600dpi 400dpi 300dpi 200dpi 150dpi* 75dpi
		内容の向き	印刷の向き	縦* 横
			両面フォーマット	製本スタイル* 綴込みスタイル
		カラー/モノクロ		自動検出 カラー Black/Gray 黒
		元のサイズ		用紙サイズのリストから 選択します。
		通知		通知しない* ジョブが完了した場合に 通知 ジョブが失敗した場合に のみ通知 印刷 電子メール
		イメージ調整	暗さ	
			コントラスト	
			背景のクリーンアップ	
			鮮明度	
		ジョブ作成		ジョブ作成オフ* ジョブ作成オン

表 2-5 [スキャン/デジタル送信設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		空白のページの削除		有効 無効*
デジタル送信サービス セットアップ	デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバの使用を許可			チェックボックスをオンまたはオフにします。デフォルト設定では、チェックボックスはオフになっています。
	新しいデジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバへの転送を許可			チェックボックスをオンまたはオフにします。デフォルト設定では、チェックボックスはオフになっています。

[ファックス設定] メニュー

表示方法 : プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [ファックス設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-6 [ファックス設定] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
ファックスの送信設定	ファックス送信設定	ファックス設定ウィザード		
		ファックス ダイアル設定	ファックス ダイアル音量	オフ 低* 高
			ダイアル モード	トーン* パルス
			通話中の場合のリダイヤル	範囲 : 0 ~ 9 デフォルト = 3
			無応答時のリダイヤル回数	範囲 : 0 ~ 2 デフォルト = 0
			リダイヤルの間隔	1 ~ 5 分 デフォルト = 5 分
			ダイアル トーンを検出	

表 2-6 [ファックス設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
			ファックス送信速度	高速 標準 低速
			プレフィックスのダイアル	
		全般的なファックス送信設定	PC ファックス送信	有効* 無効
			ファックス ヘッダ	プリペンド* オーバーレイ
			エラー修正モード	有効* 無効
			ファックス番号の確認	有効 無効*
			JBIG 圧縮	有効* 無効
		請求書コード	請求コードの有効化	オフ* オン
			最小長	範囲: 1 ~ 16 デフォルト = 1
			デフォルトの請求コード	
			請求書コードの編集を許可	
	デフォルト ジョブ オプション	画像プレビュー		オプションにする* プレビューが必要 プレビューを無効にする
		注記: このメニューを表示するには、ファームウェアをアップグレードしなければならないことがあります。		
		解像度		標準 (200 x 100 dpi)* 高解像度 (200 x 200 dpi) 最高画質 (300 x 300 dpi)

表 2-6 【ファックス設定】メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		原稿の面		片面* 両面
			印刷の向き	縦* 横
			両面フォーマット	製本スタイル* 綴込みスタイル
		通知		通知しない* ジョブが完了した場合に通知 ジョブが失敗した場合にのみ通知 印刷 電子メール
			通知電子メール アドレス	
			サムネイルを含める	
		内容の向き	印刷の向き	縦* 横
			両面フォーマット	製本スタイル* 綴込みスタイル
		元のサイズ		プリンタでサポートされているサイズのリストから選択します。
		イメージ調整	暗さ	
			コントラスト	
			背景のクリーンアップ	
			鮮明度	
		テキスト/画像の最適化	最適化 :	手動調整* テキスト 印刷画像 写真
		ジョブ作成		ジョブ作成オフ* ジョブ作成オン

表 2-6 [ファックス設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		空白のページの削除		無効* 有効
ファックスの受信設定	ファックス受信セットアップ	応答するまでの呼び出し回数		
		呼び出し周波数		
		呼び出し間隔		
		呼び出し音量		オフ 低* 高
		ファックス受信速度		高速 標準 低速
	ファックス印刷スケジュール	受信ファックス オプション		FAX を常に保存 FAX を常に印刷* ファックス印刷スケジュールの使用
		スケジュール + (追加) 編集 [ファックス印刷スケジュールの使用] オプションを選択した場合、このメニュー オプションをタッチしてファックス印刷スケジュールを設定します。		受信ファックスを印刷 受信ファックスを保存 イベントの時刻 イベントの日
	ブロックするファックス番号	ブロックするファックス番号		
	デフォルト ジョブ オプション	通知		通知しない ジョブが完了した場合に通知 ジョブが失敗した場合にのみ通知 サムネイルを含める
		スタンプ済み受信ファックス		有効 無効*
		用紙の大きさに合わせる		有効* 無効

表 2-6 [ファックス設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		用紙の選択		自動 トレイのリストで選択します。
		排紙ビン		ビンのリストで選択します。
		面		片面 両面
ファックスのアーカイブと転送	ファックスのアーカイブの有効化			
		アーカイブするファックス ジョブのタイプ		送受信* 送信のみ 受信のみ
		ファックス アーカイブ 電子メール アドレス		
	ファックス転送の有効化			
		転送するファックス ジョブのタイプ		送受信 送信のみ 受信のみ
		ファックス転送番号		
ファックス使用状況ログを削除する				

[[USB から開く] 設定] メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [[USB から開く] 設定] メニューを選択します。

このメニューの設定は 1 つだけです。このメニューでは、コントロール パネルの USB ポートに接続されたメモリ デバイスからファイルを印刷するプリンタの機能を有効または無効にできます。

[印刷設定] メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [印刷設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-7 [印刷設定] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
手差し		有効
		無効*
Courier フォント		標準*
		濃い
ワイド A4		有効
		無効*
PS エラーの印刷		有効
		無効*
PDF エラーの印刷		有効
		無効*
パーソナリティ		自動*
		.PCL
		POSTSCRIPT
		.PDF
.PCL	用紙の行数	範囲 : 5 ~ 128 デフォルト = 60
	印刷の向き	縦* 横
	フォント ソース	内蔵* カード スロット 1 カード スロット <X> EIO <X> ディスク USB
	フォント番号	範囲 : 0 ~ 999 デフォルト = 0
	フォント ピッチ	範囲 : 0.44 ~ 99.99 デフォルト = 10
	フォント ポイント サイズ	範囲 : 4.00 ~ 999.75 デフォルト = 12.00
	シンボル セット	シンボル セットのリストから選択します。

表 2-7 [印刷設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	値
	LF に CR を追加	いいえ* はい
	空白ページを省略	いいえ* はい
	メディア ソース マッピング	標準* クラシック

[印刷オプション] メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [印刷オプション] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-8 [印刷オプション] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
部数		
デフォルト用紙サイズ		プリンタでサポートされているサイズのリストから選択します。
デフォルト カスタム用紙サイズ	X の寸法 Y の寸法 インチを使用する ミリメートルを使用する	
排紙ビン		排紙ビンのリストで選択します。
面		片面* 両面
両面フォーマット		製本スタイル* 綴込みスタイル
最小マージン オーバーライドの有効化		有効 無効*

[表示設定] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [表示設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-9 [表示設定] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
キー操作音		オン*
		オフ
言語設定	言語	プリンタでサポートされている言語のリストから選択します。
	キーボード レイアウト	各言語に対してデフォルトのキーボード レイアウトが設定されています。変更するには、レイアウトのリストで選択します。
ネットワーク アドレス ボタン		表示
		非表示
スリープ モード		無効
		スリープ遅延を使用*
		スリープ スケジュールを使用
		省電力と待ち時間の均衡化
アイドル状態のタイムアウト		範囲 : 10 ~ 300 秒
		デフォルト = 60 秒
解除可能な警告		オン
		ジョブ*
継続可能なイベント		自動継続 (10 秒)*
		[OK] を押して続行

[サプライ品の管理] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [サプライ品の管理] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-10 [サプライ品の管理] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
サプライ品のステータス				印刷 表示
サプライ品の設定	カートリッジ (黒)	非常にわずかの設定		停止 続行を要求 継続*
		下限値設定		1 ~ 100% デフォルト = 10%
	メンテナンス キット	非常にわずかの設定		停止 続行を要求 継続*
		下限値設定		1 ~ 100% デフォルト = 10%
	文書フィーダ キット	非常にわずかの設定		停止 続行を要求* 継続
		下限値設定		1 ~ 100% デフォルト = 10%
サプライ品メッセージ	残量少時のメッセージ			オン* オフ
サプライ品のリセット	新規文書フィーダ キット			いいえ はい
	新しい保守キット			いいえ はい

[トレイの管理] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [トレイの管理] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-11 [トレイの管理] メニュー

第 1 レベル	値
要求されたトレイを使用	優先* 最初
手差しプロンプト	常時* 用紙がセットされていない場合
サイズ/タイプ プロンプト	表示* 非表示
別のトレイを使用	有効* 無効
代替レターヘッド モード	無効* 有効
空白ページを両面印刷	自動* はい
A4/レター置き換え	はい* いいえ

[ステイプラ/スタッカの設定] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [ステイプラ/スタッカの設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-12 [ステイプラ/スタッカの設定] メニュー

第 1 レベル	値
動作モード	メールボックス スタッカ ファンクション セパレータ

表 2-12 [ステイブラ/スタッカの設定] メニュー (続き)

第 1 レベル	値
綴じ方	なし
	左上または右上
	左上
	右上
ステイブルがほぼ空	継続
	停止

ネットワーク設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [ネットワーク設定] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-13 [ネットワーク設定] メニュー

第 1 レベル	値
I/O タイムアウト	範囲 : 5 ~ 300 秒 デフォルト = 15
内蔵 Jetdirect メニュー	詳細については、次の表を参照してください。各メニューは、構造が同じです。EIO スロットに追加の HP Jetdirect ネットワーク カードが取り付けられている場合は、両方のメニューを使用できます。
EIO <X> Jetdirect メニュー	

表 2-14 [内蔵 Jetdirect メニュー] メニュー/[EIO <X> Jetdirect メニュー] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
情報	セキュリティ ページ印刷			はい
				いいえ*
TCP/IP	有効			オン*
				オフ
	ホスト名			
	IPv4 設定	設定方法		Bootp
				DHCP*
				Auto IP
				手動

表 2-14 [内蔵 Jetdirect メニュー] メニュー/[EIO <X> Jetdirect メニュー] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		手動設定	IP アドレス	アドレスを入力します。
		<p>注記: このメニューが表示されるのは、[設定方法] メニューで [手動] オプションを選択した場合だけです。</p>		
			サブネット マスク	アドレスを入力します。
			デフォルト ゲートウェイ	アドレスを入力します。
		デフォルトの IP		Auto IP* 旧
		DHCP の解放		いいえ* はい
		DHCP の更新		いいえ* はい
		プライマリ DNS		
		セカンダリ DNS		
	IPV6 設定	有効		オフ オン*
		アドレス	手動設定	有効 アドレス
		DHCPV6 ポリシー		ルーターが指定されました ルーターが使用できません* 常時
		プライマリ DNS		
		セカンダリ DNS		
	アイドル タイムアウト			範囲 : 0 ~ 3600 デフォルト = 270
セキュリティ	安全な WEB			HTTPS が必要* HTTPS オプション
	IPSEC			維持 無効*

表 2-14 [内蔵 Jetdirect メニュー] メニュー/[EIO <X> Jetdirect メニュー] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
	802.1X			リセット 維持*
	セキュリティのリセット			はい いいえ*
診断	内部テスト	LAN HW テスト		はい いいえ*
		HTTP テスト		はい いいえ*
		SNMP テスト		はい いいえ*
		データ経路テスト		はい いいえ*
		すべてのテストを選択		はい いいえ*
		実行時間 [分]		範囲: 1 ~ 60 時間 デフォルト = 1 時間
		実行		いいえ* はい
	Ping の結果	排紙先タイプ		IPv4* IPv6
		排紙先 IPv4		
		排紙先 IPv6		
		パケット サイズ		範囲: 64 ~ 2048 デフォルト = 64
		タイムアウト		範囲: 1 ~ 100 デフォルト = 1
		ページ カウント		範囲: 0 ~ 100 デフォルト = 4
		結果の印刷		いいえ* はい

表 2-14 [内蔵 Jetdirect メニュー] メニュー/[EIO <X> Jetdirect メニュー] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		実行		いいえ*
				はい
	Ping の結果	送信したパケット		範囲 : 0 ~ 65535 デフォルト = 0
		受信したパケット		範囲 : 0 ~ 65535 デフォルト = 0
		消失率		範囲 : 0 ~ 100% デフォルト = 0
		RTT 最小		範囲 : 0 ~ 4096 デフォルト = 0
		RTT 最大		範囲 : 0 ~ 4096 デフォルト = 0
		RTT 平均		範囲 : 0 ~ 4096 デフォルト = 0
		Ping in Progress		いいえ*
				はい
		更新		いいえ*
				はい
リンク速度				自動*
				10T ハーフ
				10T フル
				100TX ハーフ
				100TX フル

[トラブルシューティング] メニュー

表示方法 : プリンタのコントロール パネルで [管理] メニューを選択し、次に [トラブルシューティング] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-15 [トラブルシューティング] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
イベント ログ				表示* 印刷
用紙経路ページ				表示* 印刷
ファックス	ファックス T.30 トレー ス	T.30 レポートの印刷	レポート印刷時間	印刷 自動印刷しない* 毎ファックス ジョブ後 に印刷 ファックス送信ジョブ後 にのみ印刷 ファックス エラー後に 印刷 ファックス送信エラー後 にのみ印刷 ファックス受信エラー後 にのみ印刷 保存
	ファックス V.34			標準* オフ
	ファックス スピーカ モ ード			標準* 診断
印刷品質ページ	フューザ テスト ページ			印刷
診断テスト	用紙経路センサー			プリンタのセンサーのリ ストから選択します。
	用紙経路テスト	テスト ページ		印刷
		ソース		使用可能なトレイのリ ストから選択します。
		排紙先		使用可能ピンのリストで 選択します。
		両面印刷		オフ* オン

表 2-15 [トラブルシューティング] メニュー (続き)

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		部数		1*
				10
				50
				100
				500
		スタッキング		オフ
				オン
	手動センサー テスト			使用可能なコンポーネントのリストから選択します。
	トレイ/ビンの手動センサー テスト			使用可能なコンポーネントのリストから選択します。
	コンポーネント テスト			使用可能なコンポーネントのリストから選択します。
	印刷/停止テスト			範囲 : 0 ~ 60,000
	スキャナ テスト			使用可能なコンポーネントのリストから選択します。
	コントロール パネル			LED
				表示
				ボタン
				タッチスクリーン
診断データの取得				デバイス データ ファイルの作成
				圧縮されたデバッグ情報ファイルの作成
				クラッシュ ダンプ ファイルを含める
				デバッグ情報のクリーンアップ
				電子メール送信
				USB にエクスポート
デバッグ データを生成				

[プリンタのメンテナンス] メニュー

[バックアップ/復元] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [プリンタのメンテナンス] メニューを選択し、次に [バックアップ/復元] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-16 [バックアップ/復元] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	値
バックアップ データ	スケジュールされたバックアップを有効にする	バックアップ時間	日時を入力します。
		バックアップ間隔 (日)	日数を入力します。
	今すぐバックアップ		
	前回のバックアップをエクスポート		
データを復元			バックアップ ファイルが格納されている USB ドライブを挿入します。

[校正/クリーニング] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [プリンタのメンテナンス] メニューを選択し、次に [校正/クリーニング] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-17 [校正/クリーニング] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
クリーニング設定	自動クリーニング	オフ*
		オン
	クリーニング間隔	
	クリーニング サイズ	
クリーニング ページ		印刷
スキャナの校正		

[USB ファームウェア アップグレード] メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [プリンタのメンテナンス] メニューを選択し、次に [USB ファームウェア アップグレード] メニューを選択します。

ファームウェア アップグレード バンドルが格納されている USB ストレージ デバイスを USB ポートに挿入し、画面の指示に従います。

サービス メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで [プリンタのメンテナンス] メニューを選択し、次に [サービス] メニューを選択します。

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 Windows 用ソフトウェア

- [対応オペレーティング システム \(Windows\)](#)
- [対応プリンタ ドライバ \(Windows の場合\)](#)
- [適切なプリンタ ドライバの選択 \(Windows\)](#)
- [印刷設定の優先度](#)
- [プリンタ ドライバ設定の変更 \(Windows の場合\)](#)
- [ソフトウェアの削除 \(Windows\)](#)
- [サポートされているユーティリティ \(Windows\)](#)
- [その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア](#)

対応オペレーティング システム (Windows)

この製品は、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

- Windows XP Service Pack 2 以降 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2003 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2008 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2008 R2 (64 ビット)
- Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)

この製品に付属しているソフトウェア CD のインストール プログラムは、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

- Windows XP Service Pack 2 以降 (32 ビット)
- Windows Server 2003 Service Pack 1 以降 (32 ビット)
- Windows Server 2008 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2008 R2 (64 ビット)
- Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)

 **注記:** Windows のプリンタの追加機能を使用すると、Windows XP (64 ビット) および Windows Server 2003 (64 ビット) オペレーティング システムにも製品ソフトウェアをインストールできます。

対応プリンタ ドライバ (Windows の場合)

- HP PCL 6 (ソフトウェア インストール CD からインストールされるデフォルトのプリンタ ドライバ)
- HP PostScript エミュレーション Universal Print Driver (HP UPD PS)
- HP PCL 5 ユニバーサル プリンタ ドライバ (HP UPD PCL 5)
- HP PCL 6 ユニバーサル プリンタ ドライバ (HP UPD PCL 6)

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

 **注記：** UPD についての詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)

プリンタ ドライバから製品の機能にアクセスできます。また、ドライバによってコンピュータと製品間の通信が可能になります (プリンタ言語を使用)。次のプリンタ ドライバは、www.hp.com/support/ljm4555mfp_software で入手できます。

HP PCL 6 ドライバ

- ソフトウェア インストール CD で、デフォルトのドライバとして提供されます。Web から別のドライバをダウンロードしない限り、自動的に自動的にこのドライバがインストールされます。
- すべての Windows 環境用として推奨
- ほとんどのユーザーにとって、最適なスピード、印刷品質、プリント機能を実現
- Windows 環境に最適のスピードを実現する Windows Graphic Device Interface (GDI) 対応設計
- サードパーティのソフトウェア プログラムや、PCL 5 用にカスタマイズされたソフトウェア プログラムと相性が合わない可能性あり

HP UPD PS ドライバ

- Adobe® ソフトウェア プログラムやその他のグラフィック集約型ソフトウェア プログラムでの印刷用として推奨
- Postscript エミュレーションや Postscript Flash フォント サポートの印刷に対応

HP UPD PCL 5 ドライバ

- 一般的なオフィス印刷用 (Windows 環境) として推奨
- これまでの PCL バージョンや HP LaserJet プリンタの旧バージョンに対応
- サードパーティやカスタマイズされたソフトウェア プログラムでの印刷に最適
- PCL 5 を使用している混合環境での使用に最適 (UNIX、Linux、メインフレーム)
- 会社での Windows 環境向け使用を目的とした設計となっており、単一のドライバで複数のプリンタ モデルに対応
- Windows 搭載のモバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルに印刷する際の使用にお勧め

HP UPD PCL 6 ドライバ

- すべての Windows 環境における推奨ドライバです。
 - ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。
 - Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。
 - PCL5 をベースにしたサードパーティ製品およびカスタム製品との間で、互換性が完全ではない可能性があります。
-

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD) は、任意の場所から事実上すべての HP LaserJet 製品にすぐにアクセスできる単一のドライバです。製品ごとに別個のドライバをダウンロードする必要はありません。実証された HP プリンタ ドライバ テクノロジーを基礎とし、徹底的にテストされ、多くのソフトウェア プログラムで使用されています。長期にわたり、一貫して動作する強力なソリューションです。

HP UPD は、各 HP 製品と直接通信し、設定情報を収集してから、その製品に固有の機能を表示するようにユーザー インタフェースをカスタマイズします。両面印刷やステイプル留めなど、その製品に使用可能な機能が自動的に有効になるので、手動で有効にする必要がありません。

詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

UPD インストール モード

従来モード	<ul style="list-style-type: none">• CD から 1 台のコンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用します。• プリンタに同梱の CD からインストールした場合、UPD は従来のプリンタドライバのように動作します。特定のプリンタで動作します。• このモードを使用する場合、コンピュータごとおよびプリンタごとに UPD を別個にインストールする必要があります。
動的モード	<ul style="list-style-type: none">• このモードを使用するには、インターネットから UPD をダウンロードします。詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。• 動的モードでは、インストールした 1 つのドライバを使用して、任意の場所にある HP 製品を検出してその製品で印刷できます。• ワークグループ用に UPD をインストールする場合は、このモードを使用します。

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

 **注記：** コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所でも変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]**、**[印刷設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先順位が低く、通常、**[ページ設定]** ダイアログボックスで行われた変更より優先されません。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)：** **[印刷]** ダイアログ ボックスで **[プロパティ]** をクリックして、プリンタ ドライバを開きます。**[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、通常、印刷ソフトウェアの他のどの場所の設定よりも優先されません。ここからほとんどの印刷設定を変更できます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定：** プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が**変更されない限り**、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定：** プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows の場合)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. ドライバを選択し、[プロパティ] または [基本設定] をクリックします。

手順は変わることがあり、共通ではありません。

すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する

1. **Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合):** [スタート]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合): [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

Windows Vista: [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリで [プリンタ] をクリックします。

Windows 7 の場合: [スタート]、[デバイスとプリンター] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

製品の設定を変更する

1. **Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合):** [スタート]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。

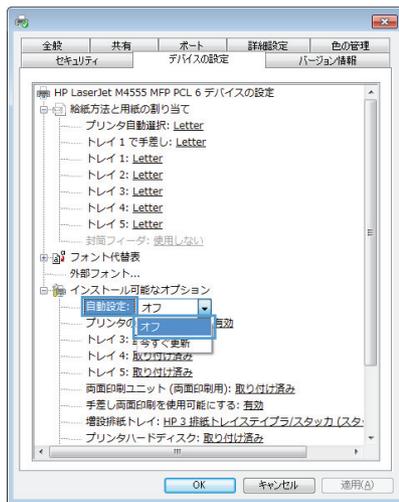
Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合): [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

Windows Vista: [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリで [プリンタ] をクリックします。

Windows 7 の場合: [スタート]、[デバイスとプリンター] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[プロパティ] または [プリンタのプロパティ] を選択します。
3. [デバイスの設定] タブをクリックします。

4. 自動的に構成設定を指定するには、[インストール可能なオプション] リストで、[自動設定] ドロップダウン メニューをクリックし、[今すぐ更新] メニュー項目をクリックします。



ソフトウェアの削除 (Windows)

Windows XP

1. [スタート]、[コントロールパネル] の順にクリックして、次に [プログラムの追加と削除] をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. ソフトウェアを削除するには、[変更と削除] ボタンをクリックします。

Windows Vista

1. [スタート]、[コントロールパネル] の順にクリックして、次に [プログラムと機能] をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. [アンインストールと変更] オプションを選択します。

Windows 7

1. [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[プログラム] 見出しの下にある [プログラムのアンインストール] をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. [アンインストール] オプションを選択します。

サポートされているユーティリティ (Windows)

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、シンプルな印刷およびイメージの周辺機器管理ソフトウェア ツールです。リモート設定、事前監視、セキュリティ トラブルの解決、および印刷とイメージング製品のレポートを有効にすることにより、プリンタの利用最適化、カラー コストの制御、プリンタの保護、サプライ品の管理の簡素化を行います。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

ホスト サーバにインストールされると、Windows クライアントは、サポートされている Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer など) を使用して HP Web Jetadmin ホストに移動し、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

HP 内蔵 Web サーバ

プリンタには、プリンタおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる HP 内蔵 Web サーバが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Mozilla Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

HP 内蔵 Web サーバはプリンタに組み込まれています。ネットワーク サーバにはロードされません。

HP 内蔵 Web サーバでは、プリンタへのインタフェースが提供されているので、ネットワークに接続されているコンピュータと標準の Web ブラウザを持つユーザーは誰でも使用できます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。HP 内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にプリンタの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、[254 ページの「情報ページの印刷」](#)を参照してください)。

HP 内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、[255 ページの「HP 内蔵 Web サーバの使用」](#)を参照してください。

その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア

OS	ソフトウェア
UNIX	HP-UX および Solaris ネットワークの場合は、UNIX 用の HP Jetdirect プリンタ インストーラを www.hp.com/go/jetdirectunix_software からダウンロードします。 最新機種のスクリプトについては、 www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。
Linux	詳細については、 www.hplip.net または www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。
SAP デバイス	ドライバについては、 www.hp.com/go/sap/drivers を参照してください。 詳細については、 www.hp.com/go/sap/print を参照してください。

4 Mac でのプリンタの使用

- [Mac 用ソフトウェア](#)
- [Mac での印刷](#)
- [Mac での問題の解決](#)

Mac 用ソフトウェア

対応する Mac オペレーティング システム

この製品は、次の Mac オペレーティング システムに対応します。

- Mac OS X 10.5、10.6 以降

 **注記:** Mac OS X 10.5 以降では、Intel® Core™ プロセッサ Mac がサポートされています。

Mac 用プリンタ ドライバは、この製品に付属しているソフトウェア インストール CD からインストールできます。CD が付属していない場合は、Mac 用のプリンタ ドライバとインストール CD を Web からダウンロードできます。

対応プリンタ ドライバ (Mac の場合)

HP LaserJet ソフトウェア インストーラには、Mac OS X コンピュータ用の PostScript® Printer Description (PPD) ファイル、Printer Dialog Extensions (PDE)、および HP ユーティリティが含まれています。HP プリンタ PPD および PDE ファイルは、ビルトイン Apple PostScript プリンタ ドライバとの結合により、フル印刷機能や HP プリンタ独自の機能へのアクセスを提供します。

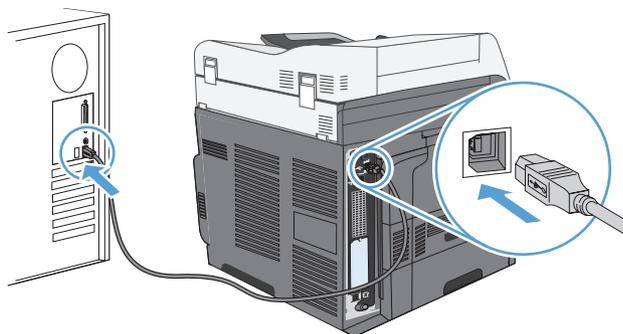
Mac オペレーティング システム対応ソフトウェアのインストール

プリンタに直接接続された Mac コンピュータ対応ソフトウェアのインストール

このプリンタでは USB 2.0 接続がサポートされています。A-to-B 型 USB ケーブルを使用してください。HP では、2 m 以下のケーブルの使用を推奨しています。

1. CD からソフトウェアをインストールします。
2. 製品のアイコンをクリックし、画面の指示に従います。
3. [閉じる] ボタンをクリックします。

4. メッセージが表示されたら、プリンタとコンピュータに USB ケーブルを接続します。



5. 取り付けられている周辺機器を認識するようにプリンタのソフトウェアを設定するには、次の手順を最後まで実行します。

-
- Mac OS 10.5 および 10.6 の場合
1. アップルメニュー  から、**[システム環境設定]** メニューをクリックし、**[プリントとファクス]** アイコンをクリックします。
 2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。
 3. **[オプションとサプライ品]** ボタンをクリックします。
 4. **[ドライバ]** タブをクリックします。
 5. インストールされているオプションを設定します。

注記： Mac OS X 10.5 および 10.6 の場合は、インストールの過程で自動的にオプションが設定されます。

6. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

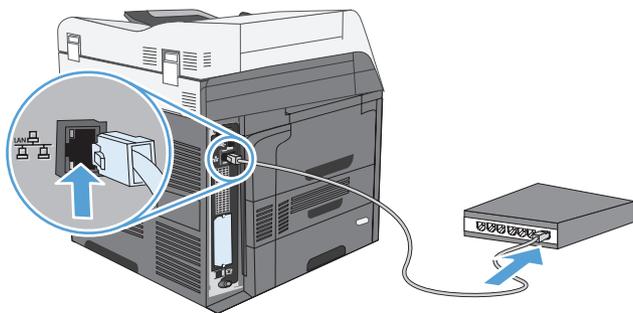
 **注記：** インストールに失敗した場合は、再インストールします。

有線ネットワークでの Mac コンピュータ対応ソフトウェアのインストール

IP アドレスの設定

1. 製品の電源を入れ、コントロール パネルのディスプレイに「**印字可**」と表示されるのを確認します。

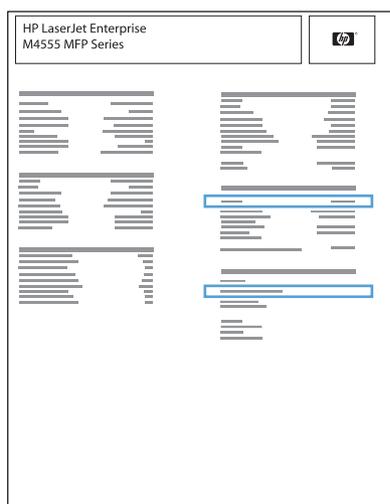
2. ネットワーク ケーブルで製品とネットワークを接続します。



3. 次の操作まで 60 秒待機します。その間に、ネットワークがプリンタを認識して、IP アドレスまたはホスト名を割り当てます。
4. プリンタのコントロール パネルで、**ネットワーク アドレス** ボタンをタッチして、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を識別します。

ネットワーク アドレス ボタンが表示されていない場合は、設定ページを印刷すると、IP アドレスまたはホスト名を確認できます。

- a. プリンタのコントロール パネルで、スクロールして **管理** ボタンにタッチします。
- b. 以下のメニューを開きます。
- レポート
 - 設定/ステータス ページ
 - プリンタ設定ページ
- c. **表示** ボタンにタッチしてコントロール パネルに情報を表示するか、**印刷** ボタンにタッチしてページを印刷します。
- d. Jetdirect ページで、IP アドレスを確認します。



5. **IPv4:** IP アドレスが 0.0.0.0、192.0.0.192 または 169.254.x.x の場合は、手動で IP アドレスを設定する必要があります。そうでない場合は、ネットワーク設定は正常です。

IPv6: IP アドレスの最初に「fe80:」がついていれば、プリンタで印刷可能になっているはずで
す。そうでない場合は、IP アドレスを手動で設定する必要があります。

ソフトウェアのインストール

1. コンピュータ上のすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールします。
3. 製品のアイコンをクリックし、画面の指示に従います。
4. インストールが完了したら **[閉じる]** ボタンをクリックします。
5. コンピュータでアップルメニュー  を開き、**[システム環境設定]** メニューをクリックして、**[プリントとファクス]** アイコンをクリックします。
6. プラス記号 (+) をクリックします。

デフォルトでは、Mac OS X では Bonjour を使用してドライバを検出し、プリンタのポップアップメニューにプリンタを追加します。ほとんどの状況では、Bonjour が最適な手段です。Mac OS X で HP プリンタドライバを検出できないと、エラーメッセージが表示されます。ソフトウェアを再インストールします。

大規模なネットワークにプリンタを接続している場合は、Bonjour でなく IP プリントを使用して接続する必要があります。次の手順に従います。

- a. **[IP プリンタ]** ボタンをクリックします。
 - b. **[プロトコル]** ドロップダウンリストで、**[HP Jetdirect-ソケット]** オプションを選択します。プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。モデルがまだ選択されていない場合は、**[使用するドライバ]** ドロップダウンリストから選択します。
7. 取り付けられている周辺機器を認識するようにプリンタを設定するには、次の手順を最後まで実行します。

-
- Mac OS 10.5 および 10.6 の場合
1. アップルメニュー  から、**[システム環境設定]** メニューをクリックし、**[プリントとファクス]** アイコンをクリックします。
 2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。
 3. **[オプションとサプライ品]** ボタンをクリックします。
 4. **[ドライバ]** タブをクリックします。
 5. インストールされているオプションを設定します。

注記: Mac OS X 10.5 および 10.6 の場合は、インストールの過程で自動的にオプションが設定されます。

8. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

ソフトウェアの削除 (Mac オペレーティング システム)

ソフトウェアを削除するには、管理者権限が必要です。

1. プリンタとコンピュータの接続を解除します。
2. [アプリケーション] を開きます。
3. [Hewlett Packard] を選択します。
4. [HP アンインストーラー] を選択します。
5. デバイスのリストで、削除するプリンタをクリックし、[アンインストール] をクリックします。
6. ソフトウェアがアンインストールされたら、コンピュータを再起動し、ゴミ箱を空にします。

印刷設定の優先度 (Mac の場合)

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

 **注記：** コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。ここで変更した設定内容が、他の場所に変更した設定内容に優先します。
- **[印刷] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より優先されることはありません。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定：** プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が**変更されない限り**、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定：** プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Mac の場合)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了する まで有効)	さまざまなメニューで設定を変更しま す。	すべての印刷ジョブのデフォルト設定 を変更する
<ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[印刷] ボタンをクリックします。2. さまざまなメニューで設定を変更します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[印刷] ボタンをクリックします。2. さまざまなメニューで設定を変更します。3. [Presets] メニューで、[名前を付けて保存] オプションをクリックしてプリセットの名前を入力します。 <p>これらの設定が [Presets] メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。</p>	製品の設定を変更する <ol style="list-style-type: none">1. アップルメニュー  から、[システム環境設定] メニューをクリックし、[プリントとファクス] アイコンをクリックします。2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。3. [オプションとサプライ品] ボタンをクリックします。4. [ドライバ] タブをクリックします。5. インストールされているオプションを設定します。

Mac コンピュータ用ソフトウェア

HP ユーティリティ (Mac の場合)

HP ユーティリティを使用して、プリンタ ドライバでは使用できない製品機能を設定します。

HP ユーティリティは、製品でユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、または製品が TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。

HP ユーティリティを開く

▲ Dock で、**[HP ユーティリティ]** をクリックします。

または

[アプリケーション] で、**[Hewlett Packard]** をクリックし、**[HP ユーティリティ]** をクリックします。

HP ユーティリティの機能

HP Utility は複数のページで構成されています。各ページを開くには、**[Configuration Settings]** リストの項目をクリックします。次の表に、これらのページで実行できるタスクを示します。各ページの上端にある **[HP Support]** リンクをクリックすると、技術支援、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクル、および返却に関する情報が表示されます。

メニュー	項目	説明	
[Information And Support]	[サプライ品のステータス]	プリンタのサプライ品のステータスを示し、オンラインでサプライ品を注文できるリンクが表示されます。	
	[デバイス情報]	現在選択されているプリンタに関する情報を表示します。	
	[Color Usage]	印刷されたページ総数、カラーで印刷されたページ数、黒のみで印刷されたページ数を示します。	
	[ファイルのアップロード]	コンピュータからプリンタにファイルを転送します。	
	[フォントのアップロード]	コンピュータからプリンタにフォント ファイルを転送します。	
	[ファームウェアのアップデート]	ファームウェア更新ファイルをプリンタに転送します。	
	[コマンド]	印刷ジョブ終了後、特殊文字または印刷コマンドをプリンタに送信します。	
	[プリンタ設定]	[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。
		[両面印刷モード]	自動両面印刷モードをオンにします。
[保存ジョブ]		プリンタのハード ディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。	
[電子メール警告]		特定のイベントについて電子メール通知を送信するようにプリンタを設定します。	

メニュー	項目	説明
	[ネットワーク設定]	IPv4 および IPv6 などのネットワーク設定を行います。
	[Supplies Management]	サプライ品の推定寿命が近づいた場合の動作方法を設定します。
	[カラー制限]	特定のユーザーおよびソフトウェア プログラムに対するカラー印刷の制限を設定します。 注記： このオプションは、[表示] メニューの [詳細オプションの表示] オプションをクリックした場合にのみ使用可能です。
	[Protect Direct Ports]	USB ポートまたはパラレル ポートからの印刷を無効にします。
	[詳細設定]	HP 内蔵 Web サーバーにアクセスできるようにします。

サポートされているユーティリティ (Mac の場合)

HP 内蔵 Web サーバ

このプリンタには、HP 内蔵 Web サーバーが組み込まれています。これにより、プリンタおよびネットワークの稼働状況に関する情報を取得できます。HP 内蔵 Web サーバーにアクセスするには、HP ユーティリティを使用します。具体的には、[プリンタ設定] メニューを開き、[詳細設定] を選択します。

Mac での印刷

Mac で印刷ジョブをキャンセルする

1. 印刷ジョブが現在進行中の場合は、次の手順に従ってジョブをキャンセルします。
 - a. コントロール パネルの 停止  ボタンを押します。
 - b. タッチスクリーンのリストから、削除するジョブをタッチし、[ジョブのキャンセル] ボタンをタッチします。
 - c. 削除の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをタッチします。
2. ソフトウェア プログラムまたは印刷キューから印刷ジョブをキャンセルすることもできます。
 - **ソフトウェア プログラム**: 通常は、しばらくの間コンピュータの画面に表示されるダイアログ ボックスで印刷ジョブをキャンセルできます。
 - **Mac プリント キュー**: Dock 内のプリンタ アイコンをダブルクリックしてプリント キューを開きます。印刷ジョブを選択し、[削除] をクリックします。

Mac で使用する用紙のサイズとタイプの変更

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. [部数とページ数] メニューで、[ページ設定] ボタンをクリックします。
3. [用紙サイズ] ドロップダウン リストからサイズを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
4. [レイアウト] メニューを開きます。(Mac OS X 10.5 および 10.6 の場合)
5. [用紙の種類] ドロップダウン リストからタイプを選択します。
6. [印刷] ボタンをクリックします。

印刷機能のプリセットの作成および使用 (Mac の場合)

印刷機能のプリセットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のプリセットの作成

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. 再利用できるように保存する印刷設定を選択します。
4. [Presets] メニューで、[名前を付けて保存] オプションをクリックしてプリセットの名前を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックします。

印刷機能のプリセットの使用

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. [Presets] メニューで、印刷機能のプリセットを選択します。

 **注記：** プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、[標準] オプションを選択します。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷 (Mac の場合)

-
- | | |
|---------------------------------|---|
| Mac OS 10.5 および 10.6 の場合 | <ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。2. [ページ設定] ボタンをクリックします。3. プリンタを選択し、[用紙サイズ] および [印刷の向き] オプションで適切な設定を選択します。 |
| 次のどちらかの方法に従います。 | <ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。2. [用紙処理] メニューを開きます。3. [Destination Paper Size] 領域で、[Scale to fit paper size] ボックスをクリックしてドロップダウン リストからサイズを選択します。 |
-

表紙の印刷 (Mac の場合)

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. [表紙] メニューを開いて、表紙を印刷する位置を選択します。[書類の前] ボタンまたは [書類の後] ボタンをクリックします。
4. [表紙の種類] メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

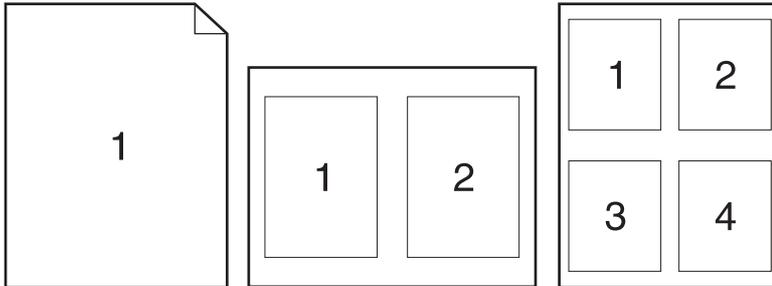
 **注記：** 空白の表紙を印刷するには、[表紙の種類] メニューで [標準] オプションを選択します。

透かしの使用 (Mac の場合)

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. [透かし] メニューを開きます。
3. [モード] メニューで、使用する透かしの種類を選択します。半透明のメッセージを印刷するには、[透かし] オプションを選択します。透明でないメッセージを印刷するには、[オーバーレイ] オプションを選択します。
4. [ページ] メニューで、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するのかが選択します。

5. [テキスト] メニューで、いずれかの標準メッセージを選択するか、[カスタム] オプションを選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Mac の場合)



1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. [レイアウト] メニューを開きます。
4. [用紙あたりのページ数] メニューで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. [レイアウト方向] 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. [ページ境界線] メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

Mac で両面印刷を行う

1. 印刷ジョブを実行するために十分な量の用紙をトレイの 1 つにセットします。
2. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
3. [レイアウト] メニューを開きます。
4. [Two-Sided] メニューで、[綴じ込み] オプションを選択します。

ジョブの保存 (Mac の場合)

製品にジョブを保存すると、いつでも印刷できます。保存したジョブは、他のユーザと共有するか、プライベートに設定できます。

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. [ジョブ保存] メニューを開きます。

3. [ジョブ保存モード] ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。
- [試し刷り後に保留]: この機能では、ジョブを 1 部すばやく印刷して確認し、その後追加の部数を印刷できます。
 - [個人ジョブ]: ジョブをプリンタへ送信したとき、コントロール パネルで実行するまでジョブが印刷されません。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。
 - [クイック コピー]: プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、指定した部数だけ印刷してから、オプションのハード ディスクにジョブを保存できます。ジョブを保存することで、後でジョブの追加コピーを印刷できます。
 - [保存ジョブ]: プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、社内の共通フォームや勤務表、カレンダーなどをプリンタに保存しておき、誰でも必要なときに印刷することができます。保存したジョブを PIN で保護することもできます。
4. カスタム ユーザー名またはジョブ名を使用するには、[カスタム] ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を 固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
使用する]

[既存のファイルを置換] 既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

5. 手順 3 で [保存ジョブ] または [個人ジョブ] オプションを選択した場合、PIN でジョブを保護できます。[印刷に PIN を使用する] フィールドに 4 桁の数字を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとする、この PIN 番号の入力を求められます。

Mac での問題の解決

[317 ページの「Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する」](#)を参照してください。

5 接続

- [プリンタ共有の免責条項](#)
- [USB で接続する](#)
- [ネットワークへの接続](#)

プリンタ共有の免責条項

HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft のウェブサイト www.microsoft.com にアクセスしてください。

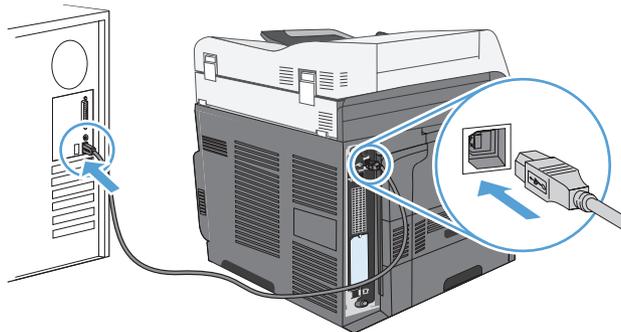
USB で接続する

このプリンタでは USB 2.0 接続がサポートされています。A-to-B 型 USB ケーブルを使用してください。HP では、2 m 以下のケーブルの使用を推奨しています。

⚠ 注意： インストール ソフトウェアの指示があるまで、USB ケーブルを接続しないでください。

CD からのインストール

1. コンピュータ上の開いているすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールし、画面の指示に従います。
3. メッセージが表示されたら、**[USB ケーブルを使用してこのコンピュータに直接接続する]** オプションを選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。
4. メッセージが表示されたら、プリンタとコンピュータに USB ケーブルを接続します。



5. インストールの最後に、**[完了]** ボタンをクリックするか、または **[その他のオプション]** ボタンをクリックして追加のソフトウェアをインストールします。
6. **[その他のオプション]** 画面で、他のソフトウェアをインストールするか、**[終了]** ボタンをクリックします。
7. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

📝 注記： インストールに失敗した場合は、再インストールします。

ネットワークへの接続

ネットワーク パラメータはコントロール パネルや HP 内蔵 Web サーバから設定します。または、ほとんどのネットワークでは HP Web Jetadmin ソフトウェアから設定できます。

 **注記:** HP Web Jetadmin ソフトウェアは、Mac OS X オペレーティング システムではサポートされていません。

対応するネットワークおよびソフトウェアによるネットワーク パラメータ設定手順の完全なリストは、『HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ管理者用ガイド』を参照してください。このガイドは HP Jetdirect 内蔵プリント サーバがインストールされているプリンタに付属しています。

サポートされているネットワーク プロトコル

表 5-1 対応ネットワーク プロトコル

ネットワーク タイプ	サポートされているプロトコル
TCP/IP IPv4 と IPv6 が混在使用されているネットワーク	<ul style="list-style-type: none">• Apple Bonjour• Simple Network Management Protocol (SNMP) v1、v2、および v3• Hyper Text Transfer Protocol (HTTP)• Secure HTTP (HTTPS)• File Transfer Protocol (FTP)• Port 9100• Line printer daemon (LPD)• IPP (Internet Printing Protocol)• 保護された IPP• Web Services Dynamic Discovery (WS Discovery)• IPsec/Firewall
TCP/IP IPv4 だけが使用されているネットワーク	<ul style="list-style-type: none">• Auto IP• Service Location Protocol (SLP)• Trivial File Transfer Protocol (TFTP)• Telnet• Internet Group Management Protocol (IGMP) v2• Bootstrap Protocol (BOOTP)/DHCP• Windows Internet Name Service (WINS)• IP Direct Mode• WS Print

表 5-1 対応ネットワーク プロトコル (続き)

ネットワーク タイプ	サポートされているプロトコル
TCP/IP IPv6 だけが使用されているネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) v6 Multicast Listener Discovery Protocol (MLD) v1 Internet Control Message Protocol (ICMP) v6
サポートされているその他のネットワーク プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange (IPX/SPX) AppleTalk NetWare Directory Services (NDS) Bindery Novell Distributed Print Services (NDPS) iPrint

表 5-2 ネットワーク管理用の高度なセキュリティ機能

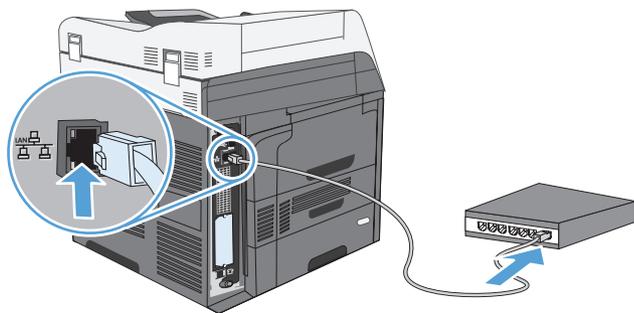
サービス名	説明
IPsec/ファイアウォール	IPv4 と IPv6 ネットワークにネットワーク レイヤ セキュリティを提供します。ファイアウォール機能では、IP トラフィックの単純な制御が可能です。IPsec では、認証や暗号化プロトコルを使った、より高度な保護機能を利用できます。
Kerberos	チケットと呼ぶ固有キーをネットワークにログオンする各ユーザーに割り当てることで、オープン ネットワーク全体で個人情報を交換できます。チケットは、メッセージに埋め込まれ発信者の識別に使用されます。
SNMP v3	暗号化により、ユーザー認証とデータのプライバシーを提供する SNMP v3 にユーザーベースのセキュリティ モデルを採用します。
SSL/TLS	インターネット経由でプライベート ドキュメントを転送し、クライアントとサーバ アプリケーション間のプライバシーとデータの整合性を保証できます。
IPsec バッチ設定	プリンタへのまたはプリンタからの IP トラフィックの単純な制御によりネットワーク レイヤ セキュリティを提供します。このプロトコルでは、暗号化と認証の利点を得られ、複数の設定が可能です。

有線ネットワーク上でソフトウェアをインストール

IP アドレスの設定

1. 製品の電源を入れ、コントロール パネルのディスプレイに「印字可」と表示されるのを確認します。

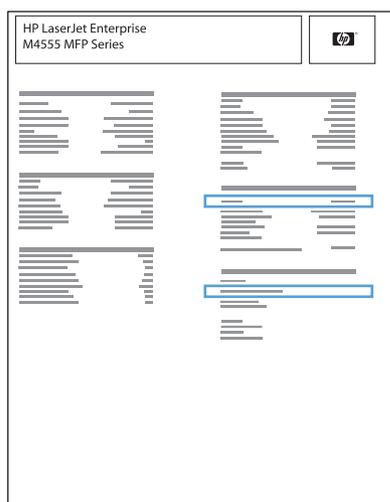
2. ネットワーク ケーブルで製品とネットワークを接続します。



3. 次の操作まで 60 秒待機します。その間に、ネットワークがプリンタを認識して、IP アドレスまたはホスト名を割り当てます。
4. プリンタのコントロール パネルで、**ネットワーク アドレス** ボタンをタッチして、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を識別します。

ネットワーク アドレス ボタンが表示されていない場合は、設定ページを印刷すると、IP アドレスまたはホスト名を確認できます。

- a. プリンタのコントロール パネルで、スクロールして **管理** ボタンにタッチします。
- b. 以下のメニューを開きます。
- **レポート**
 - **設定/ステータス ページ**
 - **プリンタ 設定ページ**
- c. **表示** ボタンにタッチしてコントロール パネルに情報を表示するか、**印刷** ボタンにタッチしてページを印刷します。
- d. Jetdirect ページで、IP アドレスを確認します。



5. **IPv4:** IP アドレスが 0.0.0.0、192.0.0.192 または 169.254.x.x の場合は、手動で IP アドレスを設定する必要があります。そうでない場合は、ネットワーク設定は正常です。

IPv6: IP アドレスの最初に「fe80:」がついていれば、プリンタで印刷可能になっているはずで
す。そうでない場合は、IP アドレスを手動で設定する必要があります。

ソフトウェアのインストール

1. コンピュータ上のすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールします。
3. 画面に表示される手順に従います。
4. メッセージが表示されたら、**[有線ネットワークで接続]** オプションを選択します。
5. 使用可能なプリンタの一覧から、正しい アドレスのプリンタを選択します。
6. インストールの最後に、**[完了]** ボタンをクリックするか、または **[その他のオプション]** ボタンをクリックして、追加のソフトウェアをインストールするか、プリンタの基本的なデジタル送信機能を設定します。
 - コンピュータからファックスを送信できるようにするには、HP PC ファックス送信ドライバをインストールします (ファックス モデルのみ)。
 - HP Scan to Email Setup Wizard (HP 電子メールへのスキャンの送信セットアップ ウィザード) を使用して、電子メールの基本項目を設定します。
 - HP Save to Folder Setup Wizard (HP フォルダに保存セットアップ ウィザード) を使用して、ネットワーク上に、スキャンした文書を保存する共有フォルダを設定します。
7. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定の表示または変更

内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示・変更します。

1. 設定ページを印刷し、IP アドレスを探します。

- IPv4 を使用している場合、IP アドレスには数字のみが含まれます。形式は次のとおりです。

xxx.xxx.xxx.xxx

- IPv6 を使用している場合、IP アドレスは 16 進数の文字と桁の組み合わせです。次のような形式になります。

xxxx::xxxx:xxxx:xxxx:xxxx

2. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力し、内蔵 Web サーバーを開きます。

3. **【ネットワークング】** タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更できます。

ネットワーク パスワードの設定または変更

内蔵 Web サーバを使用して、ネットワーク パスワードを設定または変更できます。

1. 内蔵 Web サーバを開き、**【ネットワークング】** タブをクリックして、**【セキュリティ】** リンクをクリックします。

 **注記：** パスワードがすでに設定されている場合は、パスワードを入力する画面が表示されません。パスワードを入力して、**【適用】** ボタンをクリックします。

2. **【新規パスワード】** ボックスおよび **【パスワードの確認】** ボックスに新しいパスワードを入力します。

3. ウィンドウの下部の **【適用】** ボタンをクリックしてパスワードを保存します。

コントロール パネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロール パネルの [管理] メニューを使用して、IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを手動で設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 次の各メニューを開きます。
 - a. ネットワーク設定
 - b. 内蔵 Jetdirect メニュー
 - c. TCP/IP
 - d. IPV4 設定
 - e. 設定方法
 - f. 手動
 - g. 手動設定
 - h. IP アドレス、サブネット マスク、または デフォルト ゲートウェイ
3. キーパッドを使用して、IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを入力します。

コントロール パネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロール パネルの [管理] メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。
 - a. ネットワーク設定
 - b. 内蔵 Jetdirect メニュー
 - c. TCP/IP
 - d. IPV6 設定
 - e. アドレス
 - f. 手動設定
 - g. 有効

[オン] を選択し、[保存] ボタンをタッチします。

3. アドレスを設定するため、次の各メニューを開きます。
 - ネットワーク設定
 - 内蔵 Jetdirect メニュー
 - TCP/IP
 - IPV6 設定
 - アドレス

キーパッドを使用してアドレスを入力します。

 **注記:** 矢印ボタンを使用する場合、各桁の入力後に [OK] ボタンをタッチする必要があります。

6 用紙および印刷メディア

- [用紙の使い方](#)
- [Windows で用紙タイプと用紙サイズに合わせてプリンタ ドライバの設定を変更する](#)
- [使用可能な用紙サイズ](#)
- [サポート対象の用紙タイプ](#)
- [用紙トレイのセット](#)
- [トレイを設定する](#)
- [排紙ビンを選択する \(ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合\)](#)

用紙の使い方

本プリンタは、このユーザー ガイドに従い、多様な用紙およびその他の印刷メディアに対応しています。これらのガイドラインに適合しない用紙および印刷メディアを使用すると、印刷品質の低下、紙詰まりの増加、および製品の消耗が早まる原因になる場合があります。

最高の結果を得るには、レーザー プリンタ用および多目的用の HP ブランド純正用紙のみを使用してください。インクジェット プリンタ用の用紙または印刷メディアは使用しないでください。弊社では、品質を管理することができないため、他社の用紙を使用することはお勧めしません。

用紙が本ユーザー ガイドの全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用したことが原因であると考えられます。

⚠ 注意： HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

特殊用紙に関するガイドライン

本製品は特殊メディアの印刷にも対応します。満足の行く品質を得るために、次のガイドラインに従ってください。特殊用紙または印刷メディアを使用する場合、最高の品質を得るために、必ずプリンタ ドライバでタイプとサイズを設定してください。

⚠ 注意： HP LaserJet 製品は、フューザを使用して、正確なドットでドライ トナーの粒子を用紙に定着させます。HP レーザー用紙は、この極度の熱に耐えることができます。インクジェット用紙を使用すると、製品を破損する可能性があります。

メディアの種類	推奨	禁止
封筒	<ul style="list-style-type: none">封筒を平らな状態で保管。開口部が端まである封筒を使用。レーザー プリンタでの使用が保証されている接着シールを使用。	<ul style="list-style-type: none">しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒を使用。留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒を使用。離型紙剥離タイプの接着剤などの合成素材を使用。
ラベル	<ul style="list-style-type: none">裏張りが露出していないラベルのみを使用。平らなラベルを使用してください。ラベルのシート全体のみを使用。	<ul style="list-style-type: none">しわ、気泡、または損傷のあるラベルを使用。ラベルのシートの一部を使用。
OHP フィルム	<ul style="list-style-type: none">カラー レーザー プリンタでの使用が許可されている OHP フィルムのみを使用。透明紙を製品から除去した後、平面上に置く。	<ul style="list-style-type: none">レーザー プリンタでの使用が保証されていない透明印刷メディアを使用。

メディアの種類	推奨	禁止
レターヘッドまたは事前印刷用紙	<ul style="list-style-type: none"> レーザー プリンタでの使用が保証されているレターヘッドまたは用紙のみを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 浮き彫りまたは金属加工が施されたレターヘッドを使用。
厚紙	<ul style="list-style-type: none"> レーザー プリンタでの使用が保証され、本製品の重量規格に適合する厚紙のみを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 本製品での使用が許可されている HP レーザー紙を使用せず、本製品の推奨メディア規格より重い用紙を使用。

Windows で用紙タイプと用紙サイズに合わせてプリンタドライバの設定を変更する

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウン リストからサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウン リストから用紙タイプを選択します。
6. **[OK]** ボタンをクリックします。

使用可能な用紙サイズ

 **注記：** 最適な結果を得るために、適切な用紙サイズとタイプをプリンタ ドライバで選択します。

表 6-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

サイズと寸法	トレイ 1	トレイ 2	オプショントレイ 3、4 および 5	自動両面印刷
レター 216 x 279mm	✓	✓	✓	✓
リーガル 216 x 356mm	✓	✓	✓	✓
エグゼクティブ 184x267mm	✓	✓	✓	✓
ステートメント 140x216mm	✓			
8.5x13 216x330mm	✓	✓	✓	✓
3x5 76x127mm	✓			
4x6 101.6x152.4mm	✓			
10x15cm 101.6x152.4mm	✓			
5x7 127x188mm	✓			
5x8 127x203mm	✓			
A4 210 x 297mm	✓	✓	✓	✓
A5 148 x 210mm	✓	✓	✓	✓
A6 105x148mm	✓			

表 6-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ (続き)

サイズと寸法	トレイ 1	トレイ 2	オプション トレイ 3、4 および 5	自動両面印刷
B5 (JIS) 182 x 257mm	✓	✓	✓	✓
B6 (JIS) 128x182mm	✓			
16K 195x270mm 184x260mm 197x273mm	✓	✓	✓	
はがき (JIS) 100x148mm	✓			
往復はがき (JIS) 148x200mm	✓			
カスタム 76x127mm ~ 216x356mm	✓ ¹			
カスタム 148x210mm ~ 216x356mm		✓	✓	
封筒 #9 98x225mm	✓			
封筒 #10 105 x 241mm	✓			
封筒 Monarch 98 x 191mm	✓			
封筒 B5 176 x 250mm	✓			
封筒 C5 162 x 229mm	✓			
封筒 C6 162 x 114 mm	✓			

表 6-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ（続き）

サイズと寸法	トレイ 1	トレイ 2	オプショントレイ 3、4 および 5	自動両面印刷
封筒 DL ISO 110 x 220mm	✓			

¹ 超厚手 (131 ~ 175 g/m²) および厚紙 (176 ~ 220 g/m²) の用紙タイプについては、トレイ 1 から 76 x 127 mm サイズの用紙に印刷可能です。

サポート対象の用紙タイプ

用紙タイプ	トレイ 1	トレイ 2	オプショントレイ 3、4 および 5	自動両面印刷
普通紙	✓	✓	✓	✓
薄手 60 - 74g/m ²	✓	✓	✓	✓
厚紙 (176 - 220 gm ²)	✓			
OHP フィルム	✓	✓	✓	
ラベル	✓	✓	✓	
レターヘッド	✓	✓	✓	✓
封筒 ¹	✓			
印刷済み用紙	✓	✓	✓	✓
穴あき用紙	✓	✓	✓	✓
カラー	✓	✓	✓	✓
ボンド紙	✓	✓	✓	✓
再生紙	✓	✓	✓	✓
粗めの用紙	✓	✓	✓	✓

¹ オプションの封筒フィーダにも対応しています。

用紙トレイのセット

トレイとビンの収容枚数

トレイまたはビン	用紙タイプ	仕様	枚数
トレイ 1	用紙	範囲： 60 ~ 200 g/m ² のボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm 75g/m ² ボンド紙 100 枚に相当
	封筒	60g/m ² ボンド紙～ 90g/m ² ボンド紙未満	封筒最大 10 枚
	ラベル紙	厚さ 0.23mm 以下	積み重ね可能な高さ：10mm
	OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：10mm 最大 50 枚
トレイ 2	用紙	範囲： 60 ~ 120 g/m ² のボンド紙	積み重ね可能な高さ：56mm 75g/m ² ボンド紙 500 枚に相当 10x15cm サイズの用紙で積み重ね可能な高さ：15mm
	OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：56mm
オプション トレイ 3,4 および 5	用紙	範囲： 60 ~ 120 g/m ² のボンド紙	75g/m ² ボンド紙 500 枚に相当 積み重ね可能な高さ：56mm
	OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：56mm
排紙ビン	用紙	範囲： 60 ~ 200 g/m ² のボンド紙	75g/m ² ボンド紙最大 500 枚
文書フィーダ	用紙	範囲： 60g/m ² ボンド紙～ 220g/m ² ボンド紙	75g/m ² ボンド紙最大 50 枚

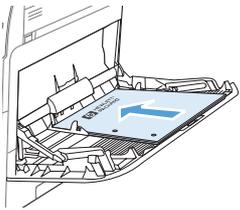
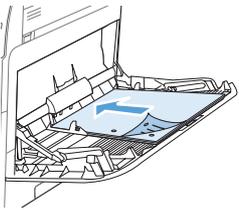
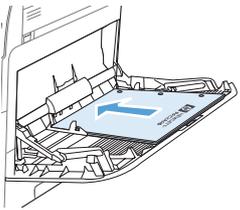
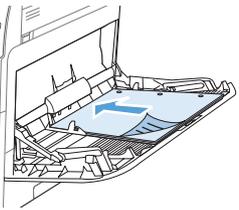
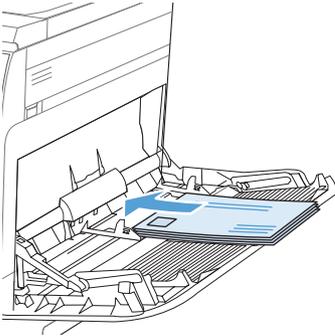
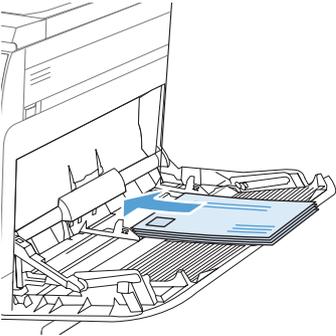
トレイまたはビン	用紙タイプ	仕様	枚数
封筒フィーダ	封筒	範囲： 最小：90 x 148 mm 最大：178 x 254 mm <ul style="list-style-type: none"> ● COM 10 ● Monarch ● B5 176 x 250 mm ● C5 162 x 229 mm ● DL 110 x 220 mm 	封筒最大 75 枚
上部および中央排紙ビン	用紙	60 ~ 120 g/m ² のボンド紙	75g/m ² ボンド紙最大 125 枚
下部排紙ビン	用紙	範囲： 60 ~ 200 g/m ² のボンド紙	75g/m ² ボンド紙最大 650 枚
	封筒	範囲： 最小：90 x 148 mm 最大：178 x 254 mm	
	ラベル紙	厚さ 0.23mm 以下	
	OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	
ステイプル/スタッカ	用紙	60 ~ 120 g/m ² のボンド紙	ステイプラーの機能：75 g/m ² ボンド紙 30 枚 ステイプル留めジョブの場合の ビン容量：75 g/m ² ボンド紙 30 枚、15 のステイプル留めジョブ
両面印刷ユニット	用紙	60 ~ 120 g/m ² のボンド紙	

トレイにセットする用紙の向き

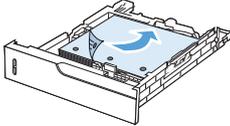
用紙を特定の向きにセットする必要がある場合は、次の表の説明に従って用紙をセットしてください。

 **注記:** [代替レターヘッドモード] および [イメージの回転] の設定は、レターヘッドや印刷済み用紙をセットする方法に影響します。次に、デフォルトの設定を示します。

トレイ 1 にセットする用紙の向き

用紙タイプ	片面印刷、ステイプラ/スタッカなし	両面印刷、ステイプラ/スタッカなし	片面印刷、ステイプラ/スタッカあり	両面印刷、ステイプラ/スタッカあり
レターヘッド、印刷済み用紙、穴あき用紙	上向き 用紙の上部をプリンタに向けてセット	下向き 用紙の下部をプリンタに向けてセット	上向き 用紙の下部をプリンタに向けてセット	下向き 用紙の上部をプリンタに向けてセット
				
封筒	上向き 切手を貼る方の短辺をプリンタに向けてセット		上向き 切手を貼る方の短辺をプリンタに向けてセット	
				

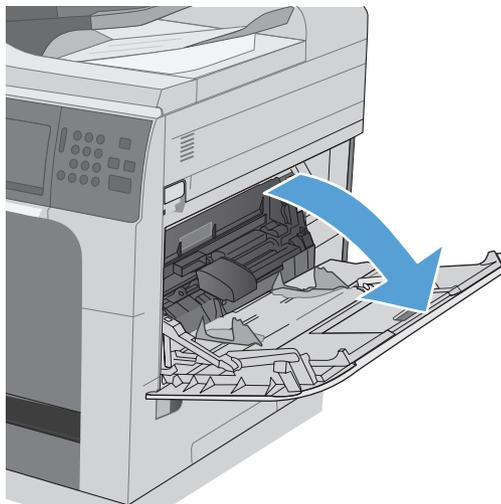
トレイ 2 またはトレイ 3、4、5 にセットする用紙の向き

用紙タイプ	片面印刷	両面印刷
レターヘッド、印刷済み用紙、穴あき用紙	下向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット	上向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット
		

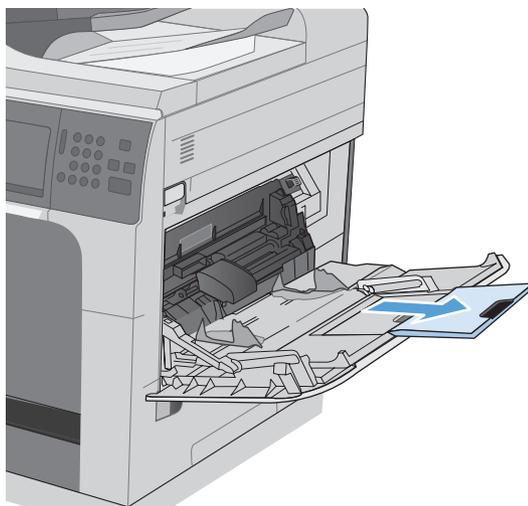
トレイ 1 にセットする

⚠ 注意： 紙詰まりを避けるために、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したり、トレイ 1 から用紙を取り除いたりしないでください。

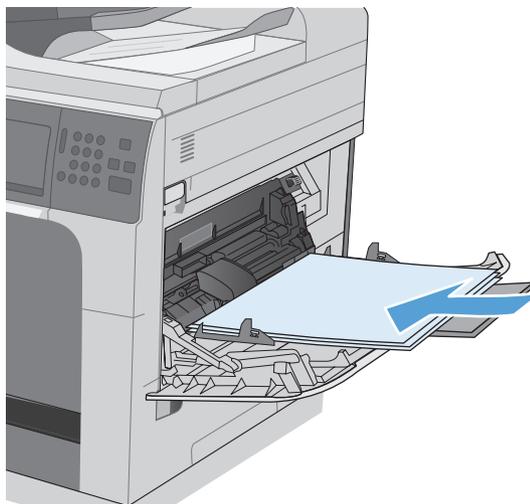
1. トレイ 1 を開きます。



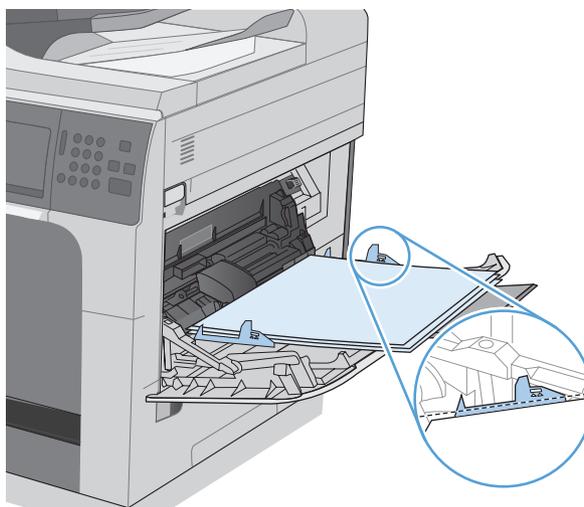
2. 用紙をサポートするためのトレイ拡張部を引き出し、両側のガイドを用紙サイズに合わせます。



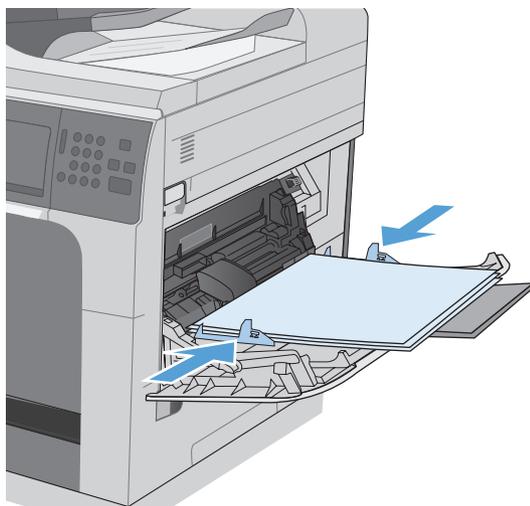
3. トレイに用紙をセットします。



4. 用紙がガイドのタブの下部に収まり、用紙レベルインジケータを越えていないことを確認します。



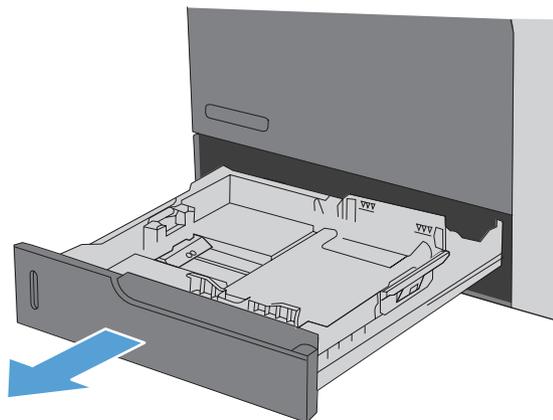
5. 両側のガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。



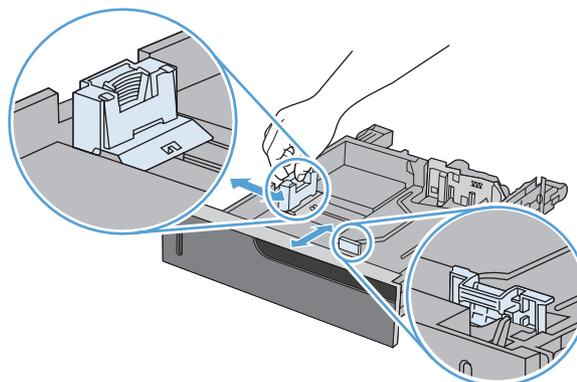
トレイ 2 をセットして、オプション トレイ 3、4 および 5 に標準サイズの用紙をセットする

1. トレイを引き出します。

注記： プリンタの使用中にトレイを引き出さないでください。



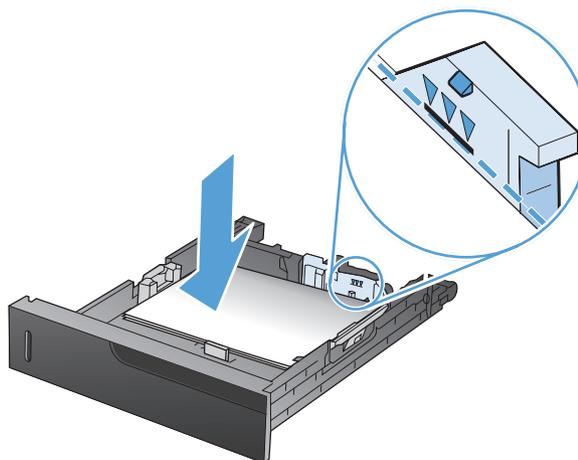
2. 縦方向用紙ガイドと横方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。



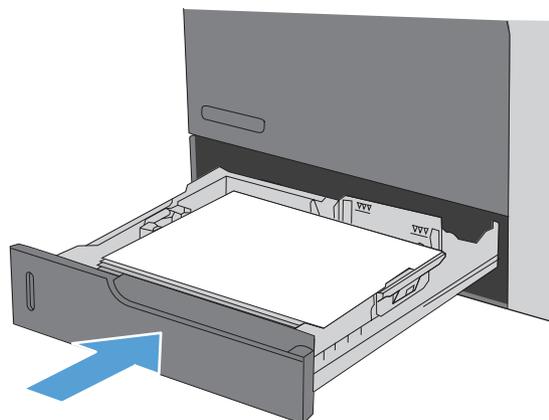
3. トレイに用紙をセットします。ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

注記： トレイに用紙を入れすぎないでください。紙詰まりの原因となります。用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。

注記： トレイを正しく調整しないと、印刷中にエラーメッセージが表示される場合や紙詰まりが発生する場合があります。



4. トレイを閉めます。

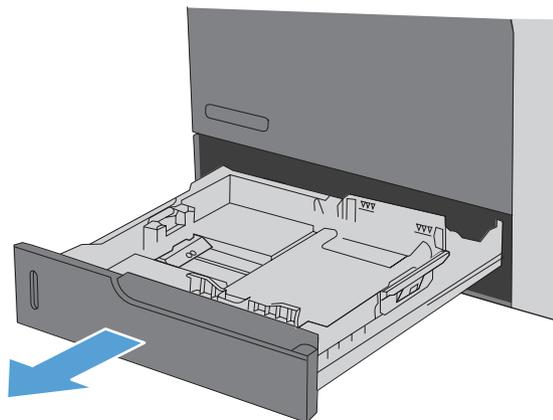


5. コントロール パネルに、トレイにセットされた用紙のタイプとサイズが表示されます。設定が正しくない場合は、コントロール パネルの指示に従い、サイズまたはタイプを変更します。

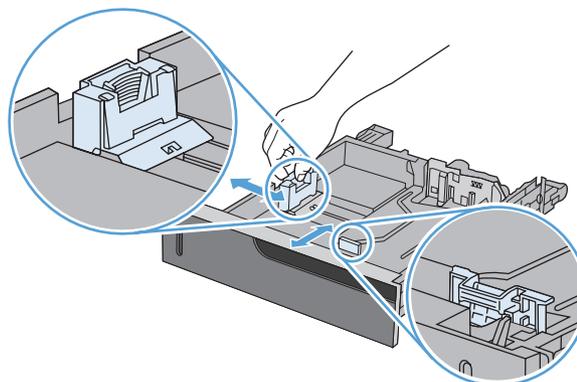


トレイ 2 をセットして、オプション トレイ 3、4 および 5 にカスタム サイズの用紙をセットする

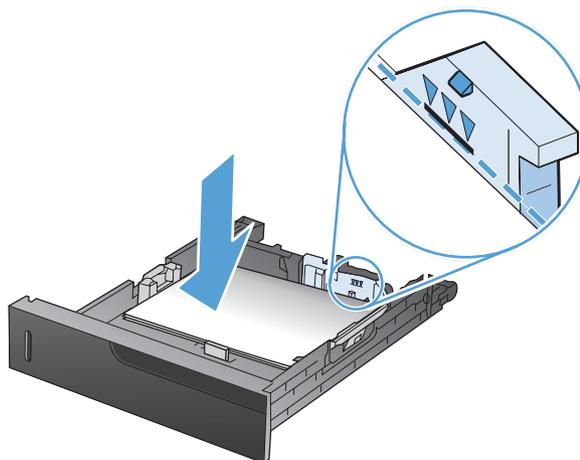
1. トレイを引き出します。



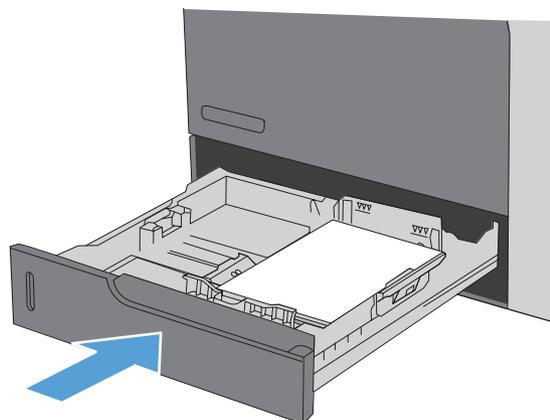
2. 縦方向用紙ガイドと横方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。



3. トレイに用紙をセットします。ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

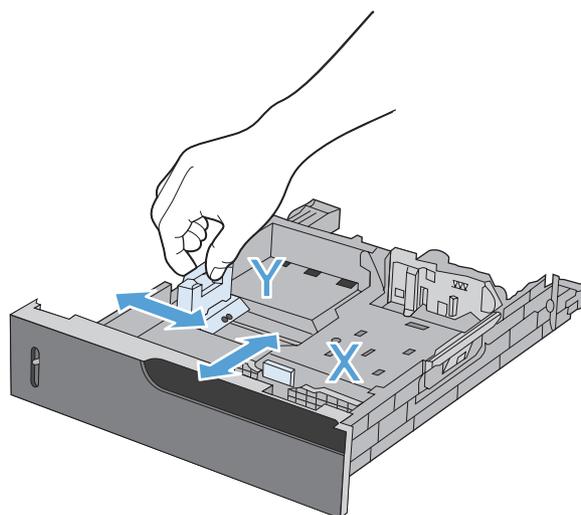


4. トレイを閉めます。



5. 用紙サイズとタイプの設定を促すメッセージがコントロールパネルに表示されます。[カスタム] 設定を選択し、カスタム用紙サイズの X と Y の寸法を設定します。

注記： X と Y の寸法を判断するには、用紙トレイのラベルや次の図を参照してください。



トレイを設定する

以下の場合、トレイの用紙タイプとサイズの設定を求めるメッセージが自動的に表示されます。

- トレイに用紙をセットしたとき
- プリンタドライバまたはソフトウェアプログラムを介して印刷ジョブに特定のトレイまたは用紙タイプを指定したが、トレイが印刷ジョブの設定に合わせて設定されていないとき

 **注記:** [任意のサイズ] 用紙サイズおよび [任意のタイプ] 用紙タイプに設定したトレイ 1 から印刷する場合は、このメッセージは表示されません。この状況で、印刷ジョブでトレイが指定されていない場合、印刷ジョブの用紙サイズおよびタイプの設定がトレイ 1 にセットされている用紙と一致していなくても、トレイ 1 から印刷が実行されます。

用紙をセットするときにトレイを設定する

1. トレイに用紙をセットします。トレイ 2、3、4、または 5 を使用している場合は、トレイを閉めます。
2. トレイ設定メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをタッチして検出されたサイズおよびタイプを受け入れるか、[変更] ボタンをタッチして、別のサイズまたはタイプを選択します。
4. 正しいサイズとタイプを選択して、[OK] ボタンをタッチします。

印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する

1. ソフトウェアプログラムで、ソーストレイ、用紙サイズ、および用紙タイプを指定します。
2. プリンタに印刷ジョブを送信します。
トレイを設定する必要がある場合は、トレイ設定メッセージが表示されます。
3. 指定されたタイプとサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。
4. [OK] ボタンをタッチして検出されたサイズおよびタイプを受け入れるか、[変更] ボタンをタッチして、別のサイズまたはタイプを選択します。
5. 正しいサイズとタイプを選択して、[OK] ボタンをタッチします。

コントロールパネルを使用してトレイを設定する

設定を求めるメッセージが表示されない場合でも、トレイの用紙タイプとサイズを設定することができます。

1. [ホーム] 画面の [トレイ] ボタンをタッチします。
2. 設定するトレイの行をタッチして、[変更] ボタンをタッチします。
3. オプションのリストから用紙サイズと用紙タイプを選択します。
4. [OK] ボタンをタッチして選択内容を保存します。

ソース、タイプ、またはサイズ別に用紙を選択する

Microsoft Windows オペレーティング システムでは、3 種類の設定が、印刷ジョブの送信時にプリンタ ドライバがメディアを引き出す方法に影響します。ほとんどのソフトウェア プログラムで、ソース、タイプ、および サイズ の設定が [ページ設定]、[印刷]、または [印刷のプロパティ] ダイアログ ボックスに表示されます。これらの設定を変更しない限り、デフォルト設定に基づいて自動的にトレイが選択されます。

ソース

ソース別に印刷するには、用紙を引き出す特定のトレイを選択します。指定したトレイにセットされている用紙のタイプやサイズが印刷ジョブに適していない場合は、その印刷ジョブに適したタイプまたはサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。トレイに適切な用紙をセットすると、自動的に印刷が開始します。

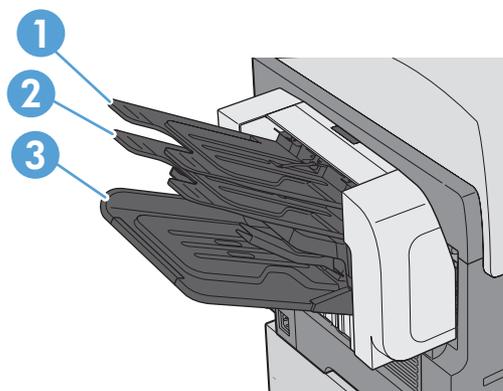
タイプとサイズ

- 用紙のタイプまたはサイズを指定して印刷すると、指定したタイプやサイズのメディアがセットされているトレイから印刷が行われます。
- ソースを選択する代わりにタイプを指定して用紙を選択すると、特殊用紙を誤って使用することの防止に役立ちます。
- 間違った設定を使用すると、満足な印刷品質が得られないことがあります。ラベル紙や OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ず **タイプ** を指定して印刷してください。
- 可能であれば、封筒はタイプまたはサイズ別に印刷してください。
- タイプまたはサイズを指定して印刷するには、[ページ設定] ダイアログ ボックス、[印刷] ダイアログ ボックス、または [印刷のプロパティ] ダイアログ ボックスからタイプまたはサイズを選択します (どのダイアログ ボックスを使用するかは、ソフトウェア プログラムによって異なります)。
- 特定のタイプまたはサイズの用紙で頻繁に印刷する場合は、適切なトレイをそのタイプまたはサイズに設定しておきます。そうすれば、印刷時にそのタイプまたはサイズを選択すると、自動的に該当トレイから印刷されます。

排紙ビンを選択する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)

印刷、コピー、およびファックスそれぞれに異なる排紙ビンを使用するようにプリンタを設定できます。また、各ジョブに関連付けられているユーザー名に従ってジョブを並べ替えたり、すべてのジョブが下部のビンから上部のビンに出力されるように、プリンタを設定することもできます。

 **注記：** プリンタ ドライバで排紙ビンを選択することもできます。プリンタ ドライバでの設定値は、コントロール パネルでの設定値よりも優先されます。



1	上部左ビン
2	中央左ビン
3	下部左ビン

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] メニューをタッチします。
2. 次の各メニューを開きます。
 - [ステイプラ/スタッカの設定](#)
 - [動作モード](#)
3. プリンタの機能に従ってジョブを並べ替えて各種のビンに排出するよう、プリンタを設定するには、[ファンクション セパレータ] を選択します。[OK] ボタンをタッチします。

 **注記：** また、[メールボックス] オプションを選択して、ジョブに関連付けられているユーザー名に従ってジョブを並べ替えることもできます。

[スタッカ] オプションを選択して、すべてのジョブを最初に下部の排紙ビンに出力します。下部のビンがいっぱいになると、ジョブは、中央のビンの後、上部のビンに出力されます。

4. コピー ジョブ用のビンを設定するには、以下のメニューを開き、オプションのリストからビンを選択します。

- 管理
- 設定のコピー
- 排紙ビン

5. 受信ファックスの印刷用のビンを設定するには、以下のメニューを開きます。

- 管理
- ファックス設定
- ファックスの受信設定
- デフォルト ジョブ オプション
- 排紙ビン

オプションのリストからビンを選択します。

 **注記：** ステイプル留めのジョブはすべて常に下部のビンに出力されます。

注記： 印刷ジョブに対しては、プリンタ ドライバで排紙ビンを選択します。

7 サプライ品の管理

- [プリント カートリッジ情報](#)
- [サプライ品](#)
- [プリント カートリッジの管理](#)
- [交換手順](#)
- [サプライに関する問題の解決](#)

プリント カートリッジ情報

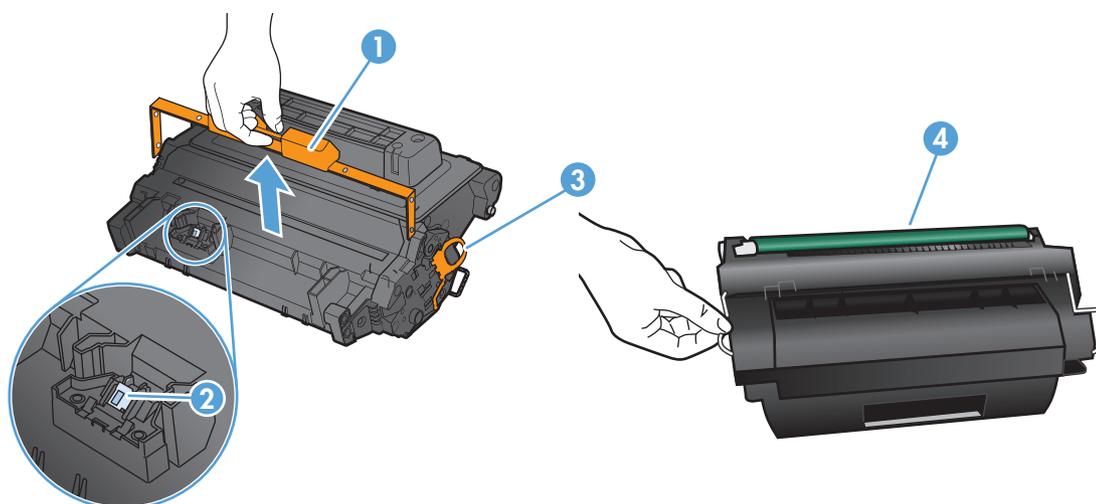
機能	説明
製品番号	<ul style="list-style-type: none">標準容量のプリント カートリッジ (黒): CE390A 型番 : 90A大容量プリント カートリッジ (黒): CE390X 型番 : 90X
ユーザー補助	<ul style="list-style-type: none">プリント カートリッジは、片手で着脱可能。
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none">プリント カートリッジは、HP Planet Partners 返却リサイクル プログラムを利用してリサイクルしてください。

サプライ品の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。最新のユーザー ガイド情報については、www.hp.com/support/ljcp1520series_manuals をご覧ください。

サプライ品

プリント カートリッジ



1	プラスチック シールド
2	プリント カートリッジのメモリ タグ
3	トナー密封テープのタブ
4	イメージング ドラム

プリント カートリッジの管理

プリント カートリッジの設定

プリント カートリッジが推定寿命に達したときの印刷

- プリント カートリッジが推定寿命に近づくと、「黒のカートリッジの残量が少なくなっています」というメッセージが表示されます。
- プリント カートリッジが推定寿命に達すると、「黒のカートリッジの残量が非常に少なくなっています」というメッセージが表示されます。

推定寿命に達したサプライ品を使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。

HP のサプライ品が「残量ごくわずか」に達すると、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。

カートリッジを再分散させても、印刷品質が使用に耐えるレベルにならない場合には、プリントカートリッジを交換します。トナーを再分散させるには、プリンタからトナー カートリッジを取り出し、カートリッジを水平方向に前後にゆっくりと振ります。図解については、カートリッジの交換手順を参照してください。トナー カートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。

コントロール パネルでの [非常にわずかの設定] オプションの有効化または無効化

このデフォルト設定はいつでも有効または無効にできます。また、新しいプリント カートリッジを取り付けたときに有効にし直す必要はありません。

1. コントロール パネルの [ホーム] 画面で、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - サプライ品の管理
 - サプライ品の設定
 - カートリッジ (黒)
 - 非常にわずかの設定
3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
 - プリント カートリッジの残量が非常にわずかであるという警報が表示されても、印刷を続けるようプリンタを設定するには、[継続] オプションを選択します。
 - プリント カートリッジを交換するまで印刷 (ファックスの印刷を含む) を停止するようプリンタを設定するには、[停止] オプションを選択します。
 - 印刷 (ファックスの印刷を含む) を停止してプリント カートリッジの交換を求めるメッセージを表示するようプリンタを設定するには、[続行を要求] オプションを選択します。表示されるメッセージに確認応答すると、印刷を続行できます。

プリンタで [停止] オプションを設定すると、停止中にメモリの容量よりも多くのファックスを受信した場合、新しいカートリッジの取り付け後にファックスが印刷されないリスクがあります。

プリンタで [続行を要求] オプションを設定すると、メッセージへの確認応答の待機中にメモリの容量よりも多くのファックスを受信した場合、新しいカートリッジの取り付け後にファックスが印刷されないリスクがあります。

HP のサプライ品が「非常にわずか」に達すると、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。印刷不良やカートリッジに問題が発生していても、[非常にわずかの設定] 項目を [継続] に設定して HP サプライ品を使用している場合は、HP プリント カートリッジの保証書条項における材料または製造上の瑕疵にはあたらぬものとみなされます。

サプライ品の保管とリサイクル

サプライ品のリサイクル

HP 純正のプリント カートリッジをリサイクルするには、新しいカートリッジが入っていた箱に使用済みのカートリッジを入れます。リサイクルするために、同封の返却ラベルを使用して使用済みのサプライ品を HP に返送します。詳細については、新しい HP サプライ品に付属しているリサイクルガイドを参照するか、www.hp.com/recycle にアクセスしてください。

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。

⚠ 注意： 損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

HP 製以外の印刷カートリッジに関する規定

新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用はお勧めできません。

📄 注記： HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

HP の偽造防止 Web サイト

HP プリント カートリッジを取り付けて、カートリッジが HP 製ではないことを通知するメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。HP 社はそのカートリッジが純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

以下の点にお気付きの場合は、お使いのプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- サプライ品ステータス ページに、HP 製ではないサプライ品が取り付けられていることが示されている。
- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジが通常のものとは違って見える (たとえば、パッケージが HP 製のものと異なるなど)。

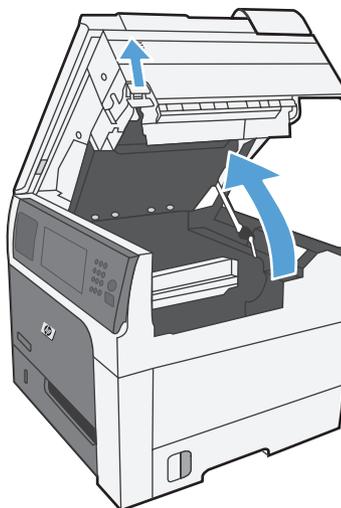
交換手順

プリント カートリッジを交換する

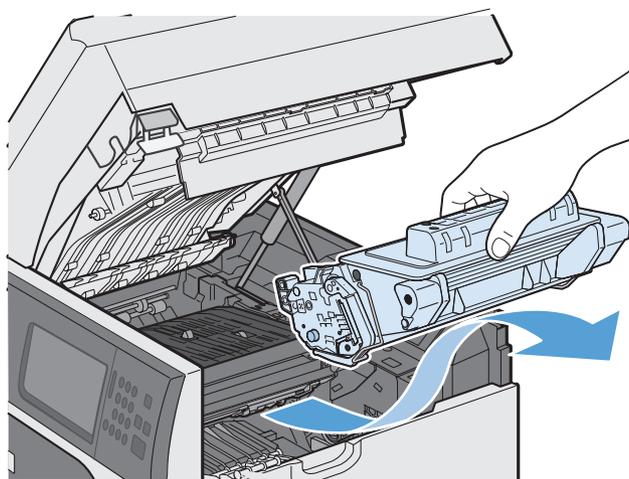
△ 注意： トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗濯してください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

📖 注記： 使用済みプリント カートリッジのリサイクルの詳細は、プリント カートリッジの箱に記載されています。

1. 上部カバーのリリース レバーを引いて、上部カバーを開きます。



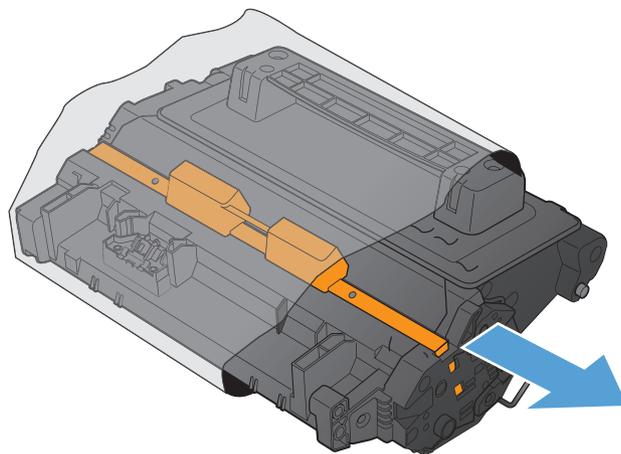
2. 使用済みプリント カートリッジのハンドルをつかんで引き出します。



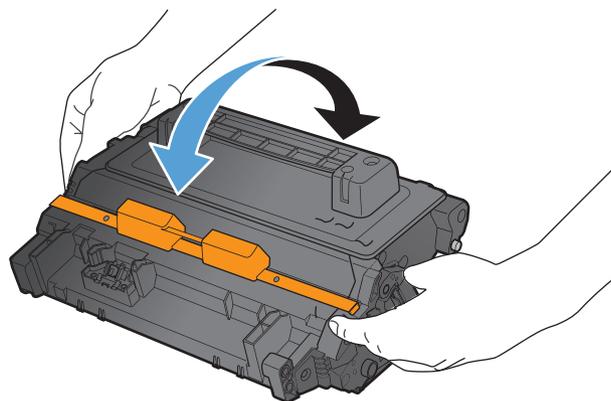
3. 使用済みプリント カートリッジを、保護用の袋に入れて保管します。使用済みプリント カートリッジのリサイクルの詳細は、プリント カートリッジの箱に記載されています。

4. 保護用の袋から新しいプリント カートリッジを取り出します。

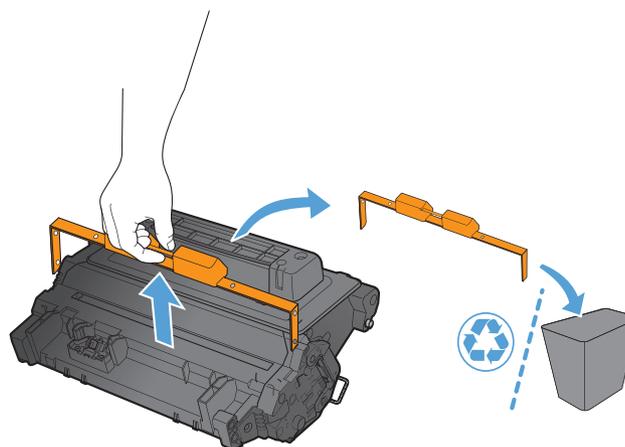
注記： プrint カートリッジのメモリ タグ (1) を損傷しないように注意してください。



5. プrint カートリッジの両側をつかみ、トナーがPrint カートリッジ全体に行きわたるよう 5 ~ 6 回静かに振りまわります。

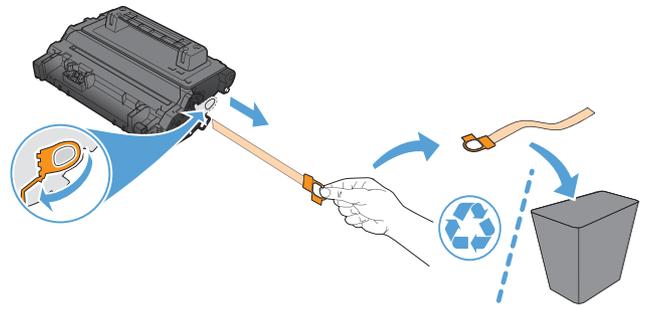


6. 新しいPrint カートリッジの下部についているオレンジ色のプラスチック製搬送用ロックを取り外します。

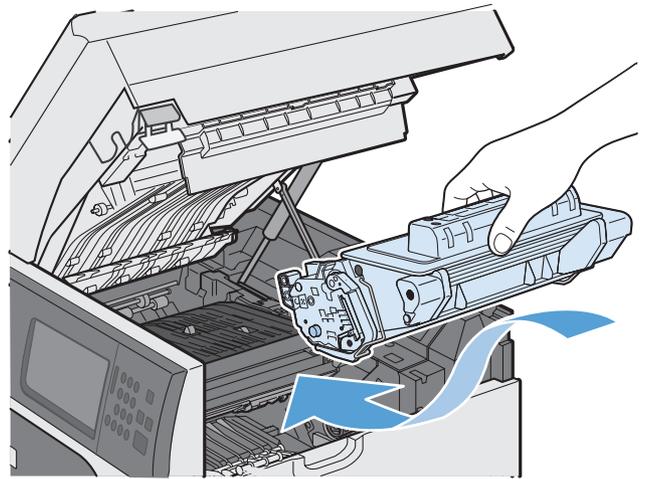


7. トナー封入テープを取り外すため、オレンジ色のタブを引っ張ります。封入テープをカートリッジから完全に取り外します。

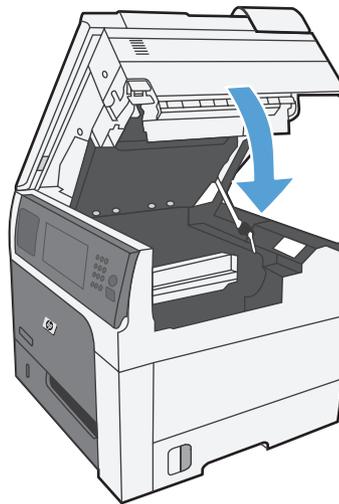
注意： 長時間光に当てないでください。



8. プリント カートリッジをスロットに合わせて、カチッと音がするまで押し込みます。

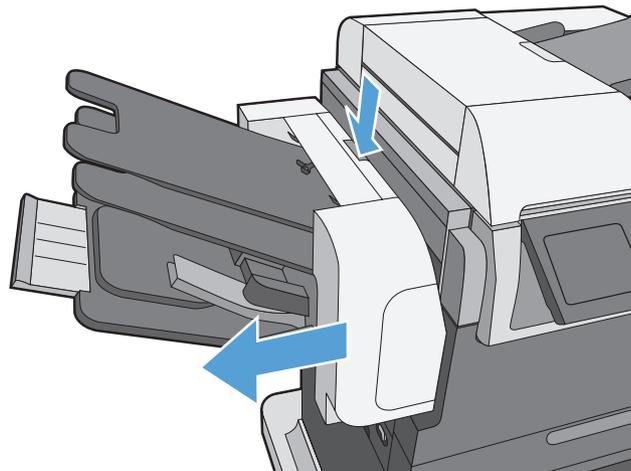


9. 上部カバーを閉じます。

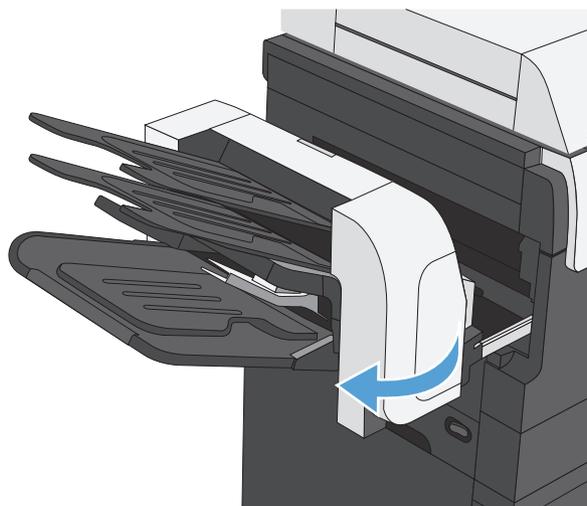


ステイプル カートリッジを交換する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)

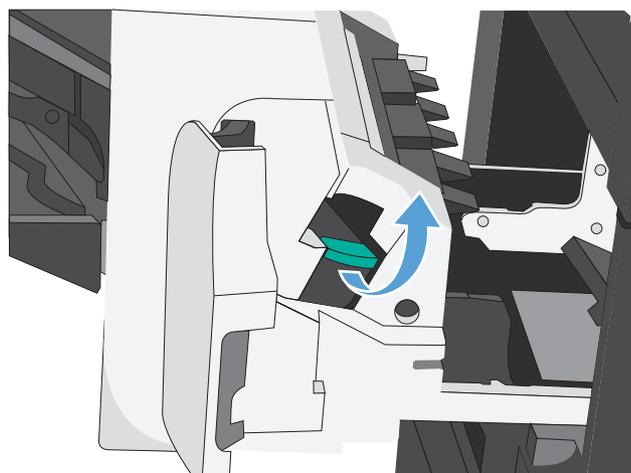
1. リリース ラッチを押し、ステイプラ/スタッカをプリンタから離すようにスライドさせます。



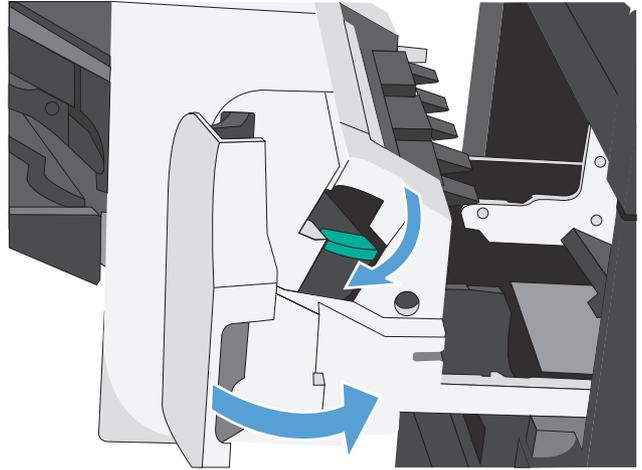
2. ステイプル カートリッジのカバーを開きます。



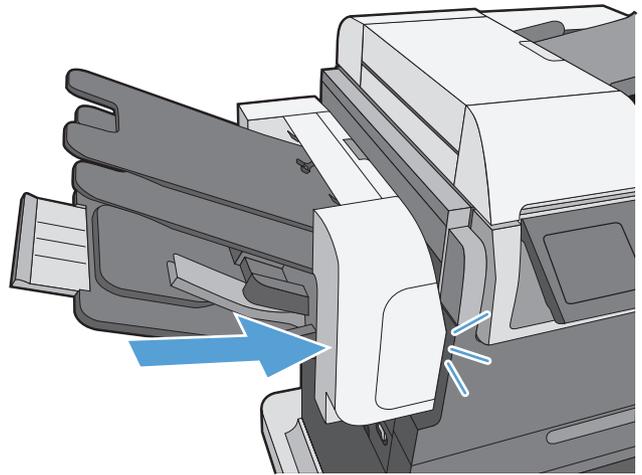
3. ステイプル カートリッジの緑のハンドルを持ち上げ、ステイプラから古いステイプル カートリッジを引き出して取り外します。



4. 新しいステイプル カートリッジを差し込み、カチッという音がするまで押し下げ、ステイプル カートリッジのカバーを閉じます。



5. ラッチが所定の位置に戻るまで、ステイプラ/スタッカをプリンタ側にスライドさせます。



サプライに関する問題の解決

プリント カートリッジの確認

プリント カートリッジを確認し、次のいずれかの問題が発生している場合は、必要に応じてカートリッジを交換してください。

- 印刷が薄すぎるか、かすれる。
- 印刷されたページに一部印刷されていない領域がある。
- 印刷されたページに筋や帯が生じている。

 **注記：** 下書きまたは EconoMode 印刷設定を使用している場合は、印刷が薄くなることがあります。エコノモードを常に使用することはお勧めしません。エコノモードを常に使用すると、プリンタカートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、プリント カートリッジの交換を検討してください。

プリント カートリッジを交換する必要があると判断した場合は、サプライ品ステータス ページを印刷し、HP 純正プリント カートリッジの製品番号を確認してください。

プリント カートリッジのタイプ 問題を解決する手順

補充または再生プリント カートリッジ

Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のサプライ品の使用は推奨していません。HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。補充または再生プリント カートリッジを使用していて印刷品質に不満がある場合は、HP 純正カートリッジと交換してください。

HP 純正のプリント カートリッジ

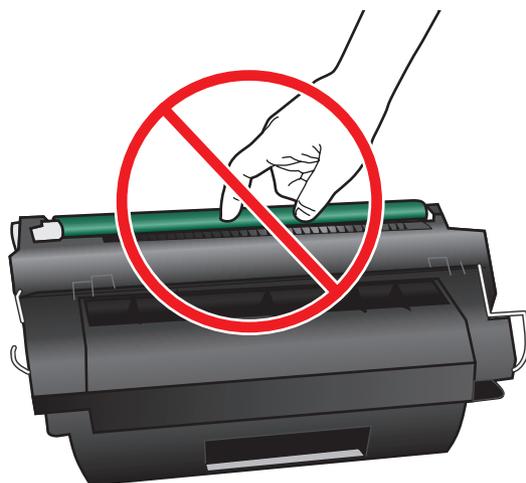
1. カートリッジが予測寿命に達すると、プリンタのコントロール パネルまたはサプライ品ステータス ページに [非常にわずか] のステータスが表示されます。適切な印刷品質が得られなくなったら、プリント カートリッジを交換してください。
2. プリント カートリッジに損傷がないか目視で検査します。次の手順を参照してください。必要に応じてプリント カートリッジを交換してください。
3. 印刷されたページに繰り返し同じ間隔で斑点が現れる場合は、クリーニング ページを印刷します。それでも問題が解決されない場合は、本書の「しみが繰り返し発生する場合」の情報を活用して問題の原因を特定してください。

プリント カートリッジが損傷していないかどうかを検査する

1. プリンタからプリント カートリッジを取り外し、封入テープが完全にはがされているかどうかを確認します。
2. メモリ チップが損傷していないかどうかを確認します。

3. プリント カートリッジの下部にある緑のイメージ ドラムの表面を調べます。

⚠ 注意： プリント カートリッジの下部にある緑のローラー (イメージ ドラム) に触らないでください。イメージング ドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。



4. イメージ ドラムに傷や指紋などの損傷が見つかった場合は、プリント カートリッジを交換します。

5. イメージ ドラムが損傷しているように見えない場合は、プリント カートリッジを静かに数回振り、再度取り付けます。数ページ プリントし、問題が解決したかどうかを確認します。

しみが繰り返し発生する場合

ページ上、欠陥が定期的に繰り返される場合は、定規を使用して原因と欠陥を識別します。定規の一番上を最初の欠陥に置きます。次に発生する欠陥の横のマークは、どのコンポーネントが交換を必要としているかを示します。

汚れの間隔	汚れの原因となるプリンタの部品
37.7mm	プライマリ チャージ ローラー
47mm	トランスファー ローラー
63mm	現像ローラー トレイ 1 ピックアップ ローラー
79mm	トレイ 1 フィード ローラー トレイ 1 セパレータ ローラー トレイ 2 フィード ローラー トレイ 2 ピックアップ ローラー トレイ 2 セパレータ ローラー
94mm	フューザのスリーブ ユニットまたは圧力ローラー 感光ドラム

サプライ品ステータス ページの印刷

サプライ品ステータス ページでは、プリント カートリッジの残りの推定寿命が示されます。また、交換プリント カートリッジを注文できるように、HP 純正のプリント カートリッジの製品番号、およびその他の有用な情報も表示されます。

- 以下のメニューを開きます。
 - 管理
 - レポート
 - 設定/ステータス ページ
- [[サプライ品のステータス](#)] (サプライ品ステータス) を選択し、[印刷] (印刷) ボタンをタッチしてレポートを印刷します。

コントロール パネルに表示されるサプライ品関連メッセージの意味を理解する

次の表は、サプライ品のステータス メッセージに関する重要な情報を示しています。

表 7-1 サプライ品のステータス メッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
10.XX.YY サプライ品のメモリ エラー	<p>プリンタが、少なくとも 1 つのプリント カートリッジのメモリ チップを読み取りまたは書き込みできないか、プリント カートリッジにメモリ チップが見当たりません。</p> <p>XX 値</p> <ul style="list-style-type: none">00 = メモリ チップのメモリ エラー10 = メモリ チップが見つかりません <p>YY 値</p> <ul style="list-style-type: none">00 = 黒プリント カートリッジ	プリント カートリッジを付け直すか、新しいプリント カートリッジを取り付けます。
カートリッジ (黒) 残量ごくわずか	サプライ品の残量が非常に少なくなったとき、プリンタに表示されます。実際のプリント カートリッジの寿命は異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でプリント カートリッジを交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、プリント カートリッジを交換してください。取り付けられているカートリッジが推定寿命に到達したときに備えて、予備カートリッジをご用意ください。

表 7-1 サプライ品のステータス メッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
カートリッジ (黒) 残量少	カートリッジの残量が少なくなったとき、プリンタに表示されます。実際のプリントカートリッジの寿命は異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でプリントカートリッジを交換する必要はありません。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、プリントカートリッジを交換してください。取り付けられているカートリッジが推定寿命に到達したときに備えて、予備カートリッジをご用意ください。
サプライ品に互換性がありません	このプリンタ用に設計されていないプリントカートリッジまたはサプライ品が取り付けられています。これらのサプライ品が取り付けられた状態では印刷できません。	互換性のないサプライ品を識別するには、 [サプライ品] ボタンをタッチします。このプリンタ用に設計されたサプライ品を取り付けてください。
サプライ品を交換してください	2 つ以上のサプライ品の推定寿命が切れています。実際の寿命は、推定とは異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにサプライ品を交換する必要はありません。HP サプライ品が推定寿命に達すると、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	交換する必要があるサプライ品を確認するには、 [サプライ品] ボタンをタッチします。 または、 [サプライ品の管理] メニューを使用して、印刷を続行するようにプリンタを設定します。
サプライ品残量ごくわずか	このメッセージは、2 つ以上のサプライ品が下限値に達すると表示されます。残量が少なくなったサプライ品を確認するには、 [サプライ品] ボタンをタッチします。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でサプライ品を交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	印刷を続行するには、サプライ品を交換するか、コントロールパネルの [サプライ品の管理] メニューを使用して、プリンタを再設定します。
サプライ品残量少	このメッセージは、2 つ以上のサプライ品が下限値に近づく则表示されます。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。残量が少なくなったサプライ品を確認するには、 [サプライ品] ボタンをタッチします。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でサプライ品を交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	印刷を続行するには、サプライ品を交換するか、コントロールパネルの [サプライ品の管理] メニューを使用して、プリンタを再設定します。
サポート対象外のサプライ品が取り付けられています	プリントカートリッジが、他の HP プリンタ用です。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、プリントカートリッジを交換してください。

表 7-1 サプライ品のステータス メッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
フューザ キットを交換してください	フューザ キットの残量が推定寿命に達すると、プリンタに表示されます。実際の寿命は、推定とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られなくなったときに取り付けられるように、交換用のフューザ キットを用意してください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにフューザ キットを交換する必要はありません。フューザ キットが推定寿命に達すると、そのフューザ キットに対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	<p>注意: プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 右のドアを開きます。 2. フューザの両側にある青いハンドルをつかんでまっすぐに引き、フューザを取り外します。 3. 新しいフューザを取り付けます。 4. 右のドアを閉じます。
フューザ キット残量ごくわずか	フューザ キットの残量が非常に少なくなっています。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でフューザ キットを交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、フューザ キットを交換してください。交換手順はフューザ キットに同梱されています。
フューザ キット残量少	フューザ キットの残量が少なくなっています。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用フューザ キットをご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でフューザ キットを交換する必要はありません。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、フューザ キットを交換してください。交換手順はフューザ キットに同梱されています。
フューザに互換性がありません	フューザが、このプリンタと互換性がありません。	<p>注意: プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 左扉を開きます。 2. 互換性のないフューザを取り外します。 3. 正しいフューザを取り付けます。 4. 左扉を閉じます。
黒カートリッジを交換してください	サプライ品の残量が推定寿命に達すると、プリンタに表示されます。実際の寿命は、推定とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られなくなったときに取り付けられるように、交換用のサプライ品を用意してください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにサプライ品を交換する必要はありません。HP サプライ品が推定寿命に達すると、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	<p>プリント カートリッジを交換します。</p> <p>または、[サプライ品の管理] メニューを使用して、印刷を続行するようにプリンタを設定します。</p>
使用済みのサプライ品が使用されています	プリント カートリッジは以前に使用されています。	HP 純正のサプライ品を購入した場合は、 www.hp.com/go/anticounterfeit をご覧ください。

8 印刷タスク

- [Windows で印刷ジョブをキャンセルする](#)
- [Windows での基本的な印刷タスク](#)
- [Windows でのその他の印刷タスク](#)
- [スリープ復帰時 USB 印刷](#)

Windows で印刷ジョブをキャンセルする

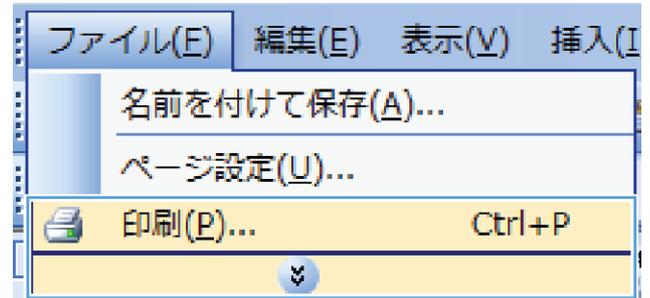
 **注記：** 印刷ジョブが印刷プロセスに入るまでにまだ時間がある場合、キャンセルできることがあります。

1. 印刷ジョブが現在進行中の場合は、次の手順に従ってジョブをキャンセルします。
 - a. コントロール パネルの 停止  ボタンを押します。
 - b. タッチスクリーンのリストから、削除するジョブをタッチし、[ジョブのキャンセル] ボタンをタッチします。
 - c. 削除の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをタッチします。
2. ソフトウェア プログラムまたは印刷キューから印刷ジョブをキャンセルすることもできます。
 - **ソフトウェア プログラム：** 通常は、しばらくの間コンピュータの画面に表示されるダイアログ ボックスで印刷ジョブをキャンセルできます。
 - **Windows プリント キュー：** 印刷ジョブがプリント キュー (コンピュータのメモリ) またはプリント スプーラで待機中の場合、そこでジョブを削除します。
 - **Windows XP、Windows Server 2003、または Windows Server 2008：** [スタート] メニューをクリックし、[設定]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。プリンタのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。
 - **Windows Vista：** [スタート] メニューをクリックし、[コントロール パネル]、[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックします。プリンタのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。
 - **Windows 7：** [スタート] メニューをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。プリンタのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。

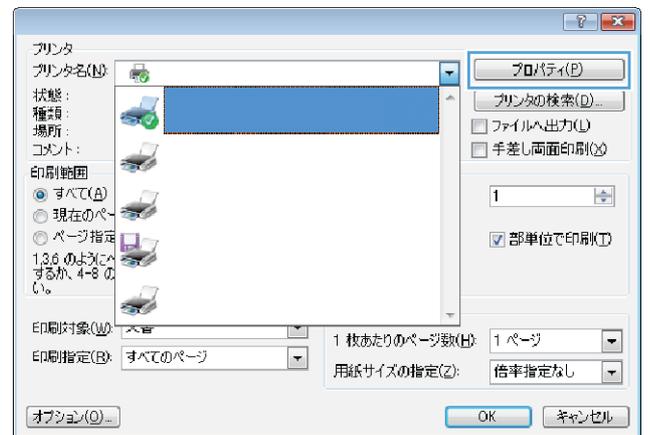
Windows での基本的な印刷タスク

プリンタ ドライバを開く (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。

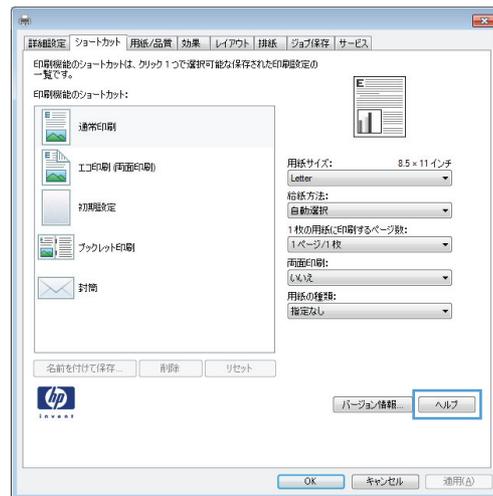


2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



印刷オプションのヘルプを見る (Windows の場合)

1. [ヘルプ] ボタンをクリックしてオンラインヘルプを開きます。



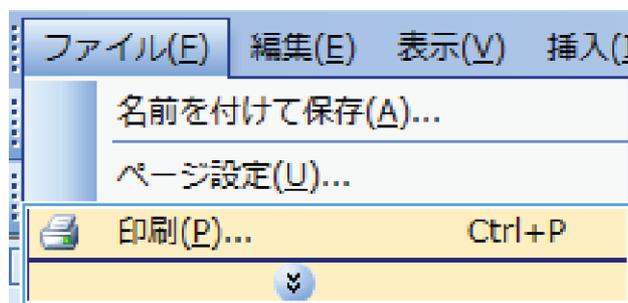
印刷部数の変更 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、部数を選択します。

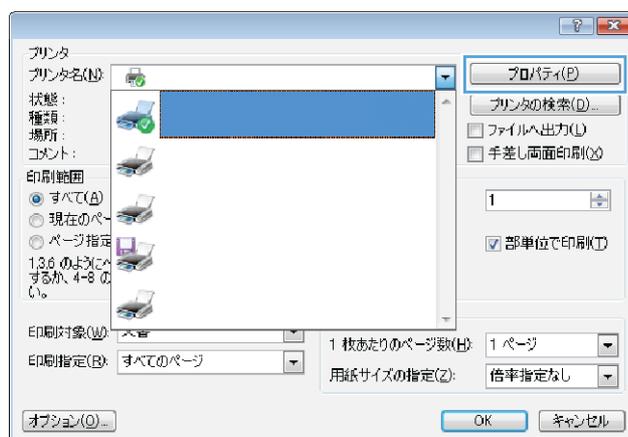
再利用が可能なユーザー定義の印刷設定を保存する (Windows の場合)

印刷機能のショートカットの使用 (Windows の場合)

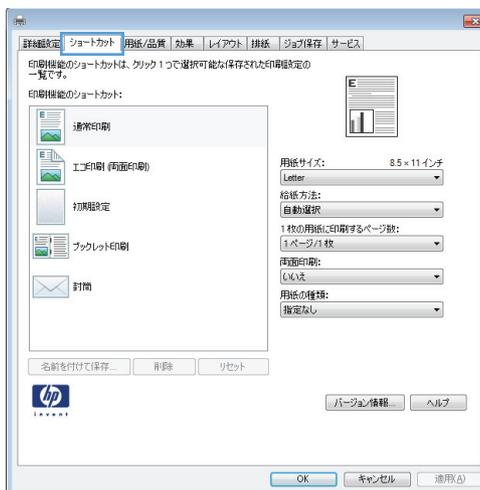
1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。



2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

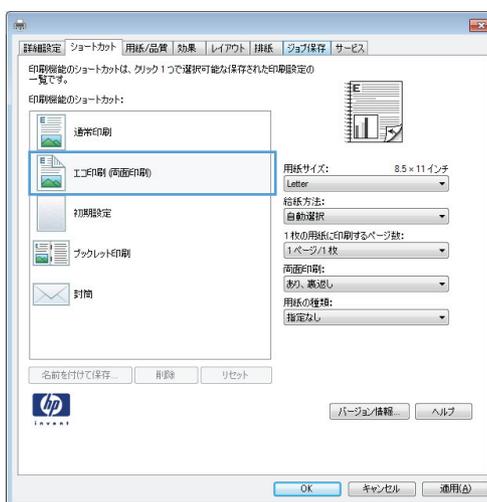


3. **【印刷機能のショートカット】** タブをクリックします。



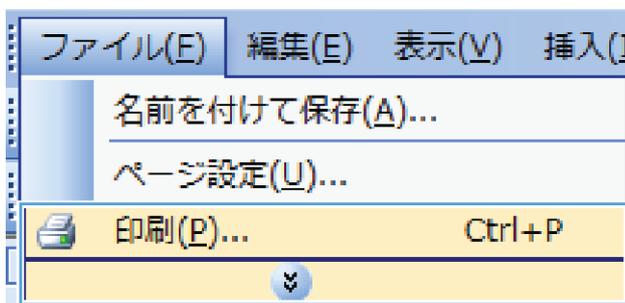
4. いずれかのショートカットを選択して、**【OK】** ボタンをクリックします。

注記： ショートカットを選択すると、プリンタドライバの他のタブで、対応する設定が変更されます。

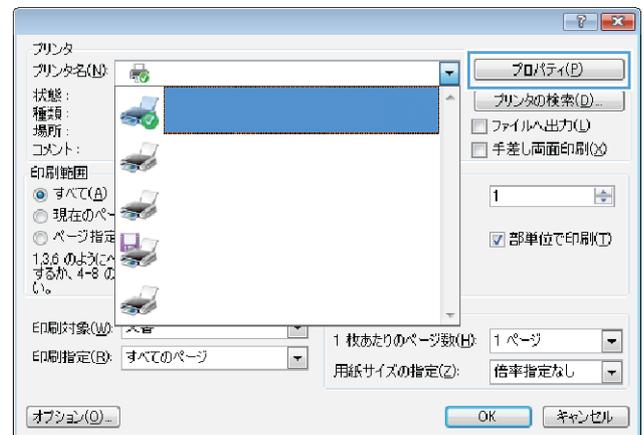


印刷機能のショートカットの作成

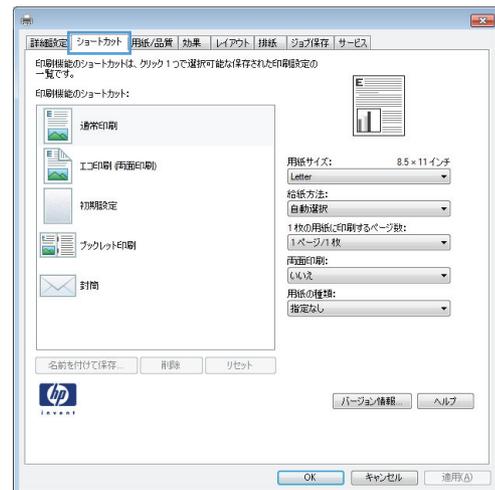
1. ソフトウェアプログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。



2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

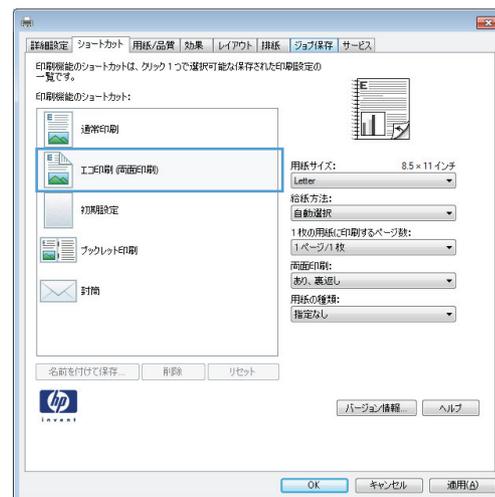


3. [印刷機能のショートカット] タブをクリックします。

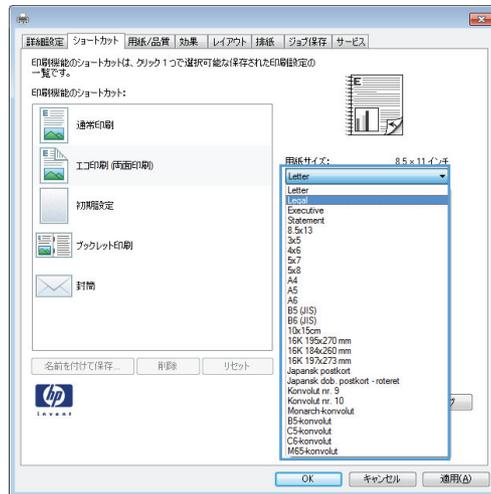


4. 既存のショートカットを基準として選択します。

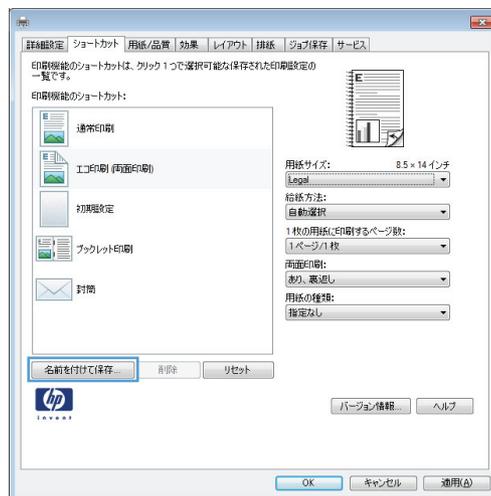
注記： ショートカットは、必ず画面の右側の設定を調整する前に選択してください。設定を調整してからショートカットを選択すると、調整内容はすべて失われます。



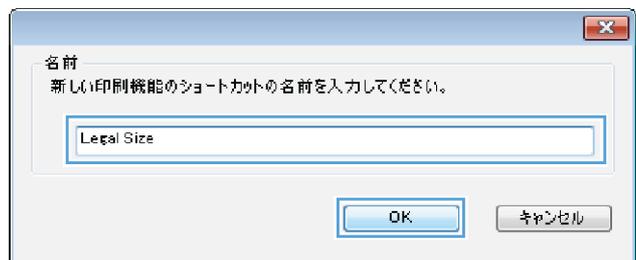
5. 新しいショートカットの印刷オプションを選択します。



6. [名前を付けて保存] ボタンをクリックします。



7. ショートカットの名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



印刷品質の向上 (Windows の場合)

ページ サイズの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【用紙サイズ】** ドロップダウン リストからサイズを選択します。

カスタム ページ サイズの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【カスタム】** ボタンをクリックします。
5. ユーザー定義サイズの名前を入力し、寸法を指定し、**【OK】** をクリックします。

用紙タイプの選択 (Windows の場合)

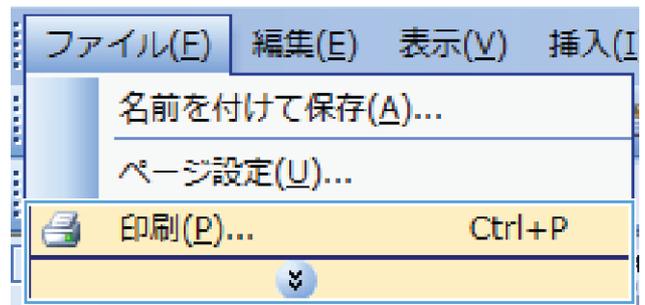
1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【用紙タイプ】** ドロップ ダウン リストで、**【詳細…】** オプションをクリックします。
5. **【用紙の種類 :】** オプションのリストを展開します。
6. 使用している用紙の説明として最も適切な用紙タイプのカテゴリを展開して、使用している用紙をクリックします。

用紙トレイの選択 (Windows の場合)

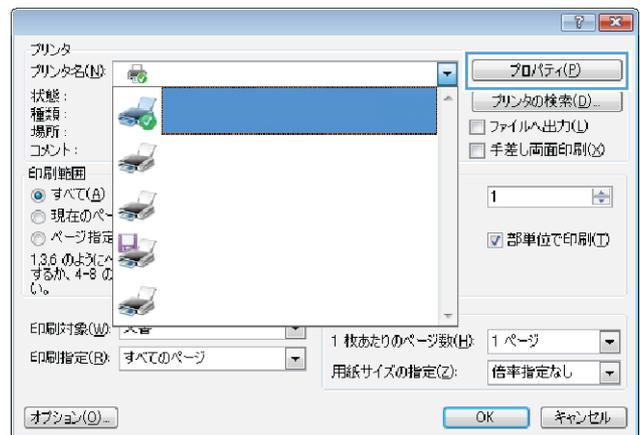
1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【給紙方法】** ドロップダウン リストからトレイを選択します。

両面に印刷する (両面印刷) (Windows の場合)

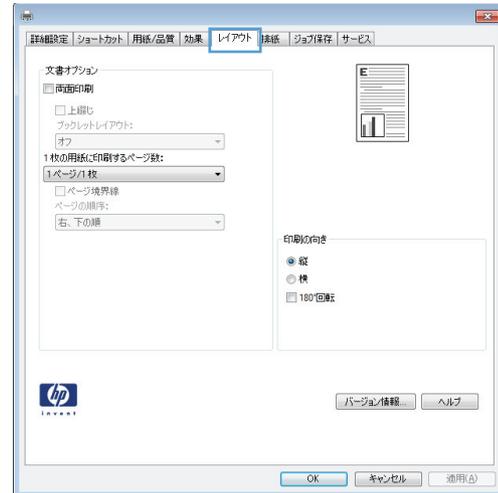
1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。



2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



3. **【レイアウト】** タブをクリックします。



4. **【両面印刷】** チェック ボックスをオンにします。**【OK】** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。



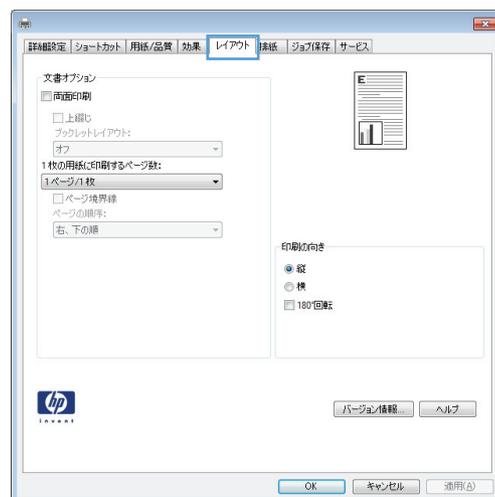
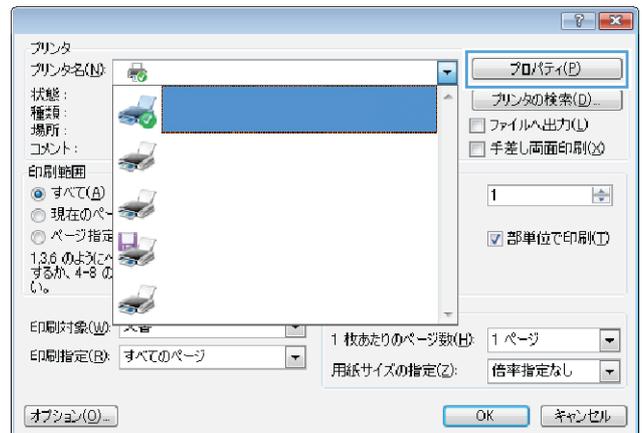
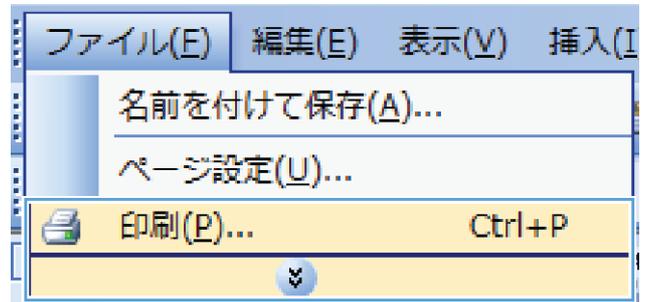
10x15cm (4x6 インチ) 用紙への印刷 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【用紙サイズ】** ドロップ ダウン リストで、**【4x6】** または **【10x15cm】** サイズを選択します。
5. **【給紙方法】** ドロップ ダウン リストで、**【トレイ 1】** オプションを選択します。
6. **【用紙タイプ】** ドロップ ダウン リストで、**【詳細…】** オプションをクリックします。

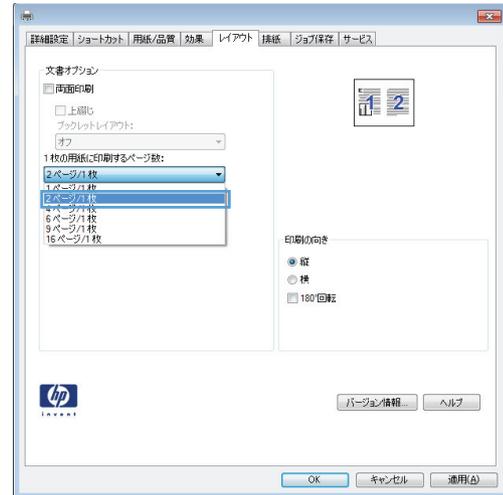
7. **【用紙の種類：】** オプションのリストを展開します。
8. **【フォト/表紙 176-220g】** 用紙タイプのリストを展開して、使用している用紙タイプを選択します。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する (Windows の場合)

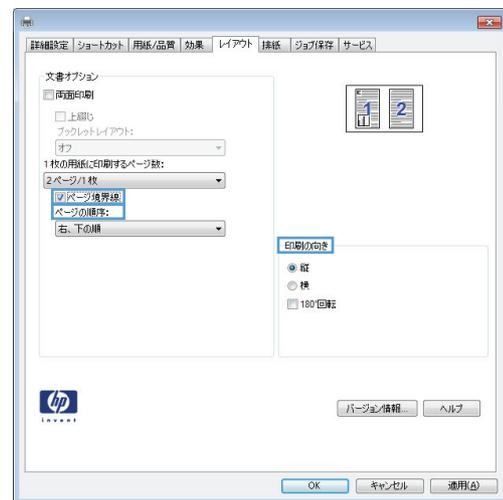
1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【レイアウト】** タブをクリックします。



4. **【用紙あたりのページ数】** ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

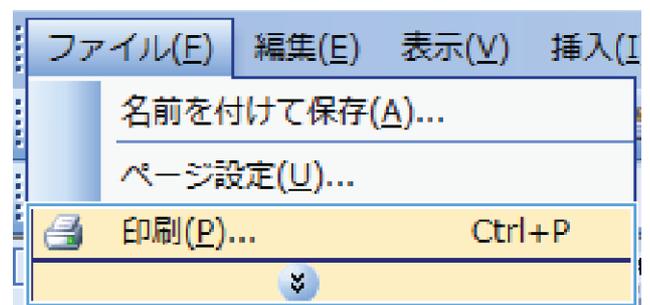


5. **【ページ境界線】**、**【ページ順序】**、および **【印刷の向き】** オプションで正しい項目を選択します。

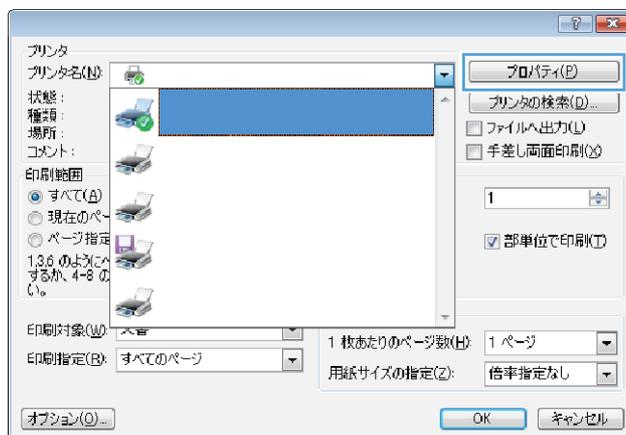


用紙の向きを選択する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。



2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



3. [レイアウト] タブをクリックします。



4. [印刷の向き] 領域で、[縦] または [横] オプションを選択します。

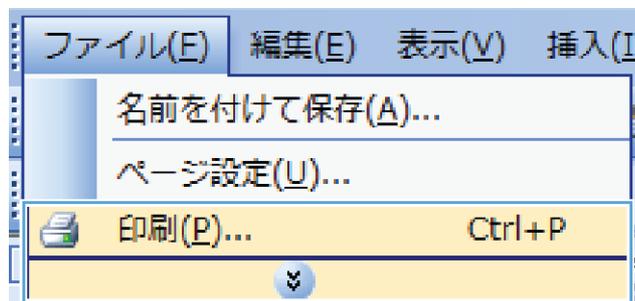
ページのイメージを上下逆に印刷するには、**[180°回転]** を選択します。



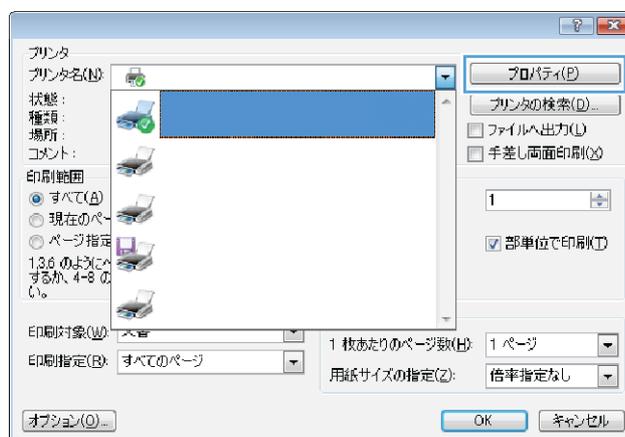
Windows でのその他の印刷タスク

レターヘッドやフォーム付きの用紙に印刷する (Windows の場合)

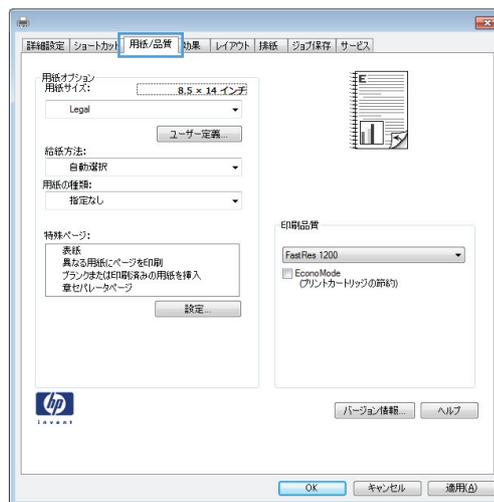
1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。



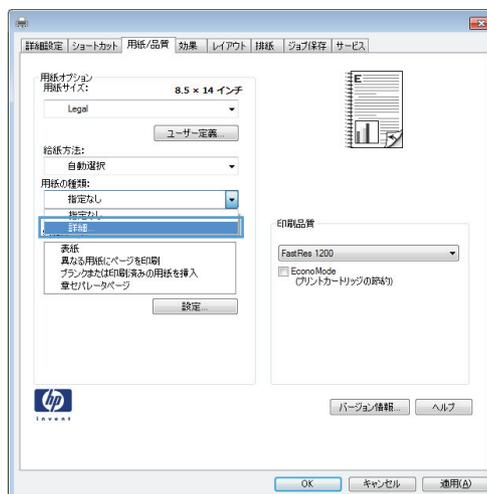
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



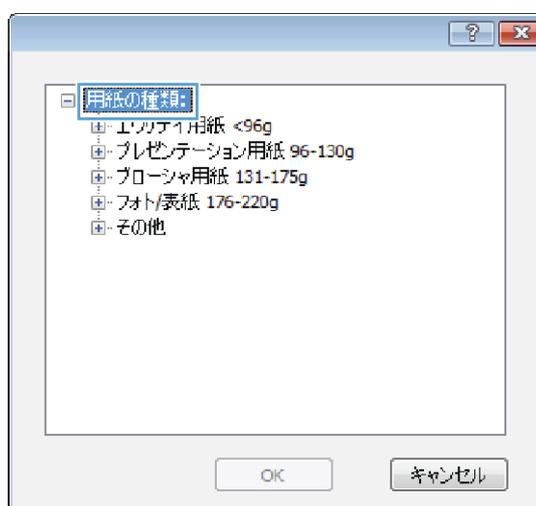
3. 【用紙/品質】タブをクリックします。



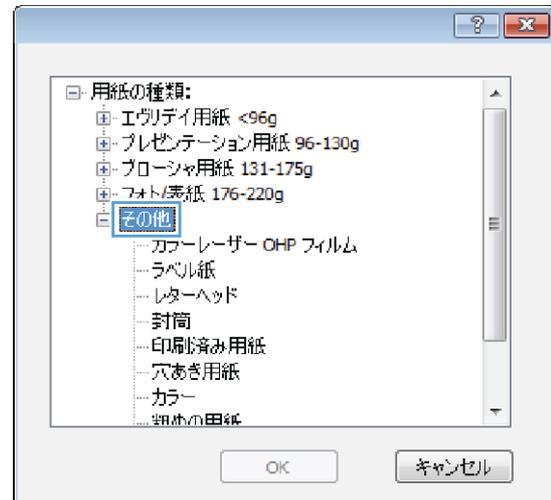
4. [用紙タイプ] ドロップ ダウン リストで、
[詳細...] オプションをクリックします。



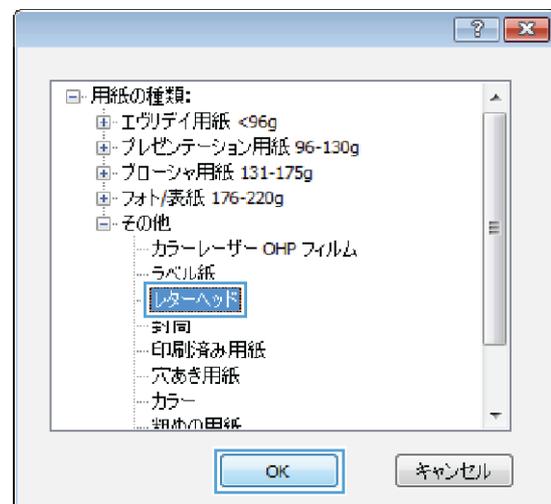
5. [用紙の種類:] オプションのリストを展開し
ます。



6. 【その他】 オプションのリストを展開します。

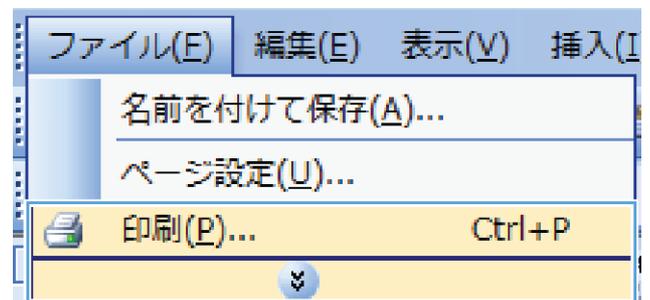


7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、【OK】 ボタンをクリックします。

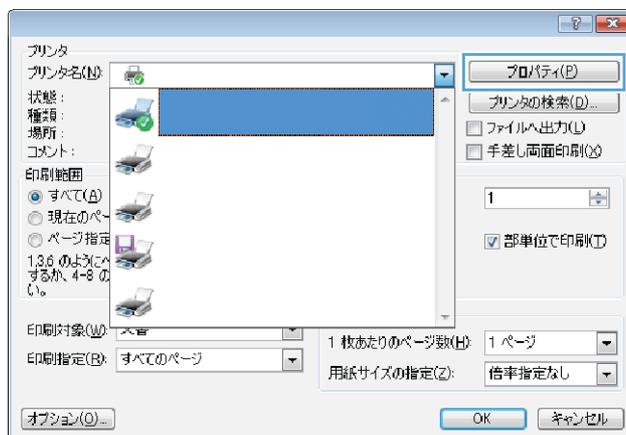


特殊な用紙、ラベル、OHP フィルムに印刷する

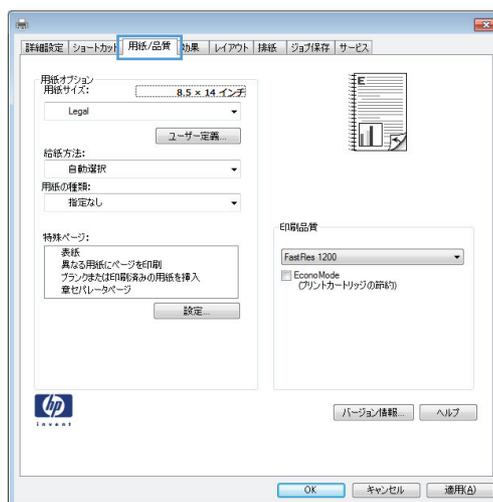
1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】 をクリックします。



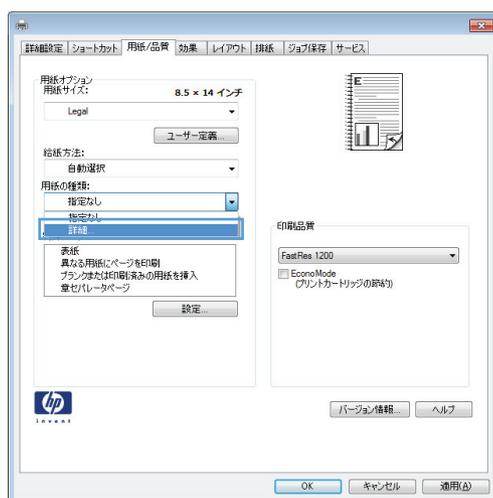
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



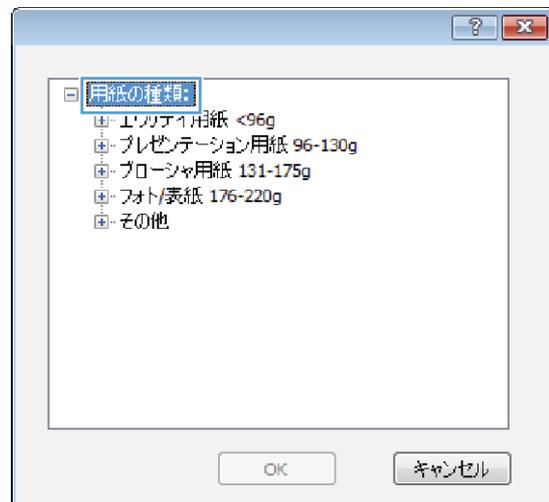
3. [用紙/品質] タブをクリックします。



4. [用紙タイプ] ドロップ ダウン リストで、[詳細...] オプションをクリックします。

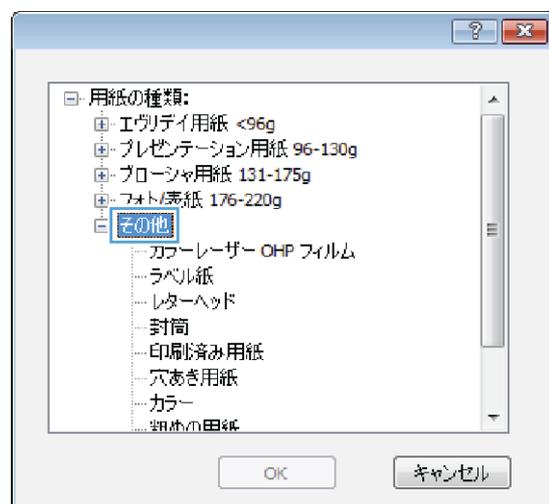


5. 【用紙の種類:】 オプションのリストを展開します。

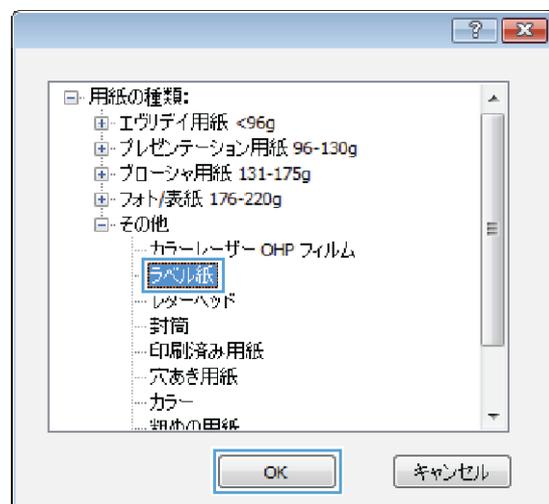


6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。

注記: ラベル用紙や OHP フィルムは、【その他】オプションのリストに入っています。

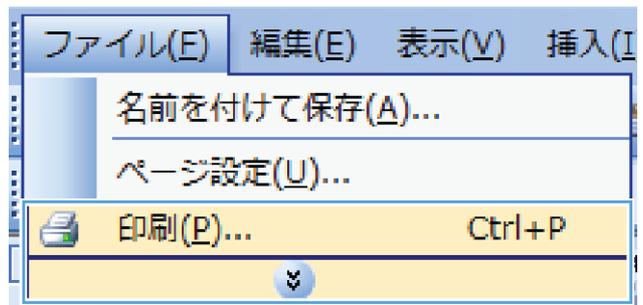


7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、【OK】 ボタンをクリックします。

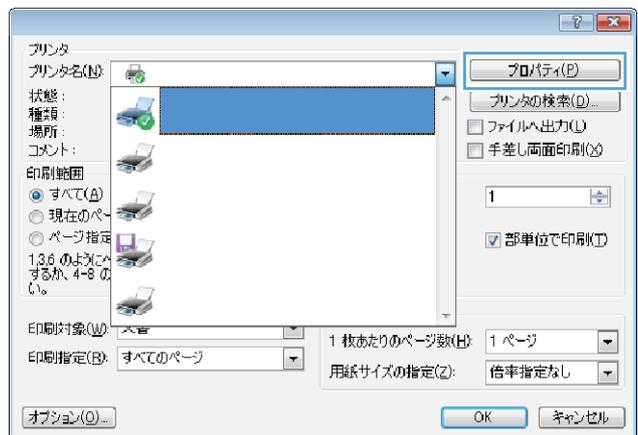


最初または最後のページを異なる用紙に印刷する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。



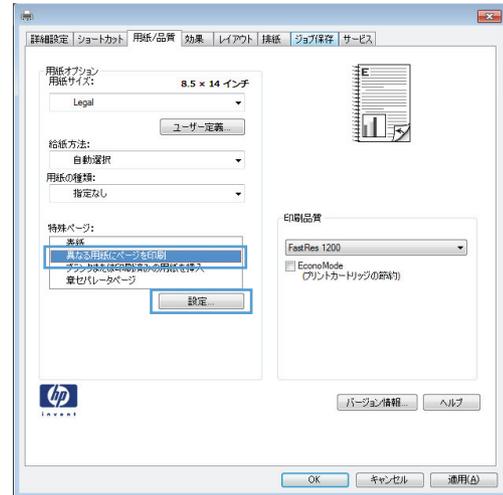
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



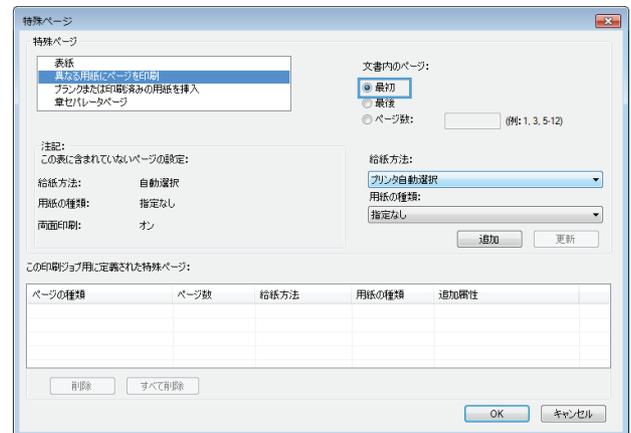
3. 【用紙/品質】 タブをクリックします。



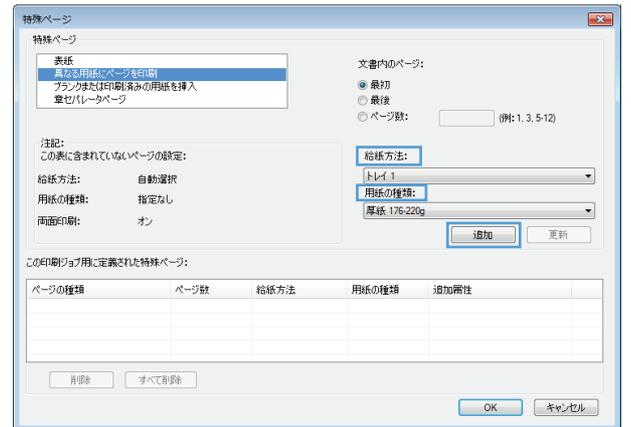
4. **【特殊ページ】** 領域で **【異なる用紙にページを印刷】** オプションをクリックし、**【設定】** ボタンをクリックします。



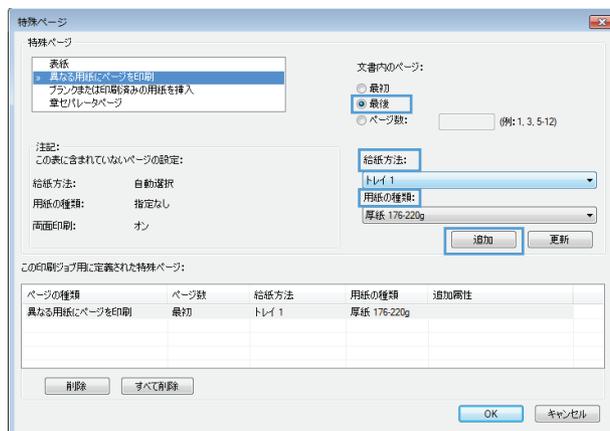
5. **【文書内のページ】** 領域で、**【最初】** または **【最後】** オプションを選択します。



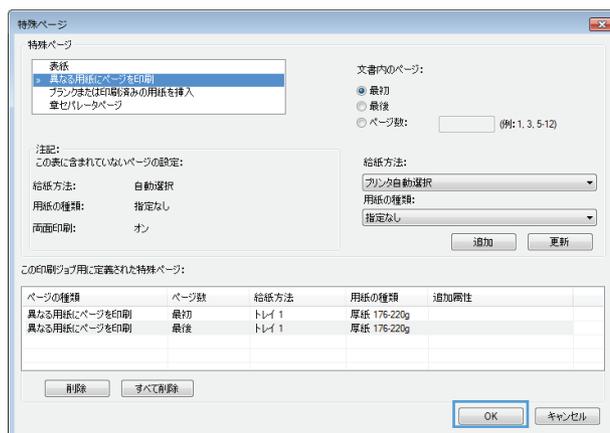
6. **【給紙方法】** および **【用紙タイプ】** ドロップダウン リストから、正しいオプションを選択します。**【追加】** ボタンをクリックします。



7. 最初と最後のページを両方とも別の用紙に印刷する場合は、手順 5 と 6 を繰り返し、もう一方のページのオプションを選択します。

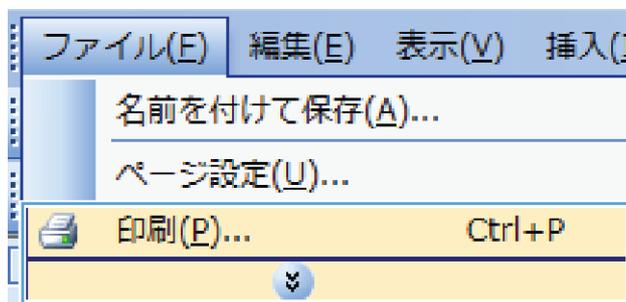


8. [OK] ボタンをクリックします。

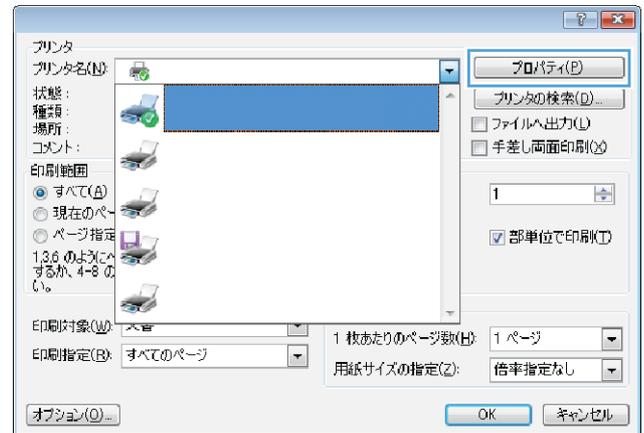


Windows で文書を用紙サイズに合わせて拡大縮小

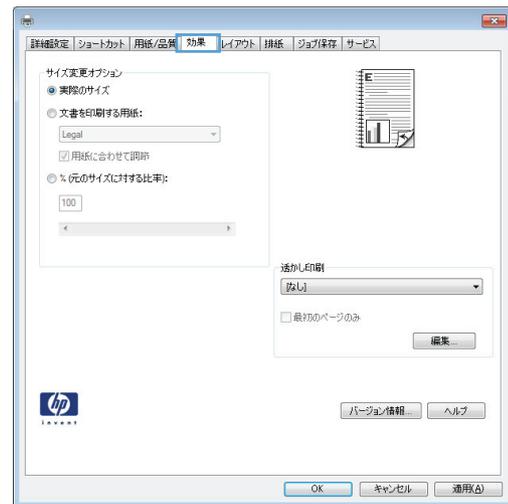
1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。



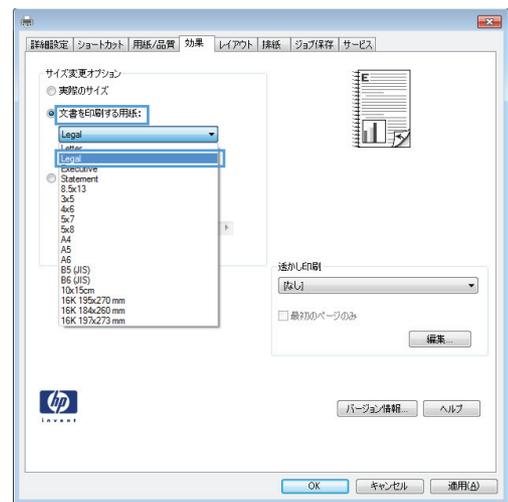
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



3. [効果] タブをクリックします。



4. [文書を印刷する用紙] オプションを選択して、ドロップダウン リストからサイズを選択します。



透かしの文書への追加 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

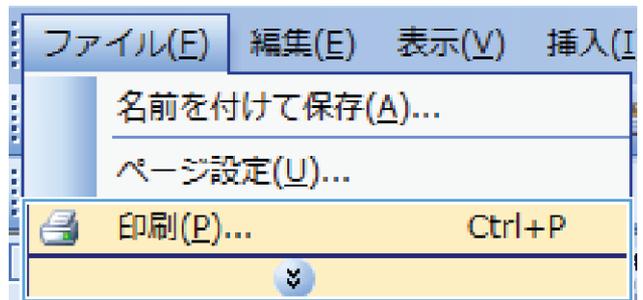
3. [効果] タブをクリックします。
4. [透かし] ドロップダウン リストから [透かし] を選択します。

または、[編集] ボタンをクリックして新しい透かしをリストに追加します。透かしの設定を指定し、[OK] ボタンをクリックします。

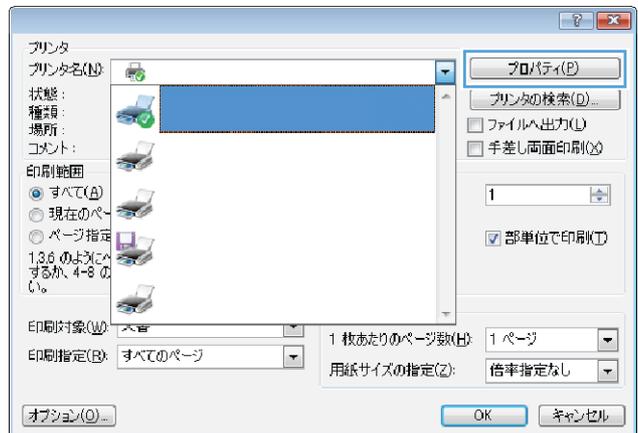
5. 透かしを最初のページだけに印刷するには、[最初のページのみ] チェック ボックスをオンにします。このオプションを選択しなかった場合、透かしはすべてのページに印刷されます。

ブックレットの作成 (Windows の場合)

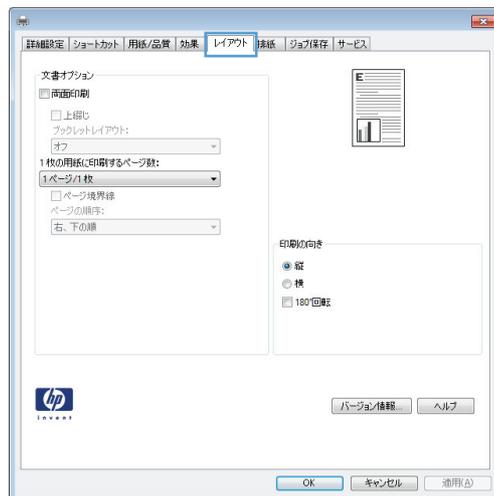
1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。



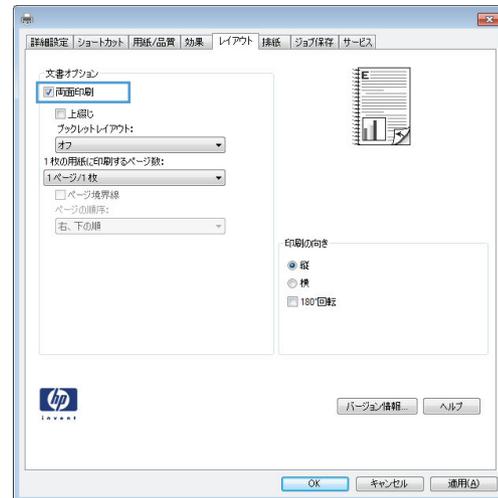
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



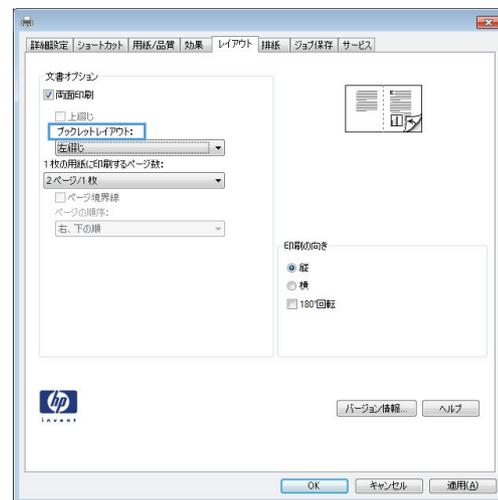
3. [レイアウト] タブをクリックします。



4. **【両面印刷】** チェック ボックスをオンにします。



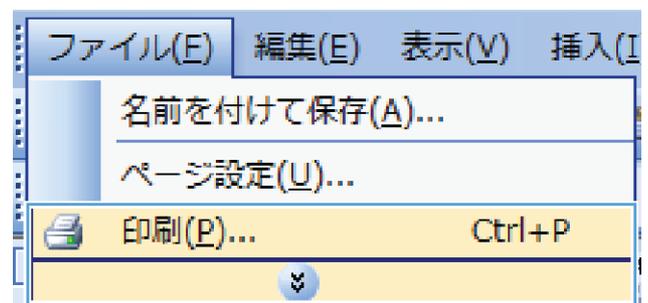
5. **【ブックレット レイアウト】** ドロップダウンリストで、**【左綴じ】** または **【右綴じ】** オプションをクリックします。**【用紙あたりのページ数】** オプションが自動的に **【2 ページ/1 枚】** に変わります。



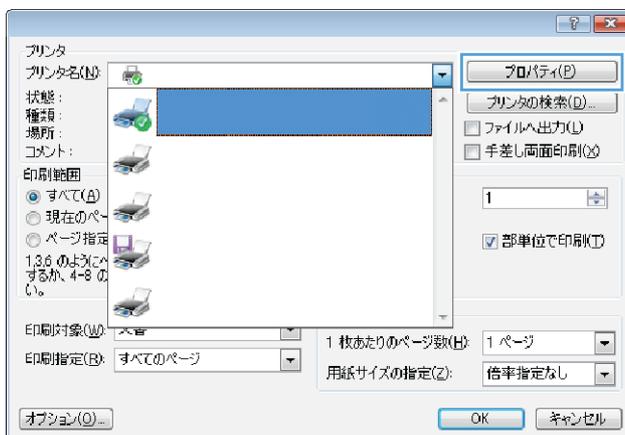
出力オプションの選択 (Windows の場合) (fskm モデルのみ)

Windows で排紙ビンを選択する

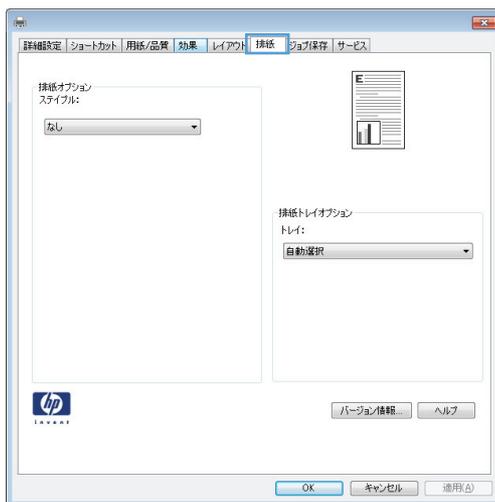
1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** をクリックします。



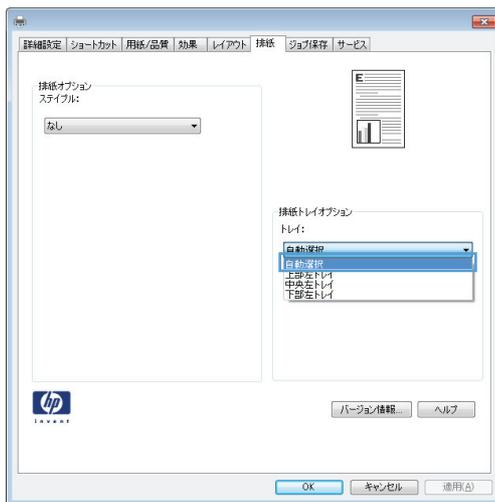
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



3. [排紙] タブをクリックします。

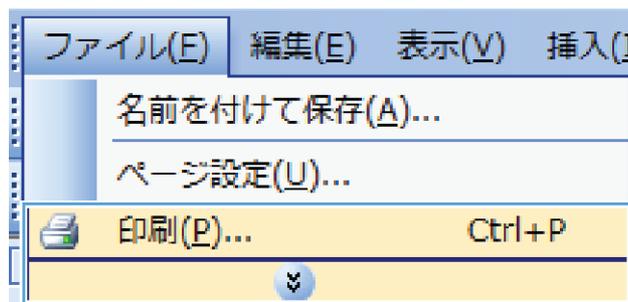


4. [排紙トレイ オプション] で、[トレイ] ドロップダウン リストからビンを選択します。

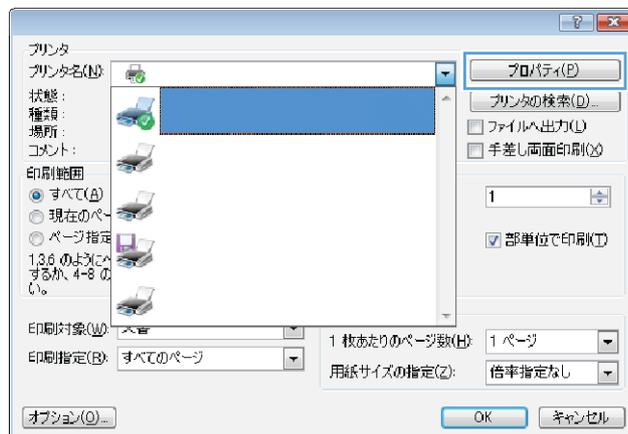


Windows でステイプル オプションを選択する

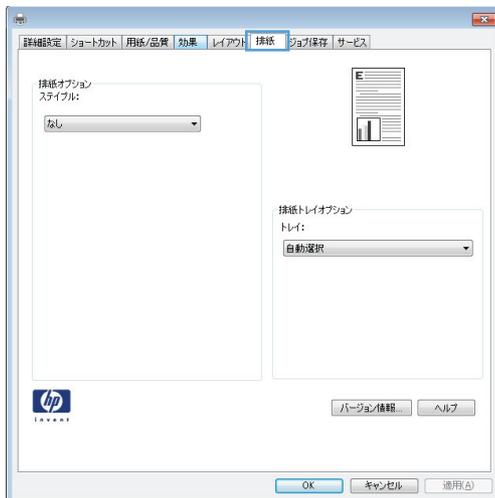
1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。



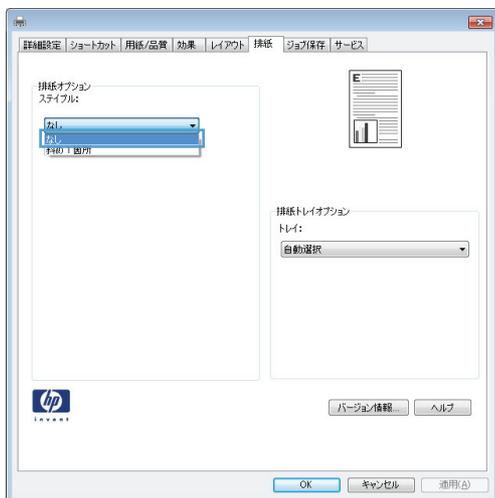
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



3. [排紙] タブをクリックします。



4. [排紙オプション] で、[ステイプル] ドロップダウン リストからオプションを選択します。



ジョブ保存機能の使用 (Windows の場合)

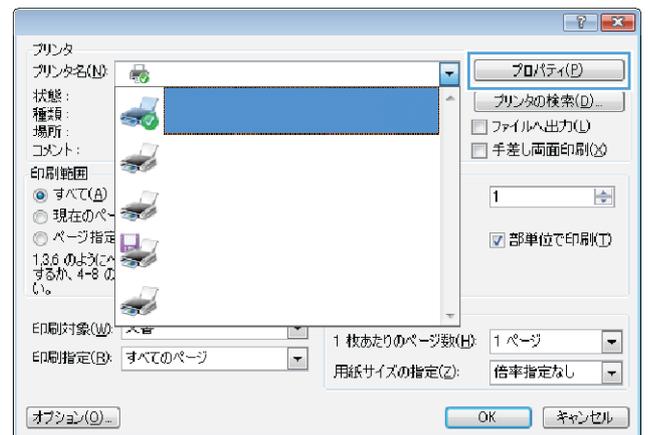
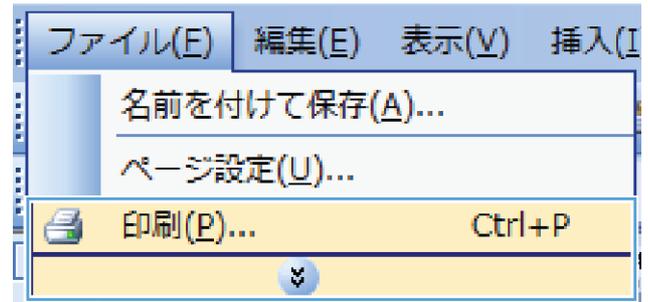
印刷ジョブでは、次のジョブ保存モードを使用できます。

- **[試し刷り後に保留]:** この機能では、ジョブを 1 部すばやく印刷して確認し、その後追加の部数を印刷できます。
- **[個人ジョブ]:** ジョブをプリンタへ送信したとき、コントロール パネルで実行するまでジョブが印刷されません。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。
- **[クイック コピー]:** プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、指定した部数だけ印刷してから、オプションのハード ディスクにジョブを保存できます。ジョブを保存することで、後でジョブの追加コピーを印刷できます。
- **[保存ジョブ]:** プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、社内の共通フォームや勤務表、カレンダーなどをプリンタに保存しておき、誰でも必要なときに印刷することができます。保存したジョブを PIN で保護することもできます。

⚠ **注意：** プリンタの電源を切ると、すべてのタイプの保存ジョブ ([クイック コピー]、[試し刷り後に保留]、および [個人ジョブ]) が削除されます。ジョブを永久保存し、何らかの理由で空き容量が必要になったときでも削除されないようにするには、ドライバで [保存ジョブ] オプションを選択します。

保存ジョブの作成 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



3. [ジョブ保存] タブをクリックします。



4. [ジョブ保存モード] オプションを選択します。



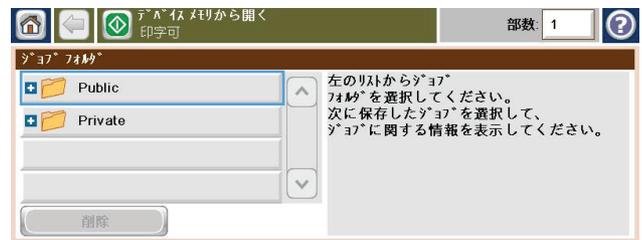
保存ジョブの印刷

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを実行します。

1. [ホーム] 画面の [デバイス メモリから開く] ボタンをタッチします。



- ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。



- ジョブの名前を選択し、プリント部数を指定し、[開始] (開始) ボタンをタッチしてジョブを実行します。



- ジョブがロックされている場合は、[PIN] (PIN) フィールドに PIN を入力し、プリント部数を指定し、[開始] (開始) ボタンをタッチしてジョブを実行します。



保存ジョブの削除 (Windows の場合)

保存するジョブをプリンタのメモリに送信する際に、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在している場合、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。保存できるジョブ数は、プリンタのコントロールパネルの [全般的な設定] メニューから変更できます。

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

- [ホーム] 画面の [デバイス メモリから開く] ボタンをタッチします。
- ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
- ジョブの名前を選択し、[削除] ボタンをタッチします。
- ジョブがロックされている場合は、[PIN] フィールドに PIN を入力し、[削除] ボタンをタッチします。

ジョブ保存オプションの設定 (Windows の場合)

全部数を印刷する前に 1 部だけ試し刷りする

- ソフトウェアプログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
- プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

3. [ジョブ保存] タブをクリックします。
4. [ジョブ保存モード] 領域で、[試し刷り後に保留] オプションをクリックします。

プライベート ジョブを製品内に一時的に保存して後で印刷する

 **注記：** 印刷後、プリンタからジョブが削除されます。

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [ジョブ保存] タブをクリックします。
4. [ジョブ保存モード] 領域で、[個人ジョブ] オプションをクリックします。
5. オプション: [ジョブをプライベートにする] 領域で、[印刷の PIN] オプションをクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
6. 必要なときにプリンタのコントロール パネルからジョブを印刷します。

ジョブを製品内に一時的に保存する

 **注記：** このオプションは、プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合に使用可能です。

注記： プリンタの電源を切るまでジョブは保存されます。

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [ジョブ保存] タブをクリックします。
4. [ジョブ保存モード] 領域で、[クイック コピー] オプションをクリックします。
指定した部数がすぐに印刷され、その後コントロール パネルから追加の部数を印刷できます。

ジョブを製品内に永久的に保存する

 **注記：** このオプションは、プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合に使用可能です。

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [ジョブ保存] タブをクリックします。
4. [ジョブ保存モード] 領域で、[保存ジョブ] オプションをクリックします。

永久的に保存したジョブをプライベートに設定して、印刷するには PIN が必要になるように設定する

 **注記：** このオプションは、プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合に使用可能です。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
4. **[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** オプションまたは **[個人ジョブ]** オプションをクリックします。
5. **[ジョブをプライベートにする]** 領域で、**[印刷の PIN]** オプションをクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。

 **注記：** ジョブを印刷または削除するには、コントロール パネルで PIN を入力する必要があります。

ユーザーが保存ジョブを印刷したときに通知を受信する

 **注記：** 保存ジョブを作成したユーザーだけが通知を受信します。別のユーザーが作成した保存ジョブを印刷する場合は、通知を受け取りません。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
4. ジョブ保存モードを選択します。
5. **[ジョブ通知オプション]** 領域で、**[印刷時にジョブ ID を表示]** オプションをクリックします。

保存ジョブにユーザー名を設定する

保存ジョブのユーザー名を変更するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
4. ジョブ保存モードを選択します。
5. **[ユーザー名]** 領域で、**[ユーザー名]** オプションをクリックして Windows のデフォルトのユーザー名を使用します。別のユーザー名を設定する場合は、**[カスタム]** オプションをクリックして名前を入力します。

保存ジョブの名前を指定する

保存ジョブのデフォルト名を変更するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
4. ジョブ保存モードを選択します。
5. 保存した文書に関連付けるジョブ名を自動的に生成するには、**[ジョブ名]** 領域で **[自動]** オプションをクリックします。使用可能な名前がある場合、ドライバはその文書ファイル名を使用します。文書にファイル名がない場合、ドライバはソフトウェア プログラム名またはジョブ名の時刻スタンプを使用します。

ジョブ名を指定するには、**[カスタム]** オプションをクリックして名前を入力します。

6. **[ジョブ名が存在する場合]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。
 - 既存の名前の末尾に数字を追加する場合は、**[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を使用する]** オプションを選択します。
 - 同じ名前のジョブを上書きする場合は、**[既存のファイルを置換]** オプションを選択します。

特別なジョブの印刷 (Windows の場合)

両面印刷の位置合わせを設定する

パンフレットなど両面印刷する文書では、裏表の印刷位置を揃えるために、印刷前にトレイの位置合わせを行います。

1. **[ホーム]** 画面の **[管理]** ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. 全般的な設定
 - b. 印刷品質
 - c. イメージ レジストレーション
 - d. **トレイ <X> の調節**
3. **[テスト ページの印刷]** をタッチし、**[OK]** ボタンをタッチします。
4. テスト ページの指示に従って、位置合わせを行います。

スリープ復帰時 USB 印刷

このプリンタはスリープ復帰時 USB 印刷機能を備えているため、コンピュータからファイルを送信せずすばやくファイルを印刷できます。プリンタの正面にある USB ポートには、標準の USB ストレージ アクセサリを接続できます。印刷できるファイルの種類は以下のとおりです。

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht

1. USB ストレージ アクセサリをプリンタの正面にある USB ポートに挿入します。

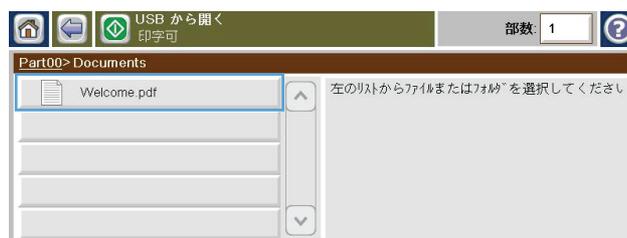
注記： USB ポートのカバーを外してください。



2. [USB から開く] (USB から開く) 画面が開きます。画面左側のリストからフォルダを選択します。



3. 印刷する文書の名前を選択します。



4. プリント部数を変更する必要がある場合は、**[部数]** (部数) フィールドをタッチし、キーパッドで部数を選択します。



5. **[開始 (開始)]** ボタンをタッチして文書をプリントします。



9 コピー

- [コピー機能の使用](#)
- [コピー設定](#)
- [本をコピーする](#)
- [写真をコピーする](#)
- [コピー ジョブを作成して保存する](#)
- [複数サイズ混在原稿をコピーする](#)
- [両面コピーする](#)
- [ジョブ作成モードを使用する](#)

コピー機能の使用

コピー

小さく軽い用紙 (60 g/m² 未満) または重い用紙 (105 g/m² 以上) を 9,999 部コピーするような場合は、スキャナ ガラスを使用します。このような原稿の例としては、レシート、新聞の切り抜き、写真、古い文書、傷んだ文書、本などがあります。

50 ページ以上ある文書を 9,999 部コピーするような場合は、文書フィーダを使用します (ページの厚さによって異なる)。

1. スキャナのガラス板からコピーするには、原稿を下に向けてガラスの上に置きます。原稿の角をスキャナ ガラスの左上隅に合わせます。



2. 文書フィーダからコピーするには、文書を上に向けて文書フィーダに置きます。



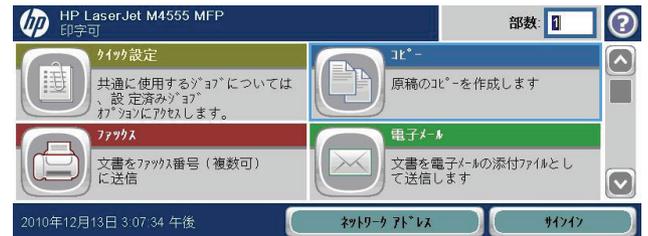
3. デフォルトのコピー オプションを使用してコピーを作成するには、コントロール パネルのキーパッドを使用してコピー部数を選択し、[開始] ボタンをタッチします。

コピー ジョブのキャンセル

1. コントロール パネルの 停止  ボタンを押して、ジョブの名前をタッチします。
2. [ジョブのキャンセル] ボタン、[OK] ボタンの順にタッチします。

縮小/拡大コピーする

1. [ホーム] 画面の [コピー] ボタンをタッチします。



2. [縮小/拡大] ボタンをタッチします。



3. 定義済みの倍率のいずれかを選択するか、または、[拡大縮小] (倍率) フィールドをタッチして 25 ~ 400 の範囲の倍率を入力します。[OK] ボタンをタッチします。また、以下のオプションを選択することもできます。

- **自動:** トレイの用紙サイズに合わせてイメージが自動的に拡大/縮小されます。
- **自動的にマージンを含む:** スキャンしたイメージ全体がページの印刷可能領域に収まるようにイメージが縮小されます。

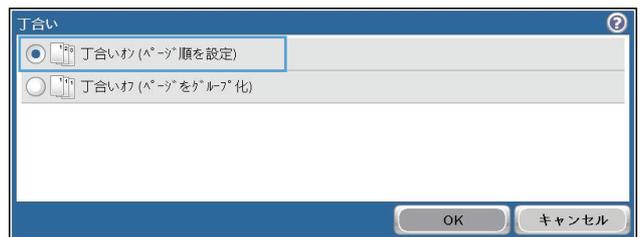
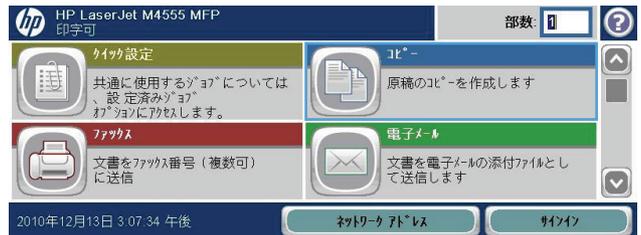
注記: イメージを縮小するには、100 未満の倍率を選択します。イメージを拡大するには、100 より大きい倍率を選択します。

4. [開始]  ボタンをタッチします。



丁合いを取る

1. [ホーム] 画面の [コピー] ボタンをタッチします。
2. [丁合い] ボタンまたは [ステイプル/丁合い] ボタンをタッチします。
3. [丁合いオン (ページ順を設定)] オプションをタッチします。
4. [開始]  ボタンをタッチします。

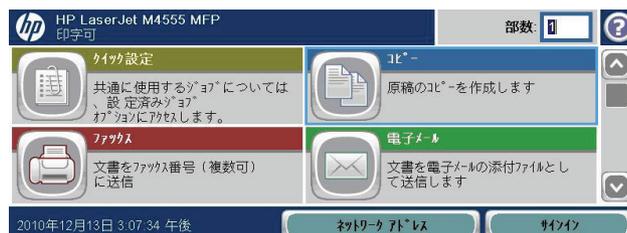


コピー設定

コピー品質を調整する

テキストまたは画像に合わせてコピー結果を最適化する

1. [ホーム] 画面の [コピー] ボタンをタッチします。
2. [その他のオプション] ボタン、[テキスト/画像の最適化] ボタンの順にタッチします。
3. 定義済みのオプションのいずれかを選択するか、または、[手動調整] (手動調整) ボタンをタッチして [最適化] (最適化対象) 領域のスライダーを動かします。[OK] ボタンをタッチします。
4. [開始]  ボタンをタッチします。



スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

 **注記：** 文書フィーダを使用したときにのみすじなどの汚れが発生する場合、非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジを使用して、スキャナ ストリップをクリーニングします。スキャナ ストリップは、スキャナ ガラスの左側にあります。スキャナ ガラス全体をクリーニングする必要はありません。

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。次の手順に従って、スキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングしてください。

1. プリンタの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。



3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。しみが残らないように乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。

注意： プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

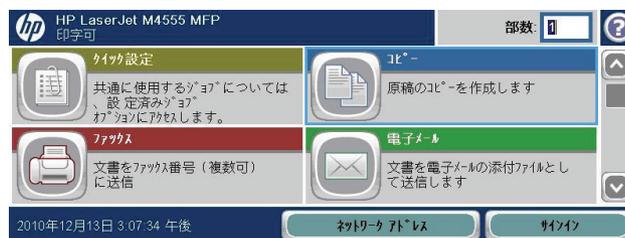
注記： スキャナのガラス板の左側にある小さいガラス ストリップを丁寧に清掃します。このガラスに付いた小さなごみは、文書フィードからコピーしたときに筋になります。

4. プリンタの電源コードをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチをオンにします。



コピー結果の濃さを調整する

1. [ホーム] 画面の [コピー] ボタンをタッチします。



2. [イメージ調整] ボタンをタッチします。



3. [暗さ]、[コントラスト]、[鮮明度]、[背景のクリーンアップ] の各スライダを動かしてレベルを調整します。[OK] ボタンをタッチします。



4. [開始] [スタート] ボタンをタッチします。



カスタム コピー設定を定義する

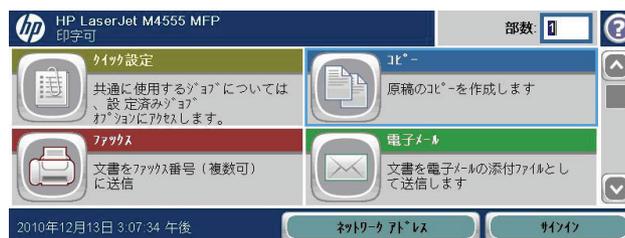
[管理] メニューを使用して、すべてのコピー ジョブに適用されるデフォルトの設定を確定できます。必要であれば、個々のジョブでほとんどの設定を上書きできます。ジョブが完了したら、製品はデフォルト設定に戻ります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] メニューをタッチします。
2. [設定のコピー] メニューを開きます。
3. 複数のオプションを使用できます。すべてのオプションについて、または一部のオプションのみについて、デフォルト設定を変更することができます。

 **注記：** 各メニュー オプションの詳細情報を表示するには、そのメニュー オプションの画面の右上隅にあるヘルプ ボタン  をタッチしてください。

特殊用紙にコピーする場合の用紙サイズと用紙タイプを設定する

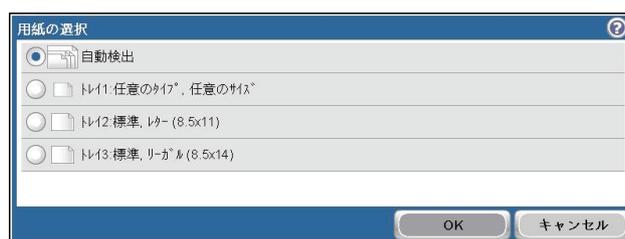
1. [ホーム] 画面の [コピー] ボタンをタッチします。



2. [用紙の選択] ボタンをタッチします。



3. 使用する用紙がセットされているトレイを選択し、[OK] (OK) ボタンをタッチします。



デフォルトのコピー設定に戻す

1. [ホーム] 画面で次のメニューを開きます。
 - 管理
 - 全般的な設定
 - 出荷時の設定に戻す
2. [コピー] チェックボックスをオンにし、[リセット] ボタンをタッチします。

本をコピーする

1. カバーを開け、本の左上角をスキャナのガラス板の左上角に合わせてのせます。



2. カバーを静かに閉じます。
3. コントロール パネルの [コピー] ボタンをタッチします。
4. [開始] ボタンをタッチします。
5. コピーする各ページに対してこの手順を繰り返します。

 **注記：** このプリンタには、左ページと右ページを区別する機能はありません。コピー済み用紙を慎重に整理してください。

写真をコピーする

 **注記：** スキャナのガラス板からコピーする

1. カバーを開け、写真の左上角をスキャナのガラス板の左上角に合わせ、下向きにしてのせます。



2. 静かにカバーを閉じます。
3. コントロール パネルの [コピー] ボタンをタッチします。
4. [テキスト/画像の最適化] ボタンにタッチし、[写真] ボタンを選択します。
5. [開始 ] ボタンをタッチします。

コピー ジョブを作成して保存する

次の手順に従って、文書をスキャンしてプリンタ内に保存します。これにより、いつでもコピー文書を印刷できます。

1. 文書をスキャナ ガラス上に下向きに置くか、または、文書フィーダに上向きにセットします。
2. [ホーム] 画面の [デバイス メモリに保存] ボタンをタッチします。

 **注記：** ユーザー名とパスワードの入力を要求された場合は入力します。

3. 既存フォルダを選択するか、または、[新規フォルダ] ボタンをタッチして新規フォルダを作成します。
4. [ファイル名]フィールドにファイル名を入力し、[ファイル タイプ] リストでファイル タイプを選択します。
5. 文書に関する設定を行うには、[その他のオプション] ボタンをタッチします。
6. [開始 ] ボタンをタッチしてファイルを保存します。

複数サイズ混在原稿をコピーする

複数種類のサイズの用紙に印刷されている原稿をコピーできます。ただし、縦または横のいずれか一方の長さは、すべての用紙で同じでなければなりません。たとえば、レター サイズとリーガル サイズの用紙を混在させることができます。

1. 幅がすべて同じになるように原稿をそろえます。
2. 印刷面を上にして文書フィーダにセットし、両方の用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。



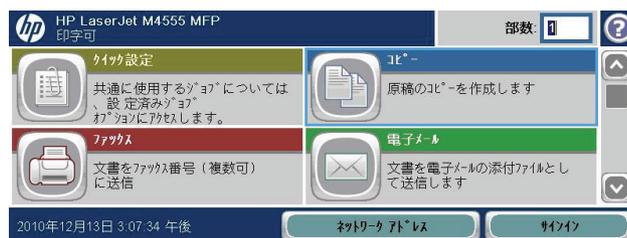
3. コントロール パネルの [コピー] ボタンをタッチします。
4. [元のサイズ] ボタンをタッチします。
注記： 最初の画面にこのオプションが表示されていない場合は、表示されるまで [その他のオプション] ボタンをタッチします。
5. [レター/リーガル混合] ボタン、[OK] ボタンの順にタッチします。
6. [開始]  ボタンをタッチします。

両面コピーする

1. 原稿の最初のページを文書フィーダに上向きに、ページの上部をプリンタに向けてセットします。



2. コントロールパネルの [コピー] ボタンをタッチします。



3. [面] ボタンをタッチします。



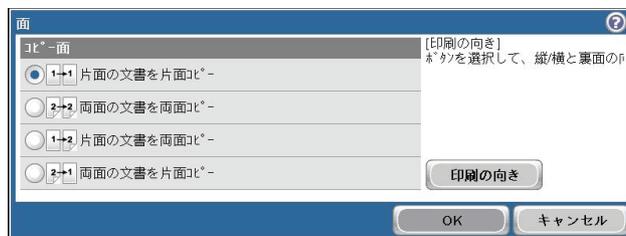
4. 片面印刷の原稿を両面印刷にする場合は、[片面の文書を両面コピー] ボタンをタッチします。

両面印刷の原稿を両面印刷にする場合は、[両面の文書を両面コピー] ボタンをタッチします。

両面印刷の原稿を片面印刷にする場合は、[両面の文書を片面コピー] ボタンをタッチします。

[OK] ボタンをタッチします。

5. [開始] ボタンをタッチします。



ジョブ作成モードを使用する

ジョブ作成機能を利用すれば、複数の原稿セットを 1 つのコピー ジョブにまとめることができます。また、文書フィーダに一度にセットしきれない量の原稿をコピーすることもできます。

1. 原稿を文書フィーダに上向きにセットするか、または、スキャナ ガラス上に下向きにセットします。
2. コントロール パネルの [コピー] ボタンをタッチします。
3. スクロールして [ジョブ作成] メニューをタッチします。
4. [ジョブ作成オン] ボタンをタッチします。
5. [OK] ボタンをタッチします。
6. 必要に応じて、コピー オプションを選択します。
7. [開始 ] ボタンをタッチします。各ページのスキャンが完了すると、コントロール パネルに、続きのページをセットするよう要求するメッセージが表示されます。
8. ジョブに複数のページがある場合、次のページをセットして、[スキャン] ボタンをタッチします。

プリンタには、一時的にスキャンしたページがすべて保存されます。[完了] ボタンをタッチして、コピーの印刷を終了します。

10 ドキュメントのスキャンおよび送信

- [スキャン/送信機能を設定する](#)
- [スキャン/送信機能の使用](#)
- [スキャンした文書を送信する](#)

スキャン/送信機能を設定する

このプリンタには、次のスキャンおよび送信の機能が用意されています。

- スキャンしたファイルをネットワーク上のフォルダに保存します。
- スキャンしたファイルをプリンタのハード ドライブに保存します。
- スキャンしたファイルを USB フラッシュ ドライブに保存します。
- ドキュメントをスキャンして 1 つ以上の電子メール アドレスに送信します。

一部のスキャンおよび送信機能は、HP 内蔵 Web サーバーを使用して有効にするまで、プリンタのコントロール パネルで利用できません。

 **注記：** HP 内蔵 Web サーバーの使用の詳細については、HP 内蔵 Web サーバーの各ページの右上隅にある **【ヘルプ】** リンクをクリックしてください。

1. Web ブラウザを起動し、アドレス ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。
2. HP 内蔵 Web サーバが開いたら、**【スキャン/デジタル送信】** タブをクリックします。
3. 今までに HP 電子メールへのスキャンの送信セットアップ ウィザードを使用して**電子メール**機能を設定したことがない場合、HP 内蔵 Web サーバーを使用してこの機能を有効にすることができます。

- a. **【電子メール セットアップ】** リンクをクリックします。
- b. **【電子メール】** チェック ボックスをオンにして、この機能を有効に使用します。
- c. 使用する送信メール サーバを選択するか、**【追加】** ボタンをクリックしてリストに別のサーバを追加します。

 **注記：** メール サーバの名前がわからない場合は、通常、電子メール プログラムを開き、送信メール設定を表示して確認できます。

- d. **【アドレス メッセージ】** エリアで、デフォルトの送信元アドレスを設定します。
 - e. 他の設定はオプションです。
 - f. 設定が終了したら、**【設定の保存】** ボタンをクリックします。
4. **“ネットワーク フォルダに保存”** 機能を有効にします。
 - a. **【ネットワーク フォルダに送信】** の**【セットアップ】** リンクをクリックします。
 - b. **【ネットワーク フォルダに保存】** チェック ボックスをオンにして、この機能を有効に使用します。
 - c. **【クイック設定】** 領域で、**【追加】** ボタンをクリックします。
 - d. 次の画面で、クイック セットの名前と説明を入力し、コントロール パネル内でこのクイック セットを表示する場所を指定します。**【次へ】** ボタンをクリックします。

- e. 次の画面で、使用するクイック セット フォルダの種類を選択して、**[次へ]** ボタンをクリックします。
 - f. 画面の指示に従って、クイック セットに適用するデフォルト オプションを選択します。
 - g. **[サマリ]** 画面で、設定を確認し、**[完了]** ボタンをクリックします。
5. "USB に保存" 機能を有効にします。
- a. **[[USB に保存] のセットアップ]** リンクをクリックします。
 - b. **[USB への保存の有効化]** チェックボックスをオンにします。
 - c. ページ下端にある **[適用]** をクリックします。

スキャン/送信機能の使用

サインイン

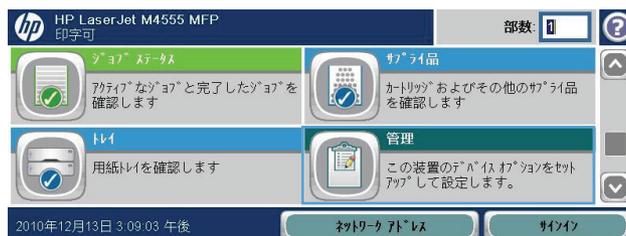
コントロール パネルの一部の機能はセキュリティで保護されているので、権限のないユーザーは利用できません。セキュリティで保護されている機能を利用しようとする、サインインを要求されます。要求される前にサインインするには、[ホーム] 画面で [サインイン] ボタンをタッチします。

通常は、ネットワーク上のコンピュータにサインインする際に使用するのと同じユーザー名およびパスワードを使用します。使用する資格情報について不明な点がある場合は、このプリンタを管理しているネットワーク管理者に問い合わせてください。

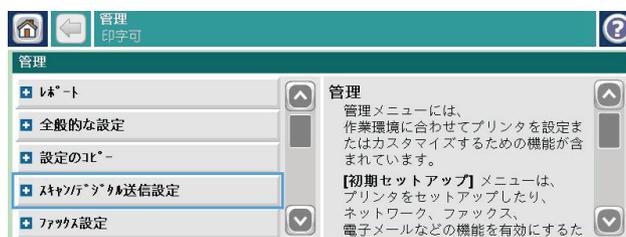
プリンタにサインインすると、コントロール パネルに [サインアウト] ボタンが表示されます。プリンタのセキュリティを維持するには、プリンタ使用後に [サインアウト] ボタンをタッチします。

プリンタのコントロール パネルでデフォルトのスキャン/送信設定を変更する

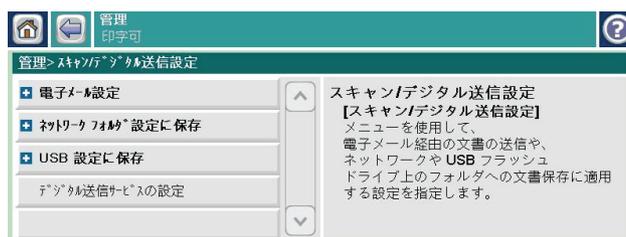
1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。



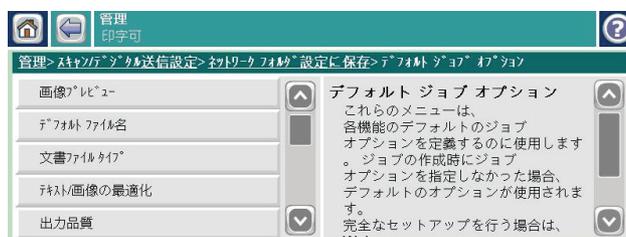
2. [スキャン/デジタル送信設定] メニューを開きます。



3. スキャン/デジタル送信設定のカテゴリを選択します。



4. [デフォルト ジョブ オプション] メニューを開き、設定を行います。[OK] ボタンをタッチして設定内容を保存します。



スキャンした文書を送信する

スキャンした文書をネットワーク フォルダに保存する

ファイルをスキャンし、それをネットワークのフォルダに保存できます。この機能は次のオペレーティング システムでサポートされています。

- Windows Server 2003 (64 ビット)
- Windows Server 2008 (64 ビット)
- Windows XP (64 ビット)
- Windows Vista (64 ビット)
- Windows 7 (64 ビット)
- Novell v5.1 以降 (クイック設定 フォルダにのみアクセス可能)

 **注記：** この機能を使用するには、サインインすることを求められることがあります。

システム管理者は HP 内蔵 Web サーバーを使用して、クイック設定 フォルダをあらかじめ定義することができます。ユーザーは、別のネットワーク フォルダへのパスを入力することもできます。

1. 原稿を下に向けてスキャナガラスに置くか、上に向けて文書フィーダに置きます。



2. [ホーム] 画面の [ネットワーク フォルダに保存] ボタンをタッチします。

注記： プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。



3. 作成済みのジョブのいずれかを使用するには、**クイック設定** リストでいずれかの項目を選択します。



4. ジョブを新規に作成するには、**[ファイル名]** (ファイル名) フィールドにファイル名を入力し、**[ネットワーク フォルダ パス]** (ネットワーク フォルダ パス) フィールドにネットワーク フォルダへのパスを入力します。パスの書式は次のとおりです。

\\path\path

5. 文書に関する設定を行うには、**[その他のオプション]** (その他のオプション) ボタンをタッチします。



6. **[開始]** (開始) ボタンをタッチしてファイルを保存します。



スキャンした文書をプリンタのメモリ内のフォルダに保存する

の手順に従って、文書をスキャンしてプリンタ内に保存します。これにより、いつでもコピー文書をプリントできます。

1. 原稿を下に向けてスキャナガラスに置くか、上に向けて文書フィーダに置きます。



2. [ホーム] 画面の [デバイス メモリに保存] ボタンをタッチします。

注記： プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。



3. 既存フォルダを選択するか、または、[新規フォルダ] (新規フォルダ) ボタンをタッチして新規フォルダを作成します。



4. [ファイル名] (ファイル名) フィールドにファイル名を入力します。



5. 文書に関する設定を行うには、[その他のオプション] (その他のオプション) ボタンをタッチします。



6. [開始] (開始) ボタンをタッチしてファイルを保存します。



スキャンした文書を USB フラッシュ ドライブに保存する

ファイルをスキャンし、USB フラッシュ ドライブのフォルダに保存できます。

 **注記:** この機能を使用するには、サインインすることを求められることがあります。

1. 原稿を下に向けてスキヤナのガラスに置くか、上に向けて文書フィーダに置きます。



2. [ホーム] 画面の [USB に保存] ボタンをタッチします。

注記: プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。



3. リストでいずれかのフォルダを選択するか、または、[新規フォルダ] (新規フォルダ) ボタンをタッチして USB フラッシュ ドライブ上にフォルダを新規に作成します。

4. [ファイル名] (ファイル名) フィールドにファイル名を入力し、[ファイルタイプ] (ファイルタイプ) リストでファイルタイプを選択します。

5. 文書に関する設定を行うには、[その他のオプション] (その他のオプション) ボタンをタッチします。

6. [開始] (開始) ボタンをタッチしてファイルを保存します。



電子メール アドレスに送信する

プリンタの電子メール機能には、次のような利点があります。

- ドキュメントを 1 つ以上の電子メール アドレスに送信します。
- ファイルをモノクロ データとカラー データのどちらで送信するかを選択できます。
- 受信者が操作できるように、ファイルをさまざまなファイル形式で送信できます。

電子メール機能を使用するには、プリンタがインターネット アクセスを含めて有効な SMTP ローカル エリア ネットワークに接続している必要があります。

対応プロトコル

プリンタは、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) と LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) に対応しています。

SMTP

- SMTP は、電子メールの送信側プログラムと受信側プログラム間のやりとりを定義したルールです。プリンタから文書を電子メール アドレスに送信するには、SMTP をサポートしている電子メール サーバにアクセスできる LAN に、プリンタを接続する必要があります。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に問い合わせ、SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入手してください。DSL またはケーブル接続を使用している場合、インターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせ、SMTP サーバの IP アドレスを入手してください。

LDAP

- LDAP は、情報のデータベースにアクセスするために使用されます。プリンタが LDAP を使用している場合、そのプリンタは電子メール アドレスのグローバル リストを検索します。電子メール アドレスを入力し始めると、LDAP は、入力された文字に合致する電子メール アドレスのリストを提供するオートコンプリート機能を使用します。さらに文字を入力するにつれて、合致する電子メール アドレスのリストが小さくなります。
- プリンタは LDAP がサポートされていますが、プリンタで電子メールを送信できるようにするために LDAP サーバに接続する必要はありません。

 **注記：** LDAP 設定を変更する必要がある場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用して変更する必要があります。

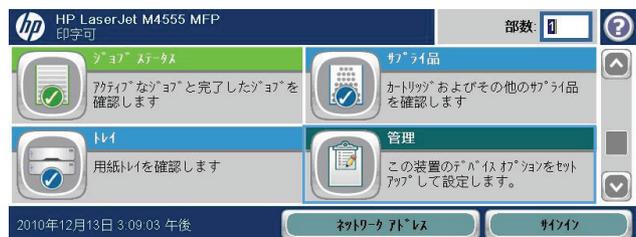
電子メール サーバの設定

文書を電子メールで送信する前に、プリンタを設定する必要があります。

 **注記：** 次の手順は、コントロール パネルでプリンタを設定するものです。この手順は、HP 内蔵 Web サーバを使用して実行することもできます。電子メール設定を行うには、[電子メール セットアップ ウィザード] メニューを使用する方法が最も簡単です。

注記： 電子メールが設定されていない場合、コントロール パネルに電子メール アイコンが表示されません。

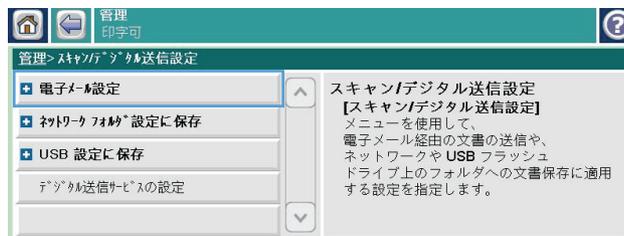
1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] メニューをタッチします。



2. [スキャン/デジタル送信設定] メニューを開きます。



3. [電子メール設定] メニューを開きます。



4. [電子メール セットアップ ウィザード] メニューを開き、画面上の指示に従います。



スキャンした文書を 1 つ以上の電子メール アドレスに送信する

1. 原稿を下に向けてスキヤナのガラスに置くか、上に向けて文書フィーダに置きます。



2. [ホーム] 画面の [電子メール] ボタンをタッチします。

注記： プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。



3. フィールドの横にあるテキスト ボックスをタッチし、キーパッドを開きます。

注記： プリンタにサインインしている場合、ユーザー名などのデフォルト情報が [送信元] (送信元) フィールドに表示されることがあります。フィールドに表示された情報は変更できません。

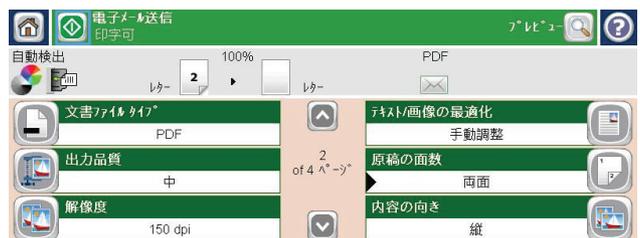
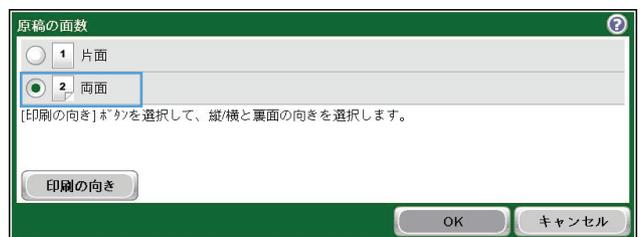
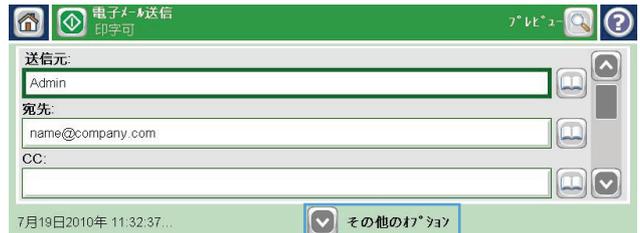


4. このフィールドに情報を入力します。複数の電子メール アドレスに送信する場合は、アドレスどうしをセミコロンで区切るか、または、各アドレスの入力後にキーパッドの Enter ボタンをタッチします。

5. 文書に関する設定を変更するには、[その他のオプション] (その他のオプション) ボタンをタッチします。

6. 両面プリント文書を送信する場合は、[原稿の面] (原稿の面) メニューを選択し、[両面] (両面) を選択します。

7. [開始] (開始) ボタンをタッチして送信を開始します。



アドレス帳を使用する

受信者のリストに電子メールを送信するには、アドレス帳を使用します。プリンタの設定に基づいて、次のアドレス帳表示オプションのうち 1 つ以上が表示されます。

- **すべての連絡先** : 送信可能なすべての連絡先が一覧表示されます。
- **担当者** : 自分のユーザー名に関連付けられているすべての連絡先が一覧表示されます。これらの連絡先は、このプリンタを使用する他のユーザーに対しては表示されません。

 **注記** : [担当者] を選択してその内容を表示するには、プリンタにサインインする必要があります。

- **ローカルの連絡先** : プリンタのメモリに保存されているすべての連絡先が一覧表示されます。これらの連絡先は、このプリンタを使用するすべてのユーザーに対して表示されます。

プリンタのコントロール パネルで連絡先をアドレス帳に追加する

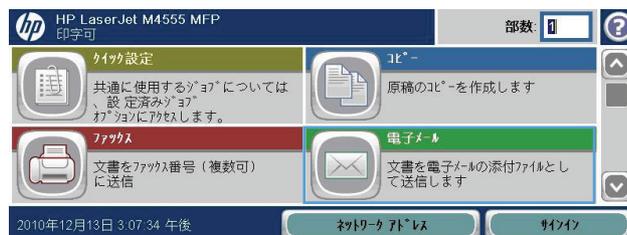
プリンタにサインインしている場合、アドレス帳に追加した連絡先は、このプリンタを使用する他のユーザーに対しては表示されません。

プリンタにサインインしていない場合、アドレス帳に追加した連絡先は、このプリンタを使用するすべてのユーザーに対して表示されます。

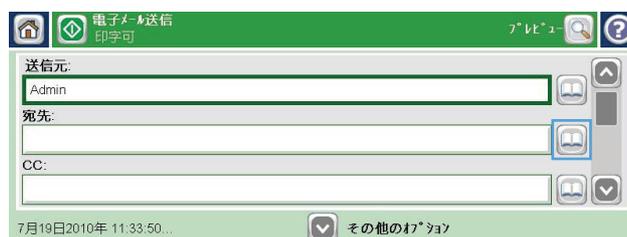
 **注記：** HP 内蔵 Web サーバーを使用してアドレス帳を作成および管理することもできます。

1. [ホーム] 画面の [電子メール] ボタンをタッチします。

注記： ユーザー名とパスワードの入力を要求された場合は入力します。



2. [宛先] フィールドの横にあるアドレス帳ボタン  をタッチし、[アドレス帳] 画面を開きます。



3. 画面の左下隅にある連絡先追加ボタン  をタッチします。



4. [名前] フィールドに連絡先名を入力します。



5. ドロップダウン リストで [電子メール アドレス] を選択し、連絡先の電子メール アドレスを入力します。

[OK] ボタンをタッチし、連絡先をリストに追加します。



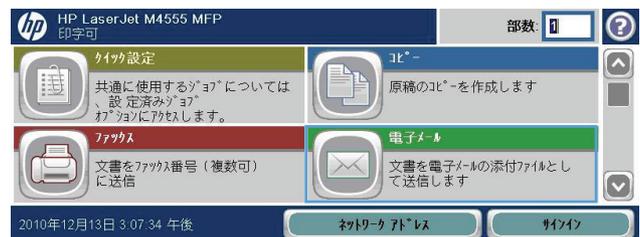
アドレス帳を使用して文書を電子メール アドレスに送信する

1. 文書をスキャナ ガラス上に下向きに置くか、または、文書フィーダに上向きにセットします。



2. [ホーム] 画面の [電子メール] ボタンをタッチします。

注記： ユーザー名とパスワードの入力を要求された場合は入力します。



3. [宛先] フィールドの横にあるアドレス帳ボタン  をタッチし、[アドレス帳] 画面を開きます。



4. ドロップダウン リストで、使用するアドレス帳ビューを選択します。



- 連絡先のリストで名前を選択し、右向き矢印ボタン  をタッチし、その名前を受信者リストに追加します。

受信者ごとにこのステップを実行した後、[OK] ボタンをタッチします。

- [開始]  ボタンをタッチして送信を開始します。



11 ファックス

- [ファックス機能を設定する](#)
- [ファックスの設定](#)
- [ファックスを使用する](#)
- [ファックスの問題の解決](#)

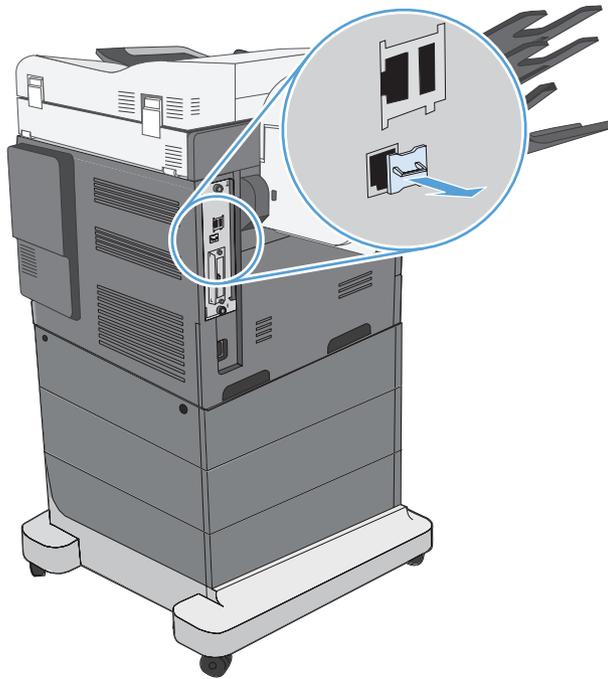
ファックス機能を設定する

はじめに

HP LaserJet Analog Fax Accessory 500 を使用すると、HP の多機能製品 (MFP) をスタンドアロンのアナログ ファックス機として使用できます。詳細については、www.hp.com/go/ljanalogfaxaccessory500_manuals を参照してください。

 **注記：** この製品では、アナログ ファックス機能の他に LAN ファックスおよびインターネット ファックス機能もサポートされています。一度に 1 つのファックス方式しか有効にすることはできません。

注記： ファックス アクセサリが取り付けられている場合は、ファックス接続カバーを取り外し、電話線を接続してから、ファックスの初期設定を行います。ファックス接続カバーは、フォーマッタの背面パネルの電話コネクタ上にあります。



HP LaserJet Analog Fax Accessory 500 の機能

ファックス送信機能

- 短縮ダイヤル
- ファックス アドレス帳
- 解像度およびイメージ調整オプション
- 請求書コード

ファックス受信機能	<ul style="list-style-type: none"> 受信ファックスのスタンプ 着信ファックスのブロック ファックス ポーリング 応答するまでの呼び出し回数の調整
拡張ファックス機能	<ul style="list-style-type: none"> ファックスのステータスの通知 JBIG 圧縮 エラー修正 ファックスのアーカイブ
リモートでのファックス設定	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵 Web サーバ HP Web Jetadmin HP MFP Digital Sending ソフトウェア
セキュリティ機能	<ul style="list-style-type: none"> ファックス印刷のスケジュール

ファックスの動作確認

ファックス アクセサリが取り付けられ、正常に動作しているときは、プリンタのコントロール パネルに [ファックス] アイコンが表示されます。ファックス アクセサリを取り付けただけで設定していない場合は、[ファックス] アイコンが薄く表示されます。この場合は、以下の手順に従ってファックス アクセサリを設定してください。

必須のファックスの設定

ファックス アクセサリを取り付けた後、アクセサリを使用するには、所定の設定を行う必要があります。設定を行っていない場合、[ファックス] アイコンは薄く表示されます。この設定には次のものがあります。

- 国/地域
- 日付/時刻
- 会社名
- ファックス番号
- プレフィックスのダイヤル (オプション)

この情報はファックス ヘッダーに使用され、すべての送信ファックスに印刷されます。

 **注記：** 初めてファックス アクセサリを取り付けたときに製品からこうした設定の一部が読み取られて、値が既に設定されている場合があります。値が正しく設定されていることを確認してください。

注記： 米国とその他多くの国/地域では、日付、時刻、国/地域、電話番号、および会社名を設定することがファックスの法的な要件になっています。

ファックス設定ウィザード

ファックス設定ウィザードの順を追った手順に従って、ファックス機能を使用するために必要なファックス設定を行うことができます。設定を行っていない場合、ファックス機能は使用できません。

ファックス アクセサリを取り付けて、初めてプリンタの電源を投入するときは、次の手順を実行してファックス設定ウィザードにアクセスします。

1. [ホーム] 画面の [初期セットアップ] ボタンをタッチします。
2. [ファックス設定ウィザード] メニューをタッチします。
3. ファックス設定ウィザードの手順を実行して、必要な設定を行います。
4. ファックス設定ウィザードが完了したら、[初期セットアップ] ボタンを非表示にするオプションが [ホーム] 画面に表示されます。

コントロール パネルによる初期設定の後、ファックス設定ウィザードにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス設定ウィザード

ファックス設定ウィザードを使用して必要なファックス設定を行うには、次の手順を実行します。

1. ファックス設定ウィザードの最初の画面で国/地域をタッチして、[次へ] ボタンをタッチします。
2. 日付と時刻のボックスをタッチして日付と時刻を入力し、[次へ] ボタンをタッチします。
3. [会社名] と [ファックス番号] のボックスをタッチして会社名とファックス番号を入力し、[次へ] ボタンをタッチします。
4. 必要に応じて、[プレフィックスのダイヤル] ボックスをタッチしてダイヤル局番を入力し、[次へ] ボタンをタッチします。
5. ファックス設定ウィザードの最終画面でファックス設定を確認します。[完了] ボタンをタッチしてファックス設定ウィザードを終了します。

または

[前へ] ボタンをタッチしてファックス設定ウィザード画面をさかのぼり、設定内容を変更します。

 **注記：** コントロール パネルでファックス設定ウィザードを使用して行った設定は、内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先します。

注記： [ファックス設定] メニュー設定がメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスまたはインターネット ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、ファックス メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。ファックス アイコンは、どちらかのファックス機能に対して表示されます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用する場合は、HP MFP Digital Sending ソフトウェア設定ユーティリティまたはプリンタの内蔵 Web サーバを使用して LAN ファックスを無効にします。

日付と時刻の設定または確認

ファックス アクセサリの日付と時刻の設定は、プリンタの日付と時刻の設定と同じ値です。この情報は、ファックス設定ウィザードを使用するか、次の手順を実行して入力できます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - 日付/時刻の設定
 - 日付/時刻
3. ロケールの正しいタイムゾーン設定をタッチします。
4. [月] ドロップダウン メニューをタッチして、月を選択します。
5. [日付] ドロップダウン メニューの横のボックスをタッチして、キーパッドから年月日を入力します。
6. [時刻] 見出しの下ボックスをタッチして、キーパッドから時間および分を入力し、[午前] または [午後] ボタンをタッチします。
7. 必要に応じて、[夏時間の調整] 機能をタッチします。
8. [保存] ボタンをタッチして設定を保存します。

日付/時刻形式を設定または確認

ファックス アクセサリの日付/時刻の形式の設定は、プリンタの日付/時刻の形式の設定と同じです。この情報は、ファックス設定ウィザードを使用するか、次の手順を実行して入力できます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - 日付/時刻の設定
 - 日付/時刻 - 形式
3. [日付形式] オプションをタッチします。

4. [時刻形式] オプションをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチして設定を保存します。

ファックスの設定

リモートでのファックス設定

プリンタのコントロール パネルだけでなく、さまざまなソフトウェア ツールを使用して、ファックス アクセサリをリモートで設定できます。プリンタには内蔵 Web サーバ (EWS) が組み込まれているため、Web ブラウザまたは HP Web Jetadmin (WJA) のいずれかを使用して Web 上でファックス アクセサリを設定できます。また、HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ (DSS) を使用して、ネットワークに接続した PC からネットワーク上でファックス アクセサリを設定することもできます。これらのツールを使用すると、プリンタのファックス メニューから利用可能なほとんどのファックス アクセサリ設定にアクセスできます。

Web ブラウザ

プリンタには、内蔵 Web サーバ (EWS) が組み込まれています。EWS を使用すると、Web ブラウザでアナログ ファックス設定にアクセスして設定できます。

1. ブラウザの URL アドレス バーにプリンタの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押して EWS のプリンタの設定画面を開きます。プリンタの IP アドレスを取得するには、プリンタの設定ページを印刷します。

 **注記：** DSS を使用している場合は、DSS が制御下にあることを示すメッセージが EWS に表示されます。設定を変更するには、DSS を使用する必要があります。

2. **[ファックス]** タブをクリックします。**[ファックス送信設定]** 画面が表示されます。
3. **[ファックス送信のセットアップ]** 画面で、**[ファックス送信の有効化]** をクリックしてファックスを有効にします。共通のジョブ設定および使用するファックス タイプの特定の設定に変更を加えた後、**[適用]** ボタンをクリックして設定を適用します。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を使用してこのプリンタのアナログ ファックス設定にアクセスするには、次の手順を実行します。HP Web Jetadmin の詳細については、『**HP Web Jetadmin リファレンス マニュアル**』を参照してください。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[一覧表]** テキスト ボックスで、**[クイック デバイス検索]** テキスト ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。**[Go]** ボタンをクリックすると、右側のウィンドウにデバイスのステータスが表示されます。そのウィンドウのステータス ドロップダウン メニューから **[Digital Sending and Fax] (デジタル送信とファックス)** を選択します。
3. **[Fax Settings] (ファックスの設定)** セクションまたは **[Advanced Fax Settings] (ファックスの詳細設定)** セクションのオプションを設定します。個々の設定については、設定の横のコネクティブ ヘルプを選択してください。
4. 設定を変更した後、**[適用]** ボタンを選択してその設定を適用します。

1 台のプリンタだけでなく、複数のデバイスを設定することもできます。複数デバイス モードでは、複数のプリンタを一度に設定します。この機能については、www.hp.com/go/webjetadmin の [Self Help and Documentation] (セルフ ヘルプとマニュアル) タブで『Web Jetadmin User Guide』を参照してください。

HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ

DSS 設定ユーティリティを使用して MFP のアナログ ファックス設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータまたはサーバでユーティリティを起動し、メイン画面を開きます。
2. 製品を選択し、メイン画面の [Configure MFP] (MFP の設定) ボタンをクリックします。次に [FAX に送信] タブを選択して [Fax Settings] (ファックスの設定) 画面を開きます。
3. プリンタのファックス機能を有効にするには、[Enable Fax Send] (FAX 送信の有効化) オプションを選択します。アナログ ファックス設定にアクセスするには、[Fax Send Method] (ファックス送信方式) ドロップダウン リストで [Internal Modem] (内蔵モデム) を選択します。[Common Job Settings] (共通のジョブ設定) タブで設定を変更し、[適用] ボタンをクリックしてその設定を適用します。[Internal Modem] (内蔵モデム) タブを選択し、その他のファックス設定を指定します。

1 台のプリンタだけでなく、複数のデバイスを設定することもできます。HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティの詳細については、『HP MFP Digital Sending Software ユーザーガイド』または『HP MFP Digital Sending Software サポート ガイド』を参照してください。

 **注記：** ファックス方式の機能と設定によっては、これらのオプションの一部が表示されなかったり、設定できなかつたりする場合があります。

ファックス送信設定

ファックス送信設定

[ファックス送信設定] メニューを使用して、次の機能を設定します。

- ファックス設定ウィザード
- ファックス ダイアル設定
- 全般的なファックス送信設定
- 請求書コード

ファックス設定ウィザード

ファックス設定ウィザードの順を追った手順に従って、ファックス機能を使用するために必要なファックス設定を行うことができます。設定を行っていない場合、ファックス機能は使用できません。

ファックス アクセサリを取り付けて、初めてプリンタの電源を投入するときは、次の手順を実行してファックス設定ウィザードにアクセスします。

1. [ホーム] 画面の [初期セットアップ] ボタンをタッチします。
2. [ファックス設定ウィザード] メニューをタッチします。
3. ファックス設定ウィザードの手順を実行して、必要な設定を行います。
4. ファックス設定ウィザードが完了したら、[初期セットアップ] ボタンを非表示にするオプションが [ホーム] 画面に表示されます。

コントロール パネルによる初期設定の後、ファックス設定ウィザードにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス設定ウィザード

ファックス設定ウィザードを使用して必要なファックス設定を行うには、次の手順を実行します。

1. ファックス設定ウィザードの最初の画面で国/地域をタッチして、[次へ] ボタンをタッチします。
2. 日付と時刻のボックスをタッチして日付と時刻を入力し、[次へ] ボタンをタッチします。
3. [会社名] と [ファックス番号] のボックスをタッチして会社名とファックス番号を入力し、[次へ] ボタンをタッチします。
4. 必要に応じて、[プレフィックスのダイヤル] ボックスをタッチしてダイヤル局番を入力し、[次へ] ボタンをタッチします。
5. ファックス設定ウィザードの最終画面でファックス設定を確認します。[完了] ボタンをタッチしてファックス設定ウィザードを終了します。

または

[前へ] ボタンをタッチしてファックス設定ウィザード画面をさかのぼり、設定内容を変更します。

 **注記：** コントロール パネルでファックス設定ウィザードを使用して行った設定は、内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先します。

注記： [ファックス設定] メニュー設定がメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、ファックス メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。ファックス アイコンは、どちらかのファックス機能に対して表示されます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用する場合は、HP MFP Digital Sending ソフトウェア設定ユーティリティを使用して LAN ファックスを無効にします。

ファックス ダイアル設定

ファックス ダイアル音量の設定

ファックスの送信時にプリンタのダイアル音量レベルを設定するには、[ファックス ダイアル音量] 設定を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [ファックス ダイアル音量] ドロップダウン メニューをタッチして、次のいずれかの設定を選択します。
 - オフ
 - 低 (デフォルト)
 - 高
4. [保存] ボタンをタッチして、音量設定を保存します。

ダイアル モードの設定

ダイアル モード設定では、使用するダイアル タイプをトーン (プッシュホン) またはパルス (ダイヤル式電話) のいずれかに設定します。

ダイアル モードを設定するには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定

- [ファックス送信設定](#)
 - [ファックス ダイアル設定](#)
3. [\[ダイアル モード\]](#) ドロップダウン メニューをタッチして、[\[トーン\]](#) オプション (デフォルト) または [\[パルス\]](#) オプションを選択し、[ファックス ダイアル モード](#)を設定します。
 4. [\[保存\]](#) ボタンをタッチします。

ファックス送信速度の設定

ファックス送信速度設定では、ファックス送信時のアナログ ファックス モデムのモデム ビット レート (ビット/秒) を設定します。

1. [\[ホーム\]](#) 画面をスクロールし、[\[管理\]](#) ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの送信設定](#)
 - [ファックス送信設定](#)
 - [ファックス ダイアル設定](#)
3. [\[ファックス送信速度\]](#) 見出しの下のドロップダウン メニューをタッチした後、次のいずれかをタッチします。
 - [\[高速\]](#) (デフォルト) - 33600 bps (ビット/秒)
 - [標準](#) - 14400 bps
 - [低速](#) - 9600 bps
4. [\[保存\]](#) ボタンをタッチします。

リダイヤル間隔の設定

リダイヤル間隔の設定では、ダイヤルした番号が通話中または応答しない場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。

 **注記：** **[通話中の場合のリダイヤル]** と **[応答がない場合のリダイヤル]** を両方もオフに設定すると、コントロール パネルにリダイヤル メッセージが表示されます。このエラーは、ファックス アクセサリが番号をダイヤルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラーの結果、リダイヤルの設定に関係なく、ファックス アクセサリはリダイヤルを 2 回試みます (最初は 26,400 bps でリダイヤルし、失敗すると 2 回目は 14,400 bps でリダイヤルします)。このリダイヤル操作中に、リダイヤル中であることを示すメッセージがコントロール パネルに表示されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [リダイヤルの間隔] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. 値 (1 ~ 5、デフォルト値は 5) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

エラー時のリダイヤルの設定

[エラー時のリダイヤル] 機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [エラー時のリダイヤル] ボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
4. 値 (0 ~ 9、デフォルト値は 2) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

通話中の場合のリダイヤルの設定

通話中の場合のリダイヤル設定では、通話中の場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数 (0 ~ 9) を選択します。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [通話中の場合のリダイヤル] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. 値 (0 ~ 9、デフォルト値は 3) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

応答がない場合のリダイヤルの設定

応答がない場合のリダイヤルの設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、国/地域の設定に応じて 0 ~ 1 (米国で使用) または 0 ~ 2 のいずれかです。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [無応答時のリダイヤル回数] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. 値 (0 ~ 2、デフォルト値は 0) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

ダイヤル トーン検出の設定

ダイヤル トーン検出の設定では、ファックスを送信する前にダイヤル トーンを確認するかどうかを決定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [ダイヤル トーンを検出] 設定をタッチします。選択されると、[ダイヤル トーンを検出] 設定の横にチェックマークが表示されます。デフォルトの設定は、チェックなし (無効) です。
4. [保存] ボタンをタッチすると、ダイヤル トーンの検出が有効になります。

ダイヤル局番の設定 (必要な場合)

ダイヤル局番の設定では、ダイヤル時の局番 (外線発信時の「9」など) を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。

 **注記:** 局番と電話番号の間にポーズが必要な場合があります。2 秒のポーズを挿入するには、カンマ (,)、ポンド記号 (#)、または "P" を入力します。内線番号を追加するには、"X" を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス ダイアル設定
3. [プレフィックスのダイアル] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. キーパッドでダイヤル局番を入力して、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

全般的なファックス送信設定

[全般的なファックス送信設定] メニューを使用して、次の機能を設定します。

- ファックス番号の確認
- PC ファックス送信

- ファックス ヘッダ
- JBIG 圧縮
- エラー修正モード

ファックス番号の確認の有効化

ファックス番号の確認が有効に設定されている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力する必要があります。この機能のデフォルト設定は **無効** です。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - 全般的なファックス送信設定
3. [ファックス番号の確認] ボックスをタッチすると、ファックス番号の確認が有効になります。
4. [保存] ボタンをタッチします。

PC ファックス送信の有効化

PC からファックスを送信するには、PC ファックス送信機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効です。この機能が無効になっている場合は、次の手順を実行して有効にします。

 **注記：** PC ファックス送信ドライバをファックス送信元のコンピュータにインストールする必要があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - 全般的なファックス送信設定
3. [PC ファックス送信] ボックスをタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

ファックス ヘッダー

ファックス ヘッダー機能を使用して、先頭にヘッダーを付加して内容を下に下げるか、ファックスイメージにヘッダーをオーバーレイするかを設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - 全般的なファックス送信設定
3. [プリペンド] (デフォルト)、または [ファックス ヘッダ] セクションの [オーバーレイ] オプションをタッチして、ファックス ヘッダーを正しく配置します。
4. [保存] ボタンをタッチします。

JBIG 圧縮モードの設定

JBIG 圧縮を有効にすると、ファックスの伝送時間を短縮して電話料金を削減できるので便利です。ただし、旧式のファックス装置と通信するときに互換性の問題が発生する場合があります。このような場合は JBIG を無効にする必要があります。

 **注記:** JBIG 圧縮を使用できるのは、送信側と受信側の両方が JBIG 圧縮に対応している場合に限られます。

JBIG 圧縮を有効または無効にするには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - 全般的なファックス送信設定
3. [JBIG 圧縮] 機能 (デフォルト) をタッチして、JBIG 圧縮を有効にします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

エラー訂正モードの設定

通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー訂正設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。

デフォルトでは、エラー修正モードが有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質低下を許容する場合にのみ、エラー訂正をオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。

 **注記：** VOIP プロバイダの中には、エラー修正モードをオフにすることを勧めるものもあります。しかし、通常、この操作は不要です。

エラー修正モードが無効になっている場合は、次の手順を実行して有効にします。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの送信設定](#)
 - [ファックス送信設定](#)
 - [全般的なファックス送信設定](#)
3. [エラー修正モード] チェック ボックスをタッチし、無効になっている (チェックマークがない) 場合は、エラー修正モードを有効にします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

請求書コードの設定

請求書コード設定が有効な場合は、ファックスの送信時に番号の入力を要求するプロンプトが表示されます。この番号が請求書コード レポートに記載されます。請求書コード レポートを確認するには、レポートを印刷するか、アプリケーションを使用してクエリを実行します。

デフォルトでは、請求コードが無効になっています。請求コードを有効にするには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの送信設定](#)
 - [ファックス送信設定](#)
 - [請求書コード](#)
3. [請求コードの有効化] をタッチして、請求コードを有効にします。

 **注記：** 請求コードを無効にするには、[請求コードの有効化] 機能の選択を解除し、[保存] ボタンをタッチして、残りの手順をスキップします。

ユーザによる請求コードの編集を許可するには、[請求書コードの編集を許可] 機能をタッチします。

4. [デフォルトの請求コード] テキスト ボックスをタッチして、キーボードを開きます。
5. 請求コードを入力し、[OK] ボタンをタッチします。
6. [最小長] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
7. 請求コードに必要な最小桁数を入力して、[OK] ボタンをタッチします。
8. [保存] ボタンをタッチします。

デフォルト ジョブ オプション

設定には、次のデフォルト ジョブ オプションを使用できます。

- 画像プレビュー
- 解像度
- 元の文書の面
- 通知
- 内容の向き
- 元のサイズ
- イメージ調整
- テキスト/画像の最適化
- ジョブ作成
- 空白のページの削除

 **注記：** デフォルト ジョブ オプション設定は、すべてのファックス方式 (アナログ、LAN、インターネット ファックス) で共有されます。

画像プレビュー

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 画像プレビュー
3. 次のオプションがあります。
 - プレビューを無効にする
4. [保存] ボタンをタッチします。

送信側ファックスの解像度の設定

ファックス送信側の解像度設定によって、ファックス受信側でサポートされる最大解像度が決まります。ファックス アクセサリでは、この設定で制限される範囲で可能な限り高い解像度と、ファックス受信側の最大解像度を使用します。

 **注記：** 幅が 21.25cm (8.5 インチ) より広いファックスは自動的に標準または高画質で送信され、通話時間が短縮されます。

注記： 解像度のデフォルトの設定は、旧式のプリンタ モデルの解像度のデフォルト設定よりも dpi 値が低くなっています。たとえば、旧式のプリンタ モデルの解像度のデフォルト設定は、[高画質] (200 × 200 dpi) でした。

注記： 解像度が高いほど伝送時間が長くなります。

注記： LAN ファックスの解像度設定は、ベンダーによってさまざまであり、以下に示す設定と異なる場合があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの送信設定](#)
 - [デフォルト ジョブ オプション](#)
 - [解像度](#)
3. 次のいずれかの解像度設定をタッチします。
 - [標準 \(200 × 100 dpi\) \(デフォルト\)](#)
 - [高解像度 \(200 × 200 dpi\)](#)
 - [最高画質 \(300 × 300 dpi\)](#)
4. [保存] ボタンをタッチします。

原稿の面数

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの送信設定](#)
 - [デフォルト ジョブ オプション](#)
 - [原稿の面](#)

3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 片面 (デフォルト)
 - 両面
4. [印刷の向き] ボタンをタッチして、印刷の向きを設定します。
5. [保存] ボタンをタッチします。

通知

通知設定では、送信ファックスのステータスをいつ、どのように通知するかを選択します。この設定は、現在のファックスにのみ適用されます。設定を永久的に変更するには、デフォルトの設定を変更します。

1. [ホーム] 画面から、[ファックス] メニューをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 通知
3. 次のいずれかの通知設定をタッチします。
 - 通知しない (デフォルト)
 - ジョブが完了した場合に通知
 - ジョブが失敗した場合にのみ通知
4. [印刷] オプションをタッチして印刷された通知を受け取るか、[電子メール] オプションをタッチして電子メールによる通知を受け取ります。
5. [印刷] オプションを選択した場合は、[保存] ボタンをタッチして通知設定を完了します。

または

[電子メール] オプションを選択した場合は、キーボードを使用して電子メール アドレスを入力します。次に、[OK] ボタンをタッチして、通知設定を完了します。

6. [サムネイルを含める] チェック ボックスをタッチして、サムネイル画像と通知を含めます。

内容の向き

ファックスの内容をページ上にどのように配置するかを設定するには、「内容の向き」機能を使用します。片面ページの場合は、[縦] (短辺が上、デフォルトの設定) または [横] (長辺が上) を選択しま

す。両面ページの場合は、[製本スタイル] (短辺が上) または [綴込みスタイル] (長辺が上) を選択します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 内容の向き
3. 片面ページの場合は、[縦] (デフォルト) または [横] をタッチします。
4. 両面ページの場合は、[製本スタイル] または [綴込みスタイル] をタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

原稿のサイズ

ファックスの内容を原稿のサイズに合わせるには、「原稿のサイズ」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 元のサイズ
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 自動検出 (デフォルト)
 - レター (8.5x11 インチ)
 - レター/リーガル混合
 - Legal (8.5 x 14 インチ)
 - Executive (7.25 x 10.5 インチ)
 - Statement (8.5 x 5.5 インチ)
 - Legal (8.5 x 13 インチ)
 - A4 (210 x 297 mm)
 - A5 (148 x 210 mm)

- B5 (257 x 182 mm)
- 16k (197 x 273 mm)
- DPostcard JIS (148 x 200 mm)

4. [保存] ボタンをタッチします。

イメージ調整

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。

2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
- ファックスの送信設定
- デフォルト ジョブ オプション
- イメージ調整

3. [薄い] または [濃い] ボタンをタッチして、[暗さ] 設定を調整します。

4. [少なめ] または [詳細] ボタンをタッチして、[コントラスト]、[背景のクリーンアップ]、または [鮮明度] 設定を調整します。

5. [保存] ボタンをタッチします。

 **注記：** [デフォルト] ボタンをタッチして、鮮明度の設定を出荷時の設定にリセットします。

テキスト/画像の最適化

原稿と最も一致するファックス出力を生成するには、「テキスト/画像の最適化」機能を使用します。グラフィックスや写真をテキスト モードで送信すると、イメージの画質は低下します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。

2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
- ファックスの送信設定
- デフォルト ジョブ オプション
- テキスト/画像の最適化

3. 次のいずれかのオプションをタッチします。

- 手動調整 (デフォルト)
- テキスト

- 印刷画像
 - 写真
4. [保存] ボタンをタッチします。

ジョブ作成

複数の原稿を 1 つのファックス ジョブにまとめるには、「ジョブ作成」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - ジョブ作成
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - ジョブ作成オフ (デフォルト)
 - ジョブ作成オン
4. [保存] ボタンをタッチします。

空白のページの削除

ファックスで空白ページが印刷されないようにするには、「空白のページの削除」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 空白のページの削除
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 無効 (デフォルト)
 - 有効
4. [保存] ボタンをタッチします。

ファックス受信設定

ファックス受信セットアップ

呼び出し音の音量の設定

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [呼び出し音量] ドロップダウン メニューをタッチして、次のいずれかの呼び出し音音量設定を選択します。
 - オフ
 - 低 (デフォルト)
 - 高
4. [保存] ボタンをタッチして、呼び出し音音量設定を保存します。

応答するまでの呼び出し回数の設定

応答するまでの呼び出し回数設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。

 **注記：** 応答するまでの呼び出し回数のデフォルトの設定範囲は、国/地域によって異なります。応答するまでの呼び出し予想回数の範囲は、国/地域に従って制限されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [応答するまでの呼び出し回数] ドロップダウン メニューをタッチし、呼び出し回数 (1 ~ 5、デフォルト値は 1) をタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

ファックス受信速度の設定

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [ファックス受信速度] ドロップダウン メニューから次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 高速 (デフォルト) - v.34/最大 33,600 bps
 - 標準 - v.17/最大 14,600 bps
 - 低速 - v.29/最大 9600 bps
4. [保存] ボタンをタッチします。

呼び出し間隔の設定

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [呼び出し間隔] 見出しの下のボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
4. キーパッドで呼び出し間隔の値を入力し、[OK] ボタンをタッチします。呼び出し間隔のデフォルト設定は 600 です。
5. [保存] ボタンをタッチします。

呼出し音の周波数の設定

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [呼び出し周波数] 見出しの下のボックスをタッチして、キーパッドを開きます。

4. キーパッドで呼び出し音の周波数の値を入力し、[OK] ボタンをタッチします。呼び出し音の周波数のデフォルト設定は 68 hz です。
5. [保存] ボタンをタッチします。

ファックス印刷のスケジュール設定を有効または無効化

 **注記：** ファックス印刷のスケジュール設定を有効にする前に、スケジュールを作成する必要があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス印刷スケジュール
3. [ファックス印刷スケジュールの使用] オプションをタッチします。
4. [スケジュール] ボタンをタッチします。
5. ファックス印刷モード をタッチします。
6. [毎週のファックス イベントをスケジュール] 画面を開くには、緑色のプラス記号をタッチします。
7. [イベント タイプ] 見出しの下のオプションを選択します。
 - 受信ファックスを印刷
 - 受信ファックスを保存
8. [時刻] フィールドをタッチしてキーパッドを開き、受信ファックスを印刷または保存する予定の時間と分の値を入力します。
9. ファックス印刷スケジュールを適用する日の [イベントの日] ボタンをタッチします。
10. [OK] ボタンをタッチします。
11. [保存] ボタンをタッチして、ファックス印刷スケジュールを保存します。
12. [保存] ボタンをタッチして、ファックス印刷スケジュールを有効にします。

 **注記：** 1 日に 1 つのファックス印刷スケジュールしか適用できません。

着信ファックスのブロック

ファックスのブロック設定を使用して、ブロック対象電話番号のリストを作成します。ブロック対象の電話番号から送信されたファックスを受信した場合、ファックスは印刷されず、すぐにメモリから削除されます。

ブロック対象ファックス リストの作成

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ブロックするファックス番号
3. [ブロックするファックス番号] テキスト ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
4. 番号を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. 緑色の矢印をタッチして、その番号を [ブロックするファックス番号] リストに移動します。

 **注記：** ブロック対象のファックス番号を追加するには、ステップ 3 ~ 5 を繰り返します。

6. [保存] ボタンをタッチして、ブロック対象のファックス番号リストを保存します。

ブロック対象のファックス リストから番号を削除

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ブロックするファックス番号
3. [ブロックするファックス番号] リストから削除する番号をタッチし、[削除] ボタンをタッチした後、[保存] ボタンをタッチします。
4. [OK] ボタンをタッチして、番号の削除を確認します。
5. ステップ 3 と 4 を繰り返して [ブロックするファックス番号] リストからさらに番号を削除するか、[すべて削除] ボタン、[保存] ボタンの順にタッチして [ブロックするファックス番号] リストから一度にすべての番号を削除します。

ポーリング受信の開始

一部のファックス機では、別のファックス機がファックスの送信を要求するまでファックスを保持できます。あるファックス機が、ファックスを保持している別のファックス機をポーリングし、保持されているファックスを送信するよう要求する動作は、ポーリング受信として知られています。

1. コントロール パネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [その他のオプション] をタッチして、オプション画面を表示します。
3. 3 ページにスクロールします。

4. [ファックス ポーリング] をタッチして、[ファックス ポーリング] 画面を表示します。
5. テキスト ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
6. キーパッドを使用してポーリング受信番号を入力し、[スタート] をタッチします。
7. 入力した番号にダイヤルされます。保存されたファックスがダイヤル先のファックス機で待機中の場合、そのファックスはこのプリンタに送信され、印刷されます。ファックスが待機中ではない場合は、「**No Fax is Available**」(ファックスを使用できません) というメッセージが表示されます。ファクス装置でポーリング機能がサポートされていない場合、「**ポーリングが無効です**」というエラー メッセージが表示されます。

デフォルト ジョブ オプション

設定には、次のデフォルト ジョブ オプションを使用できます。

- 通知
- スタンプ済み受信ファックス
- 用紙の大きさに合わせる
- 用紙の選択
- 排紙ビン
- 面

 **注記：** デフォルト ジョブ オプション設定は、すべてのファックス方式 (アナログ、LAN、インターネット ファックス) で共有されます。

通知

この設定では、受信ファックスのファックス コール レポートをいつ印刷するかを指定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの受信設定](#)
 - [デフォルト ジョブ オプション](#)
 - [通知](#)
3. 次のいずれかの通知設定をタッチします。
 - [通知しない \(デフォルト\)](#)
 - [ジョブが完了した場合に通知](#)
 - [ジョブが失敗した場合にのみ通知](#)

4. [印刷] オプションをタッチして印刷された通知を受け取るか、[電子メール] オプションをタッチして電子メールによる通知を受け取ります。
5. [印刷] オプションを選択した場合は、[保存] ボタンをタッチして通知設定を完了します。
または
[電子メール] オプションを選択した場合は、キーボードを使用して電子メール アドレスを入力します。次に、[保存] ボタンをタッチして、通知設定を完了します。
6. [サムネイルを含める] チェック ボックスをタッチして、サムネイル画像と通知を含めます。

受信ファックスのスタンプ (着信ファックス)

受信ファックスのスタンプ設定では、着信したファックスへのスタンプを有効または無効にします。スタンプでは、着信したページごとに日付、時刻、電話番号、およびページ番号が印刷されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - スタンプ済み受信ファックス
3. スタンプを無効にするには、[無効] オプション (デフォルト) をタッチし、有効にするには、[有効] オプションをタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

ページに収める設定

ファックスを印刷するページ サイズを選択するときは、利用可能なサイズから目的のサイズに最も近いページ サイズが自動的に決定されます。ページに収める設定が有効になっており、受信した画像がそのページ サイズよりも大きい場合は、画像がページに収まるように縮小されます。この設定が無効の場合、ページよりも大きい着信画像はページをまたいで分割されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の大きさに合わせる

3. ページに収める設定を有効にするには、**有効** オプション (デフォルト) をタッチし、無効にするには、**無効** オプションをタッチします。
4. **[保存]** ボタンをタッチします。

用紙の選択の設定

ファックス用紙が給紙されるトレイを指定するには、「用紙の選択」機能を使用します。

1. **[ホーム]** 画面をスクロールし、**[管理]** ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックスの受信設定**
 - **デフォルト ジョブ オプション**
 - **用紙の選択**
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - **自動 (デフォルト)**
 - **トレイ 1**
 - **トレイ 2**
 - **トレイ 3**
 - **トレイ 4**
 - **トレイ 5**
4. **[保存]** ボタンをタッチします。

排紙ビンの設定

ファックスの出力に使用する排紙ビンを設定するには、「排紙ビン」機能を使用します。

1. **[ホーム]** 画面をスクロールし、**[管理]** ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックスの受信設定**
 - **デフォルト ジョブ オプション**
 - **排紙ビン**
3. 受信ファックスに使用するビンをタッチします。
4. **[保存]** ボタンをタッチします。

印刷面の設定

ファックスの片面出力または両面出力を指定するには、「印刷面」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 面
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 片面 (デフォルト)
 - 両面
4. [保存] ボタンをタッチします。

給紙トレイの設定

給紙トレイの設定では、ファックスの印刷用紙を供給するプリンタ給紙トレイを選択します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の選択
3. ファックスの受信に使用するトレイの名前をタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチして、用紙トレイ選択の値を保存します。

ファックスの転送の有効化

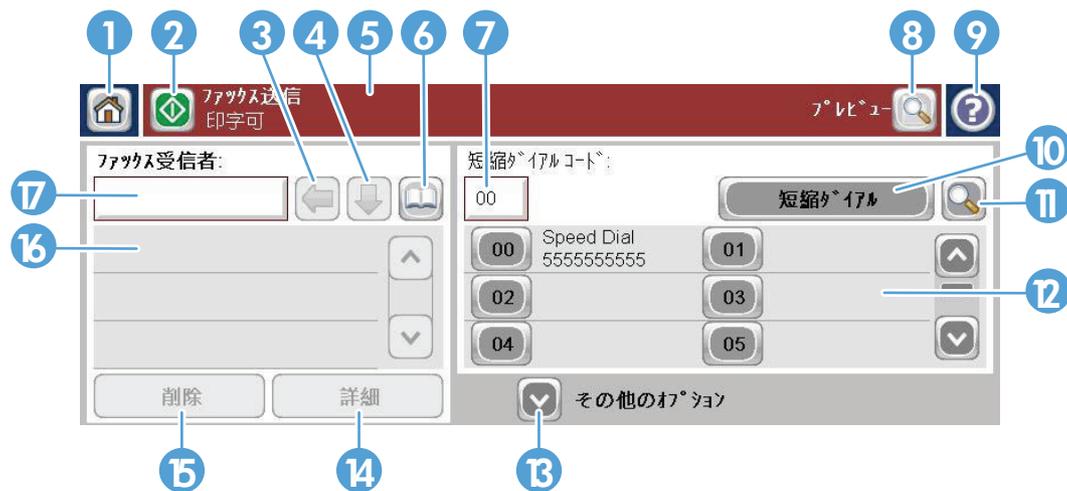
1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスのアーカイブと転送
3. [ファックス転送の有効化] ボックスをタッチします。

4. [転送するファックス ジョブのタイプ] ドロップダウン メニューから次のいずれかを選択します。
 - 送受信
 - 送信のみ
 - 受信のみ (デフォルト)
5. [ファックス転送番号] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
6. ファックスの転送先番号を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
7. [保存] ボタンをタッチします。

ファックスを使用する

ファックス機能画面

ファックス機能画面はファックスの送信に使用します。この画面にアクセスするには、コントロールパネルのホーム画面に表示されている **ファックス** アイコンを押します。



1	ホーム キー - タッチしてメイン画面に戻る
2	ファックス送信 - タッチしてファックスを受信者に送信
3	バックスペース/番号を削除
4	番号を受信者リストに入力
5	ステータス メッセージ バー
6	ファックス アドレス帳を表示
7	番号による短縮ダイヤルの検索
8	画像プレビュー
9	ヘルプ - タッチしてヘルプの選択を表示
10	短縮ダイヤル - 編集キー
11	短縮ダイヤル - 名前で検索
12	短縮ダイヤル リスト (スクロールして他のエントリを表示)
13	その他のオプション - タッチしてその他のファックス送信オプションを表示または設定
14	押して、選択した受信者の詳細を表示
15	押して、選択した受信者をリストから削除
16	ファックス受信者
17	ファックス番号 - キーボードをタッチするか、コントロール パネルのキーパッドから入力 ¹

¹ [ファックス番号] をタッチすると、ポップ アップ画面が表示されます。この画面には、PIN を非表示にする特殊文字の角かっこ ([]) を追加するための [PIN] ボタンと、2 秒間のポーズを表すカンマを挿入する [停止] ボタンが含まれています。

 **注記：** PIN とは、テレフォン カードの番号のことであり、ファックス文書のセキュリティ用ではありません。



ステータス メッセージ バー

ファックスの送受信中は、タッチ スクリーンの上部にあるステータス バーにステータス情報が表示されます。このステータスには、印刷可能、呼び出しの受信中、ページ送信済みなどの情報が表示されます。

ファックスの送信

ファックスを送信するには、次の基本的な 3 つの方法のいずれかで番号を入力します。

- 手動で番号を入力する。
- 短縮ダイヤルを使用して番号を入力する。
- ファックス アドレス帳を使用して番号を入力します。

 **注記：** ファックスの送信に関するオンライン情報については、画面上の [?] をタッチして ヘルプメニューにアクセスし、ヘルプ トピックのリストの下にある [ファックス] メニューをタッチします。

ファックス番号に使用可能な文字

- 数字 (0 ~ 9)
- #
- *
- 、
- 空白文字
- []

- ()
- -
- +
- X
- P

数字キーパッドから電話番号を入力する場合は、ポーズを入れたり、市外局番、PBX システムの外線発信番号 (通常は 9 または 0)、長距離通話の局番などを入れたりします。カンマ (,) を入力すると、2 秒間のポーズを挿入できます。ファックスの局番設定がダイヤル局番を自動的に含めるように設定されている場合、ダイヤル局番を入力する必要はありません。

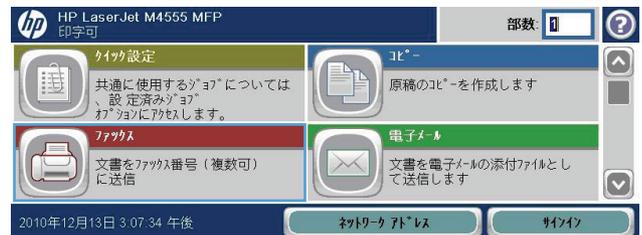
 **注記：** ファックスを送信するときは、最初にスキャンが行われてメモリに保存されます。ドキュメント全体を保存した後に送信され、メモリから削除されます。通話中または応答がないために送信できなかったファックスは、メモリから削除されます。[通話中の場合のリダイヤル] または [無応答時のリダイヤル回数] 機能が設定されている場合、再試行がすべて失敗するまで、またはファックスが正常に送信されるまでファックスは削除されません。

手動番号入力によるファックス送信

1. 自動ドキュメント フィーダ (ADF) またはスキャナのガラスの上にドキュメントを置きます。



2. [ホーム] 画面の [ファックス] ボタンをタッチします。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。



3. [その他のオプション] ボタンをタッチします。設定が原稿の設定と一致していることを確認します。すべての設定が完了したら、上向き矢印をタッチしてメインの [ファックス] 画面までスクロールします。



4. [ファックス番号] ボックスをタッチして、キーパッドを開きます。



5. キーパッドを使用して電話番号を入力し、[OK] ボタンをタッチします。



6. [スタート] アイコンをタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] アイコンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。



短縮ダイヤルを使用したファックスの送信

 **注記:** 短縮ダイヤルを使用してファックスを送信する前に、短縮ダイヤルを作成する必要があります。

1. 文書フィーダまたはスキャナ ガラス上にドキュメントを置きます。
2. [ホーム] 画面の [ファックス] ボタンをタッチします。
3. 使用する短縮ダイヤル名の **短縮ダイヤル** 番号をタッチして、[OK] ボタンをタッチします。[ファックス] 画面の [ファックス番号] セクションに、短縮ダイヤル名が表示されます。
4. [スタート] ボタンをタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] ボタンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。

名前による短縮ダイヤル リストの検索

既存の短縮ダイヤルを名前を検索するには、この機能を使用します。

 **注記：** 短縮ダイヤルの一意の名前が分からない場合は、文字を入力することによってリストの一部を選択します。たとえば、N の文字で始まる短縮ダイヤル名を表示するには、「N」と入力します。一致するエントリがない場合は、N に最も近いエントリの検索結果が表示される前に、メッセージが表示されます。

1. [ホーム] 画面の [ファックス] ボタンをタッチします。
2. [短縮ダイヤル検索] ボタンをタッチします。このボタンは、虫眼鏡のような外観で、[短縮ダイヤル] ボタンの右側にあります。
3. 検索する短縮ダイヤル名の最初の数文字を入力します。一致するものが見つかったら、検索画面の一番上のリストに表示されます。必要に応じて、スクロールしてすべてのエントリを表示するか、さらに数文字を入力して検索を絞り込みます。
4. 適切な名前をリストから選択し、[OK] ボタンをタッチします。メインのファックス画面の短縮ダイヤル リストに、番号リスト内で選択したエントリが表示されます。
5. 短縮ダイヤル番号をタッチして受信者リストに追加します。
6. これを選択するか、必要であればさらに名前を検索します。



短縮ダイヤル検索の有効化

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの送信設定
 - ファックス送信設定
 - 一般的なファックス送信設定

3. [短縮ダイヤルに一致したファックス番号] メニューをタッチし、次に [有効] オプションをタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

ファックス アドレス帳の番号を使用したファックスの送信

ファックス アドレス帳機能を使用すると、プリンタにファックス番号を保存できます。

また、Microsoft® Exchange 連絡先リストをプリンタ上で有効にしてファックス アドレス帳に表示することもできます。

1. コントロール パネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [アドレス帳] アイコンをタッチして、[アドレス帳] 画面を表示します。
3. ドロップダウン メニューからファックス アドレス帳ソースを選択します。
4. 名前をタッチしてハイライトし、右矢印アイコンをタッチして、ハイライトされた名前を [ファックス受信者] セクションに移動します。
5. [OK] ボタンをタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。
6. [スタート] ボタンをタッチして、ファックスを送信します。タッチ スクリーンの [スタート] ボタンをタッチしても、コントロール パネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。

ファックス アドレス帳検索

アドレス帳の名前検索を実行するには、ファックス アドレス帳検索機能を使用します。

1. [ホーム] 画面の [ファックス] アイコンをタッチします。
2. ファックス アドレス帳アイコン ([ファックス受信者] ボックスの右にある) をタッチします。
3. ファックス アドレス帳画面の上部にあるドロップダウン メニューで [すべての連絡先] または [ローカルの連絡先] を選択します。
4. ドロップダウン メニューの横の [検索] アイコン (虫眼鏡) をタッチします。
5. キーボードで、名前の最初の数文字を入力すると、一致する受信者が表示されます。さらに数文字を入力すると、検索が絞り込まれます。画面上部の検索された名前から選択し、[OK] をタッチします。画面は、ファックス アドレス帳に戻ります。
6. 右矢印をタッチして、選択した名前を [ファックス受信者] リストに入力します。
7. [OK] ボタンをタッチして、[Send Fax job] (ファックス送信ジョブ) 画面に戻ります。

 **注記:** ローカルのファックス アドレス帳を EWS に対してインポート/エクスポートするには、EWS のマニュアルを参照してください。

ファックスのキャンセル

現在のファックス送信のキャンセル

- ▲ ファックスの **[Status]** (ステータス) 画面で **[ジョブのキャンセル]** ボタンをタッチします。
または
コントロール パネルの **[停止]** ボタンをタッチします。
「**Job has been aborted**」(ジョブが中止されました) というメッセージが表示されたら、**[OK]** ボタンを タッチします。
[OK] ボタンをタッチしてファックス ジョブのキャンセルを完了し、ファックス画面に戻ります。

保留中のファックス送信のキャンセル

1. [ホーム] 画面をスクロールし、**[ジョブ ステータス]** ボタンをタッチします。
2. **[ジョブ ステータス]** 画面で、キャンセルするファックス ジョブをタッチします。
3. **[ジョブのキャンセル]** ボタンをタッチします。
4. 「**Are you sure you want to cancel this job?**」(このジョブをキャンセルしますか?) というメッセージが表示された画面で **[はい]** ボタンを タッチします。

 **注記：** キャンセル操作は、完了までに 30 秒かかる場合があります。

ファックスの受信

ファックス アクセサリでファックスが受信されると、印刷する前にメモリに保存されます。ファックス全体を保存した後に印刷され、メモリから削除されます。ファックス印刷のスケジュール設定が有効でない限り、ファックスは受信時に印刷されます。ファックス印刷のスケジュール設定を有効にすると、受信したファックスはメモリに保存され、印刷されません。ファックス印刷のスケジュール設定を無効にすると、保存されているすべてのファックスが印刷されます。

ファックス受信のデフォルト設定を変更して、ファックスを受信する方法を変更できます。これらの設定は以下のオプションを含みます。

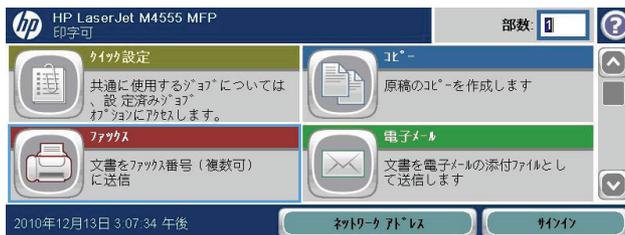
- 応答するまでの呼び出し回数の選択
- 日付、時刻、およびページ番号のファックスへの印刷 (スタンプ)
- 給紙トレイと排紙ビンの選択
- 別の番号へのファックスの転送
- 特定の番号からのファックスのブロック
- ファックス印刷のスケジュール設定 (メモリ ロック)
- 通知設定

短縮ダイヤル リストの作成と削除

短縮ダイヤルを使用すると、1つの番号または番号のグループに短縮ダイヤル名を割り当てることができ、短縮ダイヤル名を選択することによってその番号にファックスを送信できます。

短縮ダイヤル リストの作成

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。
2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。
3. [短縮ダイヤル番号] をタッチします。
4. [短縮ダイヤル名] ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
5. 短縮ダイヤルの名前を入力します。
6. [短縮ダイヤル名] ボックスで下向き矢印をタッチして、ドロップダウンメニューを開きます。



7. [ファックス番号] オプションをタッチします。

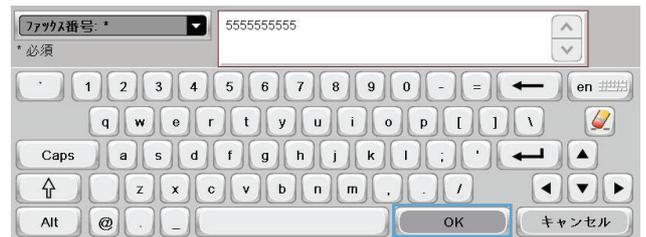


8. [短縮ダイヤル名] にファックス番号を入力します。

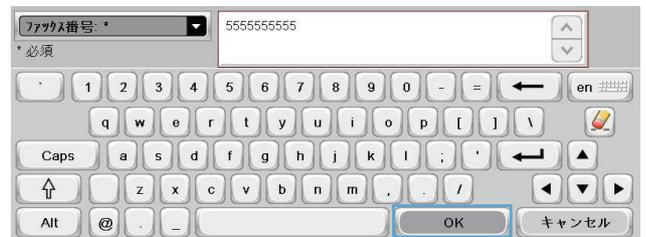
注記： 短縮ダイヤル名のファックス番号をさらに入力するには、画面上で前に入力したファックス番号の最後の数字の右側をタッチします。カーソルが表示されたら、Enter キー ← をタッチして、カーソルを次の行に移動します。この手順を繰り返して、短縮ダイヤル名のすべての番号を入力します。



9. [OK] ボタンをタッチします。名前およびファックス番号が [短縮ダイヤル番号] の横に表示されます。

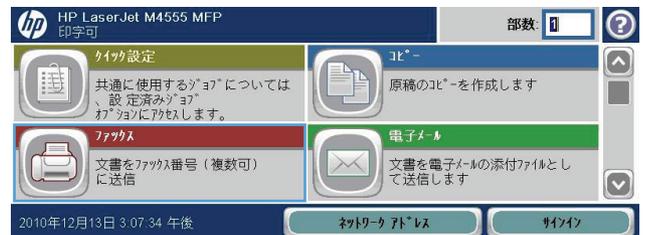


10. 終了したら、[OK] ボタンを押して、[ファックス] 画面に戻ります。



短縮ダイヤル リストの削除

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。



2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。



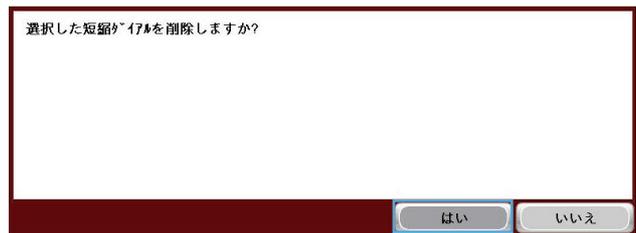
3. 削除するリストの短縮ダイヤル番号をタッチします。



4. [削除] ボタンをタッチします。

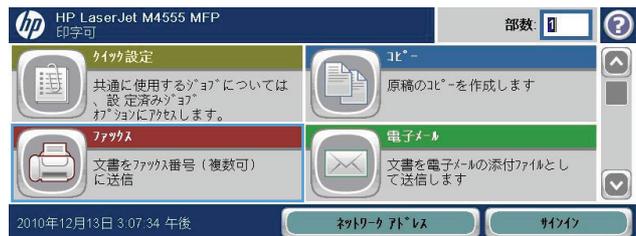


5. [はい] ボタンをタッチして、短縮ダイヤル リストの削除を確認し、[ファックス] 画面に戻ります。



短縮ダイヤル リストから 1 つの番号を削除

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。



2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。



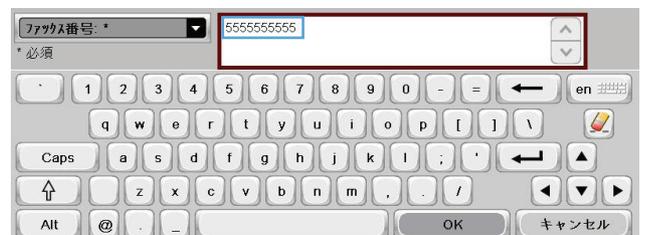
3. リストの**短縮ダイヤル**番号をタッチして、キーボードを開きます。

4. [短縮ダイヤル名] ボックスで下向き矢印をタッチして、ドロップダウン メニューを開き、[ファックス番号] オプションをタッチします。

5. ファックス番号のリストをスクロールして、削除するファックス番号の最後の桁の右側の画面をタッチします。Backspace キーを使用して、ファックス番号を削除します。

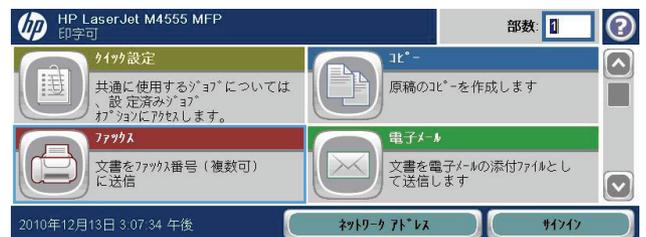
6. [OK] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面に戻ります。

7. [OK] ボタンをタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。



既存の短縮ダイヤル リストへの番号の追加

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。



2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。



3. 編集するリストの短縮ダイヤル番号をタッチします。



4. [短縮ダイヤル名] ボックスで下向き矢印をタッチして、ドロップダウンメニューを開きます。



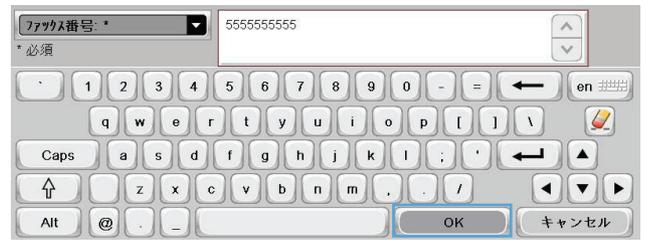
5. [ファックス番号] 項目をタッチします。



6. 短縮ダイヤル名のファックス番号を追加するには、画面上でリスト末尾にあるファックス番号の最後の数字の右側をタッチします。カーソルが表示されたら、Enter キー  をタッチして、カーソルを次の行に移動した後、ファックス番号を入力します。



7. [OK] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面に戻ります。



8. [OK] ボタンをタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。



音声電話と再試行

ファックスコール レポート

ファックス コール レポートは、[デフォルト ジョブ オプション] または [その他のオプション] メニューで通知機能が有効になっている場合に印刷されます。

ファックスのすべての試行が終了すると、送信されたファックスに関するファックス コール レポートが印刷されます。このレポートには、ファックス ジョブ ログ ID が記載され、最後の試行結果が印刷されます。

ファックス コール レポートには音声電話についての情報は印刷されません。

 **注記：** ファックス コール レポートには、最後の試行に関するジョブ番号だけが記載されます。これらのレポートをメニューから手動で印刷する場合、直前の呼び出しが最後の試行でなく、音声電話でもない場合、ジョブ番号は 0 になります。

ファックス使用状況ログ

デフォルトでは、音声電話はファックス使用状況ログには記載されません。すべてのリダイヤルが使用された後か、ファックスが正常に送信された後に、最後の試行だけがファックス使用状況ログに記録されます。

T.30 レポート

音声電話では、T.30 レポートは印刷されません。再試行については、すべてについて T.30 レポートが印刷されます。

保存ファックスの印刷

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[デバイス メモリから開く] ボタンをタッチします。
2. [保存ファックス] メニューをタッチします。

3. [保存ファックス] リストで、印刷するジョブをタッチします。
4. [スタート] アイコンをタッチして、ファックスを印刷します。タッチ スクリーンの [スタート] アイコンをタッチしても、コントロール パネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。

ファックス印刷のスケジュール設定 (メモリ ロック)

いつファックスを印刷するかを指定するには、ファックス スケジュール設定機能を使用します。次のファックス印刷モードを選択できます。

- 全受信ファックスを保存
- 全受信ファックスを印刷
- ファックス印刷スケジュールの使用

[全受信ファックスを保存] 機能を選択すると、すべての受信ファックスがメモリに保存され、印刷されません。メモリに保存されているファックス ジョブには、[デバイス メモリから開く] メニューを使用してアクセスできます。このメニューを使用すると、ジョブをメモリに保存中に印刷したり削除したりできます。この機能の詳細については、プリンタのユーザ ガイドの [ジョブ取得] メニューに関する説明を参照してください。

 **注記：** [ファックス印刷] メニューで [全受信ファックスを印刷] モードに変更することによって、保存されている取得ファックスにアクセスできます。

[全受信ファックスを印刷] モードを選択すると、すべての受信ファックスが印刷されます。メモリに現在保存されているファックスも印刷されます。

[ファックス印刷スケジュールの使用] モードを選択すると、ファックス印刷スケジュールに従ってファックスが印刷されます。ファックス印刷のスケジュールは、1 日中 (24 時間) ロックアウトするようにも、特定の時間だけロックアウトするようにも設定できます。ロックアウト時間は 1 つしか設定できませんが、日数にかかわらず適用できます。ロックアウト時間は、[ファックス印刷スケジュール] メニューで設定します。

スケジュールに 1 つのイベント タイプだけを追加すると、プリンタは、その 1 つのイベント タイプに基づいて [全受信ファックスを保存] または [全受信ファックスを印刷] として動作します。つまり、1 つの保存イベントによってデバイスで [全受信ファックスを保存] が機能し、1 つの印刷イベントによって [全受信ファックスを印刷] が機能します。

 **注記：** ロックアウト時間が終わると、ロックアウト時間中に受信され、保存されたファックスが自動的に印刷されます。

VoIP ネットワーク経由でのファックスの使用

VoIP テクノロジはアナログ電話信号をデジタル ビットに変換します。このデジタル ビットはインターネット上でやり取りされるパケットにまとめられます。パケットは、宛先またはその手前で再びアナログ信号に変換されて送信されます。

インターネット上での情報の送信はアナログではなくデジタルで行われます。そのため、ファックス送信に関してアナログの公衆交換電話網 (PSTN) の場合とは異なるファックス設定を必要とする、さ

さまざまな制約があります。ファックスはタイミングと信号の品質に大きく依存しているため、ファックスの送信は VoIP 環境の影響を強く受けます。

HP LaserJet Analog Fax Accessory 500 を VoIP サービスに接続する場合は、次のように設定を変更することをお勧めします。

- V.34 モード (高速) に設定し、エラー訂正モード (ECM) をオンにしてファックスを起動します。V.34 プロトコルは VoIP ネットワークへの調整に必要な送信速度の変更に対応します。
- ファックスを V.34 に設定した結果、エラーまたは再試行が頻発する場合は、V.34 をオフにし、速度を [標準] (14,400 bps) に設定します。
- エラーと再試行が続く場合、ファックス速度を低く設定します。一部の VoIP システムはファックスに関連付けられている高い信号レートを処理できない場合があるためです。そこで、最大ボー レートを 9,600 bps (低速) に設定します。
- まれにエラーが続く場合があります。その場合は、ファックスの ECM をオフにします。こうすると画像の品質が低下する可能性があります。この設定を使用する前に、ECM をオフにした状態の画像品質を確認してください。
- 上記の設定変更を行っても VoIP ファックスの信頼性が向上しない場合、VoIP の提供元に連絡してサポートを受けてください。

ファックスの問題の解決

ファックスは正しく設定されていますか？

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

- **ファックス アクセサリに付属の電話線を使用していますか？** このファックス アクセサリは、付属の電話線を使用して RJ11 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他の電話線は使用しないでください。アナログ ファックス アクセサリにはアナログの電話線が必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
- **ファックス/電話線コネクタがファックス アクセサリのソケットに接続されていますか？** 電話ジャックがソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタは「カチッ」と音がするまでソケットに差し込む必要があります。
- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？** 壁のジャックに電話を接続して、ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。ダイヤル トーンが聞こえて、電話をかけることができますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

- **専用回線：**ファックスの送受信に標準的なファックス/電話番号が割り当てられています。

 **注記：** 電話回線はプリンタ ファックス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けま

- **PBX システム：**ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファックス アクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の PBX システムはデジタルであるため、ファックス アクセサリと互換性がない場合があります。ファックスを送受信するには、標準的なアナログ電話回線に接続する必要があります。
- **ロールオーバー回線：**最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にファックス アクセサリを接続してください。ファックス アクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

 **注記：** ロールオーバー回線では、ファックス アクセサリのファックス受信機能で問題が発生する場合があります。この製品でのロールオーバー回線の使用はお勧めできません。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファックス アクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を通る電流からファックス アクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファックス通信に問題が発生する場合があります。ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにファックス アクセサリを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージ サービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージ サービスの呼び出し回数設定がファックス アクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージ サービスが呼び出しに応答するため、ファックス アクセサリでファックスを受信できません。ファックス アクセサリの呼び出し回数設定がメッセージ サービスの設定よりも少ない場合は、ファックス アクセサリがすべての呼び出しに応答するため、呼び出しがメッセージ サービスに転送されません。

電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。

ファックス アクセサリのステータスの確認

アナログ ファックス アクセサリが機能していないと思われる場合は、[プリンタ設定ページ](#) レポートを印刷してステータスを確認します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [レポート](#)
 - [設定/ステータス ページ](#)
 - [プリンタ設定ページ](#)
3. [印刷] ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示] ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記：** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、[Jetdirect ページ](#)にあります。

設定ページのファックス アクセサリ ページで、[Hardware Information] (ハードウェア情報) という見出しの下にある [Modem Status] (モデムのステータス) を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

動作中/使用可能 ¹	アナログ ファックス アクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用不可 ¹	ファックス アクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログ ファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。
停止中/使用可能/使用不可 ¹	ファームウェアに障害が発生しています。ファームウェアを更新する必要があります。

破損/使用可能/使用不可¹

ファックス アクセサリに障害が発生しています。ファックス アクセサリ カードを取り外し、ピンが曲がっていないかどうかを確認してください。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログ ファックス アクセサリ カードを交換してください。

¹ 「使用可能」は、アナログ ファックス アクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LAN ファックスが使用可能であることを示します (アナログ ファックスはオフ)。

ファックス機能が動作していない

ファックス アクセサリは取り付けられているが、アイコンがプリンタのメイン画面に表示されない。

原因	解決方法
HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティによってアナログ ファックス機能が無効になっています。	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、アナログ ファックス機能を有効にします。
アクセサリが正常に動作していません。	ファックス アクセサリのステータスを確認します。ステータスが ステータスが「停止中」の場合は、新しいファームウェアのインストールが必要な場合があります。 カードを取り付けたばかりであるにもかかわらず、ステータスが「破損」の場合は、カードを取り外し、ピンが曲がっていないかどうかを確認します。 カードが正しく取り付けられているにもかかわらず、ステータスが「破損」の場合は、カードの交換が必要な場合があります。
フォーマッタ ボードが故障しています。	HP サービス担当者に修理を依頼してください。

プリンタにファックス メニューが表示されない。

原因	解決方法
LAN ファックスが有効になっています。	これは正常な動作です。HP Digital Sending Software によって LAN ファックスが有効になると、アナログ ファックスは無効になり、アナログ ファックスでのみ使用されるファックス メニューは表示されません。

一般的なファックスの問題

問題	原因	解決策
ファックスを送信できない。	JBIG が有効になっていますが、ファックス受信側に JBIG 機能がありません。	JBIG をオフに設定します。

問題	原因	解決策
ステータス メッセージ バーに [メモリ不足です] というステータス メッセージが表示される。	プリンタのストレージ ディスクが満杯になっています。	ディスクからファイルをいくつか削除します。ディスクの管理方法については、プリンタのユーザ ガイドを参照してください。
写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される。	[ページ内容] のモード設定が間違っています。	[テキスト/画像の最適化] オプションを [写真] に設定します。
プリンタのキーボードの [キャンセル] ボタンを押してファックス送信をキャンセルしても、ファックスが送信されてしまう。	キャンセルが実行されるのは、キャンセル メニュー (赤い 停止 ボタンを押した後に表示される) で操作を選択して、OK を押して処理に同意した後になります。	ファックス メニューを使用して、ファックスをキャンセルします。
ファックス アドレス帳ボタンが表示されない。	ファックス アドレス帳機能が有効になっていません。	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、ファックス アドレス帳機能を有効にします。
HP WebJetadmin のファックス設定が見つからない。	HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。	ドロップダウン メニューから、 デジタル送信とファックス を選択します。
オーバーレイを有効にしても、ヘッダーがページ上部に付加される。	オーバーレイが設定されていても、ファックスが転送された場合は、オーバーレイ ヘッダーがページ上部に付加されません。	これは正常な動作です。
受信者ボックスに名前と番号が混在している。	名前と番号の取得元に応じて、名前と番号の両方が表示されるのは正常な動作です。ファックス アドレス帳では名前がリストされ、他のすべてのデータベースでは番号がリストされます。	正常です。対策は必要ありません。
1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される。	ファックス ヘッダーがファックスの上部に付加されると、テキストが 2 ページ目に押し出されます。	1 ページのファックスを 1 ページに印刷するには、オーバーレイ ヘッダーをオーバーレイ モードに設定するか、ページに収める設定を調整します。
ファックスの送信中にドキュメントの給紙が停止する。	ADF で紙詰まりが発生している可能性があります。	紙詰まりが発生している場合は、プリンタのユーザ ガイドの紙詰まり除去手順を参照してください。
ファックス アクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる。	音量設定を調整する必要があります。	

ファックスの受信に関する問題

ファックス アクセサリが着信ファックスの呼び出しに回答しない (ファックスが検出されない)。

原因	解決方法
応答するまでの呼び出し回数が正しく設定されていない可能性があります。	応答するまでの呼び出し回数を確認します。
電話線が正しく接続されていないか、機能していない可能性があります。	接続状態を確認します。ファックス アクセサリに付属の電話線を使用していることを確認します。

ファックス アクセサリが着信ファックスの呼び出しに反応しない (ファックスが検出されない)。

原因	解決方法
電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
音声メッセージ サービスによる妨害のため、ファックス アクセサリが呼び出しに反応できない可能性があります。	次のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none">● メッセージ サービスを停止します。● ファックス専用の電話回線を用意します。● ファックス アクセサリの呼び出し回数を音声メッセージの呼び出し回数よりも少なくします。

ファックスの送受信が非常に遅い。

原因	解決方法
グラフィックスが多く含まれているものなど、非常に複雑なファックスを送受信している可能性があります。	複雑なファックスは送受信に時間がかかります。
受信側のファックス装置のモデム速度が遅い可能性があります。	ファックス アクセサリでは、受信側のファックス装置で利用できる最速のモデム速度でのみファックスが送信されます。
ファックス送受信の解像度が非常に高く設定されている可能性があります。通常、解像度を高くすると品質は向上しますが、送信時間が長くなります。	ファックスの受信側である場合は、解像度を低くしてファックスを再送信するように送信者に依頼します。ファックスの送信側である場合は、解像度を低くして、 テキスト/画像の最適化 オプションを変更します。
電話回線の接続が不適切な場合は、エラーに合わせて調整するためにファックス アクセサリと受信側ファックス装置の伝送速度が低下します。	ファックスの送信をキャンセルし、再送信します。電話会社に電話回線の点検を依頼します。

ファックスがプリンタで印刷されない。

原因	解決方法
給紙トレイに用紙がありません。	用紙をセットします。給紙トレイが空のときに受信したファックスはメモリに保存され、用紙の補充後に印刷されます。
[ファックス印刷のスケジュール設定] が設定されています。	ファックス印刷のスケジュール設定が有効になっている場合は、この機能を無効にするまでファックスが印刷されません。
プリンタのトナー残量が低下しているか、トナーが切れています。	このプリンタでは、トナー残量が低下するかトナーが切れると、印刷が停止します。受信したファックスはメモリに保存され、トナーの補充後に印刷されます。プリンタでの印刷に関するその他の問題については、プリンタのユーザ ガイドを参照してください。
着信呼び出しが音声の呼び出しである場合があります。	通常、音声による着信呼び出しは、コール レポート上に 通信エラー (17) として明記されます。この場合、ファックス エラーではないので特に対処は必要ありません。ファックス番号とは異なる電話番号を使うように呼び出し元と連絡を取ってください。

ファックスがプリンタで印刷されない。

原因	解決方法
受信ファックスが中断されました。	ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブになっていないことを確認してください。割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。
[ファックス印刷スケジュール] 機能を [FAX を常に保存] に設定します。	[ファックス印刷スケジュール] 設定を [FAX を常に印刷] に変更します。

ファックスの送信に関する問題

問題	原因	解決策
ファックスが送信中に停止する。	送信先のファックス装置に障害が発生している可能性があります。	別のファックス装置に送信してみます。
	電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
	電話回線の雑音が多く、品質が低い可能性があります。	低いボー レートを試してみて、送信の信頼性を改善してください。最大ボー レートの設定を参照してください。
	割り込み通話機能がアクティブになっている可能性があります。	ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブになっていないことを確認してください。割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。
ファックス アクセサリでファックスを受信できるが、送信できない。	PBX システムでファックス アクセサリを使用している場合、PBX システムのダイヤル トーンをファックス アクセサリで検出できない可能性があります。	ダイヤル トーンの検出設定を無効にします。
	電話接続に問題がある可能性があります。	後で再試行します。
	送信先のファックス装置に障害が発生している可能性があります。	別のファックス装置に送信してみます。
ファックス送信時にダイヤルし続ける。	電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
	ファックス アクセサリでは、[通話中の場合のリダイヤル] または [応答がない場合のリダイヤル] オプションがオンに設定されている場合、ファックス番号が自動的にリダイヤルされます。	これは正常な動作です。ファックスがリダイヤルしないようにするには、[通話中の場合のリダイヤル] を 0 に設定し、[応答がない場合のリダイヤル] を 0 に設定します。

問題	原因	解決策
送信したファックスが受信側のファックス装置に届かない。	受信側のファックス装置がオフになっているか、用紙切れなどのエラーが発生している可能性があります。	受信者に連絡して、ファックス装置がオンになっており、ファックスを受信する準備が整っていることを確認します。
	通話中の電話番号のリダイヤルを待機しているか、その前に送信を待機している他のジョブがあるため、ファックスがメモリに保存されている可能性があります。	このような理由でファックス ジョブがメモリに保存されている場合は、ジョブのエントリがファックスのログに記録されます。ファックス使用状況ログを印刷し、「結果」の列に「保留」と示されたジョブがないかどうかを確認してください。

エラー コード

ファックスの送受信を妨害または中断するような問題が発生すると、エラー コードが生成されます。このコードは、問題の原因を突き止めるために役立ちます。エラー コードは、ファックス使用状況ログ、ファックス コール レポート、および T.30 プロトコル トレースに表示されます。これら 3 つのレポートのいずれかを印刷し、エラーコードを取得してください。エラー コードの詳しい説明と適切な対策については、www.hp.com で HP LaserJet Analog Fax Accessory 500 を検索してください。

ファックス エラー メッセージ

HP LaserJet 製品でアナログ ファックスを送受信する場合、ファックスの処理中に発生したエラーは製品のコントロール パネルに表示され、ファックス レポートに記載されます。ファックス エラーの原因は複数あり、電話接続の割り込みや雑音の場合もあります。ファックスの処理中に発生するエラーは、その原因に関係なく製品ごとに表示されます。

ファックスの処理に割り込みが入った場合、またはファックスの送受信中にエラーが発生した場合は、状況またはエラーの説明が表示されます。これは、2 つの部分に分かれています。ファックスの処理が正常に完了した場合も、成功したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージ情報は、テキストによる説明と数値コードによって構成されます (一部のメッセージには数値コードは含まれません)。プリンタのコントロール パネルには、メッセージのテキスト部分だけが表示されますが、ファックス使用状況ログ、ファックス コール レポート、およびファックス T.30 トレースにはテキスト メッセージと数値コードの両方が記載されます (これらのファックス レポートは、プリンタのコントロール パネルの [管理] > [レポート] > [ファックス レポート] メニューおよび [管理] > [トラブルシューティング] > [ファックス] > [ファックス T.30 トレース] メニューで個別に印刷できます)。レポート内で、数値コードはメッセージ テキストの後に括弧付きで示されます。たとえば、通信エラーが発生した場合、コントロール パネルには [ファックスの失敗: 通信エラー] と表示されます。同じエラーは、ファックス使用状況レポートの結果フィールドで **通信エラー (17)** として表示されます。この場合、この通信エラーに関連付けられている数値コードは 17 です。

数値コードはファックス モデムによって生成されます。通常、数値コード (0) はモデムの正常な応答です。メッセージの中には、常に数値コード (0) が付けられるものや、環境に応じた数値コードの範囲が付けられるもの、数値コードのないものがあります。数値コード (0) は通常、ファックス モデムに関連付けられていませんが、ファックス サブシステムの別の箇所や、印刷サブシステムのような別のプリンタ サブシステムで発生したエラーを指します。0 以外のエラー コードは、モデムが

実行している特定の処置またはプロセスに関する詳細情報を伝えるものであり、必ずしもモデムに問題があることを示しているわけではありません。

以下の表には、ファックス メッセージと最も一般的な数値コード、および推奨されている解決処置が示されています。表には、正常な状態または正常なイベントを表すメッセージも掲載されています。たとえば、相手先が通話中であるためにファックスを送信できなかった場合、「**通話中による失敗**」メッセージが表示されます。このメッセージは、ファックス サブシステムに異常があることを示すのではなく、相手先が通話中であるためにファックスの送信が完了しなかったことを示します。

ここにリストされている以外の数値コードが付いたエラー メッセージが連続して表示される場合、カスタマ サポートに連絡してください。カスタマ サポートに連絡する前に、最後のファックス呼び出しに関する詳細情報を印刷してください。これは問題を特定するのに役立ちます。この詳細なファックス情報はファックス T.30 トレースと呼ばれており、最後のファックスに関して印刷できます。ファックス エラーが発生するたびに印刷されるように設定することもできます。ファックス T.30 トレースを印刷または設定するには、[管理]、[[トラブルシューティング](#)]、[[ファックス T.30 トレース](#)] の順にタッチします。こうすると、直前のファックスに関するレポートを印刷するか、T.30 トレースを印刷するタイミングを設定できます。

送信ファックス メッセージ

表 11-1 送信ファックス メッセージ

メッセージ	エラー番号	説明	操作
キャンセル	0	ファックスは、プリンタのコントロール パネルでユーザによって取り消されました。	なし。
成功	N/A	ファックスを正常に送信しました。	なし。
通話中による失敗	0	相手先のファックス機が通話中です。	ファックスの自動再試行が設定されている場合、自動的に再試行が行われます。設定されていない場合、後から再送信を試行します。
応答なし	0	受信側のファックス機が呼び出しに応答しません。	受信側のファックス機が回線に接続されていないか、電源が切れています。受信者に連絡して、ファックス機の状態を確認します。再送信を試行します。
圧縮エラー	任意	ファックス内容が完全でないか、送信されていない可能性があります。	ファックスの再送信を試行します。
発信音なし	0	ファックスの送信時にダイヤル トーンが検出されませんでした。	電話回線が有効かどうかを確認して、送信側のファックスでダイヤル トーンの検出を行わないように設定します。
モデム エラー	任意	内蔵ファックス モデムからプリンタに、予期しない応答または無効な応答がありました。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。 注記： これは、必ずしもモデム ハードウェアが悪いことを示しているわけではありません。
通信エラー	17 または 36	送信側と受信側間の電話回線が失われています。音声電話が原因の可能性がありません。	ファックスの再送信を試行します。
通信エラー	17 または 36 を除く任意の番号	一般的な通信問題で、ファックスの送信が割り込まれたか、期待どおりに処理されませんでした。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。

表 11-1 送信ファックス メッセージ (続き)

メッセージ	エラー番号	説明	操作
容量エラー	0	ファックス イメージ ファイルを読み取れなかったか、ディスクに書き込めませんでした。プリンタのディスクが損傷を受けているか、プリンタのディスクで空きスペースが不足している可能性があります。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
ページ エラー	0	ページ幅に互換性がないか、ページに無効な行が多すぎます。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
メモリ エラー	0	プリンタの RAM メモリが不足しています。	エラーが続く場合は、プリンタに RAM を追加する必要があります。
ジョブ失敗	任意	ファックス エラー。ファックス ジョブが完了しませんでした。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
電力障害	0	ファックスの送信中に送信側のファックス プリンタで電力障害が発生しました。	ファックスの再送信を試行します。
ファックスが検出されません	17 または 36	受信側でファックス機が検出されませんでした。音声電話が原因の可能性があります。	ファックス番号を確認し、受信側のファックス機の電源がオンになっていて回線に接続されていることを確認してから、ファックスの再送信を試行します。

受信ファックス メッセージ

表 11-2 受信ファックス メッセージ

メッセージ	エラー番号	説明	操作
成功	N/A	ファックスを正常に受信しました。	なし。
ブロック	N/A	受信側のファックス機で、ファックスの受け取りがブロック番号機能によってブロックされました。	なし。
モデム エラー	任意	内蔵モデムからプリンタへ予期しない応答または不正な応答がありました。たとえば、ファックスの受信中に別のファックスの送信が試行されました。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
通信エラー	17, 36	送信側と受信側間の電話接続が切れたか、割り込みが入りました。	ファックスを再送信します (送信側のファックス機が自動的に再試行しない場合)。
通信エラー	17 または 36 を除く任意の番号	一般的な通信問題で、ファックスの送信が割り込まれたか、期待どおりに処理されませんでした。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
容量エラー	0	イメージ ファイルを読み取れなかったか、ディスクに書き込めませんでした。プリンタのディスクが損傷を受けているか、ディスクの空きスペースが不足している可能性があります。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
ページ エラー	0	ページ幅に互換性がないか、ページに無効な行が多すぎます。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
メモリ エラー	0	プリンタの RAM メモリが不足しています。	エラーが続く場合は、プリンタに RAM メモリを追加する必要があります。
圧縮エラー	0	ファックスのデータが壊れています。受信したイメージ ファイルをデコードできません。	ファックスを再送信します。ECM (エラー修正モード) をまだ有効にしていない場合は有効にします。
印刷失敗	0	ファックスのデータが壊れています。受信したイメージ ファイルをデコードできません。	ファックスを再送信します。ECM (エラー修正モード) をまだ有効にしていない場合は有効にします。
ポーリングが無効です	0	ファックス ポーリング機能によって、別のファックス機からファックスを受信しようとしたのですが、受信できませんでした。	ポーリング対象のファックス機の管理者に連絡して、ファックスが有効であることを確認してから、再試行します。

表 11-2 受信ファックス メッセージ (続き)

メッセージ	エラー番号	説明	操作
ジョブ失敗	任意	ファックス エラー。これには、特定されないすべてのエラーが含まれます。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
電力障害	0	ファックスの受信中に電力障害が発生しました。	送信側でファックスの再送信を実行します。
ファックスが検出されません	17, 36	ファックスに対して音声通話が行われました。	なし

ファックス レポート

この後のセクションでは、このプリンタで利用できるファックス レポートを示します。各レポートは、プリンタのコントロール パネルで印刷または表示できます。

このプリンタでは、次のファックス レポートを利用できます。

- ファックス使用状況ログ
- 請求書コード レポート
- ブロックされたファックス リスト
- 短縮ダイヤル リスト
- ファックス コール レポート

次の手順を実行して、ファックス レポートを印刷または表示します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - レポート
 - ファックス レポート
3. 印刷/表示するログまたはレポートをタッチします。
4. [印刷] または [表示] ボタンをタッチします。

ファックス使用状況ログ

このファックス使用状況ログには、次の情報が含まれています。

- プリンタで設定されたファックス ヘッダー情報。
- 各ファックス ジョブのジョブ番号。
- 送受信済みまたは送信失敗のすべてのファックスの日付と時刻。

- ファックス ジョブのタイプ (送信または受信)。
- ID (可能であれば電話番号)
- 通話時間 (オフフック時間)
- ページ数
- 結果 (送信成功、保留中、送信失敗。送信失敗にはエラーのタイプとコードを含む。)

データベースには最新の 500 件のファックス エントリが保存されます (それより古いファックスはログから削除されます)。データベースのファックス エントリには、任意のファックス セッションがエントリとして含まれます。たとえば、ファックス セッションは、送信済みファックス、受信ファックス、またはファームウェア アップグレードの可能性があります。使用状況によっては、レポートのエントリが 500 件に満たない場合があります (受信またはその他の操作を行わず、500 件のファックスを送信していない場合)。

ログを記録のために使用する場合は、少なくともファックス 500 件ごとに定期的にログを印刷する必要があります。その後、ログを削除します。

請求書コード レポート

請求書コード レポートは、正常に送信された最新の 500 件のファックスを請求書コードごとにリストしたものです。このレポートには次の情報が記載されています。

- 請求書コード番号
- 正常に送信されたすべてのファックスの日付と時刻
- ID 番号
- 通話時間 (オフフック時間)
- 送信ページ数
- 結果 (成功)

データベースには最新の 500 件のファックスが保存されます (それより古いファックスはデータベースから削除されます)。レポートを記録のために使用する場合は、少なくともファックス 500 件ごとに定期的にレポートを印刷する必要があります。その後、レポートを削除します。

ブロック対象ファックス リスト レポート

ブロック対象ファックス リスト レポートには、ファックスの受信を拒否するように設定されたファックス番号のリストが含まれます。

短縮ダイヤル リスト レポート

短縮ダイヤル リスト レポートには、短縮ダイヤル名に割り当てられているファックス番号がリストされます。

ファックス コール レポート

ファックス コール レポートは、最後に送受信されたファックスのステータスを示す簡単なレポートです。

ファックス使用状況ログの削除

ファックス使用状況ログを削除するには、次の手順を実行します。

1. コントロール パネルで [管理] アイコンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス使用状況ログを削除する
3. [クリア] ボタンをタッチして、ファックス使用状況ログを削除します。

サービス設定

コントロール パネルのこれらのメニュー項目は、「エラー コード」セクションに従って対策を実行しても問題を解決できなかった場合のトラブルシューティングに役立ちます。これらは、HP サービス担当者の指示のもとで使用することを前提としています。

[トラブルシューティング] メニューの設定

[管理] メニューを開き、[トラブルシューティング] メニューを選択します。

[トラブルシューティング] メニューの
設定

[T.30 トレース] : T.30 トレースは、直前のファックス送受信に関して送信側および受信側のファックス装置間で行われた通信をすべて記録した印刷レポートです。このレポートには、ほとんどのユーザーの理解を超える技術的な詳細情報が数多く記載されています。ただし、このレポートに含まれている詳しいエラー コードやその他の情報は、ファックスの送受信に関連する特定の問題のトラブルシューティングに役立つ場合があります。問題の原因を突き止めるために、レポートの内容が HP サービス担当者から要求される場合があります。この内容は、適切な対策を判断する際に役立ちます。

[Transmit Signal Loss] (伝送信号損失) : このオプションでは、電話回線の信号損失が補正されます。この設定を変更するとファックスが動作不能になる場合があります。そのため、HP サービス担当者の指示がない限り、変更しないでください。

[V34] (V34) : この設定にはモデムのボー レートを制御する 2 つの値 (標準とオフ) があります。[標準] 設定では、サポートされている 33,600 bps までの任意のボー レートをモデムに選択 (他のモデムと交渉) できます。[オフ] 設定では、ボー レートは 14,400 bps に設定されます。この設定は、変更されるまで、そのまま持続します。

[スピーカ モード] : このサービスには 2 つのモード設定、[標準] および [診断] があります。[標準] モードでは、初期接続によるダイヤル時にモデム スピーカーがオンになり、その後でオフになります。[診断] モードでは、スピーカーをオンにすると、設定が [標準] に戻されるまで、すべてのファックス通信でオンになります。

リセット メニューの設定

[管理] メニューを開き、[リセット] メニューを選択します。

[リセット] メニューの設定

[Restore Factory Telecom Settings] (出荷時通信設定に戻す) または [Restore Default Telecom Settings] (デフォルト通信設定に戻す): これを選択すると、いくつかのメニューがリセットされてデフォルトの設定に戻ります。リセットされる設定には、最大ボーレート、呼び出し音保留時間、V.34、スピーカーモード、伝送信号損失などがあります。

ファームウェアのアップグレード

ファックス アクセサリのファームウェアは更新が可能です。ファックスのファームウェア更新は、製品全体のファームウェア更新の一部として行われます。詳細については、製品のユーザーズ ガイドを参照してください。

12 管理と保守

- [情報ページの印刷](#)
- [HP 内蔵 Web サーバの使用](#)
- [HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)
- [プリンタのセキュリティ機能](#)
- [エコノミー設定](#)
- [外部 I/O デバイスの取り付け](#)
- [プリンタのクリーニング](#)
- [製品のアップデート](#)

情報ページの印刷

情報ページには、プリンタ、およびその現在の設定の詳細が表示されます。情報ページを印刷または表示するには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. [レポート] メニューを開きます。
3. 内容を確認するレポートの名前を選択します。次に、そのレポートを印刷する場合は [印刷] ボタン、そのレポートをコントロール パネルに表示する場合は [表示] ボタンをタッチします。

 **注記：** 一部のページに対しては、[表示] ボタンは表示されません。

第 1 レベル	第 2 レベル	説明
設定/ステータス ページ	[管理] メニュー マップ	あらゆるオプションに移動する方法がわかるように、[管理] メニューの構造全体が表示されます。
	現在の設定ページ	プリンタで現在設定可能な設定が表示されます。
	プリンタ設定ページ	プリンタの設定値および取り付けられているアクセサリが表示されます。
	サプライ品のステータス	サプライ品の推定残り寿命、処理されたページの合計数に関する統計情報、シリアル番号、ページ数、および保守情報が表示されます。 各サプライ品の推定残り寿命は、お客様の利便性を考慮して提供されている情報です。実際のサプライ品の残量レベルは、印刷原稿の種類などの要因によって推定と異なる場合があります。
	使用状況ページ	プリンタを通過したすべてのサイズ of 用紙の枚数、用紙の印刷形式 (片面/両面、モノクロ/カラー)、およびページ数が表示されます。
	ファイル ディレクトリ ページ	プリンタのメモリに保存されているファイルの名前と格納先フォルダ名が表示されます。
ファックス レポート	ファックス使用状況ログ	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。
	請求書コード レポート	送信ファックスに対して使用された課金コードの一覧、および、各コードに対する課金対象となった送信ファックスの枚数です。
	ブロックされたファックス リスト	このプリンタへのファックス送信をブロックされている電話番号の一覧です。
	短縮ダイヤル リスト	このプリンタで設定されている短縮ダイヤルが表示されます。
	ファックス コール レポート	前回のファックス処理 (送信または受信) の詳細情報です。
その他のページ	PCL フォント リスト	使用可能な PCL フォントを印刷します。
	PS フォント リスト	使用可能な PS フォントを印刷します。

HP 内蔵 Web サーバの使用

HP 内蔵 Web サーバを使用すると、プリンタのコントロール パネルの代わりにコンピュータを使って、プリンタのステータスの確認、プリンタのネットワーク設定の構成、印刷機能の管理を行えます。HP 内蔵 Web サーバを使用して実行できる機能の例を次に示します。

 **注記：** プリンタを直接コンピュータに接続している場合は、HP 内蔵 Web サーバの代わりに HP Easy Printer Care ソフトウェアを使用してプリンタのステータスを表示します。

- プリンタのステータス情報の表示
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- プリンタのコントロール パネルのメニューの表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- プリンタとサプライ品に関する通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

HP 内蔵 Web サーバを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。HP-UX 10 と HP-UX 11 では、Netscape Navigator 4.7 が必要です。HP 内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースの接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが使えるようになります。

ネットワーク接続を使用して HP 内蔵 Web サーバを開く

1. 次の手順で、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を識別します。
 - a. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、[管理] ボタンをタッチします。
 - b. [レポート] メニューを開きます。
 - c. [プリンタ設定ページ] メニューを開き、[印刷] をタッチします。
 - d. HP Jetdirect ページで IP アドレスまたはホスト名を検索します。
2. コンピュータの Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

HP 内蔵 Web サーバーの機能

[情報] タブ

表 12-1 HP 内蔵 Web サーバーの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイスのステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、[設定の変更] リンクをクリックします。
[ジョブ ログ]	最近プリンタで実行した印刷ジョブまたはコピー ジョブのリストを表示します。
[プリンタ設定ページ]	設定ページの情報が表示されます。
[サプライ品ステータス ページ]	サプライ品ステータス ページの情報を表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタで発生したすべてのイベントとエラーが一覧表示されます。 [HP Instant Support] リンク (HP 内蔵 Web サーバのすべてのページにある [その他のリンク] 領域) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらの Web ページには、このプリンタで利用可能な付加サービスも表示されます。
[使用状況ページ]	このプリンタで印刷されたページの数、用紙サイズ別、用紙タイプ別、および用紙印刷経路別に表示されます。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報が表示されます。この情報をカスタマイズする場合は、[デバイス情報] タブの [一般] メニューをクリックします。
[印刷]	コンピュータ上またはネットワーク上のファイルを探して印刷します。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを表示します。印刷または表示する項目を 1 つ以上選択してください。

[一般] タブ

表 12-2 HP 内蔵 Web サーバーの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロール パネルのカスタマイズ]	コントロール パネルの [ホーム] 画面に表示する機能とその表示順を設定します。
[クイック セット設定]	プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面にある [クイック設定] 領域で印刷可能なジョブを設定します。
[アラート]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告を設定します。
[コントロール パネル管理メニュー]	コントロール パネルの [管理] メニューのメニュー構造を表示します。 注記： この画面で設定できますが、HP 内蔵 Web サーバには、[管理] メニューから利用できる高度な設定オプションが用意されています。
[自動送信]	プリンタの構成とサプライ品に関する電子メールを特定の電子メール アドレスに自動送信するよう、プリンタを設定します。

表 12-2 HP 内蔵 Web サーバーの [一般] タブ (続き)

メニュー	説明
[コントロール パネルのスナップショット]	コントロール パネル ディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズします。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバのすべてのページの [その他のリンク] 領域に表示されません。
[アクセサリおよびサプライ品の購入について]	[Supplies Status] (サプライ品ステータス) ページに表示される、具体的なサプライ品注文情報を入力します。たとえば、サプライ品購入先企業の連絡先や Web アドレスを入力します。
[デバイス情報]	プリンタに名前を付け、資産番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信する主要連絡先の名前を入力します。
[言語]	HP 内蔵 Web サーバに関する情報の表示言語を設定します。
[日付と時刻]	日付と時刻を設定するか、または、ネットワーク時刻サーバと同期させます。
[スリープ スケジュール]	プリンタの復帰時刻、スリープ時刻、およびスリープ遅延を設定または編集します。各曜日および休日に異なるスケジュールを設定できます。
[バックアップと復元]	プリンタ データとユーザ データを格納するバックアップ ファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元できます。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を元の工場出荷時のデフォルト設定に復元します。
[ソリューション インストーラ]	プリンタ機能を拡張できるサードパーティ製のソフトウェア プログラムをインストールします。
[ファームウェア アップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[クォータ サービスと統計サービス]	クォータ サーバに接続すると、このプリンタを使用する各ユーザーは、あらかじめ決められている範囲のページしか印刷またはスキャンできなくなります。各ジョブの開始時にプリンタからクォータ サーバに対して照会処理が実行され、ユーザーが印刷またはスキャンできるページが決まります。

[コピー/印刷] タブ

表 12-3 HP 内蔵 Web サーバーの [コピー/印刷] タブ

メニュー	説明
[[USB から開く] のセットアップ]	コントロール パネルの [USB から開く] メニューを有効または無効にします。
[保存ジョブの管理]	プリンタのメモリにジョブを格納する機能を有効または無効にし、ジョブ保存オプションを設定します。
[全般的な印刷設定]	印刷ジョブのデフォルトを設定し、コントロール パネル ディスプレイでの印刷オプションの表示順を設定します。
[コピー設定]	コピー ジョブのデフォルトを設定し、コントロール パネル ディスプレイでのコピー オプションの表示順を設定します。

[スキャン/デジタル送信] タブ

表 12-4 HP 内蔵 Web サーバーの [スキャン/デジタル送信] タブ

メニュー	説明
[アドレス帳]	電子メール アドレスを 1 つずつプリンタに追加したり、プリンタに保存された電子メール アドレスを編集します。また、[インポート/エクスポート] タブを使用すれば、頻繁に使用する電子メール アドレスの大きなリストを、1 つずつではなく一括でロードすることもできます。
[電子メール セットアップ]	以下をはじめとする、デジタル送信用の電子メールのデフォルトを設定します。 <ul style="list-style-type: none">送信メール (SMTP) サーバの設定電子メール クイック セット ジョブのデフォルトの設定デフォルトのメッセージ設定 (「送信元」アドレス、件名など)デジタル署名と暗号化の設定電子メール通知の設定個人やグループのサインインと権限の設定電子メール ジョブのデフォルトのスキャン設定電子メール ジョブのデフォルトのファイル設定
[[ネットワーク フォルダに送信] のセットアップ]	以下をはじめとする、デジタル送信用のネットワーク フォルダを設定します。 <ul style="list-style-type: none">ネットワーク フォルダに保存されているクイック セット ジョブのデフォルトの設定通知の設定ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[[USB に保存] のセットアップ]	以下をはじめとする、デジタル送信用の USB を設定します。 <ul style="list-style-type: none">USB フラッシュ ドライブに保存されているクイック セット ジョブのデフォルトの設定通知の設定USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[OXPD : ワークフロー]	サードパーティ製のワークフロー ツールを使用します。
[デジタル送信ソフトウェア セットアップ]	オプションのデジタル送信ソフトウェアの使用に関連する項目を設定します。

[ファックス]タブ (fskm モデルのみ)

表 12-5 HP 内蔵 Web サーバーの [ファックス] タブ

メニュー	説明
[ファックス送信設定]	以下をはじめとする、ファックス送信を設定します。 <ul style="list-style-type: none">送信ファックスのデフォルトの設定内蔵ファックス モデムによるファックス送信のデフォルトの設定LAN ファックス サービスの使用の設定インターネット ファックス サービスの使用の設定
[短縮ダイヤル]	ファックス短縮ダイヤル番号を管理します。電子メール アドレス、ファックス番号、ユーザー レコードなどを含む .CSV ファイルをインポートして、プリンタからアクセスできるようにすることもできます。また、プリンタに保持されている電子メール レコード、ファックス レコード、またはユーザー レコードを、コンピュータ上のファイルにエクスポートすることもできます。このファイルは、バックアップ データとして使用できます。また、このファイル内のレコードを別の HP プリンタにインポートすることができます。
[ファックス受信セットアップ]	受信ファックスに関するデフォルトの印刷オプション、および、ファックス印刷スケジュールを設定します。
[ファックスのアーカイブと転送]	ファックス アーカイブおよびファックス転送を有効または無効にし、それぞれの基本項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none">ファックス アーカイブとは、送受信ファックスのすべてのコピーを電子メールアドレスに送信する方法です。ファックス転送とは、受信ファックスを別のファックス デバイスに転送する方法です。
[ファックス使用状況ログ]	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。

[トラブルシューティング] タブ

表 12-6 HP 内蔵 Web サーバーの [トラブルシューティング] タブ

メニュー	説明
[レポートとテスト]	プリンタに関する問題の解決に役立つ、さまざまなレポートを印刷します。 また、診断目的のため、ファックス速度およびファックス スピーカー モードを変更します。
[ファームウェア アップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を元の工場出荷時のデフォルト設定に復元します。
[診断データの取得]	問題を解決するために HP の支援を要する場合に使用する、プリンタに関する情報が含まれているファイルをエクスポートします。

[セキュリティ] タブ

表 12-7 HP 内蔵 Web サーバーの [セキュリティ] タブ

メニュー	説明
[一般セキュリティ]	プリンタの特定の機能の利用を制限できるように管理者パスワードを設定します。 コンピュータから直接印刷するための、コントロール パネルのホスト USB ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。
[アクセス制御]	特定の個人またはグループに対してプリンタの機能の利用を設定します。また、個人がプリンタにサインインする方法も選択します。
[保存データの保護]	プリンタの内蔵ハード ドライブを設定および管理します。このプリンタには、セキュリティを最大にするための暗号化ハード ドライブが搭載されています。 プリンタのハード ドライブに格納されているジョブを設定します。
[証明書管理]	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。
[セルフ テスト]	データとコードの整合性テストを実行して、プリンタのセキュリティ機能が正常に動作していることを確認します。

[HP Web サービス] タブ

プリンタがネットワークに接続しているときに [HP Web サービス] タブを使用して、ePrint または SIPS の設定を変更します。

[ネットワークング] タブ

プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合は、[ネットワークング] タブを使用してプリンタのネットワーク設定を変更します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

[その他のリンク] リスト

 **注記：** [その他のリンク] リストに表示する項目を設定するには、[その他のリンクの編集] タブの [一般] メニューを使用します。以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 12-8 HP 内蔵 Web サーバーの [その他のリンク] リスト

メニュー	説明
[HP Instant Support]	問題の解決方法が掲載されている HP の Web サイトに接続します。
[サプライ品の購入]	HP SureSupply Web サイトに接続します。このサイトでは、純正サプライ品 (例: プリント カートリッジ、用紙) の購入方法を確認できます。
[製品のサポート]	製品のサポート サイトに接続します。このサイトでは、さまざまなヘルプ トピックを検索できます。
[手順の表示]	プリンタに関する具体的な作業 (例: 紙詰まりの解消、各種の用紙への印刷) を確認できます。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続されている周辺機器をリモートでインストール、監視、およびトラブルの解決を行うことができる Web ベースのソフトウェア ソリューションです。管理は事前に行い、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決できます。この無料の強化された管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin でダウンロードできます。

製品の特定の機能をサポートするために、デバイス プラグインを HP Web Jetadmin にインストールできます。新しいプラグインが利用できるようになると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**【製品の更新】** ページで、指示に従って自動的に HP Web サイトに接続し、プリンタに最新のデバイス プラグインをインストールします。

 **注記：** ブラウザは、Java™ 対応である必要があります。Mac OS からの参照はサポートされていません。

プリンタのセキュリティ機能

セキュリティ ステートメント

本製品では、各種のセキュリティ基準および推奨プロトコルをサポートしており、これにより、お使いの製品およびネットワーク上の重要な情報を保護し、製品の監視および管理を簡素化します。

HP の安全なイメージングおよび印刷ソリューションの詳細については、www.hp.com/go/secureprinting をご覧ください。このサイトには、セキュリティ機能に関する白書や FAQ ドキュメントへのリンクがあります。

IP セキュリティ

IP セキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルで、ネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されて HP Jetdirect プリント サーバが取り付けられているプリンタの場合は、HP 内蔵 Web サーバで **[Networking]** タブを使用して、IPsecn を設定できます。

HP 内蔵 Web サーバの保護

プリンタおよび HP 内蔵 Web サーバにアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザがプリンタの設定を変更できないようにします。

1. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力して、HP 内蔵 Web サーバを開きます。
2. **[セキュリティ]** タブをクリックします。
3. **[一般セキュリティ]** メニューを開きます。
4. **[ユーザー名]** フィールドに、パスワードを関連付ける名前を入力します。
5. **[新規パスワード]** フィールドにパスワードを入力し、**[パスワードの確認]** フィールドにパスワードを再度入力します。

 **注記：** 既存のパスワードを変更する場合は、最初に既存のパスワードを **[古いパスワード]** フィールドに入力する必要があります。

6. **[適用]** ボタンをクリックします。パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

暗号化のサポート: HP 暗号化高性能 EIO ハード ディスク

一部のモデルには暗号化ハード ディスクが搭載されています。このハード ディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えずに、機密性のある印刷、コピー、およびスキャン データを安全に保存できます。このハード ディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの **[セキュリティ]** メニューを使用して、このディスクを設定します。

暗号化されたハード ディスクの詳細については、『*HP High-Performance Secure Hard Disk Setup Guide*』を参照してください。

1. www.hp.com/support にアクセスします。
2. 検索ボックスに「セキュア ハード ディスク」と入力して、[>>] ボタンをクリックします。
3. [HP セキュア ハイパフォーマンス ハード ディスク ドライブ]のリンクをクリックします。
4. [マニュアル]のリンクをクリックします。

保存ジョブのセキュリティ保護

プリンタに保存されているジョブに PIN を割り当てることで、ジョブを保護することができます。保護されたジョブを印刷する場合は必ず、プリンタのコントロール パネルから PIN を入力する必要があります。

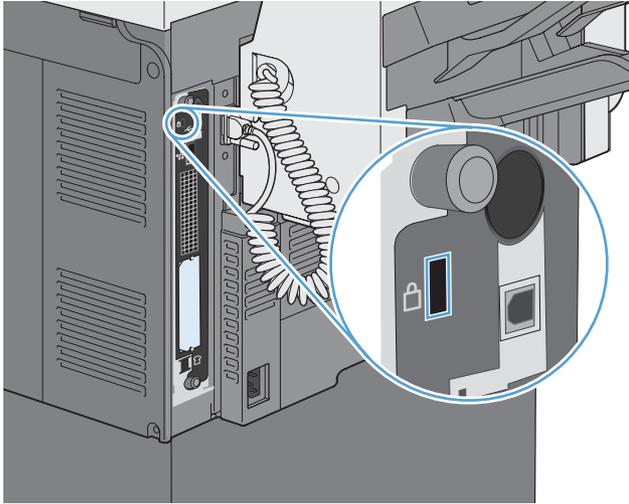
コントロール パネル メニューのロック

HP 内蔵 Web サーバーを使用して、コントロール パネルのさまざまな機能をロックできます。

1. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力して、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. [セキュリティ] タブをクリックします。
3. [アクセス制御] メニューを開きます。
4. [サインインと権限ポリシー] 領域で、各機能に対する権限を持つユーザーのタイプを選択します。
5. [適用] ボタンをクリックします。

フォーマッタのロック

プリンタの背面にあるフォーマッタ領域には、セキュリティ ケーブルを接続するためのスロットがあります。フォーマッタをロックすることで、有効なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。



エコノミー設定

パワーセーブ モード

スリープ スケジュール機能を利用すれば、プリンタ非稼働時の電力使用量を減らすことができます。プリンタがスリープ モードに入る時刻とスリープ モードから復帰する時刻を設定できます。各曜日および祝日のスケジュールをカスタマイズすることもできます。

スリープ遅延機能を利用すれば、プリンタの非稼働時間が指定時間を超えたときに自動的にスリープ モードに入るように設定することができます。

 **注記：** これらの機能は、プリンタの暖機時間に影響を及ぼしません。

スリープ モードの設定

1. [ホーム] 画面の [管理] ボタンをタッチします。
2. 次の各メニューを開きます。
 - a. 表示設定
 - b. スリープ モード
3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
 - スリープ遅延を使用：スリープ遅延機能を有効にします。
 - スリープ スケジュールを使用：スリープ スケジュール機能を有効にします。
 - 省電力と待ち時間の均衡化：ジョブの間にフューザをウォームアップしておく時間を制御して、パフォーマンスとエネルギー使用状況を最適化します。

遅延時間の設定

1. [ホーム] 画面の [管理] ボタンをタッチします。
2. 次の各メニューを開きます。
 - a. 全般的な設定
 - b. エネルギー設定
 - c. スリープ遅延
3. 時間を選択し、[OK] ボタンをタッチします。

スリープ スケジュール機能を設定する

 **注記：** スリープ スケジュール機能を利用するには、事前に日付と時刻を設定しておく必要があります。日付と時刻の設定作業が既に済んでいる場合は、次の手順のステップ 2 および 3 をスキップできます。

1. [ホーム] 画面の [管理] ボタンをタッチします。
2. [全般的な設定] メニューを開き、[日付/時刻 - 形式] メニューを開きます。次の項目の値を設定します。
 - 日付形式
 - 時刻形式
3. [日付/時刻] メニューを開き、次の項目の値を設定します。
 - 日付
 - 時刻
 - タイムゾーン

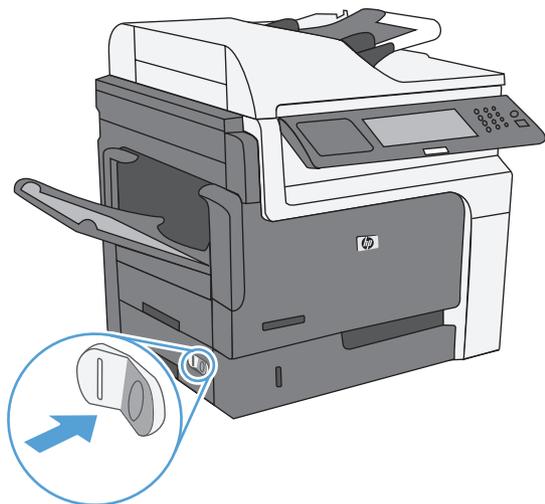
お住まいの国/地域で夏時間が導入されている場合は、[夏時間の調整] チェックボックスをオンにします。
4. [エネルギー設定] メニューを開き、[スリープ スケジュール] メニューを開きます。
5. 追加ボタン  をタッチし、スケジューリングするイベントのタイプとして [スリープから復帰の] または [スリープ] を選択します。
6. 次の項目の値を設定します。
 - イベントの時刻
 - イベントの日
 - イベント説明
7. [休日] メニューを開き、お住まいの国/地域の祝日を設定します。

外部 I/O デバイスの取り付け

プリンタには、外付け I/O (EIO) スロットがあります。空いている EIO スロットに HP Jetdirect プリント サーバ カードまたは外付け EIO ハード ドライブを取り付けられます。

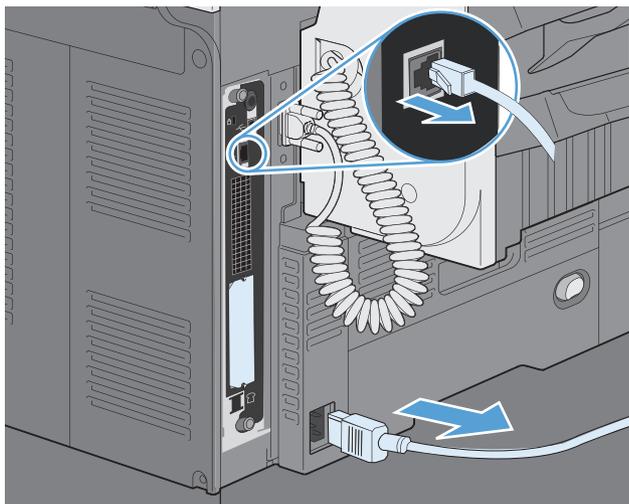
 **注記：** この例は、HP Jetdirect プリント サーバ カードの取り付け方法を示しています。

1. プリンタの電源を切ります。

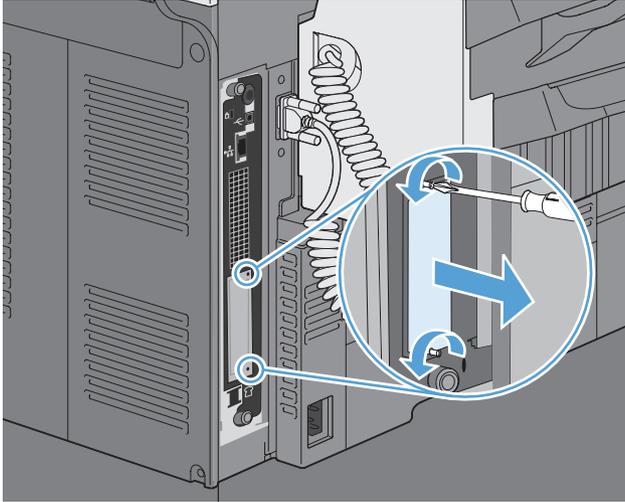


2. 電源コードおよびインターフェイス ケーブルをすべて抜きます。

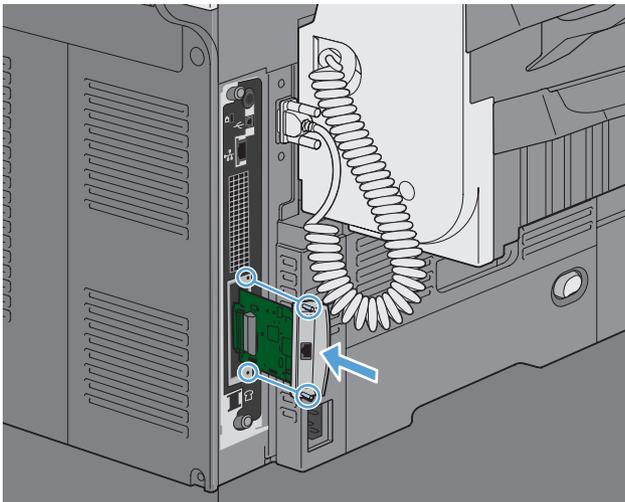
 **注記：** この図にはすべてのケーブルが記載されていない場合があります。



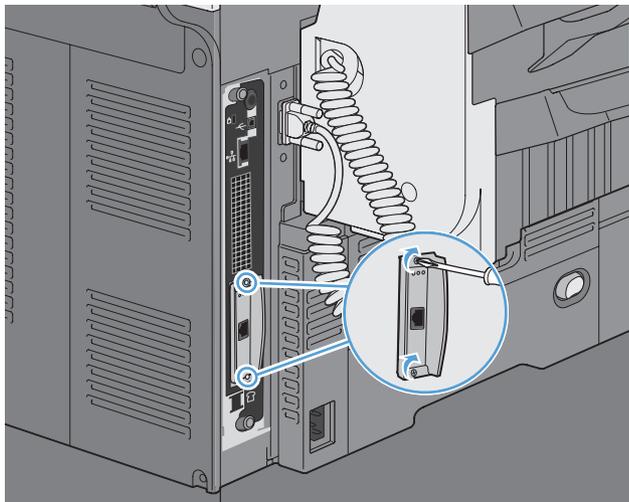
3. EIO スロットのカバーを固定する 2 つの固定ネジをゆるめて外し、カバーを取り外します。これらのネジとカバーは、再び使用することはありません。廃棄してかまいません。



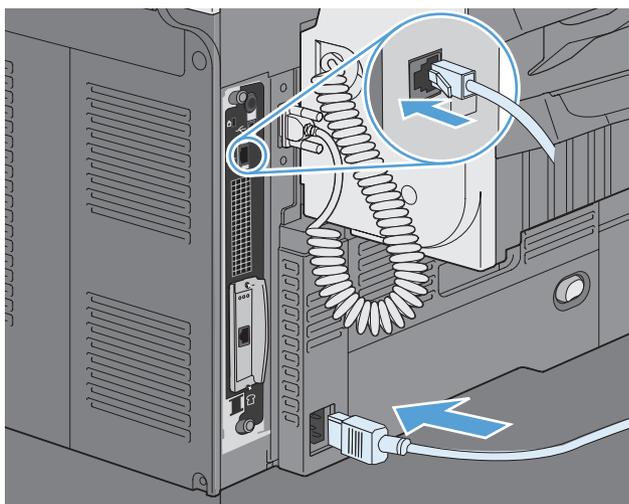
4. HP Jetdirect プリント サーバー カードを EIO スロットにしっかりと差し込みます。



5. プリント サーバー カードに付属する固定ネジを差し込んで締めます。



6. 電源ケーブルと残りのインターフェース ケーブルをつなぎ直し、プリンタの電源を入れます。



7. 設定ページを印刷します。ネットワークの設定とステータス情報を示す HP Jetdirect 設定ページも印刷されるはずですが。

このページが印刷されない場合は、プリンタの電源を切り、プリント サーバ カードをいったん取り外してから、スロットにしっかりと差し込んでください。

8. 次のいずれかの手順を実行します。
- 正しいポートを選択します。具体的な方法については、コンピュータまたはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
 - ソフトウェアを再インストールし、そのときにネットワーク インストールを選択します。

プリンタのクリーニング

プリンタ外部をクリーニングする際は、濡らした柔らかい布をよく絞って使用してください。

用紙経路のクリーニング

1. [ホーム] 画面の [プリンタのメンテナンス] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 校正/クリーニング
 - クリーニング ページ
3. [印刷] ボタンをタッチしてページを印刷します。
4. クリーニング処理には数分かかることがあります。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

スキャナ ガラスをクリーニングする

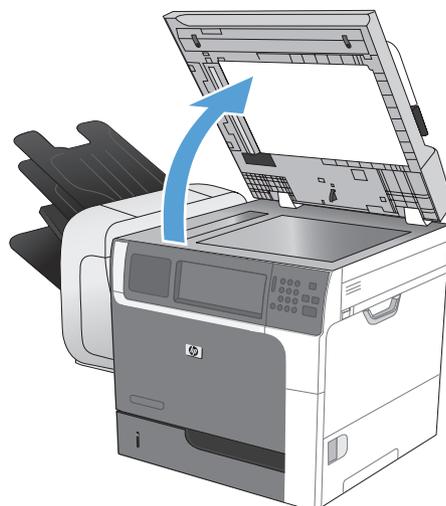
 **注記：** 文書フィーダを使用したときにのみすじなどの汚れが発生する場合、非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジを使用して、スキャナ ストリップをクリーニングします。スキャナ ストリップは、スキャナ ガラスの左側にあります。スキャナ ガラス全体をクリーニングする必要はありません。

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。次の手順に従って、スキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングしてください。

1. プリンタの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。



3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。しみが残らないように乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。

注意： プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記： スキャナのガラス板の左側にある小さいガラス ストリップを丁寧に清掃します。このガラスに付いた小さなごみは、文書フィードからコピーしたときに筋になります。

4. プリンタの電源コードをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチをオンにします。



製品のアップデート

本プリンタの最新ファームウェアへのアップグレードをダウンロードするには、www.hp.com/go/lijm4555mfp_firmware にアクセスします。

13 問題の解決

- [セルフ ヘルプ](#)
- [問題解決チェックリスト](#)
- [出荷時の設定に戻す](#)
- [コントロールパネルのメッセージ](#)
- [用紙送りが滑らかでないか、または紙詰まりが発生する](#)
- [印刷品質を向上させる](#)
- [印刷されない、または、印刷速度が遅い](#)
- [USB を使用した外部データの印刷に関する問題を解決する](#)
- [接続に関する問題の解決](#)
- [Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する](#)
- [Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する](#)

セルフ ヘルプ

このガイドの情報の他にも、役に立つ情報を提供するソースが利用可能です。

プリンタのコントロール パネルの使用 方法をまとめた、印刷可能なポスター	このポスターは、プリンタの CD に収納されています。4 ページのポスターとして印刷され、プリンタの近くで保管しておくことができます。このポスターには、プリンタのコントロール パネルで利用できるボタンおよびその他の機能の使用法に関する情報が記載されています。
クイック リファレンス トピック	このプリンタに関するさまざまなクイック リファレンス トピックが Web サイト www.hp.com/support/ljm4555mfp にあります。 これらのトピックを印刷してプリンタの近くに置いておくことができます。印刷したトピックは、頻繁に実行する手順の簡易リファレンスとなります。
クイック リファレンス ガイド	このガイドには、最もよく使用するプリンタ機能の手順が記載されています。このガイドは、Web サイト www.hp.com/support/ljm4555mfp から入手できます。 このガイドを印刷してプリンタの近くに置いておくことができます。
コントロール パネルのヘルプ	コントロール パネルには、プリント カートリッジの交換、紙詰まりの解消などのさまざまな作業の手順を示すヘルプが組み込まれています。

問題解決チェックリスト

プリンタに関する問題を解決する際、次の手順に従ってください。

1. プリンタの [印字可] ランプが点灯していることを確認します。点灯していない場合は、次の手順を実行します。
 - a. 電源ケーブルの接続を確認します。
 - b. 電源が入っていることを確認します。
 - c. 電源電圧がプリンタの電源設定に適合していることを確認します。(電圧仕様については、プリンタ内部のラベルを参照してください)。テーブルタップの電圧が仕様に合っていない場合は、プリンタを壁のコンセントに直接差し込みます。既に壁のコンセントを使用している場合は、別のコンセントで試してみます。
 - d. いずれの方法でも電源が回復しない場合は HP カスタマ ケアまでご連絡ください。
2. ケーブル接続を確認します。
 - a. プリンタとコンピュータまたはネットワーク ポート間のケーブル接続をチェックし、きちんと接続されていることを確認します。
 - b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。
 - c. ネットワーク接続を確認します。
3. コントロール パネルが準備完了状態になっている必要があります。エラー メッセージが表示されている場合は、エラーを解消します。
4. 使用している用紙が仕様を満たしていることを確認します。
5. 設定ページを印刷します。
 - a. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、次のメニューを開きます。
 - [管理](#)
 - [レポート](#)
 - [設定/ステータス ページ](#)
 - [プリンタ設定ページ](#)
 - b. [印刷] ボタンをタッチします。

ページが印刷されない場合は、少なくとも 1 つのトレイに用紙がセットされていることを確認します。

紙詰まりが発生している場合は、コントロール パネルに表示される指示に従って紙詰まりを解消します。

6. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。
 - a. ページが正しく印刷されない場合は、プリンタのハードウェアに問題があります。HP カスタマ ケアにお問い合わせください。
 - b. ページが正しく印刷された場合は、プリンタのハードウェアは動作しています。お使いのコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムに問題があります。
7. 次のオプションのいずれかを選択します。

Windows の場合：[スタート] をクリックし、[設定]、[プリンタ] または [プリンタと FAX] をクリックします。プリンタ名をダブルクリックします。

または

Mac OS X の場合：[プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントとファクス] リストを開き、該当するプリンタの行をダブルクリックします。
8. このプリンタ用のプリンタ ドライバがインストールされているかどうかを確認します。このプリンタ用のプリンタ ドライバを使用しているかどうかを確認します。プリンタ ドライバは、プリンタに付属の CD に収録されています。また、www.hp.com/support/ljm4555mfp でダウンロードすることもできます。
9. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題はご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない (ドキュメントが印刷されない) 場合は、次の手順を実行してください。
 - a. プリンタのソフトウェアがインストールされている別のコンピュータからジョブを印刷してみます。
 - b. プリンタをネットワークに接続している場合、USB ケーブルを使用して、プリンタとコンピュータを直接接続します。プリンタを正しいポートに付け替えるか、ソフトウェアを再インストールします。このとき、使用している新しい接続タイプを選択します。

プリンタのパフォーマンスに影響する要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- ページ数/分 (ppm) で測定されるプリンタの最大速度
- 特殊な用紙の使用 (OHP フィルム、厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンタの処理時間およびダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピュータの速度
- USB 接続
- プリンタの入出力設定
- ネットワーク オペレーティング システムおよび構成 (使用可能な場合)
- 使用しているプリンタ ドライバ

出荷時の設定に戻す

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] メニューをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - 出荷時の設定に戻す
3. リストで設定カテゴリを 1 つ以上選択し、[リセット] ボタンをタッチします。

コントロールパネルのメッセージ

コントロール パネルのメッセージのタイプ

プリンタのステータスや問題を示すメッセージには、次の 4 種類あります。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	現在のプリンタの状態を示します。プリンタの動作状態を表しているため、メッセージを消す必要はありません。プリンタの状態が変わるとメッセージも変わります。プリンタがオンラインになっていて、使用中ではなく印刷待ちの状態、保留の警告メッセージもない場合は常に「 印字可 」と表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージは、データおよび印刷エラーをユーザーに通知します。これらのメッセージは通常、 印字可 またはステータス メッセージと交互に表示され、[OK] ボタンをタッチするまで表示されたままになります。クリア可能な警告メッセージもあります。[表示設定] メニューの [解除可能な警告] メニューが [ジョブ] オプションに設定されている場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 自動継続可能なエラー メッセージもあります。[表示設定] メニューの [継続可能なイベント] メニューが [自動継続] オプションに設定されている場合は、このエラー メッセージが 10 秒間表示された後、通常の動作が続行されます。 注記： 10 秒間のエラー メッセージの表示中に任意のボタンを押すと、表示機能が無効になり、ボタンの機能が優先されます。たとえば、停止  ボタンを押すと、印刷が一時停止し、印刷ジョブをキャンセルするオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	プリンタが故障していることを示します。プリンタの電源をいったん切って入れ直すと、一部のメッセージを消去できます。これらのメッセージには、[自動継続] 設定は影響しません。重大なエラー メッセージが消えない場合は、カスタマ ケア センタへご連絡ください。

コントロール パネルのメッセージ

このプリンタのコントロール パネルには、堅牢なメッセージ機能が備わっています。コントロール パネルにメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って問題を解決してください。プリンタに「エラー」または「注意」というメッセージが表示された場合に問題の解決手順が表示されないときは、プリンタの電源を切って入れ直してください。プリンタの問題が解決しない場合は、HP サポートまでご連絡ください。

ステータス行に表示される、その他の警告情報を確認するには、警告ボタン  をタッチしてください。

さまざまなトピックの詳細については、ホーム画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン  をタッチします。

用紙送りが滑らかでないか、または紙詰まりが発生する

- [用紙がピックアップされない](#)
- [複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [紙詰まりを防ぐ](#)
- [紙詰まりを解消する](#)

用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
4. コントロール パネルで、"用紙を手動で送れ" という要求に対するユーザーの対応待ち状態であるかどうかを確認します。用紙をセットして続行します。

複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出し、さばき、左右を入れ替え、裏返します。*用紙に風をあてないで*ください。用紙の束をトレイに戻します。
2. このプリンタに関する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。

紙詰まりを防ぐ

紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

1. このプリンタに関する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。
3. プリントまたはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。

4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙にプリントする場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に 1 枚ずつ用紙を送ります。

紙詰まりを解消する

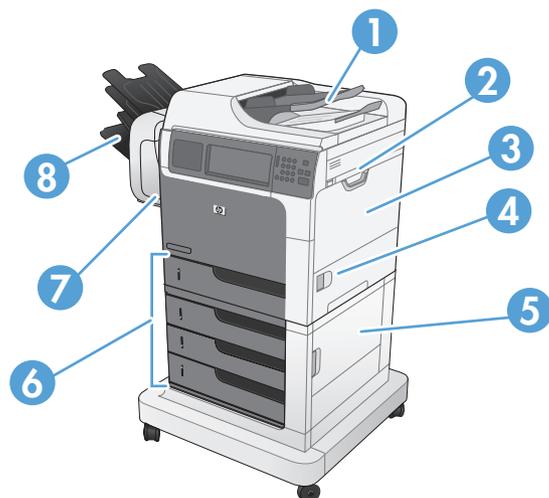
紙詰まりの場所

紙詰まりの場所を特定するには、以下の図を参照してください。用紙が詰まった場所と紙詰まりを取り除く方法は、コントロールパネルにも表示されます。

 **注記：** 紙詰まりを取り除くためにプリンタ内部を開ける必要のある箇所には、緑色のハンドルまたは緑色のラベルが付いています。

 **警告！** プリンタ内の部品に触れる際には、感電を防止するため、ネックレスやブレスレットをはじめとする金属製品を外してください。

図 13-1 紙詰まりの場所

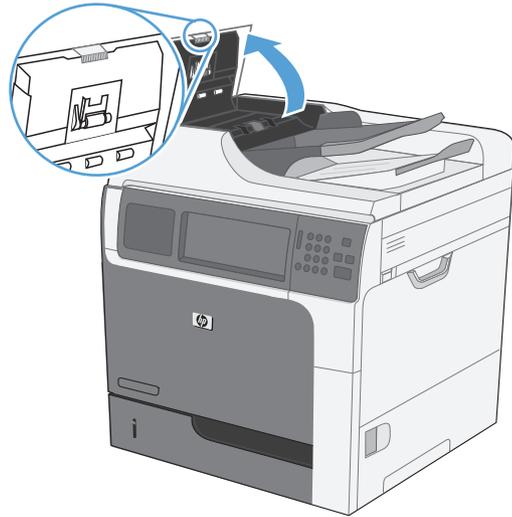


1	文書フィーダ
2	上部カバー エリア
3	トレイ 1 の周辺
4	右ドア
5	右下ドア
	注記： 1 x 500 枚フィーダの場合、トレイ 3 を扱うにはこのドアを使用してください。3 x 500 枚フィーダの場合、トレイ 3/4/5 を扱うにはこのドアを使用してください。
6	トレイ 2 およびオプション トレイ 3、4、5

7	ステイブラ ドア (ステイブラ/スタッカ搭載モデルの場合)
8	排紙ビン (ステイブラ/スタッカ搭載モデルの場合)

文書フィーダの紙詰まりの解消

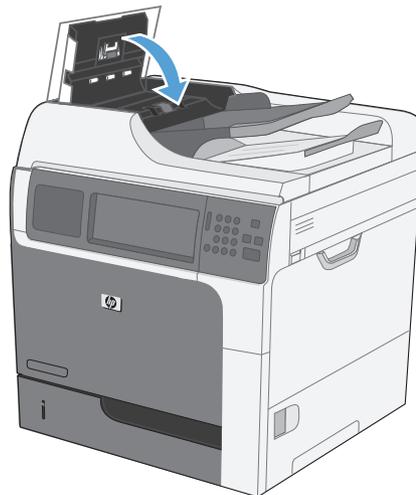
1. 文書フィーダのカバーを開けます。



2. 紙詰まりアクセス ドアを持ち上げ、詰まっている用紙を取り除きます。

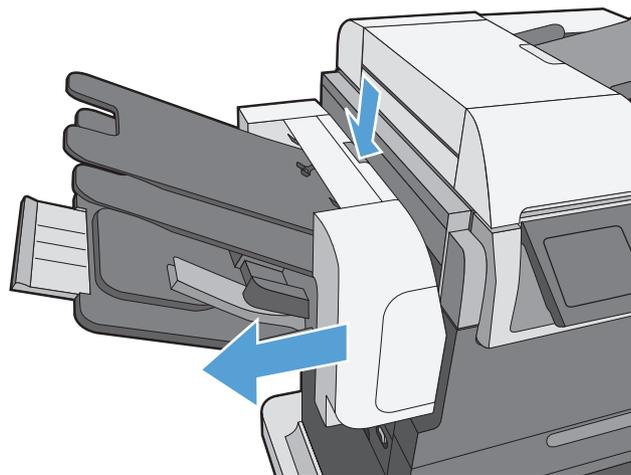


3. 文書フィーダのカバーを閉じます。

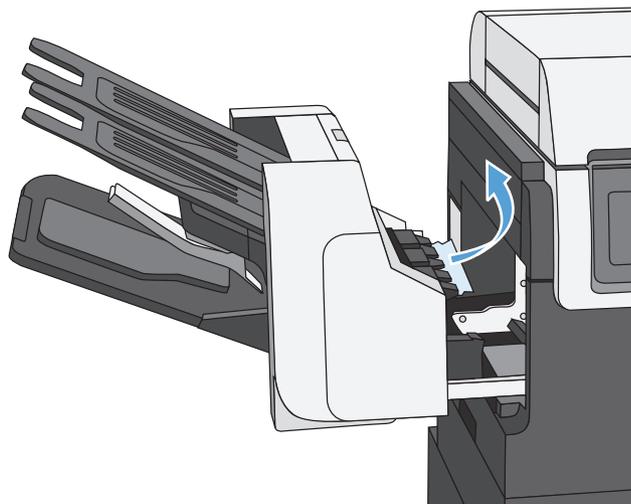


ステイプラ内の紙詰まりを解消する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)

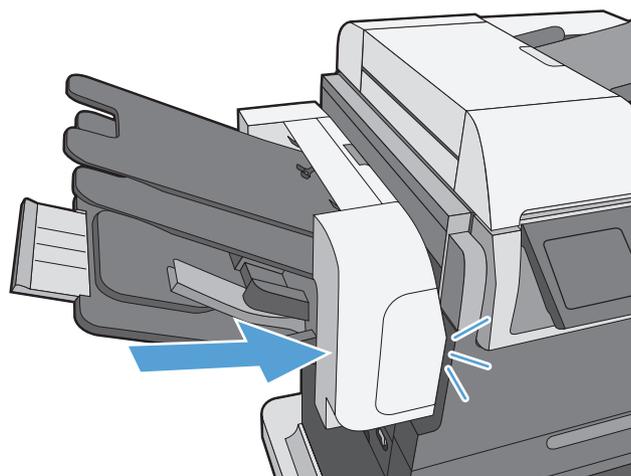
1. リリース ラッチを押し、ステイプラ/スタッカをプリンタから離すようにスライドさせます。



2. 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙をまっすぐ引き出します。

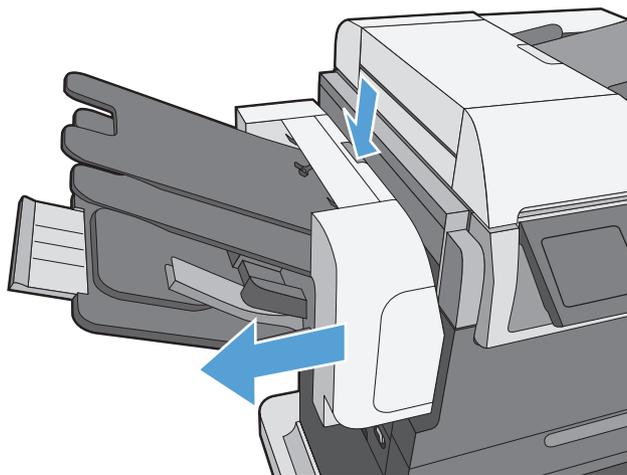


3. ラッチが所定の位置に戻るまで、ステイプラ/スタッカをプリンタ側にスライドさせます。

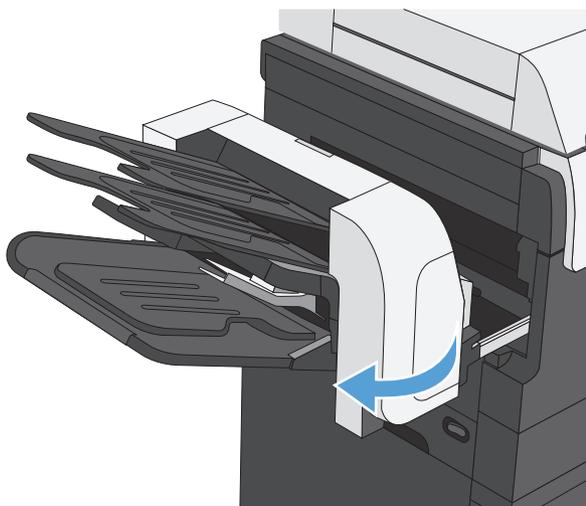


ステープルの紙詰まりを解消する (ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合)

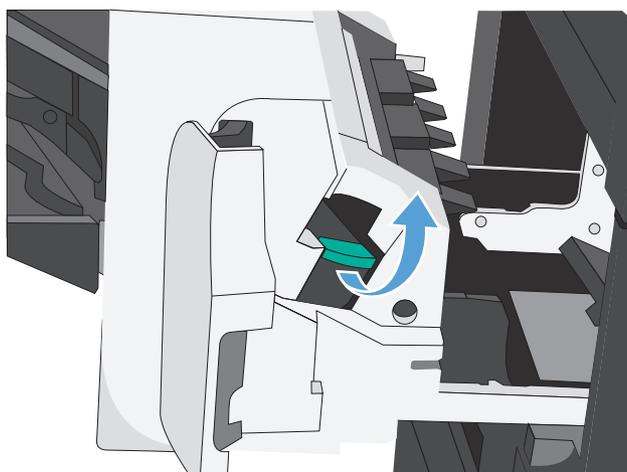
1. リリース ラッチを押し、ステイプラ/スタッカをプリンタから離すようにスライドさせます。



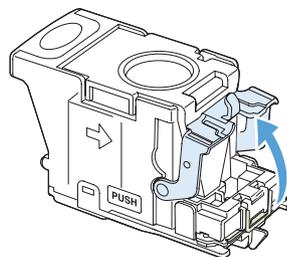
2. ステイプル カートリッジのカバーを開きます。



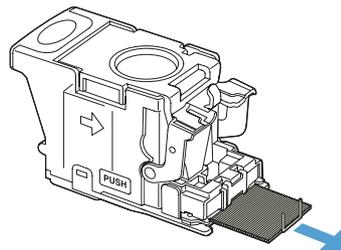
3. ステイプル カートリッジの緑のハンドル持ち上げ、ステイプラから古いステイプル カートリッジを引き出して取り外します。



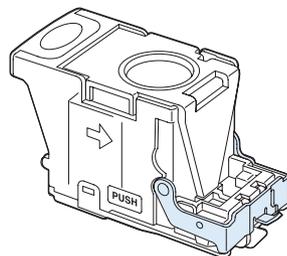
4. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを引き上げます。



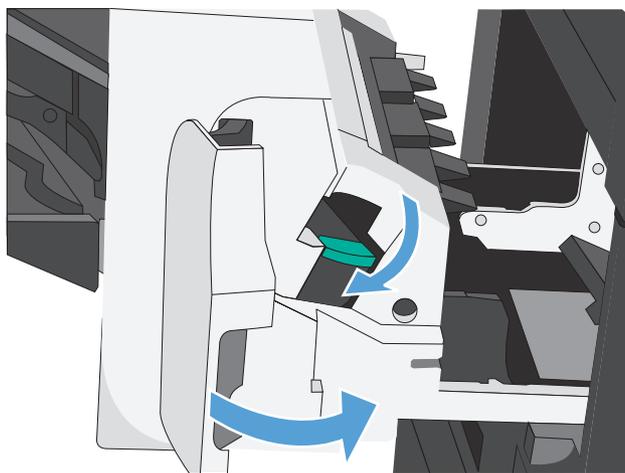
5. 詰まっているステイプルを取り除きます。



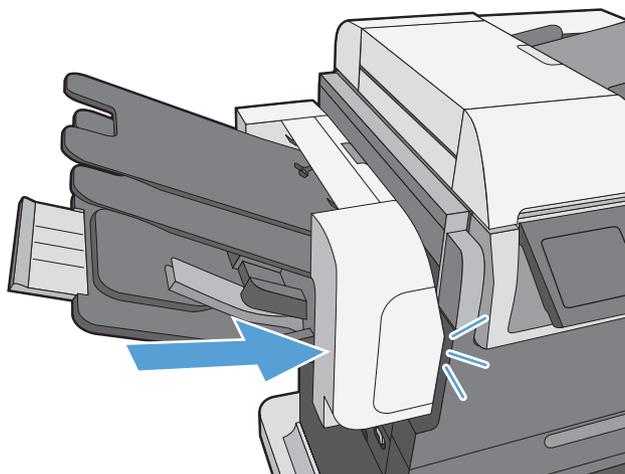
6. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げます。カチッという音がするまでレバーを下げてください。



7. ステイプル カートリッジをステイプラに挿入して、カチッと音がしてカートリッジがはまるまで緑のハンドルを押し下げ、ステイプル カートリッジのドアを閉めます。

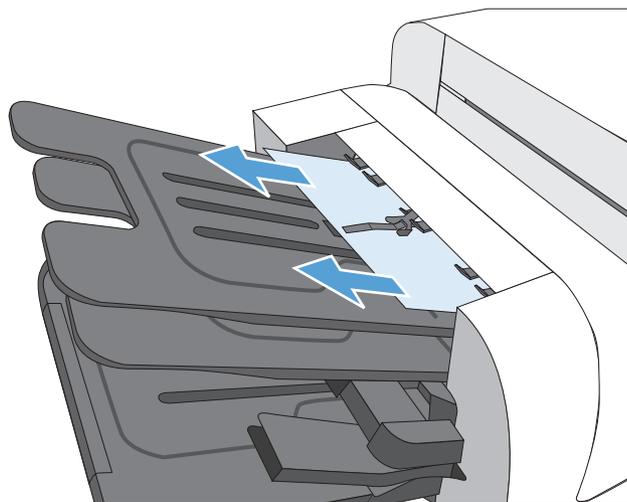


8. ラッチが所定の位置に戻るまで、ステイプラ/スタッカをプリンタ側にスライドさせます。



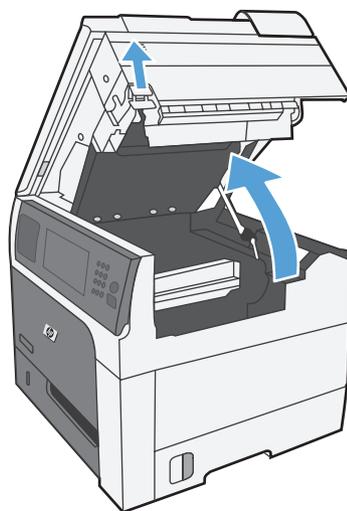
排紙ビン付近の紙詰まりを取り除く

1. 排紙ビンから用紙が見える場合は、上端をつかんで取り除きます。

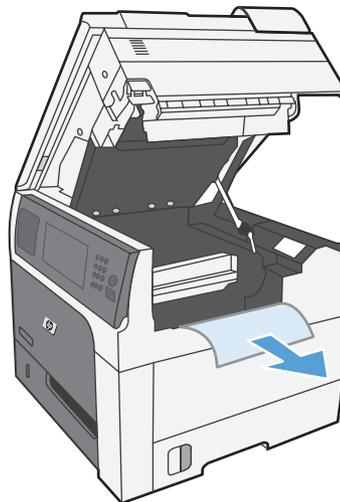


上部カバーの下の紙詰まりを解消する

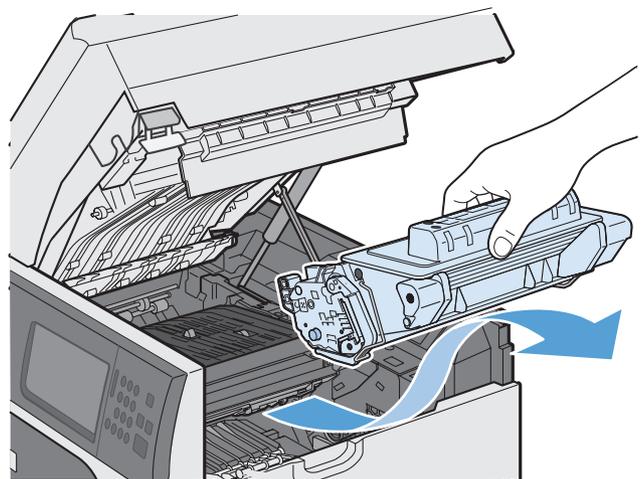
1. 上部カバーのリリースレバーを引いて、上部カバーを開きます。



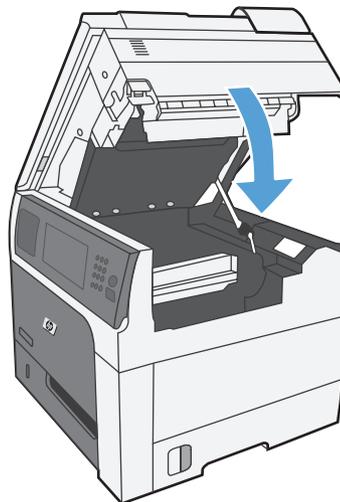
2. プリント カートリッジ エリア内の詰まっている用紙が見える場合は、取り除きます。



3. 詰まっている用紙が見えない場合は、プリント カートリッジを取り外し、用紙経路内の詰まっている用紙を取り除きます。



4. プリント カートリッジを取り付けてから、上部カバーを閉じます。



右のドアの紙詰まりを取り除く

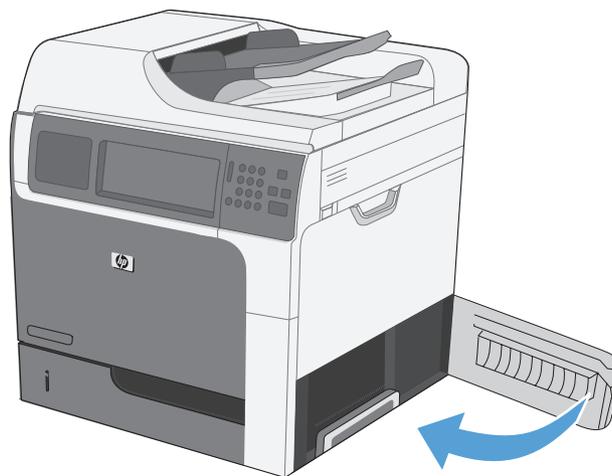
1. 右のドアを開きます。



2. ピックアップ ローラーの周辺から用紙をゆっくりと引き出します。



3. 右のドアを閉めます。

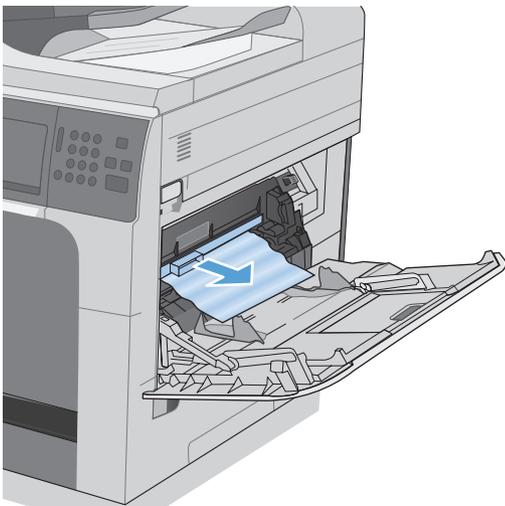


トレイ 1 の紙詰まりを取り除く

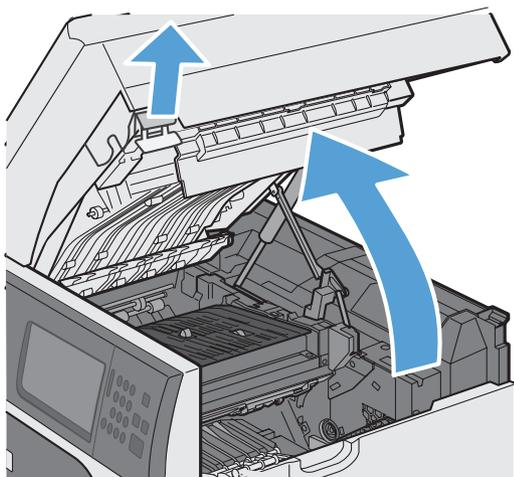
1. 用紙を少しずつつますぐ引き出して、紙詰まりを解消します。[OK] ボタンをタッチしてメッセージを消します。



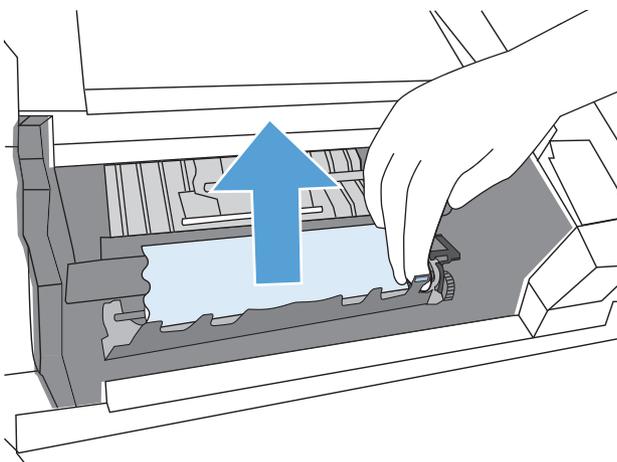
2. 用紙を取り除くことができない場合は、黒いプラスチック製保護カバーを取り外します。



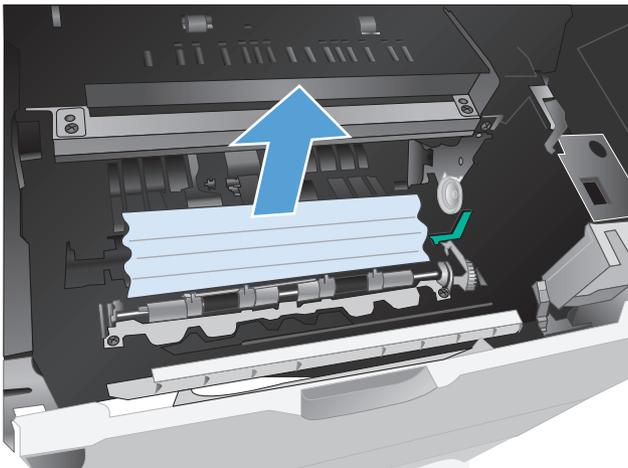
3. 上部カバーのリリースレバーを引いて、上部カバーを開き、プリントカートリッジを取り出します。



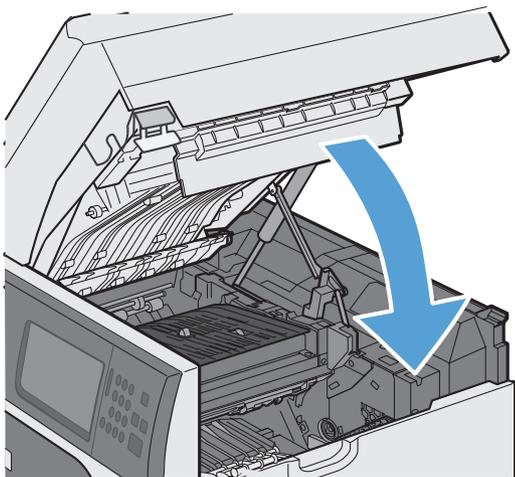
4. 見当合わせローラーの前部にある緑の小さいタブを持ち上げ、プラスチック製ローラー保護カバーを引き上げ、詰まっている用紙をまっすぐ引き出します。



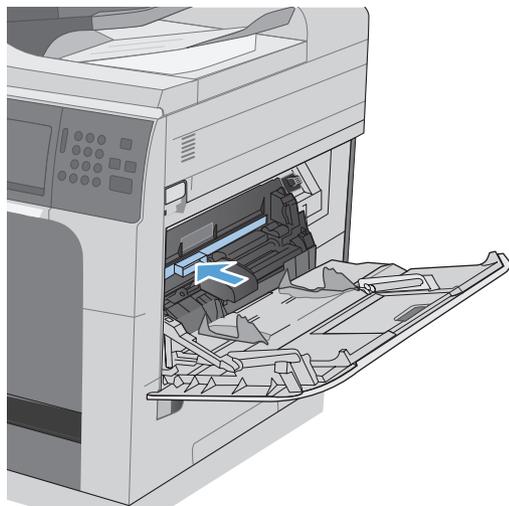
5. ローラーの後部にある緑の長いタブを使用して金属製保護カバーを引き上げ、詰まっている用紙をまっすぐ引き出します。[OK] ボタンをタッチしてメッセージを消します。



6. 保護カバーを引き下げ、プリント カートリッジを取り付け直し、上部カバーを閉めます。



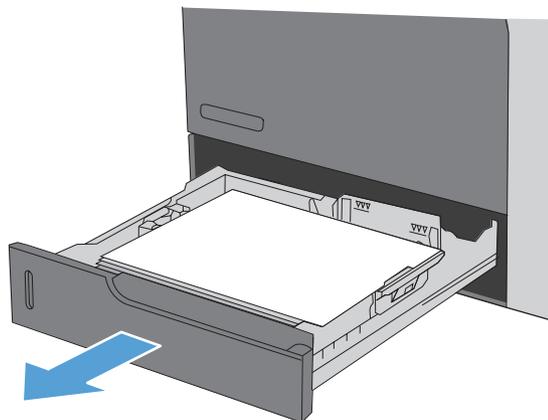
7. 黒いプラスチック製保護カバーを取り付け直します。



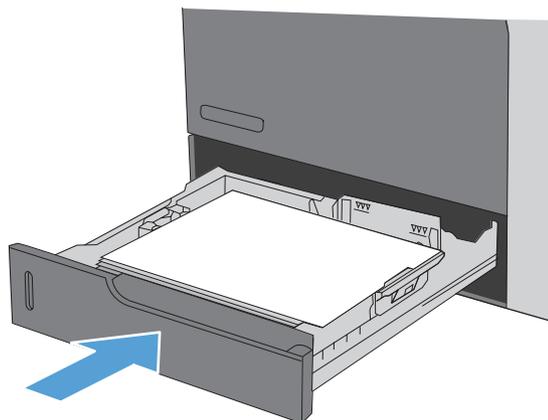
トレイ 2/3/4/5 内の紙詰まりを解消する

⚠ 注意： 用紙が詰まっているときにトレイを開くと用紙が破れてトレイに紙片が残り、別な紙詰まりの原因となる場合があります。トレイを開く前に、必ず紙詰まりを取り除いてください。

1. トレイを開き、用紙が正しくセットされていることを確認します。詰まっている用紙や傷んだ用紙があれば取り除きます。トレイの隙間に詰まった用紙を取り除くには、プリンタからトレイを取り外します。

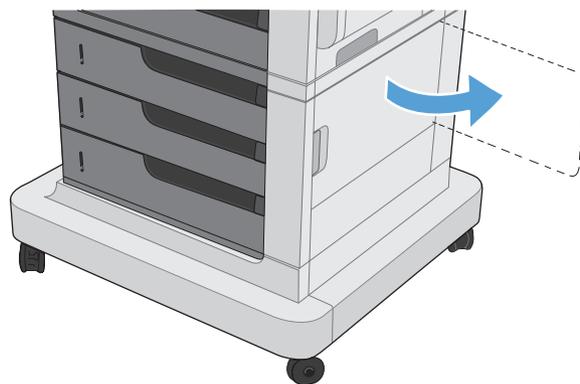


2. トレイを閉めます。

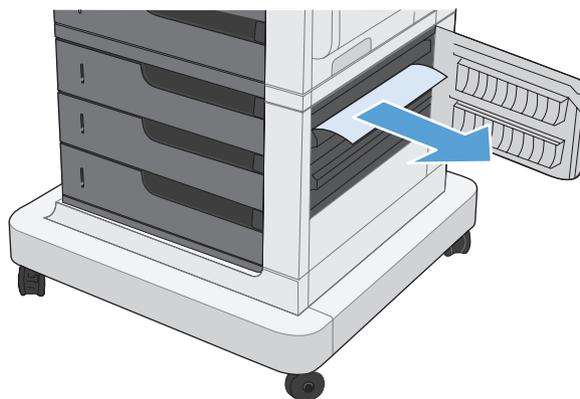


右下ドア (トレイ 3/4/5) 内の紙詰まりを解消する

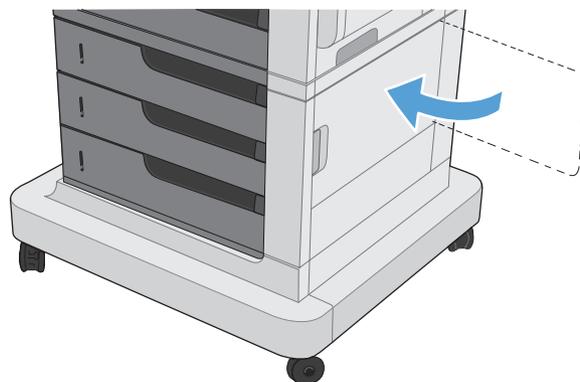
1. 右下のドアを開きます。



2. 用紙が見える場合は、詰まっている用紙をゆっくりと上または下に引いて取り除きます。



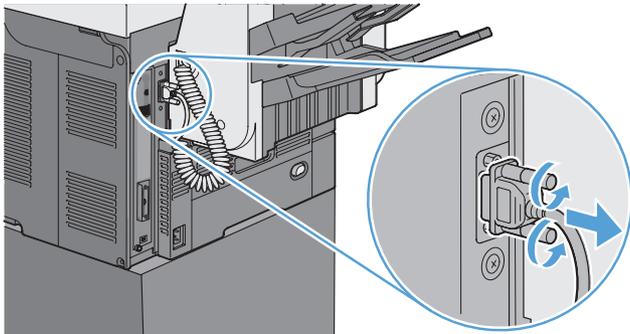
3. 右下のドアを閉めます。



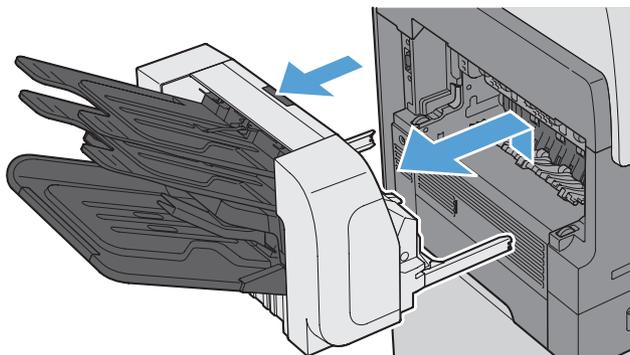
フューザの紙詰まりを取り除く

⚠注意： フューザは高温になっている場合があります。プリンタの電源を切り、フューザが冷えるまで待ちます。

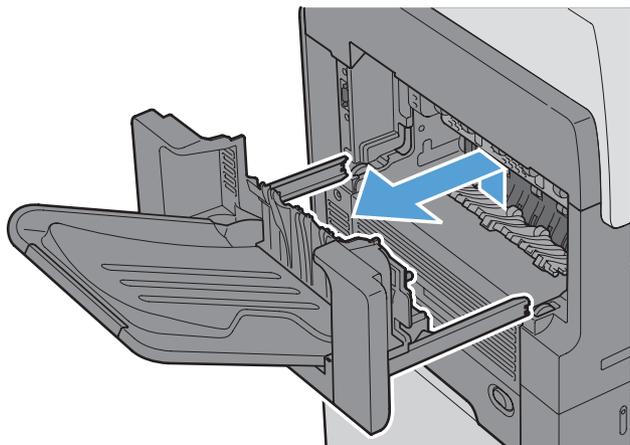
1. ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合：ステイプラ/スタッカ コネクタを取り外します。



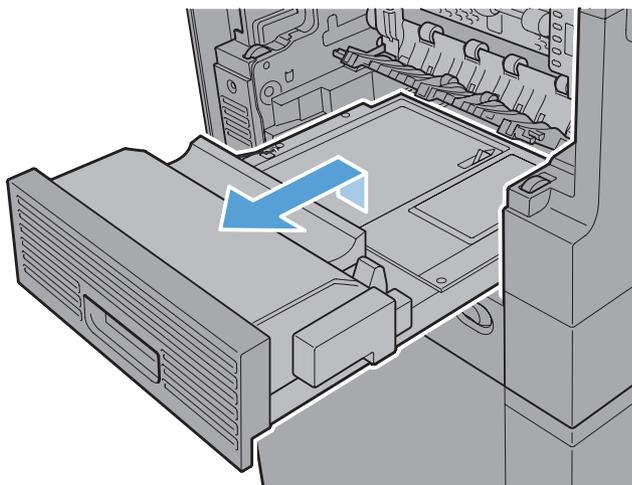
2. ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合：ステイプラ/スタッカ ラッチを解除し、ステイプラ/スタッカをプリンタから離すようにスライドさせます。



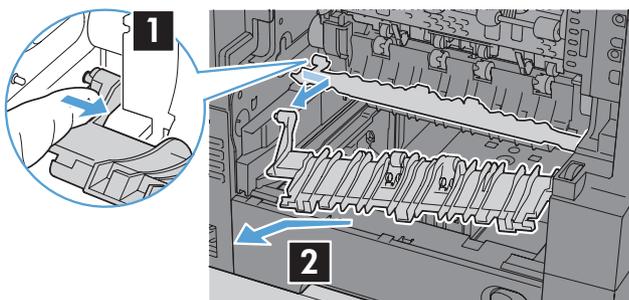
3. その他すべてのモデルの場合：排出ピンをプリンタから離すようにスライドさせ、取り外します。



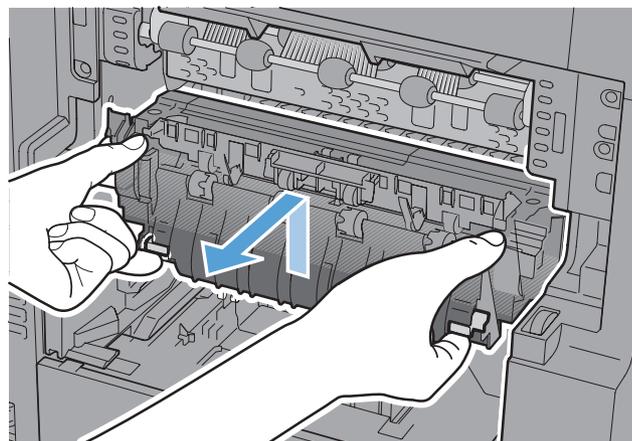
4. 両面印刷ユニットをプリンタから離すようにスライドさせ、取り外します。



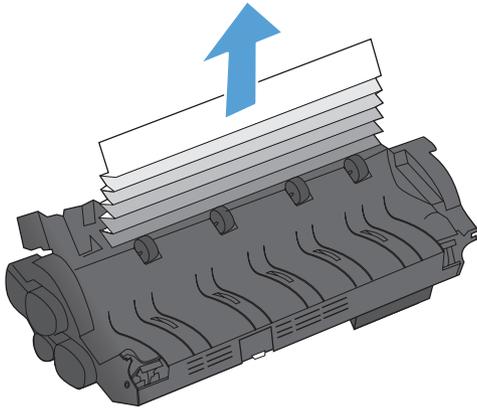
5. フューザ エントランス ガイドの左側を注意深く曲げて解除し、ガイドを回転させてプリンタから引き出し、取り外します。



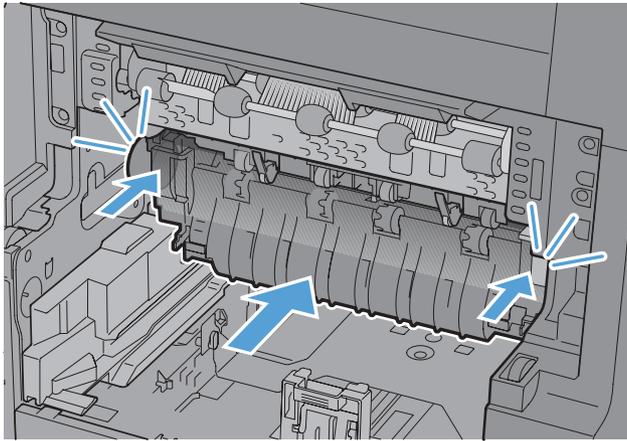
6. フューザの 2 つの青いタブを押し込んで解除し、少し上に持ち上げ、フューザをプリンタからまっすぐ引き出して取り外します。



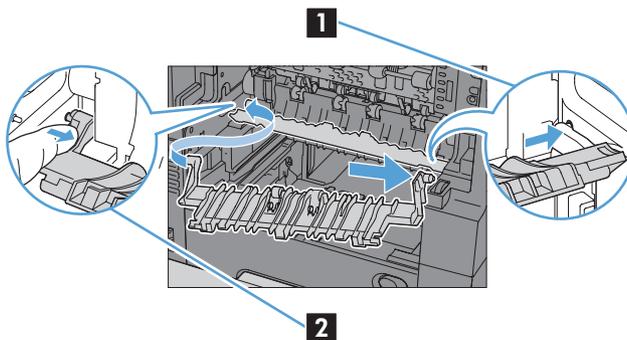
7. 用紙を少しずつまっすぐ引き出して、紙詰まりを解消します。



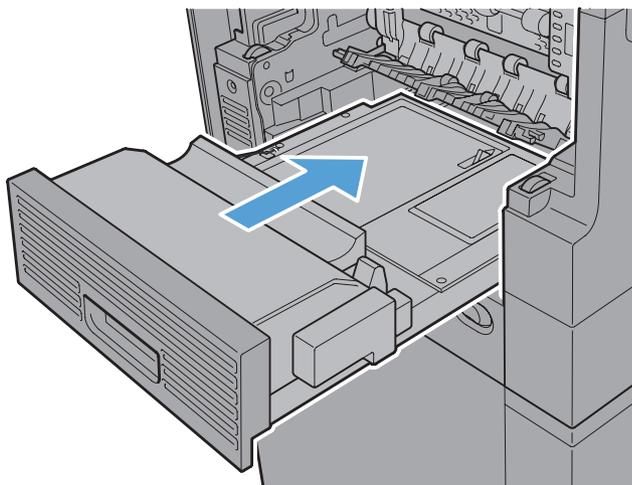
8. カチッという音がするまで、フューザをまっすぐ押し込みます。



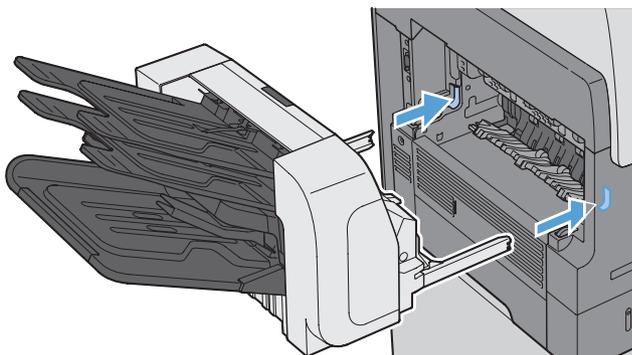
9. フューザ エントランス ガイドの右側をプリンタに挿入し、ガイドの左側を注意深く曲げ、ガイドのピンがプリンタ側の穴にしっかりはまるまで、ガイドをプリンタに押し込みます。



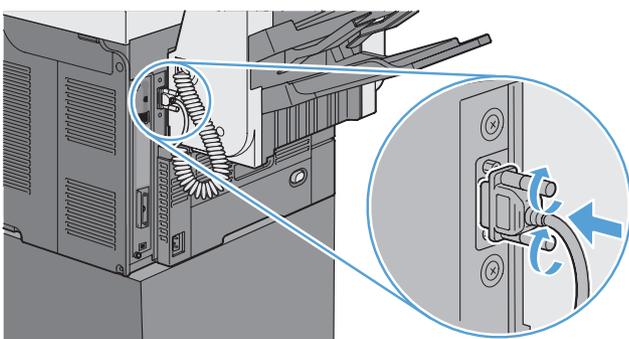
10. 両面印刷ユニットをプリンタに押し込んで取り付けます。



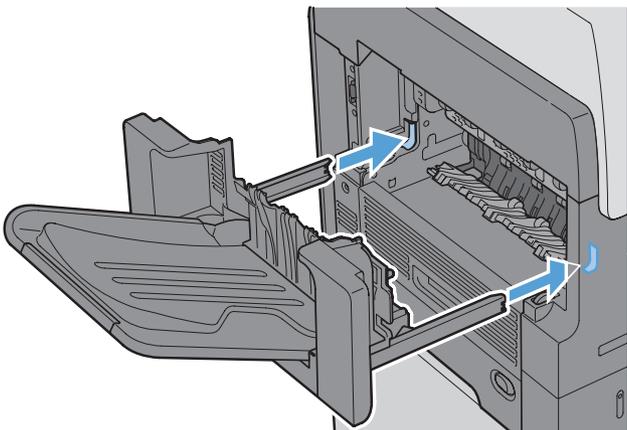
11. ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合: ラッチが所定の位置に戻るまでステイプラ/スタッカをプリンタに押し込み、取り付けます。



12. ステイプラ/スタッカ搭載モデルの場合: ステイプラ/スタッカ コネクタを取り付け直します。

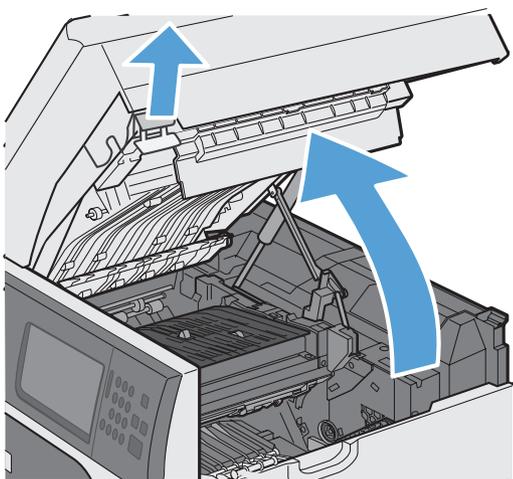


13. その他すべてのモデルの場合: 排紙ビンをプリンタに押し込んで取り付けます。

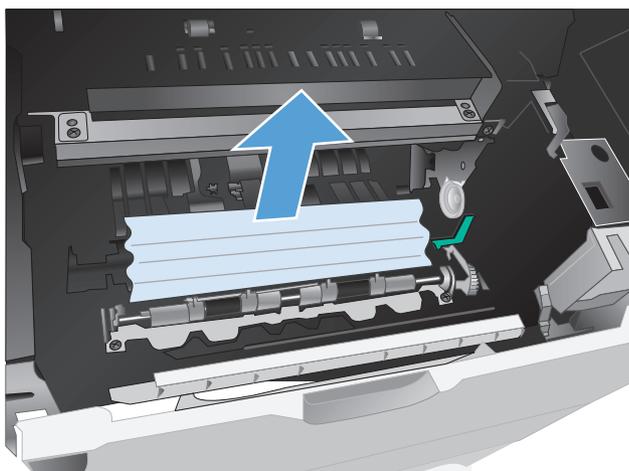


見当合わせエリア内の紙詰まりを解消する

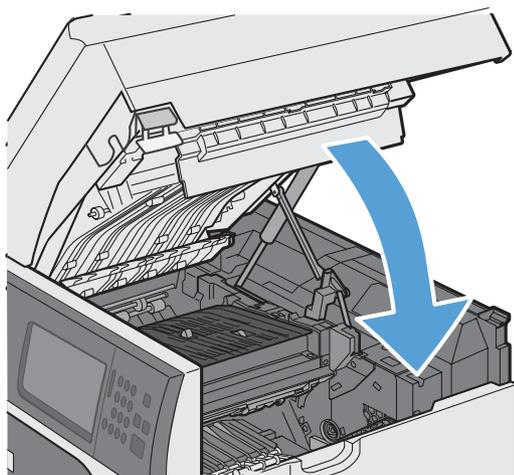
1. 上部カバーのリリース レバーを引いて、上部カバーを開き、プリント カートリッジを取り出します。



2. 見当合わせ保護カバーの下に詰まっている紙が見える場合は、緑のレバーを使用して保護カバーを引き上げ、用紙を少しずつつますぐ引き出して紙詰まりを解消します。



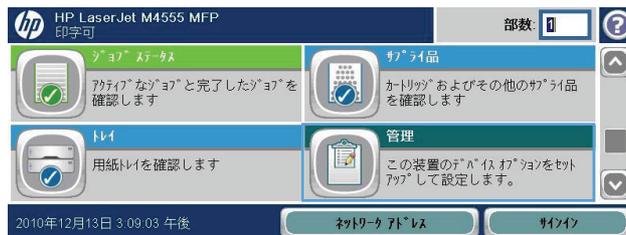
3. 保護カバーを引き下げ、プリントカートリッジを取り付け直し、上部カバーを閉めます。



紙詰まり解除の変更

このプリンタには紙詰まり復旧機能が備わっており、詰まったページを再印刷することができます。

1. [ホーム] 画面の [管理] ボタンをタッチします。



2. [全般的な設定] メニューを開き、[紙詰まり解除] メニューを開きます。

3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。

- **自動** - 十分なメモリがある場合に、紙詰まりしたページが再印刷されます。これはデフォルト設定です。
- **オフ** - 紙詰まりしたページは再印刷されません。最後の数ページを保存するためにメモリを使用しないので、パフォーマンスは最適化されます。

注記： このオプションを選択した場合、用紙切れの状態で行うと、一部のページが抜けてしまうことがあります。

- **オン** - 紙詰まりしたページが常に再印刷されます。印刷した最後の数ページを保存するために余分なメモリが割り当てられます。このため、パフォーマンスが低下する場合があります。

印刷品質を向上させる

次のガイドラインに従えば、印刷品質に関するほとんどの問題の発生を防ぐことができます。

- プリンタ ドライバで適切な用紙タイプを設定します。
- このプリンタの HP 仕様を満たす用紙を使用します。
- 必要に応じてプリンタをクリーニングします。
- プリント カートリッジが推定寿命に達し、印刷品質を許容できなくなった場合は、カートリッジを交換します。
- 自社の印刷ニーズに最適なプリンタ ドライバを使用します。

用紙の種類を選択する

1. プリンタ ドライバを開き、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックし、**[Paper/Quality]** (用紙/品質) タブをクリックします。
2. **[Type is]** (用紙タイプ) ドロップダウン リストで用紙タイプを選択します。
3. **[OK]** ボタンをクリックします。

HP の仕様を満たす用紙を使用する

次のいずれかの問題が発生している場合、別の用紙を使用してください。

- プリント結果が薄すぎるか、または部分的に薄いように見える。
- プリントしたページにトナーの粒が付着している。
- プリントしたページがトナーで汚れている。
- プリントした文字がゆがんで見える。
- 印刷したページが丸まっている。

必ず、このプリンタでサポートされているタイプおよび重量の用紙を使用してください。また、用紙選択時に次のガイドラインに従ってください。

- 上質で、切れ目、破れ目、しみ、しわ、穴などがなく、目が粗くなく、ほこりや針が付いておらず、端が曲がっていない用紙を使用します。
- 以前にプリントされたことがない、新品の用紙を使用します。
- レーザー プリンタ用の用紙を使用します。インクジェット プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- ざらざらしすぎでない用紙を使用します。一般に、滑らかな用紙を使用するとプリント品質が向上します。

クリーニング ページを印刷する

次のいずれかの問題が発生している場合、クリーニング ページを印刷して、用紙経路に付着しているほこりや余分なトナーを取り除きます。

- 印刷したページにトナーの粒が付着している。
- 印刷したページがトナーで汚れている。
- 印刷したページに一定間隔でしみが発生する。

次の手順を実行し、クリーニング ページを印刷します。

1. [ホーム] 画面の [プリンタのメンテナンス] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [校正/クリーニング](#)
 - [クリーニング ページ](#)
3. [印刷] ボタンをタッチしてページを印刷します。
4. クリーニング処理には数分かかることがあります。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

イメージの位置合わせを設定

テキストがまっすぐ印刷されない場合、[見当の設定] (位置合わせ) メニューを使用してイメージの位置合わせを行います。

1. [ホーム] 画面の [管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. [全般的な設定](#)
 - b. [印刷品質](#)
 - c. [イメージ レジストレーション](#)
 - d. [トレイ <X> の調節](#)
3. [テスト ページの印刷] (テスト ページを印刷) をタッチし、[OK] ボタンをタッチします。
4. テスト ページの指示に従って、位置合わせを行います。

プリント カートリッジを検査する

プリント カートリッジを確認し、次のいずれかの問題が発生している場合は、必要に応じてカートリッジを交換してください。

- 印刷結果が薄すぎるか、または部分的に薄いように見える。
- 印刷したページに、印刷されていない領域がわずかにある。
- 印刷したページに筋や縞がある。

 **注記：** 下書きまたは EconoMode 印刷設定を使用している場合は、印刷が薄くなることがあります。エコノモードを常に使用することはお勧めしません。エコノモードを常に使用すると、プリンタカートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、プリント カートリッジの交換を検討してください。

プリント カートリッジを交換する必要があると判断した場合は、サプライ品ステータス ページを印刷し、HP 純正プリント カートリッジの製品番号を確認してください。

プリント カートリッジの種類	問題解決手順
再充填または再製造されたプリント カートリッジ	Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のサプライ品の使用は推奨していません。HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。補充または再生プリント カートリッジを使用して印刷品質に不満がある場合は、HP 純正カートリッジと交換してください。
HP 純正のプリント カートリッジ	<ol style="list-style-type: none">1. カートリッジが予測寿命に達すると、プリンタのコントロール パネルまたはサプライ品ステータス ページに [非常にわずか] のステータスが表示されます。適切な印刷品質が得られなくなったら、プリント カートリッジを交換してください。2. プリント カートリッジが損傷していないかどうかを目視検査します。後述の手順に従ってください。必要があればプリント カートリッジを交換します。3. 印刷したページにおいて、一定間隔でしみが発生する場合は、クリーニング ページを印刷します。それでも問題が解決しない場合は、このドキュメントの「しみが繰り返し発生する場合」の項を参照し、問題の原因を特定してください。

自社の印刷ニーズに最適なプリンタ ドライバを使用する

印刷したページにおいて、グラフィックに予期しない線が入る、テキストが印刷されない、グラフィックが印刷されない、書式設定が不適切である、代替フォントが使用されている、などの問題が発生する場合、別のプリンタ ドライバを使用しなければならないことがあります。

HP PCL 6 ドライバ

- ソフトウェア インストール CD で、デフォルトのドライバとして提供されます。Web から別のドライバをダウンロードしない限り、自動的にこのドライバがインストールされます。
- すべての Windows 環境用として推奨
- ほとんどのユーザーにとって、最適なスピード、印刷品質、プリント機能を実現
- Windows 環境に最適のスピードを実現する Windows Graphic Device Interface (GDI) 対応設計
- サードパーティのソフトウェア プログラムや、PCL 5 用にカスタマイズされたソフトウェア プログラムと相性が合わない可能性あり

HP UPD PS ドライバ

- Adobe® ソフトウェア プログラムやその他のグラフィック集約型ソフトウェア プログラムでの印刷用として推奨
- Postscript エミュレーションや Postscript Flash フォント サポートの印刷に対応

HP UPD PCL 5 ドライバ

- 一般的なオフィス印刷用 (Windows 環境) として推奨
- これまでの PCL バージョンや HP LaserJet プリンタの旧バージョンに対応
- サードパーティやカスタマイズされたソフトウェア プログラムでの印刷に最適
- PCL 5 を使用している混合環境での使用に最適 (UNIX、Linux、メインフレーム)
- 会社での Windows 環境向け使用を目的とした設計となっており、単一のドライバで複数のプリンタ モデルに対応
- Windows 搭載のモバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルに印刷する際の使用にお勧め

HP UPD PCL 6 ドライバ

- すべての Windows 環境における推奨ドライバです。
 - ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。
 - Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。
 - PCL 5 をベースにしたサードパーティ製品およびカスタム製品との間で、互換性が完全ではない可能性があります。
-

プリンタ ドライバは、www.hp.com/support/ljm4555mfp_software でダウンロードすることもできます。

コピー処理におけるプリント品質を向上させる

コピーした文書のプリント品質に問題がある場合、プリントした文書に関する前述の解決策を確認してください。なお、プリント品質に関する一部の問題は、コピーした文書でのみ発生します。

- 文書フィーダを使用してコピーした文書に筋ができる場合、スキャナ アセンブリの左部にある小さいガラス ストリップをクリーニングします。
- スキャナ ガラスを使用してコピーしたページにしみなどが生じる場合、スキャナ ガラスとビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。



1. プリンタの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。
2. スキャナ カバーを開きます。
3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。

△ 注意： プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

4. しみが残らないように乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. プリンタの電源コードをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチをオンにします。

印刷されない、または、印刷速度が遅い

印刷されない

まったく印刷されない場合は、次の解決策を試してください。

1. プリンタの電源が入っているかどうか、および、コントロール パネルの表示が準備完了状態になっているかどうかを確認します。
 - コントロール パネルの表示が準備完了状態になっていない場合、プリンタの電源を入れ直します。
 - コントロール パネルの表示が準備完了状態になっている場合は、ジョブを再実行してみます。
2. コントロール パネルの表示がエラーになっている場合は、そのエラーを解消してからジョブを再実行してみます。
3. ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。プリンタをネットワークに接続している場合は、次の項目を確認します。
 - プリンタのネットワーク接続ポートの横にあるランプの状態を確認します。ネットワークが稼動している場合、ランプは緑で点灯します。
 - 電話コードでなくネットワーク ケーブルを使用してネットワークに接続しているかどうかを確認します。
 - ネットワーク ルーター、ハブ、またはスイッチの電源が入っているかどうか、および、それらの装置が正常に動作しているかどうかを確認します。
4. プリンタに付属の CD に収録されている HP 製ソフトウェアをインストールします。汎用プリンタ ドライバを使用すると、プリント キュー内のジョブを消去する処理が遅延する可能性があります。
5. コンピュータに表示されるプリンタのリストで、このプリンタの名前を右クリックして **[Properties]** (プロパティ) をクリックし、**[Ports]** (ポート) タブをクリックします。
 - ネットワーク ケーブルを使用してネットワークに接続している場合、**[Ports]** (ポート) タブに表示されるプリンタ名が、プリンタの設定ページのプリンタ名と一致しているかどうか、を確認します。
 - USB ケーブルを使用して無線ネットワークに接続している場合、**[Virtual printer port for USB]** (USB 用仮想プリンタ ポート) チェックボックスがオンになっているかどうかを確認します。
6. コンピュータ上でパーソナル ファイアウォール システムを使用している場合、プリンタとの通信がブロックされている可能性があります。ファイアウォールを一時的に無効にし、ファイアウォールが問題の原因であるかどうかを確認します。
7. コンピュータまたはプリンタを無線ネットワークに接続している場合、信号品質が低かったり干渉が発生したりすると、印刷ジョブが遅延することがあります。

印刷速度が遅い

印刷はされるが印刷速度が遅いように見える場合は、次の解決策を試してください。

1. コンピュータがこのプリンタの最低要件を満たしているかどうかを確認します。仕様については、www.hp.com/support/ljm4555mfp を参照してください。
2. 一部の用紙タイプ (例: 厚紙) に印刷するようプリンタを設定している場合、印刷速度が遅くなります。これは、トナーを用紙に確実に溶着させるためです。用紙タイプの設定が、実際に使用する用紙のタイプと一致していない場合、設定を正しい用紙タイプに変更します。
3. コンピュータを無線ネットワークに接続している場合、信号品質が低かったり干渉が発生したりすると、印刷ジョブが遅延することがあります。

USB を使用した外部データの印刷に関する問題を解決する

- [USB アクセサリを挿入したときに \[USB から開く\] \(USB から開く\) メニューが開かない](#)
- [USB ストレージ アクセサリ上のファイルが印刷されない](#)
- [印刷するファイルが \[USB から開く\] \(USB から開く\) メニューに表示されない](#)

USB アクセサリを挿入したときに [USB から開く] (USB から開く) メニューが開かない

1. 使用している USB ストレージ アクセサリまたはファイル システムが、このプリンタでサポートされていない可能性があります。File Allocation Table (FAT) ファイル システムを採用している標準的な USB ストレージ アクセサリにファイルを保存します。このプリンタでサポートされている、USB ストレージ アクセサリのファイル システムは、FAT12、FAT16、および FAT32 です。
2. 別のメニューが既に関いている場合は、そのメニューを閉じてから USB ストレージ アクセサリを挿入し直します。
3. USB ストレージ アクセサリ上でパーティションが複数個設定されている可能性があります。一部の USB ストレージ アクセサリ メーカーでは、CD に似たパーティションを作成するソフトウェアを自社製品にプレインストールしています。この場合、USB ストレージ アクセサリを再フォーマットしてパーティションを削除するか、または、別の USB ストレージ アクセサリを使用します。
4. USB ストレージ アクセサリに必要な電力が、プリンタから供給可能な電力よりも大きい場合があります。
 - a. USB ストレージ アクセサリを取り外します。
 - b. プリンタの電源を入れ直します。
 - c. 独自の電源を持っているかまたは必要電力量の小さい USB ストレージ アクセサリを使用します。
5. USB ストレージ アクセサリが正常に動作していない可能性があります。
 - a. USB ストレージ アクセサリを取り外します。
 - b. プリンタの電源を入れ直します。
 - c. 別の USB ストレージ アクセサリから印刷してみます。

USB ストレージ アクセサリ上のファイルが印刷されない

1. トレイに用紙がセットされているかどうかを確認します。
2. コントロール パネルにメッセージが表示されていないかどうかを確認します。紙詰まりが発生している場合は解消します。

印刷するファイルが [USB から開く] (USB から開く) メニューに表示されない

1. 印刷しようとしているファイルのタイプが、"USB デバイスから印刷する" 機能でサポートされていない可能性があります。サポートされているファイル タイプは、.pdf、.prn、.pcl、.ps、および .cht です。
2. USB ストレージ アクセサリ上の 1 つのフォルダに格納されているファイル数が多すぎる可能性があります。そのフォルダ内のファイルの一部をサブフォルダに移動し、ファイル数を減らしてください。
3. ファイル名の中で使用している文字セットが、このプリンタでサポートされていない可能性があります。この場合、ファイル名は別の文字セットの文字に置換されます。ASCII 文字を使用したファイル名に変更してください。

接続に関する問題の解決

直接接続に関する問題の解決

プリンタとコンピュータを直接接続している場合は、ケーブルを確認します。

- ケーブルがコンピュータとプリンタに接続されていることを確認します。
- ケーブルが 5m 以下であることを確認します。長すぎる場合は、より短いケーブルを使用してみます。
- ケーブルを別のプリンタに接続し、ケーブルが正しく機能していることを確認します。必要に応じて、ケーブルを交換します。

ネットワークに関する問題の解決

以下の項目をチェックし、プリンタがネットワークと通信していることを確認します。ネットワーク接続を確認する前に、プリンタのコントロール パネルを使用して設定ページをプリントし、設定ページにプリントされるこのプリンタの IP アドレスを確認します。

- [物理的な接続の問題](#)
- [コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している](#)
- [コンピュータがプリンタと通信できない](#)
- [ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている](#)
- [新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある](#)
- [コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある](#)
- [プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている](#)

物理的な接続の問題

1. プリンタが、正しい長さのケーブルを使用して、正しいネットワークポートに接続されていることを確認します。
2. ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
3. プリンタ背面のネットワーク ポート接続を見て、黄色の動作ランプおよび緑色のリンク ステータス ランプが点灯していることを確認します。
4. 問題が解消しない場合は、ケーブルを変えるか、ハブの別のポートを試してみます。

コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している

1. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開き、[Ports] (ポート) タブをクリックします。このプリンタに対して現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。プリンタの IP アドレスは、プリンタの設定ページに記載されています。
2. HP 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、[Always print to this printer, even if its IP address changes] (IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンタにプリントする) チェック ボックスをオンにします。
3. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくホスト名を使用します。
4. IP アドレスが正しい場合は、プリンタを削除して再度追加します。

コンピュータがプリンタと通信できない

1. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
 - a. コンピュータでコマンド ライン プロンプトを開きます。Windows の場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「cmd」と入力します。
 - b. 「ping」と入力し、その後ろにプリンタの IP アドレスを入力し、実行します。
 - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。
2. Ping コマンドが失敗した場合は、ネットワーク ハブの電源がオンになっていることを確認した後、ネットワーク設定、プリンタ、およびコンピュータがすべて同じネットワークに構成されていることを確認します。

ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている

この設定を自動モード (デフォルトの設定) のままにしておくことをお勧めします。これらの設定を変更した場合、ネットワーク側でも変更する必要があります。

新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある

新しいソフトウェア プログラムが正しくインストールされていること、および正しいプリンタ ドライバを使用していることを確認します。

コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある

1. ネットワーク ドライバ、プリンタ ドライバ、およびネットワーク リダイレクションを確認します。
2. オペレーティング システムが正しく設定されていることを確認します。

プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている

1. 設定ページの内容を確認し、ネットワーク プロトコルのステータスを調べます。必要に応じて、有効にします。
2. 必要に応じて、ネットワークを再設定します。

Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する

問題	解決法
製品のプリンタ ドライバがプリンタ フォルダに見当たらない	<p>プリンタのソフトウェアを再インストールします。</p> <p>注記： 実行中のアプリケーションをすべて終了します。システム トレーにアイコンがあるアプリケーションを終了するには、目的のアイコンを右クリックし、【閉じる】 または 【無効】 を選択します。</p> <p>USB ケーブルをコンピュータ上の別の USB ポートに接続してみます。</p>
ソフトウェアのインストール中にエラー メッセージが表示された	<p>プリンタのソフトウェアを再インストールします。</p> <p>注記： 実行中のアプリケーションをすべて終了します。タスクバーにアイコンがあるアプリケーションを終了するには、目的のアイコンを右クリックし、【閉じる】 または 【無効】 を選択します。</p> <p>プリンタのソフトウェアをインストールするドライブの空き容量を確認します。必要に応じて可能な限り容量を空けて、プリンタのソフトウェアを再インストールします。</p> <p>必要に応じてデフラグを実行し、プリンタのソフトウェアを再インストールします。</p>
製品は印字可になっているのに、何も印刷されない	<p>設定ページを印刷してプリンタの機能を確認します。</p> <p>すべてのケーブルが正しく接続されていて、仕様に合っていることを確認します。USB ケーブルや電源ケーブルなどが対象です。新しいケーブルを使用してみます。</p> <p>[内蔵 Jetdirect] ページの IP アドレスが、ソフトウェア ポートの IP アドレスと同じであることを確認します。次のどちらかの手順に従います。</p> <p>Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Vista</p> <ol style="list-style-type: none">1. 【スタート】 をクリックします。2. 【設定】 をクリックします。3. 【プリンタとファックス】 (デフォルトの [スタート] メニュー表示を使用) をクリックするか、【プリンタ】 (クラシック [スタート] メニューを使用) をクリックします。4. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、【プロパティ】 を選択します。5. 【ポート】 タブをクリックしてから、【ポートの設定】 をクリックします。6. IP アドレスを確認して、【OK】 または 【キャンセル】 をクリックします。7. IP アドレスが異なっている場合は、そのドライバを削除し、適切な IP アドレスを使用してドライバを再インストールします。

問題**解決法**

Windows 7

1. **【スタート】** をクリックします。
 2. **【デバイスとプリンター】** をクリックします。
 3. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、**【プリンタのプロパティ】**を選択します。
 4. **【ポート】** タブをクリックしてから、**【ポートの設定】** をクリックします。
 5. IP アドレスを確認して、**【OK】** または **【キャンセル】** をクリックします。
 6. IP アドレスが異なっている場合は、そのドライバを削除し、適切な IP アドレスを使用してドライバを再インストールします。
-

Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する

- [\[プリントとファクス\] リストにプリンタ ドライバが表示されない](#)
- [\[プリントとファクス\] リストにこのプリンタの名前が表示されない](#)
- [\[プリントとファクス\] リストで選択したプリンタが自動セットアップされない](#)
- [印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない](#)
- [USB ケーブルを使用して接続している場合、プリンタ ドライバ選択後に \[プリントとファクス\] リストにプリンタが表示されない](#)
- [プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している](#)

[プリントとファクス] リストにプリンタ ドライバが表示されない

1. プリンタの .gz ファイルがハード ディスク上の Library/Printers/PPDs/Contents/Resources フォルダにあるかどうかを確認します。ない場合はソフトウェアを再インストールします。
2. .gz ファイルがこのフォルダにある場合、.ppd ファイルが破損している可能性があります。このファイルを削除し、ソフトウェアを再インストールします。

[プリントとファクス] リストにこのプリンタの名前が表示されない

1. ケーブルが正しく接続されているかどうか、および、プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。
2. 設定ページを印刷し、製品名を確認します。設定ページのプリンタ名が [プリントとファクス] リストのプリンタ名と一致しているかどうかを確認します。
3. USB ケーブルまたはネットワーク ケーブルを高品質ケーブルに交換します。

[プリントとファクス] リストで選択したプリンタが自動セットアップされない

1. ケーブルが正しく接続されているかどうか、および、プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。
2. プリンタの .gz ファイルがハード ディスク上の Library/Printers/PPDs/Contents/Resources フォルダにあるかどうかを確認します。ない場合はソフトウェアを再インストールします。
3. .gz ファイルがこのフォルダにある場合、.ppd ファイルが破損している可能性があります。このファイルを削除し、ソフトウェアを再インストールします。
4. USB ケーブルまたはネットワーク ケーブルを高品質ケーブルに交換します。

印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない

1. プリント キューを開き、印刷ジョブを再開します。
2. 同名または類似名の別のプリンタによって印刷ジョブが受信された可能性があります。設定ページを印刷し、製品名を確認します。設定ページのプリンタ名が [プリントとファクス] リストのプリンタ名と一致しているかどうかを確認します。

USB ケーブルを使用して接続している場合、プリンタ ドライバ選択後に [プリントとファクス] リストにプリンタが表示されない

ソフトウェアのトラブルシューティング

- ▲ Mac OS のバージョンが Mac OS X 10.5 以降であるかどうかを確認します。

ハードウェアのトラブルシューティング

1. プリンタの電源がオンになっているかどうかを確認します。
2. USB ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。
3. 適切な高速 USB ケーブルを使用しているかどうかを確認します。
4. USB チェーン上で電力を供給されている USB デバイスの台数が多すぎないかどうかを確認します。USB チェーンからすべてのデバイスを取り外し、USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに直接接続します。
5. 独自電源を持たない USB ハブが USB チェーンに 3 台以上接続されていないかどうかを確認します。USB チェーンからすべてのデバイスを取り外し、USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに直接接続します。

 **注記：** iMac キーボードは、独自電源を持たない USB ハブです。

プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している

ソフトウェアをインストールする前に USB ケーブルを接続した場合、このプリンタ用のプリンタ ドライバではなく汎用プリンタ ドライバが使用されている可能性があります。

1. 汎用プリンタ ドライバを削除します。
2. プリンタに付属の CD からソフトウェアを再インストールします。ソフトウェアのインストール プログラムから要求されるまで、USB ケーブルを接続しないでください。
3. プリンタを複数台導入している場合、**[Print]** (印刷) ダイアログ ボックスの **[Format For]** (書式設定対象) リストで正しいプリンタを選択しているかどうかを確認します。

A サプライ品とアクセサリ

- [部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文](#)
- [パーツ番号](#)

部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文

サプライ品や用紙の注文	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリの注文	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。
HP ソフトウェアを使用した注文	255 ページの「HP 内蔵 Web サーバの使用」

パーツ番号

注文に関する情報と在庫状況が、プリンタの耐用期間中に変更されることがあります。

アクセサリ

項目	説明	製品番号
HP Color LaserJet 500 枚用紙フィーダおよびスタンド x 1	500 枚用紙トレイ (保管キャビネットおよびスタンド付き)。	CE734A
HP Color LaserJet 500 枚用紙フィーダおよびスタンド x 3	1500 枚給紙トレイ。500 枚用紙トレイ 3 台とスタンドが含まれています。	CE735A
ステイブラ/スタッカ	最大 900 枚セット可能な排紙ピンが複数付属したステイブラ/スタッカ。	CE736A
HP 500 枚用紙フィーダ	500 枚給紙トレイ (保管キャビネットおよびスタンドなし)	CE737A
HP 封筒フィーダ	75 枚封筒給紙トレイ	CB524A
HP ステイブラ カートリッジ (リフィル)	交換用ステイブル カートリッジ	C8091A
HP LaserJet Analog Fax Accessory 500	ファックス モジュール	CC487A

カスタマ自己修理部品

ご使用のプリンタには、以下のカスタマ セルフリペア部品を利用できます。

- セルフ交換が**必須**と表示されている部品は、お客様が取り付けることになっています。ただし、HP のサービス担当者に有償で修理を依頼する場合は除きます。こうした部品の場合、現在の HP プリンタの保証ではオンサイト サポートおよび引き取りサポートは提供されません。
- セルフ交換が**オプション**と表示されている部品は、お客様の要求時に HP のサービス担当者によって取り付けられます。プリンタの保証期間内であれば、追加費用は発生しません。

項目	説明 ¹	セルフ交換オプション	製品番号
HP LaserJet プrint カートリッジ	標準黒カートリッジ	必須	CE390A 型番 : 90A
	大容量黒カートリッジ	必須	CE390X 型番 : 90X
HP LaserJet フューザ キット	交換用フューザ	必須	

注記： 予防保守キットに含まれています。

項目	説明 ¹	セルフ交換オプション	製品番号
HP LaserJet 予防保守キット	フューザ、転送ローラー、およびすべてのピックアップローラーとフィードローラーを含む	必須	110 ボルト フューザ : CE731A 220 ボルト フューザ : CE732A
文書フィーダ保守キット	文書フィーダの交換用のローラー アセンブリと仕分けパッドが含まれる	必須	CE248A
コントロール パネル アセンブリ	交換用コントロール パネル	必須	
フォーマッタ アセンブリ	交換用フォーマッタ	必須	
トランスファー ローラー	交換用転送ローラー	必須	
トレイ 2-X ピックアップ/フィード/仕分けローラー	交換用ローラー	必須	
文書フィーダ保守サービスキット	交換用文書フィーダローラー	必須	
文書フィーダ給紙トレイ キット	交換用文書フィーダ給紙トレイ	必須	
暗号化ハード ディスク ドライブ (160 GB)	交換用ハード ディスク ドライブ	必須	
フラッシュ メモリ ドライブ (8MB)	交換用フラッシュ メモリ ドライブ	必須	
アナログ ファックス カード	交換用ファックス PCA	必須	
文書フィーダ用ファン フィルタおよびカバー	文書フィーダ用の交換用ファン フィルタおよびカバー	必須	
フューザ エントランス ガイド	交換用フューザ エントランス ガイド	必須	
両面印刷ユニット アセンブリ	交換用両面印刷ユニット アセンブリ	必須	
排紙ピン アセンブリ	交換用排紙ピン アセンブリ	必須	
トレイ 2 ~ 5	交換用トレイ アセンブリ	必須	
1 x 500 枚用紙フィーダ	交換用フィーダ アセンブリ	必須	CE734A
1 x 300 枚用紙フィーダ	交換用フィーダ アセンブリ	必須	CE735A
トレイ 1 ピックアップ/フィードローラー	交換用ローラー	オプション	

¹ 詳細については、www.hp.com/go/learnaboutequipment を参照してください。

ケーブルおよびインターフェース

項目	説明	製品番号
拡張 I/O (EIO) カード	HP Jetdirect 635n IPv6/IPsec プリント サーバー	J7961G
USB ケーブル	HP 高速 USB ケーブル 1.8 m (6 フ イート) 1.8 m	Q6264A

B サービスおよびサポート

- [Hewlett-Packard 社製品限定保証](#)
- [HP の Premium Protection Warranty: LaserJet プリント カートリッジ限定保証](#)
- [プリント カートリッジに格納されるデータ](#)
- [ソフトウェア使用許諾契約書](#)
- [OpenSSL](#)
- [カスタマ セルフ リペア保証サービス](#)
- [カスタマ サポート](#)

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet M4555、M4555h、M4555f、M4555fskm	1 年間翌日対応オンサイト保証

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストールアクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。

HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤーは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

HP の Premium Protection Warranty: LaserJet プリ ント カートリッジ限定保証

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を購入店 (問題を記述した書面および印刷サンプルを添付) に返品するか HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許容されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示または黙示されることはありません。HP 社は、商品性、品質に対するお客様の満足、または特定目的に対する整合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびその代理店は一切責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

プリント カートリッジに格納されるデータ

このプリンタで使用される HP プリント カートリッジには、プリンタの操作に役立つメモリ チップが搭載されています。

さらに、このメモリ チップには、プリンタの使用に関する一部の情報を収集する機能があります。収集される情報には、プリント カートリッジが最後に使用された日付、プリント カートリッジが最初に取り付けられた日付、プリント カートリッジを使用して印刷されたページ数、印刷履歴、使用された印刷モード、発生した可能性がある印刷エラー、およびプリンタのモデル名があります。この情報は、お客様の印刷ニーズに合わせた将来のプリンタの設計に役立てられます。

プリント カートリッジのメモリ チップから収集されたデータには、プリント カートリッジやプリンタのお客様またはユーザーを識別できるような情報は含まれません。

HP では、HP が無料でやっている製品回収およびリサイクル プログラム (HP Planet Partners : www.hp.com/recycle) に返却されたプリント カートリッジからメモリ チップのサンプル内容を収集します。今後の HP 製品を改善するために、このサンプルから収集されたメモリ チップを読み取り、調査します。このプリント カートリッジのリサイクルに協力した HP パートナーもまたこのデータにアクセスすることができます。

プリント カートリッジを所有しているサードパーティ企業は、メモリ チップ上の匿名情報にアクセスできます。この情報へのアクセスを希望しない場合は、チップを操作不能に変更することができます。ただし、メモリ チップを操作不能に設定すると、そのメモリ チップは HP プリンタで使用できなくなります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェア製品をご利用の前に、以下の条項を良くお読みください。本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「EULA」という）は、本ソフトウェア製品の使用に関してお客様（個人または法人を問わない）と Hewlett-Packard Company（以下「HP」という）との間で締結される契約書です。オンライン文書内の使用許諾契約などで、別の使用許諾契約がお客様と HP または本ソフトウェアのサプライヤとの間に締結されている場合、本 EULA は適用されません。「ソフトウェア」には関連メディア、ユーザーガイドとその他の印刷物、および「オンライン」または電子文書（まとめて「ユーザー文書」という）が含まれる場合があります。

本ソフトウェアに関する権利は、お客様が本 EULA の全ての条件に同意する場合にのみ提供されます。本ソフトウェアをインストール、複製、ダウンロード、または使用することによって、お客様は本 EULA の条項に拘束されることに同意されたものとみなされます。本 EULA に同意されない場合、本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、または使用することはできません。本ソフトウェアを購入されても、本 EULA に同意されない場合は、本ソフトウェアを 14 日以内に購入店まで返却いただければ、代金を全額返金いたします。本ソフトウェアが別の HP 製品上にインストールされている場合または別の HP 製品と共に使用可能な状態になっている場合は、未使用のそれら全ての製品を全部返却していただくものとします。

1. 第三者のソフトウェア。本ソフトウェアには、HP 所有のソフトウェア（以下「HP ソフトウェア」）の他に、第三者の使用許諾を受けたソフトウェア（以下「第三者のソフトウェア」）が含まれる場合があります。第三者のソフトウェアは、その第三者により規定された使用条件に従って使用が許諾されます。一般に、第三者のライセンスは "license.txt"、"readme" などのファイルに記載されていますが、それらのライセンスが見つからない場合は、HP サポートまでご連絡ください。第三者のライセンスにソース コードの利用を認めるライセンス（GNU 一般公開ライセンスなど）が含まれており、該当するソース コードが本ソフトウェアに含まれない場合は、HP の Web サイト (hp.com) の製品サポート ページでソース コードの取得方法についてご確認ください。
2. 許諾権利。本契約書のすべての使用条件に準拠することを条件に、お客様は以下の権利を付与されます。
 - a. 使用。お客様には、本 HP ソフトウェアのコピー 1 部を使用する権利が許諾されます。「使用」とは、本 HP ソフトウェアをインストール、複製、格納、ロード、実行、表示、または使用することをいいます。お客様は、本 HP ソフトウェアを改変したり、本 HP ソフトウェアのいかなる使用許諾または制御に関する機能も無効にすることはできません。本ソフトウェアが HP によりイメージ処理用製品または印刷処理用製品とともに提供された場合（本ソフトウェアがプリンタのドライバ、ファームウェア、またはアドオンの場合など）、本 HP ソフトウェアはそれらの製品（「HP 製品」）での使用に限定されます。使用に関する追加制限が、ユーザー マニュアルに記載されている場合があります。本 HP ソフトウェアの構成部分を分割して使用することはできません。お客様に本 HP ソフトウェアを配布する権利はありません。
 - b. 複製。複製の権利とは、それぞれの複製に元の HP ソフトウェアに含まれる所有権に関する通知をすべて転載し、バックアップ目的のみの使用に限り、本 HP ソフトウェアのアーカイブ コピーまたはバックアップ用コピーを作成できることを意味します。
3. アップグレード。HP がアップグレード、更新、補足（まとめて「アップグレード」という）として提供する HP ソフトウェアを使用するには、まず元の HP ソフトウェアがアップグレードの権利対象として HP により許可されている必要があります。アップグレードが元の HP ソフトウェアに取って替わる場合、お客様はかかる HP ソフトウェアを今後使用することはできなくなります。本契約書は、HP がアップグレードに関する使用条項を他に提示していない限り、各ア

ップグレードに適用されます。本契約書と他の条項とが異なる場合は、他の条項が優先されます。

4. 譲渡。

- a. 第三者への譲渡。本 HP ソフトウェアの最初のエンド ユーザーは、本 HP ソフトウェアを別のエンド ユーザーに 1 回に限り譲渡することができます。譲渡には、全構成部品、メディア、ユーザー マニュアル、本契約書、純正製品証明書 (それが存在する場合) をすべて含めます。譲渡は、委託販売などの間接的譲渡であってはなりません。譲渡に先立ち、譲渡されるソフトウェアを受け取るエンド ユーザーは本契約書に同意するものとします。本 HP ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様のライセンスは自動的に終了します。
- b. 制限。お客様は本 HP ソフトウェアを賃貸、リース、貸与したり、商用タイムシェアリングまたはサービス機関向けに使用することはできません。本契約書で明示的に許可されている場合を除き、お客様は、本 HP ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、移転することはできません。

5. 所有権。本ソフトウェアおよびユーザー マニュアルに含まれる知的財産権はすべて HP およびその供給業者により所有され、該当する著作権、業務上の秘密、特許、商標に関する法律で保護されています。お客様は、製品の識別番号、著作権表示、所有者による制限を本ソフトウェアから除去してはならないものとします。

6. リバース エンジニアリングの制限。お客様は、該当の法律で許可されている場合を除き、本 HP ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

7. データの使用に関する承諾。HP およびその関連会社は、(i) 本ソフトウェアまたは HP 製品の使用、または (ii) 本ソフトウェアまたは HP 製品に関するサポート サービス、に関連してお客様から提供される技術情報を収集および使用することがあります。かかる情報にはすべて HP のプライバシー ポリシーが適用されます。HP はかかる情報を、お客様個人が特定されるような方法で利用しないものとしますが、お客様の使用を改善したりまたはサポート サービスを提供したりするために必要な場合はこの限りではありません。

8. 責任の制限。万一お客様に損害が生じた場合の本契約書に基づく HP およびその供給業者の責任、および本契約書に基づくお客様に対する唯一の救済手段は、本製品の購入についてお客様が実際に支払った金額または 5.00 米ドルのいずれか高い額を上限とします。HP またはその供給業者は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じうる特別、付随的、間接的または派生的損害 (逸失利益、データ喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失を含む) について、HP またはその供給業者が当該損害の可能性を通知されていたとしても、上記の救済手段が主たる目的を達することができるかどうかにかかわらず、一切の責任を負いません。一部の地域または管轄地域では、付随的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があります、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

9. お客様がアメリカ合衆国政府の場合。本ソフトウェアは、すべて私費で開発されています。すべてのソフトウェアは、該当する取得規制が適用されたうえで提供される商用コンピュータ ソフトウェアです。したがって、US FAR 48 CFR 12.212 および DFAR 48 CFR 227.7202 に基づき、米国政府またはその下請業者による使用、複製、開示は、強制適用のある連邦法に反しない範囲で、本契約書に規定されている使用条件のみを適用するものとします。

10. 輸出法の遵守。お客様は、(i) 本ソフトウェアの輸出または輸入に適用される、または (ii) 核兵器、化学兵器、生化学兵器の拡散など、本ソフトウェアの使用を制限する、すべての法律、規則、規制を遵守するものとします。

11. 権利の保有。HP およびその供給業者は、本契約書でお客様に明示的に付与されていない権利を含む、すべての権利を有します。

© 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

改訂 04/09

OpenSSL

本製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL Project は、このソフトウェアを特定物として「現状のまま」の状態を提供し、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負いません。起こりうる損害について予見の有無を問わず、「ソフトウェア」を使用したために生じる、直接的、間接的、付随的、特別、懲罰的、または結果的損害 (代替の製品またはサービスの調達、データまたは利益の喪失、事業の中断などを含み、他のいかなる場合も含む) については、

それが契約、厳格な責任、不法行為 (過失の場合もそうでない場合も含む) など、いかなる責任の理論においても、OpenSSL Project およびその寄稿者はその責任を負いません。

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) 氏によって作成された暗号化ソフトウェア、および Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

カスタマ セルフ リペア保証サービス

HP 製品は、修理にかかる時間を短縮し、故障部品の交換をスムーズに行えるように、カスタマ セルフ リペア (CSR) 部品を多数使用して設計されています。診断段階で、CSR 部品を使用することによりお客様自身で修理が可能であると HP が判断した場合、部品を直接お客様にお送りします。CSR 部品には、次の 2 種類があります。1) お客様による交換修理が必須の部品。これらの部品の交換を HP に依頼した場合は、そのサービスにかかった交通費および人件費はお客様負担となります。2) お客様による交換修理が任意の部品。これらの部品もお客様自身で交換修理できるように設計されています。ただし、これらの部品の交換を HP に依頼した場合は、ご使用の製品に指定されている保証サービスの種類に基づいて、サービスは無償で提供されます。

部品の在庫があり、地理的に可能であれば、CSR 部品は翌営業日に配達されるように出荷されます。また、地理的に可能であれば、追加の費用はかかりますが、同日中または 4 時間以内に配達されるように出荷できる場合もあります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターまでご連絡ください。専門の技術者が電話にてサポートいたします。故障部品を HP に返却する必要があるかどうかは、CSR 部品に同梱されている資料に記載されています。故障部品を HP に返却する必要がある場合、所定の期間内 (通常は 5 営業日以内) に HP に返送してください。故障部品は、付属のドキュメントとともに、用意されている梱包材に入れてお送りください。故障部品を返送していただかない場合には、交換部品代をお支払いいただく場合があります。お客様自身で部品を交換される場合、HP は、交換部品の送料および故障部品の返却にかかる送料を全額負担いたします。また、その際の輸送手段は HP が決定させていただきます。

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける	国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のお知らせまたは www.hp.com/support/ をご覧ください。
プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。	
24 時間のインターネット サポートを受ける	www.hp.com/support/ljm4555mfp
Macintosh コンピュータで使用するプリンタのサポートを受ける	www.hp.com/go/macosex
ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、および電子情報をダウンロードする	www.hp.com/support/ljm4555mfp_software
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack
製品の登録	www.register.hp.com

C 製品の仕様

- [物理仕様](#)
- [電力消費、電気仕様、および稼働音](#)
- [環境仕様](#)

物理仕様

表 C-1 製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅	重量
M4555 MFP	549mm	511mm	739mm	52.3kg
M4555h MFP				52.5kg
M4555f MFP	1010mm	719mm	780mm	75.0kg
M4555fskm MFP	1010mm	719mm	909mm	87.5kg

電力消費、電気仕様、および稼動音

最新情報については、「www.hp.com/support/ljm4555mfp」を参照してください。

△注意： 電源要件は、販売された国/地域によって異なります。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象にならなくなります。

環境仕様

環境条件	推奨	許容値
温度 (プリンタおよびプリント カート リッジ)	17 ~ 27°C (62.6 ~ 80.6°F)	10 ~ 30°C (50 ~ 86°F)
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	10% ~ 80% RH

D 規制に関する情報

- [FCC 規格](#)
- [製品の環境適合化プログラム](#)
- [適合宣言](#)
- [適合宣言 \(ファックス モデル\)](#)
- [安全規定](#)
- [電気通信 \(ファックス\) 製品向けのその他の規格](#)

FCC 規格

本装置をテストした結果、Class A デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。ガイドに従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。居住空間で本装置を使用すると受信障害が発生する可能性があり、このような場合にはユーザーの自己負担で障害を解消する必要があります。

 **注記：** HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class A 基準に準拠するには、シールド付きインターフェース ケーブルを使用してください。

製品の環境適合化プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O₃) をほとんど発生しません。

消費電力

印字可モードおよびスリープ モードでは、消費電力を大幅に節約することができます。これにより、製品のパフォーマンスを維持したまま、天然資源の保護およびコストの削減を実現できます。ENERGY STAR® ロゴの付いた Hewlett-Packard の印刷/イメージング機器は、米国環境保護局が定めるイメージング機器向けの ENERGY STAR 仕様に適合しています。ENERGY STAR に適合したイメージング製品には、次のマークが付けられています。



その他の ENERGY STAR 適合イメージング製品のモデル情報は、次の Web サイトでご覧いただけます。

www.hp.com/go/energystar

トナーの消費

エコノモードでのトナー使用量は通常より少なく、プリント カートリッジの寿命が長くなります。HP では、EconoMode を常時使用することをお勧めしていません。エコノモードを常に使用すると、プリンタ カートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、プリント カートリッジの交換を検討してください。

用紙の使用

この製品の自動両面印刷機能 (両面印刷) および N-UP 印刷機能 (複数のページを 1 枚の用紙に印刷する機能) を使用すると、用紙の使用量が減るため、天然資源の使用量も減らすことができます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

HP Planet Partners を利用すると、使用済みの HP LaserJet プリント カートリッジを簡単に返却およびリサイクルすることができます (無料)。多言語のプログラム情報および指示書は、すべての新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品のパッケージに同梱されています。カートリッジは個々に返却するよりまとめて返却した方が環境に対する負荷を減らす助けになります。

HP では、製品設計および製造から販売、お客様によるご使用、そしてリサイクルに至るまで、環境に優しく、先進的で高品質の製品およびサービスを提供するよう努力しています。HP Planet Partners プログラムにご参加いただくことで、ご使用いただいた HP LaserJet プリント カートリッジは、適切にリサイクルされ、プラスチック部と金属部は新たな製品に使用するために生まれ変わり、埋立地から何百万トンもの廃棄物が削減されます。このカートリッジはリサイクルされ、新しい材料に使用されるため、お客様の元には戻りません。環境への私たちの取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

 **注記:** オリジナルの HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合にのみ、回収ラベルをご使用ください。このラベルは、HP インクジェット カートリッジ、HP カートリッジ以外のカートリッジ、再充填または改ざんしたカートリッジ、または保証による返却には使用しないでください。HP インクジェット カートリッジのリサイクルの詳細については、<http://www.hp.com/recycle> をご覧ください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

HP LaserJet トナー カートリッジ ボックスの同梱されているラベルは、使用後の 1 つまたは複数の HP LaserJet プリント カートリッジの回収およびリサイクル用ラベルです。以下の該当する手順を実行してください。

カートリッジが複数 (2 個以上) の場合

1. HP LaserJet プリント カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 紐または梱包用テープを使用して、複数の箱をひとまとめにします。発送重量は、最大 31kg (70 ポンド) です。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 適切な箱を用意するか、www.hp.com/recycle から、または 1-800-340-2445 に連絡して、無料の回収専用箱を入手します (HP LaserJet プリント カートリッジを最大 31kg (70 ポンド) まで梱包可)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP LaserJet プリント カートリッジをオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

米国およびプエルトリコの HP LaserJet プリント カートリッジのリサイクル回収については、ボックスに同梱の料金前納の住所事前設定出荷ラベルをご使用ください。UPS ラベルをご使用の場合は、次の配達または集荷時に UPS のドライバーにパッケージを渡していただくか、または認可されている UPS 持ち込みセンターまでお持ちください (UPS Ground の集荷料金には通常のレートが適用されます)。お近くの UPS 持ち込みセンターについては、1-800-PICKUPS までご連絡いただくか、www.ups.com をご覧ください。

FedEx ラベルを貼付したパッケージを返却する場合は、次の配達または集荷時に、米国郵便配達員または FedEx のドライバーにパッケージをお渡しください (FedEx Ground の集荷料金には通常のレートが適用されます)。または、梱包済みのプリント カートリッジをお近くの米国郵便局または FedEx 集配センター/集配店にお持ちください。お近くの米国郵便局については、1-800-ASK-USPS までご連絡いただくか、www.usps.com をご覧ください。お近くの FedEx 集配センター/集配店については、1-800-GOFEDEX までご連絡いただくか、www.fedex.com をご覧ください。

詳細情報について、または追加ラベルや一括回収用の箱の注文については、www.hp.com/recycle を参照するか、または 1-800-340-2445 までお問い合わせください。この情報は、予告なしに変更される場合があります。

アラスカおよびハワイにお住まいの方へ

UPS ラベルを使用しないでください。詳細については、1-800-340-2445 までお問い合わせください。USPS と HP 間での取り決めにより、アラスカおよびハワイについては無料のカートリッジ返却輸送サービスを提供していません。

米国以外でのリサイクル品の回収

HP Planet Partners 返却およびリサイクル プログラムへのお申し込みについては、リサイクル ガイド (新しくご購入いただいたサプライ品に同梱されています)、または www.hp.com/recycle をご覧ください。お住まいの国/地域を選択すると、お使いの HP LaserJet 用サプライ品の返却方法が表示されます。

用紙

この製品では、用紙が『HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料の制限

この HP 製品では水銀は使用されていません。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP LaserJet Enterprise M4555 MFP シリーズ	
タイプ	フッ化炭素リチウム
重量	0.8g

HP LaserJet Enterprise M4555 MFP シリーズ	
実装位置	フォーマッタ ボード上
ユーザーによる取り外し	不可



廃電池請回収

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄



製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質

HP は、REACH (欧州議会および理事会の規則 (EC) No 1907/2006) などの法的要件に準拠するための必要に応じて、HP 製品で使用されている化学物質に関する情報をお客様に提供するように努めています。このプリンタの化学情報レポートについては、www.hp.com/go/reach を参照してください。

化学物質安全性データシート (MSDS)

化学物質が使われているサプライ品 (トナーなど) の Material Safety Data Sheet (化学物質等安全データシート:MSDS) は HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety から入手可能です。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロフィール
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

適合宣言

適合宣言

適合規格 : ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造者名 : Hewlett-Packard Company DoC# : BOISB-0904-00-rel.1.0

製造者住所 : 11311 Chinden Boulevard
Boise, Idaho 83714-1021, USA

適合宣言の対象製品

製品名 : HP LaserJet Enterprise M4555 MFP
HP LaserJet Enterprise M4555h MFP

規制モデル番号²⁾ BOISB-0904-00

付属 :

CE734A - 1 x 500 枚給紙トレイ/スタンド

CE735A - 3 x 500 枚給紙トレイ/スタンド

CE736A - ステイブル留めメールボックス

製品オプション : すべて

プリント カートリッジ : CE390A、CE390X

準拠している製品仕様 :

安全性 : IEC 60950-1:2005 / EN60950-1: 2006 +A11

IEC 60825-1:2007 / EN 60825-1:2007 (クラス 1 レーザー/LED 製品)

IEC 62311:2007 / EN62311:2008

GB4943-2001

電磁環境適合性 : CISPR22:2005 +A1/ EN55022:2006 +A1 - クラス A¹⁾、³⁾

EN 61000-3-2:2006

EN61000-3-3:2008

EN 55024:1998 +A1 +A2

FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A¹⁾、³⁾ / ICES-003、Issue 4

GB9254-2008、GB17625.1-2003

補足情報 :

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件に準拠し、それに基づいて CE マーク

 を貼付しています。

適合宣言 (ファックス モデル)

適合宣言

適合規格 : ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造者名 : Hewlett-Packard Company DoC# : BOISB-0904-01-rel.1.0

製造者住所 : 11311 Chinden Boulevard
Boise, Idaho 83714-1021, USA

適合宣言の対象製品

製品名 : HP LaserJet Enterprise M4555f MFP
HP LaserJet Enterprise M4555fskm MFP

規制モデル番号²⁾ BOISB-0904-01

付属 :

CE734A - 1 x 500 枚給紙トレイ/スタンド

CE735A - 3 x 500 枚給紙トレイ/スタンド

CE736A - ステイブル留めメールボックス

BOISB-0703-00 - ファックス モジュール

製品オプション : すべて

プリント カートリッジ : CE390A、CE390X

準拠している製品仕様 :

安全性 : IEC 60950-1:2005 / EN60950-1: 2006 +A11

IEC 60825-1:2007 / EN 60825-1:2007 (クラス 1 レーザー/LED 製品)

IEC 62311:2007 / EN62311:2008

GB4943-2001

電磁環境適合性 : CISPR22:2005 +A1/ EN55022:2006 +A1 - クラス A¹⁾、³⁾

EN 61000-3-2:2006

EN61000-3-3:2008

EN 55024:1998 +A1 +A2

FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A¹⁾、³⁾ / ICES-003、Issue 4

GB9254-2008、GB17625.1-2003

電気通信 : ES 203 021; FCC タイトル 47 CFR、パート 68⁴⁾

補足情報 :

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件、および R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) に準拠し、それに基づいて CE マーク  を貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は、次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1. 本製品は、Hewlett-Packard のパーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。
2. 規制上の理由により、本製品には規制のモデル番号が割り当てられています。この番号を、製品名や製品番号と混同しないでください。
3. 本製品は、次に該当する場合に EN55022 および CNS13438 Class A の要件を満たします。「警告 - これはクラス A の製品です。国内環境において、適切な対策を取る必要のある無線妨害を引き起こす場合があります。」
4. 本製品には、上記の規制に加え、対象国/地域に該当する電気通信に関する承認および規格が適用されています。
5. 本製品ではアナログ ファックス アクセサリ モジュールが使用されています。その規制モデル番号は、BOISB-0703-00 です。これは、本製品が販売される国/地域の技術的規制要件を満たすために必要です。

Boise, Idaho USA

2010 年 10 月 8 日

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパ：

お近くの Hewlett-Packard セールス/サービス オフィスまたは Hewlett-Packard GmbH,
Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034, Böblingen (FAX :
+49-7031-14-3143) www.hp.eu/certificates

米国：

Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise,
Idaho 83707-0015 (電話番号 : 208-396-6000)

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザー製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザー製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザー ビームが漏れることはありません。

⚠ 警告！ このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

« Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques.
« CEM ». »

VCCI 規格 (日本)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源コードの使用手順

電源がプリンタの定格電圧に適合していることを確認します。定格電圧は、プリンタのラベルに記載されています。プリンタは 100-127Vac または 220-240Vac と 50/60Hz を使用します。

プリンタと接地した AC コンセントを電源コードで接続します。

⚠ 注意： プリンタの損傷を防ぐため、プリンタに付属の電源コードのみを使用してください。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMC ステートメント (中国)

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

EMC ステートメント (韓国)

A급 기기 (업무용 방송통신기기)	이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.
-----------------------	--

EMI 規格 (台灣)

<p>警告使用者： 這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。</p>

レーザー製品に関する安全規定 (フィンランド)

Luokan 1 laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

HP LaserJet M4555, M4555h, M4555f, M4555fskm, laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalisissa käytössä kirjoittimen suojakoteloitinta estää lasersäteiden pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (2007) mukaisesti.

VAROITUS !

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet M4555, M4555h, M4555f, M4555fskm - kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan

puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsätts användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen.

Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista: Aallonpituus 775-795 nm Teho 5 m W Luokan 3B laser.

GS 規格 (ドイツ)

Das Gerät ist nicht für die Benutzung im unmittelbaren Gesichtsfeld am Bildschirmarbeitsplatz vorgesehen. Um störende Reflexionen am Bildschirmarbeitsplatz zu vermeiden, darf dieses Produkt nicht im unmittelbaren Gesichtsfeld platziert werden.

成分表 (中国)

有毒有害物质表

根据中国电子信息产品污染控制管理办法的要求而出台

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
打印引擎	X	0	0	0	0	0
复印机组件	X	0	0	0	0	0
控制面板	0	0	0	0	0	0
塑料外壳	0	0	0	0	0	0
格式化板组件	X	0	0	0	0	0
碳粉盒	X	0	0	0	0	0

0614

0：表示在此部件所用的所有同类材料中，所含的此有毒或有害物质均低于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

X：表示在此部件所用的所有同类材料中，至少一种所含的此有毒或有害物质高于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

注：引用的“环保使用期限”是根据在正常温度和湿度条件下操作使用产品而确定的。

有害物質に関する制限の規格 (トルコ)

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

電気通信 (ファックス) 製品向けのその他の規格

通信運用に関する EU ステートメント

この製品は EEA (European Economic Area) の国/地域のアナログ PSTN (Public Switched Telecommunication Networks) に接続するためのものです。

この製品は EU R&TTE 指令 1999/5/EC (付録 II) の要件に準拠し、それに基づいて CE 認定マークを保有しています。

詳細については、本マニュアルの別のセクションに記載されている製造元発行の「適合宣言書」を参照してください。

国/地域によって PSTN に違いがあるので、この製品がすべての PSTN 端末で機能するかどうかを無条件に保証することはできません。ネットワークの互換性は PSTN 接続の準備で正しい設定が選択されたかどうかによって依存します。マニュアルに説明されている手順に従ってください。

ネットワークの互換性に問題が発生した場合は、使用装置の購入元、またはお住まいの国/地域の HP ヘルプデスクにお問い合わせください。

PSTN 端末への接続は、現地の PSTN 業者によって設定されている要件にも左右されます。

New Zealand Telecom Statements

The grant of a Telepermit for any item of terminal equipment indicates only that Telecom has accepted that the item complies with minimum conditions for connection to its network. It indicates no endorsement of the product by Telecom, nor does it provide any sort of warranty. Above all, it provides no assurance that any item will work correctly in all respects with another item of Telepermitted equipment of a different make or model, nor does it imply that any product is compatible with all of Telecom's network services.

This equipment may not provide for the effective hand-over of a call to another device connected to the same line.

This equipment shall not be set up to make automatic calls to the Telecom "111" Emergency Service.

This product has not been tested to ensure compatibility with the FaxAbility distinctive ring service for New Zealand.

Additional FCC statement for telecom products (US)

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules and the requirements adopted by the ACTA. On the back of this equipment is a label that contains, among other information, a product identifier in the format US:AAAEQ##TXXXX. If requested, this number must be provided to the telephone company.

The REN is used to determine the quantity of devices, which may be connected to the telephone line. Excessive RENs on the telephone line may result in the devices not ringing in response to an incoming call. In most, but not all, areas, the sum of the RENs should not exceed five (5.0).

To be certain of the number of devices that may be connected to the line, as determined by the total RENs, contact the telephone company to determine the maximum REN for the calling area.

This equipment uses the following USOC jacks: RJ11C.

An FCC-compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack, which is Part 68 compliant. This equipment cannot be used on telephone company-provided coin service. Connection to Party Line Service is subject to state tariffs.

If this equipment causes harm to the telephone network, the telephone company will notify you in advance that temporary discontinuance of service may be required. If advance notice is not practical, the telephone company will notify the customer as soon as possible. Also, you will be advised of your right to file a complaint with the FCC if you believe it is necessary.

The telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the operation of the equipment. If this happens, the telephone company will provide advance notice in order for you to make the necessary modifications in order to maintain uninterrupted service.

If trouble is experienced with this equipment, please see the numbers in this manual for repair and (or) warranty information. If the trouble is causing harm to the telephone network, the telephone company may request you remove the equipment from the network until the problem is resolved.

The customer can do the following repairs: Replace any original equipment that came with the device. This includes the print cartridge, the supports for trays and bins, the power cord, and the telephone cord. It is recommended that the customer install an AC surge arrester in the AC outlet to which this device is connected. This is to avoid damage to the equipment caused by local lightning strikes and other electrical surges.

Telephone Consumer Protection Act (US)

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains, in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, or other entity, or individual. (The telephone number provided cannot be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long distance transmission charges).

Industry Canada CS-03 requirements

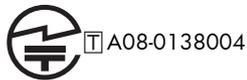
Notice: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means the equipment meets certain telecommunications network protective, operational, and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirement document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction. Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible for the equipment to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. The customer should

be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations. Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment. Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines, and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution can be particularly important in rural areas.

⚠ 注意： Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate. The Ringer Equivalence Number (REN) of this device is 0.0.

Notice: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Number of all the devices does not exceed five (5.0). The standard connecting arrangement code (telephone jack type) for equipment with direct connections to the telephone network is CA11A.

日本の電気通信機器の認定マーク



ベトナムの有線通信における ICTQC で型番認証された製品に対するマーク



索引

記号/数字

[校正/クリーニング] メニュー、コントロール パネル 45

10x15cm 用紙

印刷 (Windows の場合) 131

1 枚の用紙に印刷するページ数

選択 (Windows の場合) 132

用紙あたりのページ数 70

1 枚の用紙に印刷する複数ページ 70

1 枚の用紙に複数ページ

印刷 (Windows の場合) 132

4x6 インチ用紙

印刷 (Windows の場合) 131

C

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格) 348

D

DSS. を参照 デジタル送信ユーティリティを参照

E

エコノモード

コントロール パネルでの設定 23

EU (欧州連合)、廃棄物処理 342

EWS. を参照 内蔵 Web サーバを参照

Explorer、サポートされているバージョン

HP 内蔵 Web サーバ 255

F

FCC 規格 338

H

HP Jetdirect プリント サーバ 取り付け 267

HP Jetdirect プリント サーバを含むモデル 2

HP-UX ソフトウェア 57

HP Web Jetadmin 56, 261

HP カスタマ ケア 334

HP 製以外のサプライ品 109

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) 機能 255

HP 内蔵 Web サーバ 56

HP 内蔵 Web サーバ

印刷設定 257

コピー設定 257

情報ページ 256

スキャン設定 258

セキュリティ設定 260

全般的な設定 256

[その他のリンク] リスト 260

デジタル送信設定 258

トラブルシューティング用ツール 259

ネットワーク設定 260

ファックス設定 259

HP の不正品対策 Web サイト 109

HP ユーティリティ 66

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ 51

HP ユーティリティ 66

HP ユーティリティ、Macintosh 66

I

Internet Explorer、サポートされているバージョン

HP 内蔵 Web サーバ 255

IPsec 262

IPv4 アドレス 80

IPv6 アドレス 81

IP アドレス

設定 61, 76

IP セキュリティ 262

J

JBIG 圧縮

設定する 206

Jetadmin、HP Web 56, 261

Jetdirect プリント サーバ

取り付け 267

Jetdirect プリント サーバ

を含むモデル 2

L

LAN ファックス 192

LDAP サーバ

接続先 184

Linux ソフトウェア 57

M

Macintosh

サポート 334

文書のサイズ変更 69

Macintosh ドライバ設定

ジョブ保存 70

透かし 69

Macintosh ドライバ設定

カスタム用紙サイズ 69

Mac

HP ユーティリティ 66

ソフトウェア 66
ソフトウェアの削除 64
対応オペレーティング システム 60
問題、トラブルシューティング 317
用紙タイプとサイズの変更 68

Mac
ドライバ設定 65, 68
Mac ソフトウェアのアンインストール 64
Mac ソフトウェアの削除 64

N
Netscape Navigator、サポートされているバージョン
HP 内蔵 Web サーバ 255
N-UP 印刷
選択 (Windows の場合) 132

O
OHP フィルム
印刷 (Windows の場合) 137

P
PBX システムのトラブルシューティング 243
PCL ドライバ
ユニバーサル 51
PCL フォント リスト
説明 254
PostScript Printer Description (PPD)
ファイル
保持 66
PPD
保持 66
PS エミュレーション ドライバ 49

S
SAP ソフトウェア 57
SMTP サーバー
接続先 184
Solaris ソフトウェア 57

T
T.30 トレース レポート 251

TCP/IP
IPv4 パラメータの手動設定 80
IPv6 パラメータの手動設定 81

U
UNIX ソフトウェア 57
USB
送信先 182
[[USB から開く] 設定] メニュー、コントロール パネル 33
USB ストレージ アクセサリ
印刷元 155
USB 設定、Mac 60
USB 設定、Windows 74
USB ドライブ、保存先 182
USB に保存 182
[USB ファームウェア アップグレード] メニュー、コントロール パネル 46

V
VoIP 236

W
Web Jetadmin、リモート設定 197
Web サイト
HP Web Jetadmin、ダウンロード 261
Macintosh カスタマ サポート 334
化学物質安全性データシート (MSDS) 342
カスタマ サポート 334
ユニバーサル プリンタ ドライバ 51
Web サイト
不正品レポート 109
Web ブラウザの条件
HP 内蔵 Web サーバ 255
Windows
サポート対象のドライバ 49
対応オペレーティング システム 48

ドライバの設定 53
ユニバーサル プリンタ ドライバ 51
Windows ソフトウェアのアンインストール 55

あ

アクセサリ
注文 320
パーツ番号 321
アップデート、製品のダウンロード 272
アドレス帳、電子メール
受信者リスト、作成 186
受信者リスト 188
アドレス帳、電子メール
LDAP のサポート 184
アラート、電子メール 66
安全規定 348, 349

い

[印刷オプション] メニュー、コントロール パネル 35
印刷カートリッジ
HP 製以外 109
リサイクル 109
印刷ジョブの制御 101
印刷ジョブ
一時的なコピーの保存 (Windows の場合) 152
永久的なコピーの保存 (Windows の場合) 152
永久的なプライベート コピーの保存 (Windows の場合) 153
印刷ジョブ
一時的に保存 (Windows の場合) 152
キャンセル 68
印刷済み用紙
印刷 (Windows の場合) 135
[印刷設定] メニュー、コントロール パネル 33
印刷設定
HP 内蔵 Web サーバ 257
印刷タスク 121
印刷品質
向上 (Windows の場合) 129

印刷品質
 向上 303
印刷メディア
 トレイ 1 にセット 94
印刷
 USB ストレージ アクセサリから 155
 設定 (Mac の場合) 68
 設定 (Windows の場合) 123
 保存ジョブ 150
インストール
 ソフトウェア、有線ネットワーク上、Windows 76
インストール
 ソフトウェア、USB 接続 74
インタフェース ポート
 位置 10, 11

う

ウィザード、ファックス設定
 194, 198

え

エコノミー設定 265
エラー
 コード 244
 ソフトウェア 315
エラー訂正モード
 設定 206
エラー ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
エラー メッセージ
 数値リスト 117
 タイプ 278
 電子メール アラート 66
 コントロール パネル 278

お

応答がない場合のリダイヤル
 設定する 203
応答するまでの呼び出し回数
 214
オン/オフ ボタン、位置 6
音声電話と再試行 235
温度条件 336
オンライン サポート 334
オンライン ヘルプ、コントロール
 パネル 13

か

カートリッジ、プリント
 交換 110
解決
 USB を使用した外部データの
 印刷に関する問題 310
 直接接続に関する問題 312
 ネットワークに関する問題
 312
解像度
 設定する 209
化学物質安全性データシート
 (MSDS) 342
稼動音仕様 336
拡大
 コピー ジョブ 159
拡張 I/O (EIO) デバイス
 取り付ける 267
拡張 I/O (EIO) カード
 製品番号 323
カスタマ サポート
 オンライン 334
カスタム用紙サイズの設定
 Macintosh 69
稼動環境仕様 336
カバー、位置 6
紙詰まり
 トレイ 1 290
 排紙ビン 287
 復旧 302
 文書フィーダ 282
紙詰まり
 排紙エリア 283
カラー使用状況、Macintosh 66
環境、仕様 336
環境への配慮 4
韓国語 EMC ステートメント
 349
[管理] メニュー、コントロール パ
 ネル 20
カートリッジ
 HP 製以外 109
 保管 109
 保証 327
 リサイクル 109, 340

き

技術サポート
 オンライン 334
規制
 製品の環境適合化プログラム
 339
偽造サプライ品 109
偽造防止サプライ品 109
機能、説明 192
機能 2
キャンセル
 コピー ジョブ 159
キャンセル
 印刷ジョブ 68
キャンセル、印刷要求
 (Windows) 122
給紙トレイの選択 221
給紙の問題 240
キー、コントロール パネル
 タッチスクリーン 16

く

クイック コピー ジョブ
 保存 (Windows の場合) 152
グラフィック、低画質 224
クリーニング
 スキャナ ガラス 161, 270
 用紙経路 304
 用紙経路 270
クリーニング
 プリンタ 269
グループ ダイアル. を参照 短縮
 ダイアルを参照

け

警告ボタン、コントロール パネル
 のタッチスクリーン 16
警告 iii
ケーブル、USB
 製品番号 323
ゲートウェイ
 設定 184
ゲートウェイ、デフォルトの設定
 80
見当合わせ
 紙詰まり 300

こ

構成、モデル 2

- コール レポート 251
- コピー
 - 拡大 159
 - 向上、品質 161
 - 混在、サイズ 170
 - 最適化、テキストまたは画像 161
 - 作成、保存されるジョブ 169
 - 写真 168
 - 縮小 159
 - ジョブ作成 173
 - ジョブ モード 173
 - スキャナ ガラス 158
 - 調整、濃さ 163
 - 特殊用紙 165
 - 品質、向上 307
 - 複数の原稿セット 173
 - 文書フィーダ 158
 - 本 167
 - 戻す、デフォルト設定 166
 - 丁合い 160
 - 両面文書 171
- コピー設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 257
- [コピー設定] メニュー、コントロール パネル 24
- コピー
 - オプションを設定 165
 - キャンセル 159
- 混在、サイズ
 - コピー 170
- コントロール パネル
 - [[USB から開く] 設定] メニュー 33
 - [USB ファームウェア アップグレード] メニュー 46
 - [印刷オプション] メニュー 35
 - [印刷設定] メニュー 33
 - [管理] メニュー 20
 - クリーニング ページ、印刷 270
 - [校正/クリーニング] メニュー 45
 - [コピー設定] メニュー 24
 - [サプライ品の管理] メニュー 37
- [スキャン/デジタル送信設定] メニュー 27
- [ステイプラ/スタッカの設定] メニュー 38
- [全般的な設定] メニュー 21
- [トラブルシューティング] メニュー 42
- [トレイの管理] メニュー 38
- [ネットワーク設定] メニュー 39
- [バックアップ/復元] メニュー 45
- 表示設定 36
- [ファックス設定] メニュー 29
- [ホーム] 画面 14
- メニュー、要約 18
- [レポート] メニュー 20
- コントロール パネル
 - 位置 6
 - セキュリティ 263
 - 設定 52, 65
 - タッチスクリーンのボタン 16
 - ヘルプ 13
 - メッセージ、タイプ 278
 - メッセージ、数値リスト 117
- さ
- サービス設定 251
- 最後のページ
 - 異なる用紙に印刷する (Windows の場合) 140
- 最初のページ
 - 異なる用紙に印刷する (Windows の場合) 140
 - 別の用紙の使用 69
- 最適化、コピー結果 161
- 材料の制限 341
- サインイン
 - コントロール パネル 178
- 削除
 - 保存ジョブ 151
- サブネット マスク 80
- サプライ品
 - HP 製以外 109
 - 交換 110
- ステータス、HP ユーティリティによる表示 66
- 注文 320
- メモリ エラー 117
- リサイクル 109, 340
- 製品番号 321
- サプライ品
 - 偽造 109
- サプライ品のリサイクル 109
- サプライ品ステータスページ印刷 117
- サプライ品ステータス ページ説明 254
- [サプライ品の管理] メニュー、コントロール パネル 37
- サポート
 - オンライン 334
- [サービス] メニュー、コントロール パネル 46
- し
- 仕様
 - 電気および稼働音 336
- 湿度条件 336
- しみが繰り返し発生する、トラブルの解決 116
- しみ、連続 116
- 写真、低画質 224
- 写真
 - コピー 168
- 縮小
 - コピー ジョブ 159
- 受信者リスト 188
- 受信ファックスのスタンプ 219
- 出荷時の設定に戻す 277
- 使用可能な用紙 86
- 使用許諾、ソフトウェア 329
- 定規、しみが繰り返し発生する 116
- 使用状況ページ
 - 説明 254
- 情報ページ
 - HP 内蔵 Web サーバー 256
 - 印刷または表示 254
- 仕様
 - 稼働環境 336
- メニュー、コントロール パネル サービス 46

- ジョブ作成、コピー 173
- ジョブ
 - Macintosh 設定 66
- デジタル送信
 - 概要 183
 - 電子メールを設定 184
- ジョブ保持
 - オプションの設定 (Windows の場合) 151
- ジョブ保存
 - Macintosh 設定 70
 - Windows の場合 149
 - 一時的なコピー (Windows の場合) 152
 - 永久的なコピー (Windows の場合) 152
 - 永久的なプライベート コピー (Windows の場合) 153
 - オプションの設定 (Windows の場合) 151
 - 使用可能なモード 148
 - 試し刷りに後に保留 (Windows の場合) 151
- ジョブ保存
 - 一時的なプライベート ジョブ (Windows の場合) 152
- ジョブ モード、コピー 173
- ジョブ、印刷
 - 一時的なコピーの保存 (Windows の場合) 152
 - 永久的なコピーの保存 (Windows の場合) 152
 - 永久的なプライベート コピーの保存 (Windows の場合) 153
- ジョブ、印刷
 - 一時的に保存 (Windows の場合) 152
- ジョブ、保存
 - 印刷時に通知を受信 (Windows の場合) 153
 - 印刷 150
 - 作成 (Windows の場合) 149
 - 名前の指定 (Windows の場合) 154
 - ユーザー名の設定 (Windows の場合) 153
- ジョブ、保存
 - 削除 151
- ショートカット (Windows の場合)
 - 作成 126
 - 使用 125
- す
- 水銀を含まない製品 341
- 透かし
 - 追加 (Windows の場合) 143
- スキャナ ガラス
 - クリーニング 161
- スキャナ
 - 紙詰まり 287
- スキャナ
 - ガラスのクリーニング 307
- [スキャン/デジタル送信設定] メニュー、コントロール パネル 27
- スキャン
 - ジョブ設定 178
- スキャン設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 258
- スキャン、USB ドライブ 182
- スキャン、電子メール アドレス SMTP をサポート 184
- アドレス帳 186, 188
- 受信者リスト 188
- ジョブ設定 178
- 送信、文書 185
- スキャン、プリンタのメモリ 180
- [スタート] ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
- ステイプラ/スタッカ
 - 収容枚数 91
- [ステイプラ/スタッカ設定] メニュー、コントロール パネル 38
- ステイプラ
 - 針詰まり 283, 284
- ステイプル オプション
 - 選択 (Windows) 147
- ステイプル
 - 交換 113
- ステータス
 - [ホーム] 画面、コントロール パネル 14
- ステータス メッセージ バー 224
- ステータス、ファックスアクセサリ ページ 239
- ステータス
 - HP ユーティリティ、Macintosh 66
 - メッセージ、タイプ 278
- スリープ スケジュール
 - 設定 266
- スリープ遅延
 - 無効化 265
 - 有効化 265
- スリープ復帰時 USB 印刷 155
- せ
- 請求書コード レポート
 - 説明 254
- 請求書コード 207
- 製品情報 1
- 製品の環境適合化プログラム 339
- 製品、を参照 多機能製品を参照
- セキュリティ機能 76
- セキュリティ スロット
 - 位置 11
- セキュリティ
 - 暗号化ハード ディスク 262
- セキュリティ設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 260
- 接続
 - USB で Mac と接続 60
 - USB、Windows 74
- 設置
 - 有線ネットワークでのプリンタ、Mac 61
- 設定
 - IP アドレス 61, 76
 - 出荷時に戻す 277
 - ドライバ (Mac の場合) 65
 - ドライバ 53
 - ドライバ プリセット (Mac の場合) 68
 - 優先度 52, 65
- 設定
 - JBIG 圧縮 206
 - エラー訂正モード 206

- 応答がない場合のリダイヤル 203
- 応答するまでの呼び出し回数 214
- 解像度 209
- 給紙トレイの選択 221
- 受信ファックスのスタンプ 219
- 請求書コード 207
- ダイヤル トーン検出 204
- ダイヤル モード 200
- 通話中の場合のリダイヤル 203
- 必須 193
- ファックス番号の確認 205
- ページに収める 219
- メモリ ロック 236
- リダイヤル間隔 201
- リモート 197
- セット
 - トレイ 1 94
 - トレイ 2 96, 98
 - トレイ 3、4 および 5 96, 98
- [全般的な設定] メニュー、コントロール パネル 21
- 全般的な設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 256
- 製品番号
 - サプライ品 321
 - プリント カートリッジ 321
 - 保守キット 321
- そ
- 送信、電子メール アドレス
 - SMTP をサポート 184
 - アドレス帳 186, 188
 - 受信者リスト 188
 - ジョブ設定 178
 - 送信、文書 185
 - 有効化 176
- [その他のリンク] リスト
 - HP 内蔵 Web サーバー 260
- ソフトウェア
 - HP Web Jetadmin 56
 - アンインストール (Windows) 55
 - インストール、USB 接続 74
- インストール、有線ネットワーク 78
 - 設定 52, 65
 - ソフトウェア使用許諾説明書 329
 - 対応オペレーティング システム 48
 - 内蔵 Web サーバ 56
- ソフトウェア
 - HP ユーティリティ 66
 - Mac 66
 - Mac のアンインストール 64
 - 対応オペレーティング システム 60
 - 問題 315
- た
- 対応オペレーティング システム 60
- 対応オペレーティング システム 48
- ダイヤル トーン検出、設定 204
- ダイヤル モード
 - 設定する 200
- ダイヤル局番
 - 設定 204
- 耐用期間経過後の廃棄 341
- 台湾 EMI 規格 349
- 多機能製品 192
- 縦方向
 - 選択、Windows 133
- 試し刷り後に保留
 - 選択 (Windows の場合) 151
- 短縮ダイヤル リスト
 - 説明 254
- 短縮ダイヤル
 - 削除 231
 - 作成 230
- ち
- 小さいサイズの用紙
 - 印刷 (Windows の場合) 131
- 注意 iii
- 注記 iii
- 中止、印刷要求 (Windows) 122
- 注文
 - サプライ品とアクセサリ 320
 - パーツ番号 321
- 調整、コピー結果 163
- つ
- 通話中の場合のリダイヤル
 - 設定する 203
- て
- 低速ファックス受信 241
- 低速ファックス送信 243
- デジタル送信設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 258
- 電気仕様 336
- デジタル送信
 - LDAP のサポート 184
- デジタル送信
 - SMTP をサポート 184
 - アドレス帳 186, 188
 - 受信者リスト 188
 - ジョブ設定 178
- デジタル送信ユーティリティ、リモート設定 198
- デジタル送信
 - USB フラッシュ ドライブ 182
 - 文書を送信 185
 - フォルダ 179
 - プリンタのメモリ 180
- デフォルト ゲートウェイ、設定 80
- デフォルト設定、コピー
 - 戻す 166
- 電源スイッチ、位置 6
- 電源接続
 - 位置 10
- 電子メール機能
 - 有効化 176
- 電子メール
 - SMTP をサポート 184
 - アドレス帳 186, 188
 - 受信者リスト 188
- 電子メール アドレス
 - 送信、文書 185
- 電子メール アラート 66
- 電子メールにスキャン
 - LDAP のサポート 184
 - 概要 183
 - 設定 184

- 電力
 - 消費 336
- 電子メールに送信
 - LDAP のサポート 184
 - 概要 183, 184
- 電子メール
 - LDAP のサポート 184
 - 概要 183
 - 設定 184
- 電話回線のトラブルシューティング 243
- と
- トーン ダイアル
 - 設定する 200
- 特殊メディア
 - ガイドライン 84
- 特殊用紙
 - 印刷 (Windows の場合) 137
 - ガイドライン 84
- 特殊用紙
 - コピー 165
- トナー カートリッジ. *を参照* プリント カートリッジ *を参照*
- ドライバ
 - サポート対象 (Windows の場合) 49
 - 設定 (Mac の場合) 68
 - 設定 (Windows の場合) 123
 - 設定の変更 (Mac の場合) 65
 - 設定 52
 - 設定の変更 (Windows の場合) 53
 - プリセット (Mac の場合) 68
 - ユニバーサル 51
- ドライバ
 - 変更、用紙タイプと用紙サイズ 85
- トラブルシューティング
 - Mac に関する問題 317
 - PBX システム 243
 - USB を使用した外部データの印刷に関する問題 310
 - 低速ファックス受信 241
 - 低速ファックス送信 243
 - 用紙送りに関する問題 279
- トラブルの解決
 - しみが繰り返し発生する 116
- 直接接続に関する問題 312
- ネットワークに関する問題 312
- 紙詰まり 279
- [トラブルシューティング] メニュー、コントロール パネル 42
- トラブルシューティング用ツール
 - HP 内蔵 Web サーバー 259
- トラブルの解決
 - エラー メッセージ、数値リスト 117
 - コントロール パネルのメッセージ 278
- インストール
 - ソフトウェア、有線ネットワーク 78
- 取り付け
 - EIO デバイス 267
- 取り付け
 - プリント カートリッジ 110
- トレイ 1
 - 紙詰まり 290
 - 収容枚数 90
- トレイ 2
 - 収容枚数 90
- トレイ 3/4/5
 - 容量 90
- トレイ
 - Macintosh 設定 66
 - 位置 6
 - 収容枚数 90
 - 設定 100
 - セット 90
 - 選択 (Windows の場合) 129
 - 内蔵 2
 - 用紙の向き 92
 - 紙詰まり 294
- [トレイの管理] メニュー、コントロール パネル 38
- な
- 内蔵 Web サーバー (EWS)
 - パスワードの割り当て 262
- 内蔵 Web サーバ 197
- 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - 機能 255
- 名前、ジョブ
 - 指定 (Windows の場合) 154
- に
- 日本 VCCI 規格 348
- ね
- [ネットワーク設定] メニュー、コントロール パネル 39
- ネットワーク
 - EIO デバイスの取り付け 267
 - SMTP サーバー 184
 - セキュリティ 76
- ネットワーク フォルダ、スキャン先 179
- ネットワーク、有線
 - インストール、ソフトウェア、Mac 61
 - インストール、ソフトウェア、Windows 76
- ネットワーク設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 260
- ネットワーク
 - HP Web Jetadmin 261
 - IPv4 アドレス 80
 - IPv6 アドレス 81
 - SMTP サーバ 184
 - サブネット マスク 80
 - サポートされているプロトコル 75
 - 設定、表示 79
 - 設定、変更 79
 - 設定 75
 - デフォルト ゲートウェイ 80
 - パスワード、設定 79
 - パスワード、変更 79
 - プリント サーバ内蔵 2
 - ネットワークの管理 79
- は
- ハード ディスク
 - 暗号化 262
- 廃棄、耐用期間経過後 341
- 排紙エリア
 - 紙詰まり 283
- 排紙ビン
 - 位置 6
 - 紙詰まり 287
- 排紙ビン
 - 収容枚数 91

- 設定 102
 - 選択 (Windows) 145
- [バックアップ/復元] メニュー、コントロール パネル 45
- 針詰まり
 - ステイプラ 283, 284
- パルス ダイアル
 - 設定する 200
- 排紙ビン
 - 収容枚数 90
- ひ
- 日付と時刻の設定 195
- 必須の設定
 - 国/地域 193
- 必要なシステム
 - HP 内蔵 Web サーバ 255
- [表示設定] メニュー、コントロール パネル 36
- 表紙
 - 印刷 (Mac の場合) 69
 - 異なる用紙に印刷する (Windows の場合) 140
- ヒント iii
- ビン、排紙
 - 位置 6
 - 収容枚数 90
- ふ
- ファームウェアのアップグレード 252
- ファームウェア
 - 更新、Mac 66
- ファイル ディレクトリ ページ
 - 説明 254
- ファイルのアップロード、Macintosh 66
- ファックス アドレス帳 228
- ファックス印刷のロック 236
- ファックス コール レポート
 - 説明 254
- ファックス使用状況ログ
 - 説明 254
- ファックス設定
 - HP 内蔵 Web サーバー 259
- フィンランドのレーザー製品に関する安全規定 349
- [ファックス設定] メニュー、コントロール パネル 29
- コントロール パネル
 - [サービス] メニュー 46
- ファックスのキャンセル 229
- ファックスの受信 229
- ファックスの送信
 - 複数の受信者の削除 231
 - 複数の受信者 230
- ファックスの送信
 - ファックス アドレス帳の番号の使用 228
- ファックスの通知 210
- ファックス番号の確認 205
- ファックス
 - 印刷 236
 - キャンセル 229
 - 給紙の問題 240
 - 受信 229
 - 設定ウィザード 194, 198
 - 送信 224
 - 必須の設定 193
- ファックス ポーリング 217
- ファックス レポート
 - 説明 254
- ファームウェア、新規ダウンロード 272
- 封筒
 - セットの向き 92
 - トレイ 1 にセット 94
- フォルダにスキャン 179
- フォルダに送信 179
- フォルダ
 - 送信先 179
- フォント
 - Macintosh へのアップロード 66
- フォーマット
 - セキュリティ 263
- フォーム
 - 印刷 (Windows の場合) 135
- 部数
 - 印刷部数の変更 (Windows の場合) 124
- 不正品対策 Web サイト 109
- 付属のバッテリー 341
- ブックレット
 - 作成 (Windows の場合) 144
- フューザ
 - 紙詰まり 296
- プライベート ジョブ
 - 一時的に保存 (Windows の場合) 152
- プライベート ジョブ
 - 永久的な保存 (Windows の場合) 153
- ブラウザ、Web
 - リモート設定 197
- ブラウザの条件
 - HP 内蔵 Web サーバ 255
- プリセット (Mac の場合) 68
- プリンタ設定ページ
 - 説明 254
- プリンタ ドライバ (Mac の場合)
 - 設定の変更 65
 - 設定 68
- プリンタ ドライバ (Windows の場合)
 - 設定の変更 53
 - 設定 123
 - 対応 49
- プリンタ ドライバ
 - 選択 306
- プリンタ ドライバを開く (Windows の場合) 123
- プリンタのメモリ
 - 送信先 180
- プリンタのメモリ、保存先 180
- プリント カートリッジ
 - 検査、損傷 115
 - 交換 110
 - 製品番号 321
- プリント カートリッジ
 - 保管 109
 - 保証 327
 - メモリ チップ 328
 - リサイクル 340
- プリント サーバー カード
 - 取り付け 267
- 局番
 - 自動ダイヤル 204
- ブロックされたファックス リスト
 - 説明 254
- ブロック対象ファックス リスト
 - レポート
 - 印刷 250

- プロトコル、ネットワーク 75
- 文書サイズの変更
 - Windows 142
- 文書の拡大縮小
 - Windows 142
- 文書の拡大縮小
 - Macintosh 69
- 文書のサイズ変更
 - Macintosh 69
- 文書フィーダ
 - 原稿配置場所 158
- 文書フィーダ
 - 紙詰まり 282
- 文書フィーダ
 - 容量 90
- 封筒フィーダ
 - 容量 91
- へ
- ページに収める 219
- ヘルプ
 - 印刷オプション (Windows の場合) 124
- ヘルプ ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
- ヘルプ、コントロール パネル 13
- ほ
- ポーズ、ダイヤル時 224
- [ホーム] 画面、コントロール パネル 14
- ポーリング 217
- 保管
 - プリント カートリッジ 109
- 保証
 - カスタマ セルフ リペア 333
 - 使用許諾 329
 - 製品 326
 - プリント カートリッジ 327
- 保持、ジョブ
 - オプションの設定 (Windows の場合) 151
 - 使用可能なモード 148
- 保存ジョブ
 - 印刷時に通知を受信 (Windows の場合) 153
 - 印刷 150
 - 作成 (Windows の場合) 149
- セキュリティ 263
- 名前の指定 (Windows の場合) 154
- ユーザー名の設定 (Windows の場合) 153
- 保存ジョブ
 - 削除 151
 - 作成、コピー文書から 169
- 保存、USB
 - 有効化 176
- 保存、ジョブ
 - Macintosh 設定 66, 70
 - オプションの設定 (Windows の場合) 151
 - 使用可能なモード 148
- 保存、ネットワーク フォルダ
 - 有効化 176
- 保存、プリンタのメモリ
 - 有効化 176
- ボタン、コントロール パネル
 - タッチスクリーン 16
- 本
 - コピー 167
- ポート
 - 位置 11
- [ホーム] ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
- 保守キット
 - 製品番号 321
- ま
- マニュアルのマーク iii
- マーク、マニュアル iii
- み
- 未設定 193
- 右ドア、上部
 - 紙詰まり 289
- 右下ドア
 - 紙詰まり 295
- む
- 向き
 - 選択、Windows 133
 - 用紙、セット時 92
- め
- メッセージ
 - 数値リスト 117
 - タイプ 278
- メッセージ
 - 電子メール アラート 66
- メディア
 - 用紙あたりのページ数 70
 - 最初のページ 69
 - 対応サイズ 86
- メディア
 - カスタムサイズ、Macintosh の設定 69
- メモリ
 - サプライ品エラー 117
- メニュー
 - 要約 18
- メニュー、コントロール パネル
 - [USB から開く] 設定 33
 - USB ファームウェア アップグレード 46
 - 印刷オプション 35
 - 印刷設定 33
 - 管理 20
 - 校正/クリーニング 45
 - コピー設定 24
 - サプライ品の管理 37
 - [スキャン/デジタル送信設定] 27
 - ステイプラ/スタッカの設定 38
 - 全般的な設定 21
 - トラブルシューティング 42
 - トレイの管理 38
 - ネットワーク設定 39
 - バックアップ/復元 45
 - 表示設定 36
 - [ファックス設定] 29
 - レポート 20
- メモリ DIMM
 - セキュリティ 263
- メモリ チップ、プリント カートリッジ
 - 説明 328
- メモリ タグ
 - 位置 111
- メモリ
 - 内蔵 2

メモリ
内蔵 66
メモリ ロック
無効にする 236
有効にする 236
メモリ、ファックスの保存と削除
224

も

モデム速度 241
モデル、機能 2
戻す、デフォルト設定
コピー 166
問題解決
印刷されない 308
印刷速度が遅い 309
問題の解決
エラー ボタン、コントロール
パネルのタッチスクリーン
16
電子メール アラート 66
メッセージ、タイプ 278

ゆ

優先度、設定 52, 65
ユニバーサル プリンタ ドライ
バ 51
ユーザー定義の印刷設定
(Windows の場合) 125
ユーザー名
保存ジョブの設定 (Windows
の場合) 153

よ

用紙サイズ
カスタムの選択 129
選択 129
対応 86
文書を用紙サイズに合わせて拡
大縮小 (Windows) 142
用紙サイズ
変更 85
用紙タイプ
選択 129
対応 89
用紙タイプ
変更 85
用紙のセット 90

用紙のピックアップに関する問題
解決 279
用紙、注文 320
用紙、特殊
印刷 (Windows の場合) 137
用紙
用紙あたりのページ数 70
最初と最後のページ、異なる用
紙の使用 140
最初のページ 69
セット 94
セットの向き 92
表紙、異なる用紙の使用 140
レターヘッドやフォーム付き用
紙への印刷 (Windows の場
合) 135
用紙
カスタム サイズ、Macintosh の
設定 69
横方向
選択、Windows 133

ら

ラベル
印刷 (Windows の場合) 137

り

リサイクル
HP 印刷サプライ品回収および
環境プログラム 340
リダイヤル間隔、設定 201
リモート設定
Web Jetadmin 197
デジタル送信ユーティリティ
198
ブラウザ、Web 197
両面印刷の位置合わせ
設定 154
両面印刷
オンにする (Mac の場合) 66
設定 (Windows の場合) 130
用紙のセット 92
両面に印刷する
設定 (Windows の場合) 130
両面、印刷
オンにする (Mac の場合) 66
両面印刷ユニット
容量 91

れ

レターヘッド
印刷 (Windows の場合) 135
[レポート] メニュー、コントロー
ル パネル 20
レーザー製品に関する安全規定
349
レーザー製品の安全性に関する規
定 348

ろ

ログ/レポートのデータの削除
251
ログ/レポート
ファックス コール レポート
251
ブロック対象ファックス リス
ト レポート 250
使用状況ログ、削除 251
使用状況ログ 249
請求コード レポート 250
短縮ダイヤル リスト レポー
ト 250
ロック、ファックスの印刷 236

ん

使用状況ログ 249
紙詰まり
原因 279
スキャナ 287
トレイ 294
フューザ 296
右ドア、上部 289
右下ドア 295
見当合わせ 300
請求コード レポート
印刷 250
接続
問題の解決 312
設定
ダイヤル局番 204
短縮ダイヤル
リスト レポート 250
丁合い
コピー ジョブ 160
通知設定 210
文書フィーダ
両面文書をコピーする 171

用紙

紙詰まり 279

選択 303

両面コピー 171

両面、コピー 171

© 2017 HP Development Company, L.P.

www.hp.com

